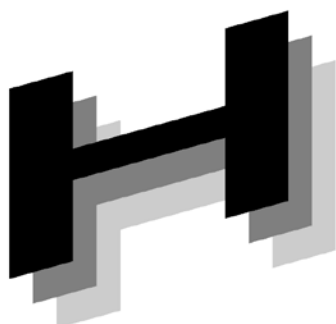




Japanese



Association of



Healthcare



Information



Systems Industry

J A H I S

臨床検査データ交換規約

V e r . 4 . 0 C

2016年7月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

医療システム部会 検査システム委員会

相互運用性委員会

JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 4. 0C

ま え が き

1993 年、(財) 医療情報システム開発センター (MEDIS-DC) 臨床検査データ交換標準化協議会により「臨床検査データ交換規約 (暫定版)」が発表された。しかしながら、幾多の課題も見受けられた。そこで保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS) 臨床検査センターシステム専門委員会では、その使用経験に基づき、課題や要望を抽出整理した結果、課題の一部は、仕様の解釈が不十分なことに起因していると考えられた。そこで 1994 年度に、課題の共通認識と解決方法・注意点などを討議した結果、円滑な導入を図るため「臨床検査データ交換規約 (暫定版) 利用ガイド」をまとめ、発表した。

1995 年より課題の根本的解決と医療情報の標準化動向に沿った臨床検査データ交換規約の検討にはいり、標準化動向の調査学習をすすめた。1997 年度、関係諸先生方の多数のご意見や HL7 をはじめ関連規約との調整を図り、病院・医院ほか保健医療関連施設 (臨床検査センターを含む) 間で発生する、検査依頼業務に関する情報要素を抽出し、つぎに情報要素を ASTM E-1238 及び HL7 と対比し原案検討を行い、「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 1. 0」をまとめるに至った。その後、病院情報システム (HIS) と臨床検査システム (LIS) 間のオンライン通信機能を強化した「JAHIS 臨床検査データ交換規約<オンライン版>Ver. 1. 0」および各種マスタファイル情報の設定更新するメッセージが追加された「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 2. 0」(2000 年 5 月) が制定された。さらに HL7 に臨床検査自動化に関する通信仕様の追加等の改訂に準拠した「JAHIS 臨床検査データ交換規約<オンライン版>Ver. 2. 0」(2002 年 4 月) が制定されてきた。

IHE Laboratory Committee で HL7 V2. 5 を採用したこと、ならびに「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 2. 0」と会話型仕様「JAHIS 臨床検査データ交換規約<オンライン版>Ver. 2. 0」の 2 つの規格が存在することを鑑み、2008 年 4 月には 2 つの規格を一本化した「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 3. 0」を制定するにいたった。HL7 V2. 5 準拠とすることで、従来のオーダ依存型メッセージに加え、検体依存型のメッセージも可能となり、いずれの場合も必要に応じ検体容器について記述することが可能となっている。また、2010 年には、HS012「JAHIS 臨床検査データ交換規約」として、HELICS 協議会に採択されている。

その後、2012 年に日本 HL7 協会の適合性認定の実施に伴う指摘事項や他 JAHIS 標準のデータ交換規約との整合性を保つために、「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 3. 1」を制定した。

今回、「JAHIS データ交換規約 共通編 Ver. 1. 1」が制定されたことに伴い、臨床検査部門個別編として「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver4. 0C」として発行するにいたった。本規約が医療資源の有効利用、保健医療福祉サービスの連携・向上を目指す医療情報標準化とデータ交換円滑化に多少とも貢献できれば幸いである。

2016 年 7 月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
医療システム部会 検査システム委員会
相互運用性委員会

<< 告知事項 >>

本規約は関連団体の所属の有無に関わらず、規約の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い、本規約に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本規約作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本規約についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

目 次

1. はじめに.....	1
2. HL7 概要.....	3
3. 主な用語.....	4
4. 臨床検査データ交換規約の対象範囲.....	6
4.1 会話型としての利用.....	6
4.2 ファイル転送型としての利用.....	6
4.2.1 ファイル転送型における本規約利用上の考慮点.....	6
4.3 臨床検査関連システム構成イメージとメッセージの適用.....	7
4.3.1 臨床検査依頼・報告関連システム間情報伝達イメージ.....	7
4.3.2 マスタファイル通知イメージ.....	8
4.3.3 メッセージとトリガイイベント.....	9
4.4 臨床検査依頼・報告メッセージの対応関係.....	11
4.4.1 臨床検査依頼・報告メッセージの OBR、OBX の対応関係例.....	11
5. 関連情報詳細.....	13
5.1 HL7 メッセージについて.....	13
5.2 フィールドならびにセグメント属性表について.....	13
5.3 Message Delimiters メッセージ区切り文字.....	13
5.4 Data types データ型.....	13
5.5 検査項目コードについて.....	13
5.5.1 日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード.....	13
5.5.2 臨床検査項目分類コードの利用.....	15
5.5.3 検査項目コードと検査材料の関連.....	15
5.5.4 検査項目コード事例集.....	15
5.6 検査材料・採取部位コードについて.....	16
5.6.1 日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード 材料コード.....	16
5.7 検査結果コメントの扱い.....	19
5.7.1 OBX に伴う叙述的報告について.....	19
5.7.2 叙述的報告の共通成分に使う検査 ID を定義するための接尾辞の解説.....	20
5.7.3 検査結果コメントの例.....	23
5.8 定性結果・不等号等の表現方法.....	24
5.9 コード体系表.....	25
6. 臨床検査依頼・臨床検査結果メッセージ構文.....	31
6.1 臨床検査依頼(OML/ORL).....	32
6.1.1 OML 一般検査オーダーメッセージ イベント(O21).....	32
6.1.2 ORL 一般検査オーダー肯定応答メッセージ イベント(O21).....	34
6.1.3 OML 1 検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ イベント(O33).....	35
6.1.4 ORL 1 検体に対する複数依頼の肯定応答メッセージ イベント(O34).....	37

6.1.5	OML 1 検体 1 容器複数依頼時の検査オーダーメッセージ イベント(O35)	38
6.1.6	ORL-1 検体 1 容器複数依頼の肯定応答メッセージ イベント(O36)	41
6.2	到着確認報告、臨床検査結果(ORU/ACK, OUL/ACK)	42
6.2.1	OUL 非要求検体ベース検査結果メッセージ イベント(R22)	44
6.2.2	ORU 非要求検査結果転送メッセージ イベント(R01)	46
6.2.3	OUL 非要求検査結果メッセージ イベント(R21)	47
6.2.4	OUL 非要求検体採取容器ベース検査結果メッセージ イベント(R23)	47
6.2.5	OUL 非要求オーダーベース検査結果メッセージ イベント(R24)	49
6.2.6	ORU 非要求 Point-Of-Care 検査メッセージ依頼部門オーダーなし イベント(R30)	50
6.2.7	ORU 非要求 Point-Of-Care 検査メッセージ -オーダーの検索 (R31)	52
6.2.8	ORU 非要求事前 Point-Of-Care 検査オーダー イベント(R32)	53
6.3	情報照会(QBP/RSP)	55
6.3.1	QBP 患者基本属性照会メッセージ イベント(Q22)	55
6.3.2	RSP 患者基本属性応答メッセージ イベント(K22)	55
6.3.3	QBP 患者基本属性及び所在照会メッセージ イベント(ZV1)	55
6.3.4	RSP 患者基本属性及び所在応答メッセージ イベント(ZV2)	55
6.3.5	QBP 検査依頼情報照会メッセージ イベント(WOS)	55
6.3.6	RSP 検査依頼情報応答メッセージ イベント(WOS)	56
6.3.7	QBP ラベル情報照会メッセージ イベント(SLI)	58
6.3.8	RSP ラベル情報応答メッセージ イベント(SLI)	58
6.4	患者情報通知(ADT/ACK)	61
7.	関連セグメント	62
7.1	AL1 - Patient Allergy Information Segment 患者アレルギー情報セグメント	63
7.2	ERR - Error Segment エラー情報セグメント	64
7.3	EVN - Event Type Segment 事象型セグメント	65
7.4	IN1 - Insurance Segment 保険セグメント	66
7.5	MSA - Message Acknowledgment Segment メッセージ応答セグメント	67
7.6	MSH - Message Header Segment メッセージ・ヘッダー・セグメント	68
7.7	NTE - Notes and Comments Segment 注釈コメントセグメント	69
7.8	OBR - Observation Request Segment 検査要求セグメント	70
7.9	OBX - Observation /Result Segment 検査結果セグメント	82
7.10	ORC - Common Order Segment 共通オーダーセグメント	88
7.11	PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント	107
7.12	PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント	108
7.13	PV2 - Patient Visit - Additional Information Segment 来院補足情報セグメント	109
7.14	QAK - Query Acknowledgment Segment 照会認知セグメント	117
7.15	QPD - query parameter definition 照会パラメータ定義	119
7.16	RCP - response control parameter segment 応答制御パラメータセグメント	122
7.17	ROL - Role Segment 役割セグメント	124
7.18	SPM - Specimen Segment 検体セグメント	127
7.19	TQ1 - Timing/Quantity Segment タイミング/数量セグメント	144
8.	臨床検査自動化用メッセージ構文	145
8.1	自動化装置ステータス(ESU/ESR)	146

8.1.1	ESU/ACK – 自動化装置ステータス更新 イベント (U01)	146
8.1.2	ESR/ACK – 自動化装置ステータス要求 イベント (U02)	147
8.2	検体ステータス(SSU/SSR)	148
8.2.1	SSU/ACK 検体ステータス更新 イベント(U03)	148
8.2.2	SSR/ACK 検体ステータス要求 イベント(U04)	150
8.3	自動化装置在庫 (INU/INR)	151
8.3.1	INU/ACK 自動化装置在庫更新 イベント(U05)	151
8.3.2	INR/ACK 自動化装置在庫要求 イベント(U06)	152
8.4	自動化装置コマンド(EAC/EAR)	153
8.4.1	EAC/ACK 自動化装置コマンド イベント(U07)	153
8.4.2	EAR/ACK 自動化装置応答 イベント(U08)	155
8.5	自動化装置通知(EAN/ACK)	156
8.5.1	EAN/ACK 自動化装置通知 イベント(U09)	156
8.5.2	EAC/ACK 自動化装置コマンド(通知クリア) イベント(U07)	158
8.6	自動化装置検査コード設定(TCU/TCR)	160
8.6.1	TCU/ACK 自動化検査コード設定 イベント(U10)	160
8.6.2	TCR/ACK 自動化検査コード要求 イベント(U11)	161
8.7	自動化装置ログ／サービス (LSU/LSR)	162
8.7.1	LSU/ACK 自動化装置ログ／サービス更新 イベント(U12)	162
8.7.2	LSR/ACK 自動化装置ログ／サービス要求 イベント(U13)	163
9.	臨床検査自動化用セグメント詳細	164
9.1	CNS - Clear Notification Segment 通知クリアセグメント	164
9.2	ECD - Equipment Command Segment 装置コマンドセグメント	165
9.3	ECR - Equipment Command Response Segment 装置コマンド応答セグメント	167
9.4	EQP - Equipment Log/Service Segment 装置ログ／サービスセグメント	168
9.5	EQU - Equipment Detail Segment 装置詳細セグメント	169
9.6	INV - Inventory Detail Segment 在庫詳細セグメント	171
9.7	ISD - interaction status detail segment インタラクションステータスの 詳細セグメント	175
9.8	NDS - Notification Detail Segment 通知詳細セグメント	176
9.9	SAC - Specimen And Container Detail Segment 材料と採取容器の 詳細セグメント	177
9.10	SID - Substance Identifier Segment 試薬等識別セグメント	185
9.11	TCC - Test Code Configuration 検査コード設定セグメント	186
9.12	TCD - Test Code Detail Segment 検査コード詳細セグメント	188
10.	マスタファイル Master Files	190
10.1	目的	190
10.2	トリガイベント	190
10.3	メッセージ	191
10.3.1	MFN/MFK - master files notification マスタファイル通知メッセージ	191
10.3.2	MFQ/MFR - マスタファイル照会(事象 M01-M14)	191
10.3.3	コンフォーマンスに基づくマスタファイル照会の例	192
10.4	マスタファイル通知メッセージ共通セグメント	195
10.4.1	MFI - Master file identification segment マスタファイル識別セグメント	195

10.4.2	MFE - master file entry segment	マスタファイルエントリセグメント	197
10.4.3	MFA - マスタファイル応答セグメント		198
10.5	一般マスタファイル		199
10.5.1	MFN 一般マスタファイル通知メッセージ		199
10.5.2	対象とするコード表		200
10.5.3	ZGN 一般マスタファイルセグメント (事象 M14)		201
10.5.4	一般マスタファイル更新の MFN メッセージ例		201
10.6	検査項目マスタファイル		203
10.6.1	検査項目マスタファイル全般		203
10.6.2	MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査／観察 (事象 M03)		203
10.6.3	MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査／観察 (数値) (事象 M08)		204
10.6.4	MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査／観察 (カテゴリ値) (事象 M09)		205
10.6.5	MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査／観察バッテリー (事象 M10)		205
10.6.6	MFN/MFK - マスタファイル通知 - 計算型検査／観察 (事象 M11)		206
10.6.7	MFN/MFK - マスタファイル通知 - 付加的基本的観察／サービス属性 (事象 M12)		206
10.6.8	OM1 - general segment 検査項目一般セグメント		208
10.6.9	OM2 - numeric observation segment 数値結果検査項目セグメント		218
10.6.10	OM3 - categorical test/observation segment カテゴリ値結果項目セグメント		221
10.6.11	OM4 - observations that require specimens segment 要検体検査セグメント		223
10.6.12	OM5 - observation batteries (sets) segment セット検査セグメント		226
10.6.13	OM6 - Observations that are Calculated from Other Observations Segments 計算値結果項目セグメント		227
10.6.14	OM7 - Additional Basic Attributes (Fields That Apply to Most Observations/ Services) 付加的基本属性		228
付録ー 1.	メッセージ例		232
1.	検体検査依頼送信メッセージの例		232
2.	到着確認 OUL メッセージの例		235
3.	検体検査結果メッセージの例		236
4.	患者特有の臨床情報を伴った検査報告メッセージの例		238
5.	計算項目のオーダメッセージと検査結果メッセージの例		239
6.	細菌検査 (培養同定・感受性試験) の例		244
7.	前回値のある検査依頼 (分析装置検査依頼)		246
8.	LIS と自動分析装置の検査依頼メッセージの問合せと応答メッセージの例		247
9.	自動化装置ステータス更新メッセージの例		248
10.	検体ステータス要求 (Specimen status request) メッセージの例		250
11.	自動化装置在庫更新メッセージの例		250
12.	自動化装置在庫要求メッセージの例		250
13.	自動化装置コマンド (Automated equipment command) メッセージの例		250
14.	自動化装置応答 (Automated equipment response) メッセージの例		250
15.	自動化装置通知 (Automated equipment notification) メッセージの例		250
16.	自動化装置検査コード設定更新メッセージの例		251
17.	自動化装置検査コード設定要求メッセージの例		251
18.	自動化装置ログ/サービス更新メッセージの例		251
19.	自動化装置ログ/サービス要求メッセージの例		251

20.	ロケーションマスタファイル照会	251
21.	一般マスタファイル更新通知（オリジナル応答モード）	252
22.	一般マスタファイル更新通知（拡張モードアプリケーションレベル応答）	252
23.	検査項目マスタファイル更新通知	254
24.	検査項目マスタファイル更新通知（オリジナルモード）	254
25.	検査項目マスタファイル更新通知（拡張モード）	254
26.	検査項目マスタファイル更新通知（遅延アプリケーション応答）	255
27.	検体ラベル発行メッセージの例	255
28.	ラベル情報メッセージの例（OML^O33^OML_O33）	256
29.	検体ラベル情報照会メッセージの例	256
付録— 2. 作成者名簿		258

1. はじめに

今日、医療環境が変化し、分業化と連携が進むにつれ、標準化と客観化の重要性がより認識されるようになった。また、システムメーカーにおいても、一社ですべての業務システムをカバーすることは困難となっており、マルチベンダー化が進んでいる。このような状況で効率的なシステム開発のため、標準化が必須となっている。つまり医療情報の標準化は、患者中心の医療や効率的な医療を進めるにあたって、重要な位置を占めるものである。

臨床検査の分野では、いち早く標準化の取り組みが行われている。

臨床検査そのものの標準化は1985年より日本臨床検査標準協議会 JCCLS(Japan Committee for Clinical Laboratory Standards)が設立され、検査方法や精度管理を中心に信頼される検査データが流通することを目的として活動している。

検査項目コードについては、日本臨床検査医学会（旧：日本臨床病理学会）が1962年より臨床検査項目分類コードを発表し、1997年の第10回改訂にてJLAC10として利用されている。また、JLAC10をベースとしたMEDIS臨床検査マスターがHELICS協議会にて採択され検査項目コードの標準コードとして利用されている。2012年から、日本臨床検査医学会（検査項目コード委員会）、臨床検査項目標準マスター運用協議会では、検査項目コードの標準の作成を目的として「臨床検査項目分類コード(Ver.11)」(以下、JLAC11という)を検討しており、2016年発表予定である。

日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コードの履歴

制定	改訂	改訂内容
1990年	第8回	コンピュータで使用する事を前提とした改訂
1994年	第9回	第8回改訂の問題点や新規項目などを追加し、結果識別コードを組み込み。
1997年	第10回 (JLAC10)	英文を併記。HELICS協議会にてHS014「臨床検査マスター」として採択。
2016年	第11回 (JLAC11)	政府の次世代医療 ICT 構想や MID-NET などにおけるデータ統合と2次利用に活用可能な臨床検査項目コードとする。 医療機関連携システムにおける共通インタフェースとしての利用を推奨。

臨床検査データのシステム間でのやり取りについては、1993年MEDIS-DC臨床検査データ交換標準化協議会より暫定規約「臨床検査データ交換規約（暫定版）」が発表され、JAHISではその利用ガイドを作成してきた。しかしながら、その暫定規約は当時の汎用機やオフコンで稼動している臨床検査システムですぐ対応可能な規約とし、国際情勢や医療情報システム動向を踏まえた規約については以後の検討とした。

このため、JAHIS臨床検査システム委員会では、院内オーダリングや病医院ー臨床検査センター間をはじめ、様々な医療関連施設間相互に適用でき、かつワールドワイドに通用する臨床検査データ交換規約の検討を進め、「JAHIS臨床検査データ交換規約」を作成し、定期的な改訂を行ってきた。

システム間データ連携関連規約の履歴

制定	改訂	HL7	改訂内容
1993年	臨床検査データ交換規約（暫定版）		MEDIS-DC臨床検査データ交換標準化協議会より暫定規約
1998年	JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.1.0	V2.3	病院・医院ほか保健医療関連施設（臨床検査センターを含む）間で発生する、検査依頼業務に関する情報要素をASTM E-1238及びHL7と対比し原案検討。
	JAHIS 臨床検査データ交換規約<オンライン版>Ver. 1.0	V2.3	病院情報システム（HIS）と臨床検査システム（LIS）間のオンライン通信機能を強化
2000年	JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.2.0	V2.3.1	HL7に準拠
2002年	JAHIS 臨床検査データ交換規約<オンライン版>Ver.2.0	V2.4	HL7V2.4の臨床検査自動化に関する通信仕様の追加等の改訂に準拠。
2008年	JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.3.0	V2.5	「JAHIS臨床検査データ交換規約Ver.2.0」と「JAHIS臨床検査データ交換規約<オンライン版>Ver.2.0」の一本化。検体容器について記述することが可能となった。

2010 年	JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver.3.1	V2.5	日本HL7協会の適合性認定の実施に伴う指摘事項や他JAHIS 標準のデータ交換規約との整合性確保。
--------	------------------------------	------	--

今回、「JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1」が制定されたことに伴い、臨床検査部門個別編として「JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver4.0C」として発行するにいたった。今回制定では、以下の点について変更した。

- (1) JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 との整合
- (2) 検査項目表記の表現の見直し
- (3) 全体にわたり、表現・記述の見直し、誤訳の修正。
- (4) HL7、IHE Laboratory Technical Framework の整合性の確認

なお、本規約には「JAHIS データ交換規約（共通編）」と差異がある部分だけを記載した資料構成になっているため、「JAHIS データ交換規約（共通編）」との併読を前提としている事を留意いただきたい。本規約のバージョンの後に“C”という接尾辞があるが、これは「JAHIS データ交換規約（共通編）」を参照している事を意味している。

2. HL7 概要

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 「2. 使用している HL7 について」「2.1 概要」を参照のこと。

3. 主な用語

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「3. 主な用語」を参照のこと。

以下は共通編との差異のみを記載する。

検査群 (バッテリー) Battery :

単一名と単一コード番号で識別される 1 個以上の検査を含む検査集合であり、構成要素である検査を依頼・検索するのに使用する包括的なまとまりとして扱われる。例えば、電解質であれば、 Na^+ 、 K^+ 、 Cl^- 、 HCO_3^- などで構成され、それら構成要素は、依頼者に返される時、個別の“結果”として返される。

臨床検査システム (LIS) Laboratory Information System :

患者検体の識別、検査の依頼、検査の報告、精度管理などの、検査の様々な面に関するデータ管理の責任を負う情報システムをいう。

注 a : LIS は LAS と直接インタフェースを行い、患者、到着、採取管、検査依頼、検体ステータス、検査の結果を通信する。

注 b : LIS または LAS は装置 (または検体処理装置) とインタフェースして、特定の検査依頼と報告のための結果のやり取りを行う。

注 c : LIS は、医師および他の医療職員が使用するために、臨床システムとインタフェースする機会が多い。

臨床検査自動化システム (LAS) Laboratory Automation System :

臨床検査室のシステムの運用においてオペレータの介入をできるだけ少なくした、情報とハードウェアテクノロジーのシステムをいう。

注 : 典型的な機能には、LAS インタフェースを通じた装置の情報システム管理があり、これには検体の操作 (遠心分離)、検体の搬送、結果の計算、再検査、検査の考察、品質評価と結果報告を行う技術が含まれる。

自動化装置 Automated instrument :

患者の検体の計測を行う自動化された検査装置をいう。臨床検査システム (LIS)、病院情報システム (HIS)、臨床検査自動化システム (LAS) に接続している場合も接続していない場合もある。

注 : これらの装置は、臨床検査自動化システムとのインタフェースが行えるよう、ハードウェアまたはソフトウェアの仕様の変更を行っても良い。

検体 Specimen :

ある量や性質を検査、研究、分析して全体の特性を決定するために採取した、体液または組織の一部をいう。

注 : 採取した検体を処理したものも検体と呼ばれる。従って、検体の例には、全血および全血から得られる血清や血漿、唾液、髄液、便、尿、爪、毛髪、パラフィンブロックに内包された組織サンプルなども含まれる。

採取管 Container :

患者の検体を保持する容器をいう。(図 1 参照)

注 : 採取管は通常、ガラスまたはプラスチック製の片側が閉じた管で、反対側に取り外し可能な蓋が付いている。

ロケーション Location :

一意の識別子 (冷蔵庫の棚番号、機器バッファ ID、トラック ID など) を持つ、検査室内の物理的な場所をいう。(図 1 参照)

キャリア Carrier :

採取管を保持するデバイスをいう。(図 1 参照)

© JAHIS 2016

注： キャリアは、搬送システムと機械的にインタフェースして、ロケーションからロケーションに検体を移動させる。運搬する採取管の数は1個の場合も複数の場合もある。

トレイ Tray：1個以上のキャリアを保持するデバイスをいう。(図1参照)

LECIS Laboratory Equipment Control Interface Specification：

分析機と機器のリモート制御の、規格動作またはインタラクションのためのメッセージ内容を定める高レベルプロトコル (ASTM E 1989-98)。

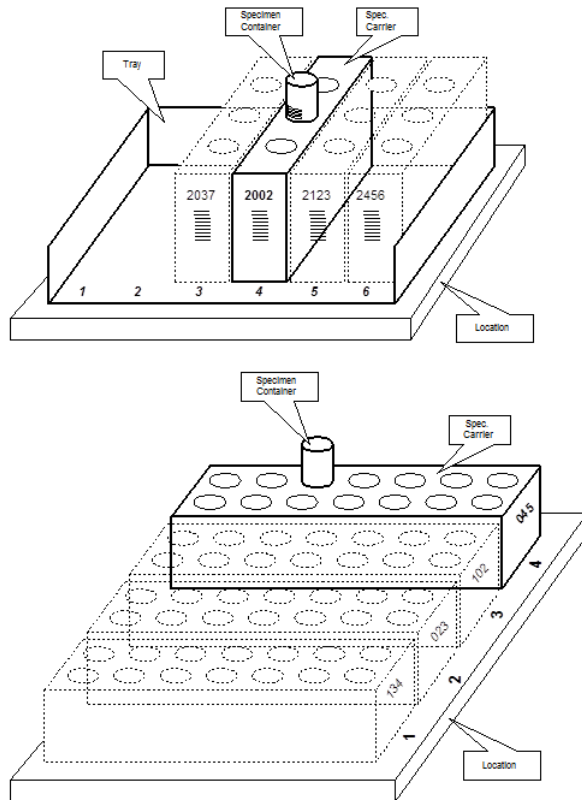


図 1 採取管、キャリア、トレイ、ロケーションの関係

4. 臨床検査データ交換規約の対象範囲

4.1 会話型としての利用

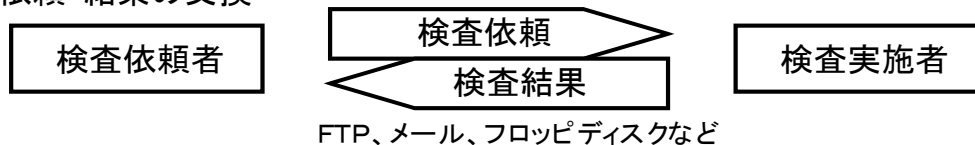
一般的に施設内の臨床検査依頼、結果報告などのデータ交換では、病院情報システム（HIS）、臨床検査システム（LIS）、臨床検査自動化システム（LAS）の間で、会話型の通信が使用される。本規約は特別のコメントがない限り、会話型について記述している。

4.2 ファイル転送型としての利用

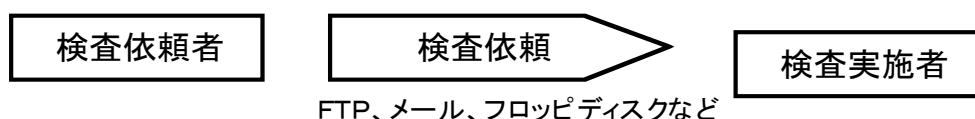
ファイル転送型はシステム間のデータ交換をファイル転送することで実現するが、ファイル転送の手段としてFTP、NFS、電子メールなどのオンラインファイル伝送や、USBメモリ等のオフラインメディア搬送などが利用でき、施設内・外を問わず極めて導入が容易である。

ファイル転送型の利用形態について以下に示す。

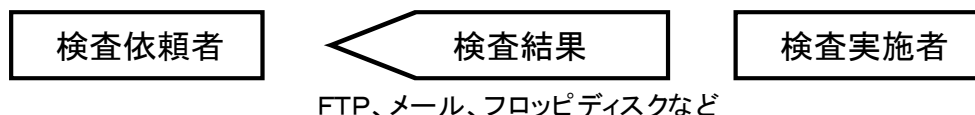
検査依頼・結果の交換



検査依頼のみ転送



検査結果のみ転送



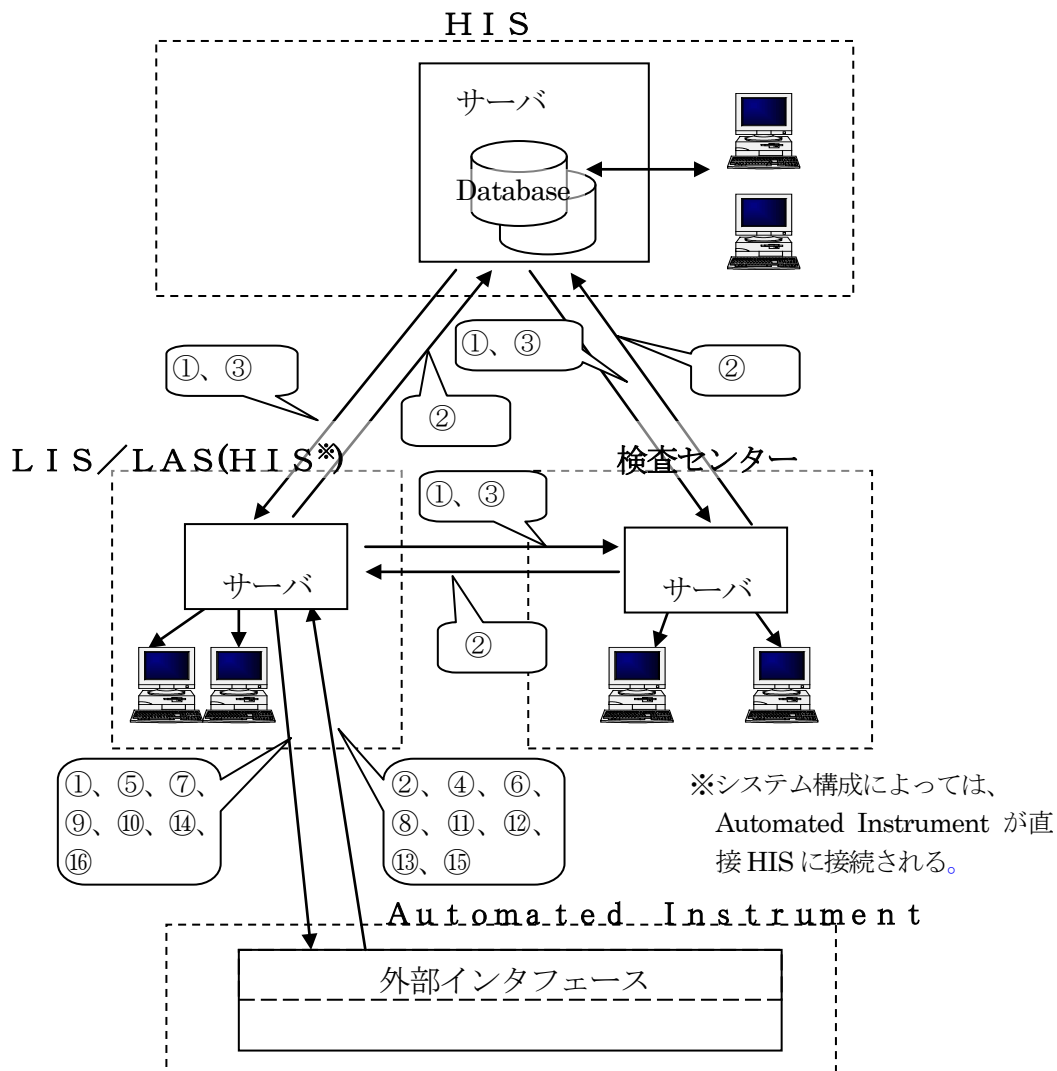
4.2.1 ファイル転送型における本規約利用上の考慮点

- 臨床検査依頼メッセージと臨床検査報告メッセージはそれぞれ単独でも使用可能であるが、電子化メッセージ交換の効果を高めるには両者を使用し精度の高い情報交換を実現することを推奨する。
- ファイル転送型で使用するメッセージは、臨床検査依頼（OML^O21）、臨床検査結果報告（ORU^R01）、マスタファイル通知（MFN^M08~M14）であり、照会、到着確認、検査自動化関係のメッセージは適用しない。
- 本規約では会話型で使用する応答メッセージについても記載があるが、ファイル転送型ではMSHセグメント等での応答指定にかかわらず応答メッセージは使用しない。

4.3 臨床検査関連システム構成イメージとメッセージの適用

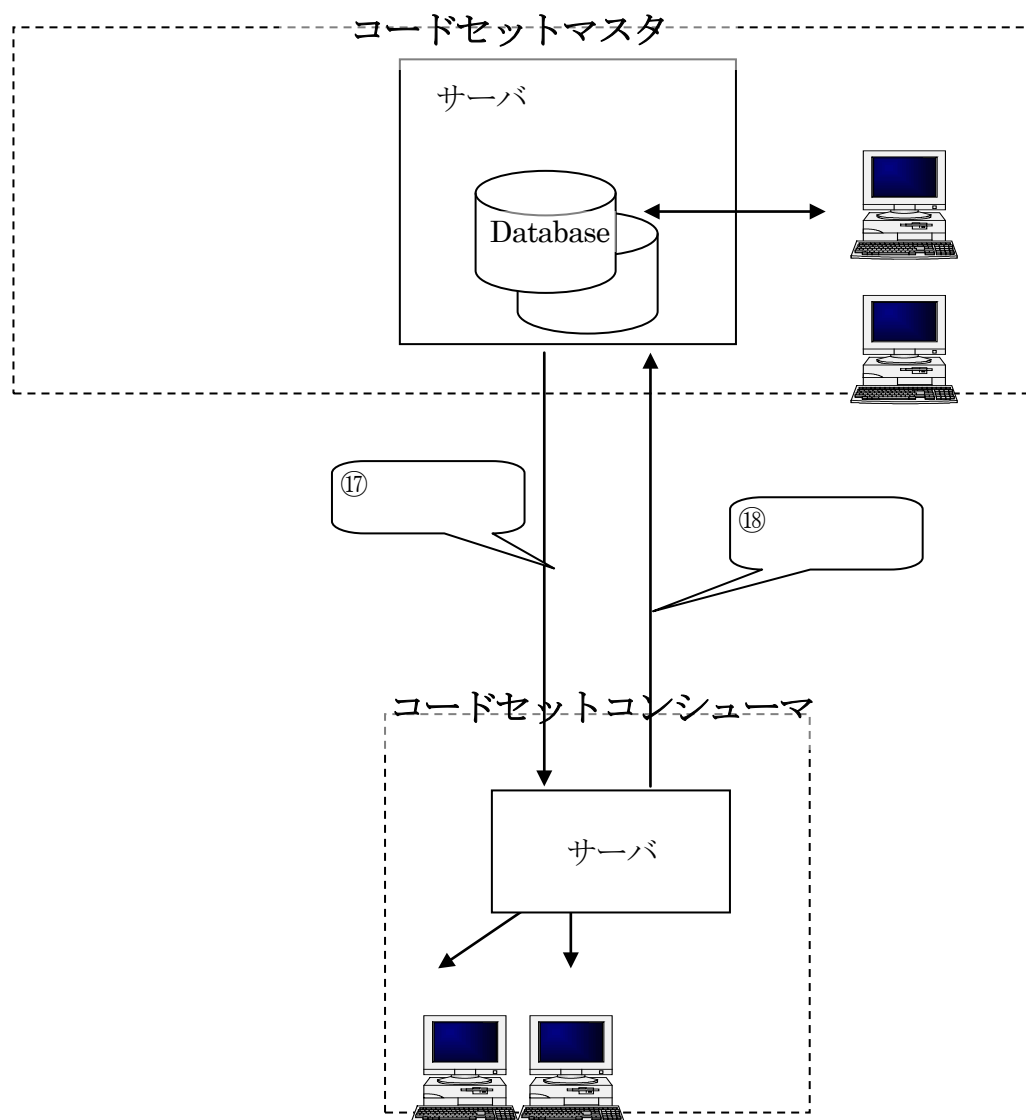
臨床検査データ交換規約は下図「システム間情報伝達イメージ」と「マスタファイル通知イメージ」の範囲を対象とする。また、取り扱うメッセージ型及びトリガイイベントを表「メッセージとトリガイイベント」に示す。

4.3.1 臨床検査依頼・報告関連システム間情報伝達イメージ



各数字 (①~⑯) は、表「メッセージとトリガイイベント」の番号に対応する。

4.3.2 マスタファイル通知イメージ



各数字 (⑰、⑱) は、表「メッセージとトリガイイベント」の番号に対応する。

4.3.3 メッセージとトリガイイベント

メッセージとトリガイイベント

NO	メッセージ定義	メッセージ型	トリガイイベント	イベント型
①	臨床検査依頼	OML→ ←ORL	一般オーダーメッセージ	O21/O22
			1 検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ	O33/O34
			1検体1容器複数依頼時の検査オーダーメッセージ	O35/O36
②	到着確認報告、臨床検査結果	ORU→ ←ACK OUL→ ←ACK	非要求検体ベース検査結果メッセージ	R22
			非要求検査結果転送メッセージ	R01
			非要求検査結果メッセージ	R21
			非要求検体採取容器ベース検査結果メッセージ	R23
			非要求オーダーベース検査結果メッセージ	R24
			非要求POCT検査メッセージ依頼部門オーダーなし	R30
			非要求POCT検査メッセージオーダー検索	R31
			非要求事前POCT検査オーダー	R32
③	患者情報通知	ADT→ ←ACK	患者管理メッセージ	A08
④	自動化装置ステータス更新	ESU→ ←ACK	自動化装置または自動化装置のステータスに関する情報の更新	U01
⑤	自動化装置ステータス要求	ESR→ →ACK	自動化装置または自動化装置のステータスに関する情報の要求	U02
⑥	検体ステータス更新	SSU→ ←ACK	検体の位置とステータスに関する情報の更新	U03
⑦	検体ステータス要求	SSR→ ←ACK	検体の位置とステータスに関する情報の要求	U04
⑧	自動化装置在庫更新	INU→ ←ACK	在庫項目に関する情報の更新	U05
⑨	自動化装置在庫要求	INR→ ←ACK	在庫項目に関する情報の要求	U06
⑩	自動化装置コマンド	EAC→ ←ACK	自動化装置コマンドの発行	U07
⑪	自動化装置応答	EAR→ ←ACK	自動化装置コマンドに対する応答	U08
⑫	自動化装置通知	EAN→ ←ACK	自動化装置に関する通知	U09
⑬	自動化装置検査コード設定更新	TCU→ ←ACK	検査コードとパラメータに関する情報の更新	U10
⑭	自動化装置検査コード設定要求	TCR→ ←ACK	検査コードとパラメータに関する情報の要求	U11
⑮	自動化装置ログ/サービス更新	LSU→ ←ACK	ログ/サービスのイベントのどちらかまたは両方の更新	U12
⑯	自動化装置ログ/サービス要求	LSR→ ←ACK	ログ/サービスのイベントのどちらかまたは両方の要求	U13
⑰	マスタファイル通知	MFN→ ←MFK	他に特定されないマスタファイル（旧版互換のみ）	M01
			職員/従事者マスタファイル	M02
			検査項目マスタファイル（旧版互換のみ）	M03
			課金明細マスタファイル	M04
			ロケーションマスタファイル	M05
			相とスケジュールを伴う治験マスタファイル	M06
			相を除くスケジュールを伴う治験マスタファイル	M07
			数値型検査項目マスタファイル	M08
			カテゴリ型検査項目マスタファイル	M09

			群（セット）検査項目マスタファイル	M10
			計算型検査項目マスタファイル	M11
			付加的基本的観察サービス属性マスタファイル	M12
			一般マスタファイル	M13
			サイト定義マスタファイル	M14
			在庫管理項目マスタファイル	M15
⑱	マスタファイル照会	MFQ→ ←MFR	マスタ通知と同様	M01～M15

4.4 臨床検査依頼・報告メッセージの対応関係

- 臨床検査結果報告メッセージにおける患者識別PID、来院PV1、検査依頼OBRの各セグメントは検査依頼メッセージの当該セグメントの内容を引き継ぐようシステム設計すべきである。特にOBRセグメントは依頼情報に実施者情報を設定するフィールドや依頼者情報を保持したまま返すフィールドがあるのでシステム設計上の配慮が必要である。
- 検査結果セグメントOBXは臨床検査依頼メッセージでも使用されるが、臨床検査結果報告メッセージの検査結果セグメントOBXと対応するものではない。すなわち、臨床検査結果報告メッセージにおけるOBXセグメントは依頼された検査に対応する結果表現の最小単位ごとに出現し、その数は結果により可変である。
- 検査結果セグメントOBXのOBX-5検査結果には参照ポインタを設定し、画像やチャートなど別のファイルやデータを参照することも可能としている。そのため関連してHL7メッセージファイル以外のファイルの伝送や、参照する仕組みについてもシステム設計上の配慮が必要である。

4.4.1 臨床検査依頼・報告メッセージの OBR、OBX の対応関係例

臨床検査報告に含まれる検査結果の件数は検査内容や結果により適宜変化する。例えば、判定値や所見の付加、あるいは検査結果から必要とされる次の検査項目の追加による検査結果の発生などがある。そのため、臨床検査依頼メッセージに含まれる OBR や OBX の件数と対応する臨床検査報告メッセージに含まれる OBR や OBX の件数は一致しない。システム設計上、OBR や OBX の件数は可変であることに注意が必要である。

国内では、HL7 V2.3.1 以降、OBX-11 の検査結果状態を"O"（オーダ詳細記述のみ、結果なし）とすることでOMG、OMLメッセージにおける検査項目の定義として使用し、優先度の記述にOBX-13を利用してきたが、HL7 V2.5 より TQ1 セグメント（TQ1-9）が使用できるようになっている。

本規約 V4.0C 作成において、国際的な使用方法を調査した結果、検査依頼項目はOBX-3ではなく、OBR-4に記載されていることを確認しており、実装に於いては、検査依頼項目の記載箇所は関係者間で確認、調整されたい。（特に、海外で使用されることを前提とされている、装置、システム等。または、海外で開発・製造された製品と接続する装置、システム等。）

本規約では国内で通常使用する場合は従来の記述方法を推奨するが、国際的な相互運用性を鑑みて、設定変更等によりどちらのオーダ方法（OBX-3 あるいは OBR-4）にも対応できることが望ましい。

OBR、OBX の対応関係の例を以下に示す。対応関係を記述しており、正しいセグメント順序、および優先度に関しては6章、7章を参照のこと。

検査依頼項目をOBX-3に記載

検査依頼メッセージ中のOBR, OBX		結果報告メッセージ中のOBR, OBX	
SPM	血清	SPM	血清
OBR	肝炎セット検査、血清	OBR	肝炎セット検査、血清
OBX	GOT 依頼	OBX	GOT、10U
OBX	GPT 依頼	OBX	GPT、5U
		OBX	file://肝炎チャート.png
SPM	尿	SPM	尿
OBR	尿一般検査、尿	OBR	尿一般検査、尿
		OBX	尿蛋白定性、（－）
		OBX	尿糖定性、（－）
		OBX	ウロビリ定性、（－）
OBR	クレアチニンクリアランス検査、尿	OBR	クレアチニンクリアランス検査、尿
OBX	身長、170cm	OBX	クレアチニンクリアランス、100ml/min
OBX	体重、60kg		
OBX	尿量、70ml/min		
		別 File: 肝炎チャート.png	

本表では身長、体重、尿量は依頼メッセージのOBXで記述するが、結果として返送しないことを想定している。また、ペア材料に関しては、オーダーエントリーシステムの実装状況を鑑みて血清と尿に分解して記述した。

検査依頼項目をOBR-4に記載

検査依頼メッセージ中のOBR, OBX		結果報告メッセージ中のOBR, OBX	
SPM	血清	SPM	血清
ORC	依頼者オーダー番号などのオーダー情報	ORC	依頼者オーダー番号などのオーダー情報+実施者オーダー番号など
OBR	GOT (AST)	OBR	GOT (AST)
		OBX	GOT、10U
OBR	GPT (ALT)	OBR	GPT (ALT)
		OBX	GPT、5U
		OBX	file://肝炎チャート.png
OBR	24 時間クレアチニンクリアランス	OBR	24 時間クレアチニンクリアランス
OBX	身長、170cm	OBX	クレアチニン（血清）、1.00mg/dl
OBX	体重、60kg	OBX	クレアチニンクリアランス、107.2ml/min
OBX	尿量、70ml/min		
SPM	尿(含むその他)	SPM	尿(含むその他)
ORC	依頼者オーダー番号などのオーダー情報	ORC	依頼者オーダー番号などのオーダー情報+実施者オーダー番号など
OBR	尿一般検査	OBR	尿一般検査
		OBX	尿蛋白定性、(－)
		OBX	尿糖定性、(－)
		OBX	ウロビリ定性、(－)
OBR	24 時間クレアチニンクリアランス	OBR	24 時間クレアチニンクリアランス
OBX	身長、170cm	OBX	クレアチニン（尿）、1.5mg/dl
OBX	体重、60kg	OBX	クレアチニンクリアランス、107.2ml/min
OBX	尿量、70ml/min		
		別 File: 肝炎チャート.png	

本表では身長、体重、尿量は依頼メッセージのOBXで記述するが、結果として返送しないことを想定している。また、ペア材料に関しては、オーダーエントリーシステムの実装状況を鑑みて血清と尿に分解して記述した。

5. 関連情報詳細

5.1 HL7 メッセージについて

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 「2. 使用している HL7 について」 2.1 概要を参照のこと。

5.2 フィールドならびにセグメント属性表について

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 「2. 使用している HL7 について」 2.2 メッセージ、2.3 フィールドを参照のこと。

5.3 Message Delimiters メッセージ区切り文字

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 「2. 使用している HL7 について」 2.4 メッセージ区切り文字を参照のこと。

5.4 Data types データ型

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 「2. 使用している HL7 について」 2.5 データタイプを参照のこと。

5.5 検査項目コードについて

5.5.1 日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード

臨床検査項目分類コードの最新版については、日本臨床検査医学会のホームページ <http://www.jslm.org/> を参照。

基本コード体系

臨床検査項目分類コード(以下、「検査項目コード」という)は 5 つの要素区分よりなり、それぞれ分析物コード、識別コード、材料コード、測定法コード、結果識別コードと称する。検査項目コードは、基本的に"分析物コード"により整理分類され、検査材料あるいは測定法などの別を所定の付加コードとの組み合わせにおいて認識する。

(1) 分析物コード

検査対象物質を所定の細則に基づき、5 桁の文字列により分類する。

例：潜血反応、TTT、ZTT、クレアチニン、尿酸、グリコヘモグロビン A1c (NGSP)

(2) 識別コード

分析物コードを検査内容に沿って細分する必要がある場合に 4 桁の数値により分類する。

例：負荷試験、ウイルスの分類、ウイルス抗体価の分類、アレルゲンの分類、リンパ球の CD 分類

(3) 材料コード

同一項目における検査材料の別を 3 桁の数値により分類する。(5.6.1 節はこのコードを転記している。)

(4) 測定法コード

同一の項目における測定法の別を 3 桁の数列により分類する。

例：可視吸光度法、ラテックス凝集比濁法、ラジオイムノアッセイ二抗体法、紫外吸光度法、嫌気性培養

(5) 結果識別コード

一つの検査項目において、結果が単独あるいは複数を問わず、結果表現の別を 2 桁の数列により分類する。

検査項目コードの運用例

例 1：

髄液単純ヘルペス CF 抗体価 (CF 法)

血清单純ヘルペス中和抗体価 (中和法)

分析物	単純ヘルペス	5F190
識別	ウイルス抗体	1430
材料	血清	023
	髄液	041
測定法	CF 法	141
	ウイルス中和法	151
結果識別	希釈倍率 (共通)	05
	HSV-1 抗原 (固有)	51
	HSV-2 抗原 (固有)	52

検査依頼時のコード

髄液単純ヘルペス CF 抗体価 5F190-1430-041-141

血清单純ヘルペス中和抗体価 5F190-1430-023-151

検査報告時のコード

髄液単純ヘルペス CF 抗体価 5F190-1430-041-141-05 (希釈倍率)

血清单純ヘルペス中和抗体価 5F190-1430-023-151-51 (HSV-1 抗原)

5F190-1430-023-151-52 (HSV-2 抗原)

例 2：HBs 抗原定性、定量

		JLAC10	JLAC11
分析物	HBs 抗原	5F016	V3101
	HBs 抗体	5F016	V3111
識別	ウイルス抗原 (JLAC10)	1410	
	ウイルス抗体 (JLAC10)	1430	
		(JLAC11) 依頼	0000
		(JLAC11) 測定値	0001
		(JLAC11) 判定	0002
材料	血清	023	250
測定法	化学・生物発光イムノアッセイ (CLIA) (JLAC10)	051	
	(JLAC11) 化学発光免疫測定法 (CLIA)		005
	HB s 抗原半定量		
	アーキテクト・HB s Ag QT5		
	(JLAC11) 化学発光免疫測定法 (CLIA)		004
	HB s 抗体半定量		
	アーキテクト・オーザブ		
結果識別	依頼	00	00
	(JLAC10)		
	定量値 (JLAC10)	01	F9
	判定 (JLAC10)	11	02
	(JLAC11) 単位		

検査依頼時のコード

HB s 抗原-依頼 5F016-1410-023-051-00

HB s 抗体-依頼 5F016-1430-023-051-00

検査報告時のコード

HB s 抗原定性－判定	5F016-1410-023-051-11
HB s 抗原定性－測定値	5F016-1410-023-051-01
HB s 抗体定性－判定	5F016-1430-023-051-11
HB s 抗体定性－測定値	5F016-1430-023-051-01

5.5.2 臨床検査項目分類コードの利用

臨床検査項目分類コードは5つの基本コードを組み合わせ、実際の検査項目コードとして使用する。検査依頼時では結果識別コードを除く15桁で表現され、結果報告時にはさらに結果識別コードが追加され17桁で表現される。

5.5.3 検査項目コードと検査材料の関連

検査項目コード中に材料が設定されているが、これはあくまで一つの検査項目測定系を示すものである。したがって、検査データを扱うシステムでは検査項目フィールドと検査材料フィールドを別に持つべきである。OBR/OBXで用いる場合、検査項目フィールド(OBR-4/OBX-3)にはオーダーする検査項目を示すコード(すなわち商品コードのような性格)を、検査材料フィールド(SPM-4)には実際に提出する材料コードを設定する。

5.5.4 検査項目コード事例集

臨床検査項目分類コードを実際に組み合わせ検査項目コードに付番するのは様々な解釈もあり容易ではない。前述の臨床検査項目分類コードで分類された実際に使用されることの多い検査項目について付番したコード表(運用コード表)をMEDIS-DCのホームページ <http://www2.medis.or.jp/master/kensa/index.html> にて掲載している。

5.6 検査材料・採取部位コードについて

OBR-15、SPM-4、SPM-10、OBX-3 では下記で定められた材料コードを推奨するものとする。

5.6.1 日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード 材料コード

臨床検査項目分類コードの最新版については、日本臨床検査医学会のホームページ <http://www.jslm.org/> を参照。

材料コード適用細則

- (1) 材料コードの選択は、一般の生体成分分析などにおいては"材料コードⅠ"によるものとし、細胞診・生理機能検査などに使用される"組織の詳細および生体部位"については"材料コードⅡ"に、その他の非生体材料については"材料コードⅢ"による。
- (2) 「尿」および「血液」について
特別な場合を除き、尿は「尿(含むその他の尿)」(001)および「蓄尿」(004)を、血液は「全血」(018)、「血漿」(022)および「血清」(023)に分類することが望ましい。
- (3) 「全血」(添加物入り(019))について
抗凝固剤、抗血小板剤などの添加物により検査材料の安定化を必要とする検査項目に適用する。
「ペア材料」(098)について
複数の異なる検査材料を必要とする検査項目に適用する。
例：24時間クレアチニンクリアランス
8A025-0000-098-271-01

臨床検査項目分類コード 3.材料コード表 材料コードⅠ一覧

コード	材料名	コード	材料名	コード	材料名
	○尿・便		○穿刺液		○組織
001	尿(含むその他)	040	穿刺液(含むその他)	070	組織*(含むその他)
002	自然排尿	041	髄液	071	生検組織*
003	新鮮尿	042	胸水	072	試験切除組織*
004	蓄尿	043	腹水	073	手術切除組織*
005	時間尿	044	関節液	074	剖検切除組織*
006	早朝尿	045	心嚢液	075	固定組織*
007	負荷後尿	046	骨髄液	076	固定細胞
008	分杯尿	047	羊水		○その他
009	カテーテル採取尿	048	腰椎	077	毛髪
010	尿ろ紙	049	骨髄塗抹標本	078	爪
011	膀胱穿刺		○分泌液	079	うがい液
012	動物尿	050	分泌液(含むその他)	080	菌株
015	便	051	消化器系からの分泌液	081	結石(含むその他)
	○血液	052	胃液	082	尿路系結石
017	血液(含むその他)	053	十二指腸液	083	胆石
018	全血	054	胆汁	085	擦過物
019	全血(添加物入り)	055	脾液	086	膿(含むその他)
020	動脈血	056	唾液	087	開放性の膿

コード	材料名	コード	材料名	コード	材料名
021	毛細管血	057	乳頭分泌液	088	非開放性の膿
022	血漿	058	子宮頸管粘液	088	非開放性の膿
023	血清	059	前立腺液	089	水泡内容物
024	血球浮遊液	060	精液	090	嘔吐物
025	赤血球	061	喀痰	091	洗浄液
026	リンパ球	062	乳汁	092	血液以外の抽出液
027	血小板	063	鼻汁	093	浸出液
028	白血球	064	咽喉からの分泌液	094	塗抹標本(血液、骨髄以外)
029	臍帯血	065	耳からの分泌液	095	透析液
030	溶血液	066	目からの分泌液	096	かん流液
031	除タンパク液	067	膣からの分泌液	097	培養液
032	血液抽出液	068	皮膚からの分泌液(汗)	098	ペーパー材料
033	血液ろ紙	069	気管からの分泌液	099	その他の材料
034	血液塗抹標本				
035	造血幹細胞				
036	動物血				
037	動物全血				
038	動物血漿				
039	動物血清				

材料コードⅡ(組織及び生体部位)使用上の注意

組織及び生体部位は 200～990 の 3 桁で定義し、生検、およびそれぞれの切除組織は、下記のように定義する。

例

生検組織	⇒	○○1or○○6	皮膚 生検組織	⇒	201
試験切除組織	⇒	○○2or○○7	胃 生検組織	⇒	456
手術切除組織	⇒	○○3or○○8	骨 試験切除組織	⇒	252
剖検切除組織	⇒	○○4or○○9	膀胱 試験切除組織	⇒	667
			膣 手術切除組織	⇒	553
			虫垂 手術切除組織	⇒	478
			肺 剖検切除組織	⇒	334
			小脳 剖検切除組織	⇒	719

臨床検査項目分類コード 3.材料コード表 材料コードⅡ(組織及び生体部位)

コード	材料名	コード	材料名	コード	材料名
	○皮膚・乳腺		○消化管・付属消化器		○泌尿生殖器(男性器)
200	皮膚		(口腔および咽喉頭)	600	全立腺、精囊
205	乳房	400	口腔	605	睾丸
210	乳腺	405	口唇	610	陰茎
	○造血・リンパ・細網	410	舌	615	その他の男性性器
220	リンパ節	415	歯	620	男女不明性器
225	脾臓	420	歯肉		○泌尿生殖器(泌尿器)

コード	材料名	コード	材料名	コード	材料名
230	骨髄	425	唾液腺	650	腎臓
	○運動器・軟部	430	咽頭	590	絨毛その他
250	骨	435	扁桃	595	外陰およびその他の女性器
255	関節		○消化管・付属消化器	655	腎盂
260	骨格筋、筋膜		(上部消化管)	660	尿管
265	軟骨	450	食道	665	膀胱
270	靱帯	455	胃	670	尿道
275	腱、腱鞘		○消化管・付属消化器	695	その他の泌尿器
280	軟部組織		(下部消化管)		○神経感覚器
	○呼吸器(上部呼吸器)	460	小腸、十二指腸膨大部	700	眼および眼付属器
300	鼻	465	空腸および回腸	705	大脳(大脳半球、脳梁)
305	鼻腔	470	大腸	710	中脳、橋
310	上顎洞、他の副鼻腔	480	直腸	715	小脳
315	喉頭蓋、喉頭	485	肛門	720	延髄、脊髓
	○呼吸器(肺・気管支)		○消化管・付属消化器	725	脳膜、脊髄膜
330	肺		(肝・胆・膵)	730	内耳
335	気管	500	肝、肝内胆管	735	脳神経
340	気管支	510	胆道(外胆管、外胆道)	740	脊髄神経
345	肋膜	515	膵	795	その他の神経系
350	縦隔		○消化管・付属消化器		○内分泌
355	胸膜		(腹膜・後腹膜)	800	下垂体、頭咽管
365	その他の呼吸器	530	腹膜	805	松果体
	○心臓・血管	535	後腹膜、尾仙部	810	副腎
370	心臓	545	その他の消化器	815	旁神経節
375	心臓弁膜		○泌尿生殖器(女性器)	820	甲状腺
380	心嚢	550	膈	825	副甲状腺
385	血管	555	子宮	830	胸腺
390	動脈	560	子宮頸部	895	その他の内分泌
395	頸動脈	565	子宮腔部		○その他
		570	子宮内膜	900	頭頸部
		575	卵管	910	胸郭
		578	流産内容物	920	腹部
		580	卵巣	930	上下肢
		585	胎盤、臍帯	990	その他部位

臨床検査項目分類コード 3.材料コード表 材料コードⅢ(その他の非生体材料)

コード	材料名	コード	材料名	コード	材料名
991	X線フィルム				

5.7 検査結果コメントの扱い

検査結果コメントを必要とする場合、検査項目 ID (OBR-4, OBX-3) を接尾辞で修飾し OBX を追加する。以下にその方法について解説する。

5.7.1 OBX に伴う叙述的報告について

HL7 は、叙述的報告共通成分に使う検査 ID を構築するためのコード接尾辞を定義した(HL7 図 7-1 を参照)。そのような成分に使う検査項目は、適切な接尾辞を検査項目 ID(どのようなコーディング方式の場合でも先行 OBR の「OBR-4 検査項目 ID」内の ID)に連結することで得られる。

送り手と受け手が合意した場合、結果セグメントの"検査 ID"成分は、先行 OBR の検査 ID と同じならば、オプションで省略することができる。この場合、結果セグメントの OBX-3 検査項目 ID 内には&TCM などと記述して、&と接尾辞だけを送信する。

HL7 図 7-1. Observation ID suffices 検査項目接尾辞

Coded Results	Suffix	Type
Diagnostic Impression 所見	IMP	CWE
Recommendation 指導	REC	CWE
Confirming Procedures 処置確認	CNP	CWE
Procedure Medication 投薬治療	MED	CWE
Anatomic Site 部位	ANT	CWE
Device/Instrument 機器/器具	DEV	CWE
Serial # Device/Instrument 機器/器具の連番	SER	ST
Bulk Text Reports テキスト・レポート		
Gross Or General Description Of The Study 検査の概略記述または概要	GDT	TX or FT
Microscopic Or Secondary Description 詳細または2次的記述	MDT	TX or FT
Technician's Comment 医療技術者のコメント	TCM	TX or FT
Addendum Note 追加メモ	ADT	TX or FT
Other その他		
Diagnosis Onset Date/Time 診断開始日時	ITM	TS
Diagnosis Resolution Date/Time 診断終了日時	RTM	TS
Comparison Study 比較検査	CMS	CWE
Comparison Date/Time 比較日時	CMT	TS
Comparison Results 比較結果	CMR	CWE
Comparison Change 比較変化	CMC	CWE
Predicted Value 推定値	PRD	ST
Percent Predicted 推定率	PPR	ST
After Drug Observed 投薬後観察	AFD	ST
Predicted Value After Drug 投薬後推定値	ADP	ST
Percent Predicted After Drug 投薬後推定率	APP	ST
Timing Information タイミング	TIM	TS
Channel Definition Data チャンネル定義	CHN	CD
Waveform Digital Data 波形デジタルデータ	WAS	NA or MA

Coded Results	Suffix	Type
Waveform Annotation 波形注釈	ANO	CWE

5.7.2 叙事的報告の共通成分に使う検査 ID を定義するための接尾辞の解説

Diagnostic impressions 診断所見(IMP)

接尾辞が IMP の場合結果は診断か所見であり CWE データ型として保管される。僧帽弁脱出症と大動脈弁狭窄症などの複数の別個の診断が報告されている場合、それぞれの診断は個別の OBX セグメントで送るべきである。1 個のコード化結果セグメントに複数のコードが含まれているのは、そのようなコードが主要診断の修飾子である場合に限られる。つまり主要診断に関する追加詳細情報を報告するためであり、全く異なる診断を報告するためではない。

所見用コード化データ型が存在するからといって、報告部門でそのような所見を全て実際にコード化しなければならないということではない。所見は書き取りテキストとして送信できるが、テキストは、CWE データ型の第 2 成分で送信することにより、コードを区別すべきである、つまり、テキストの前には成分区切り文字を記述すべきである(例えば、うっ血性心不全のように)。複数のテキスト所見が報告されている場合、個別の OBX セグメントで報告し、それらのテキスト所見が別個の所見であることを示すべきである。

Recommendations 指導(REC)

接尾辞が REC の場合、その値は CWE データ型結果であり、反復テスト、フォローアップ、あるいは治療に関する読影医師の指導を表わしている。例えば、疑わしい病変結果がマンモグラフィ上で見られたら、読影医師は、6 か月以内にマンモグラフィを再実施するかあるいは直ちに穿刺生検を実施するよう指導することができる。指導手順は、コードとして、および(もしくは)コード化識別子構造のテキスト記述として記録する。複数のフォローアップ検査が推奨されている場合、そのような指導はそれぞれ個別の REC で送られる。

Confirming procedure 処置確認(CNP)

処置確認 OBX 接尾辞は、IMP OBX に報告された診断を確定するのに使用される追加検査を識別する。例えば、電子顕微鏡を使って外科病理学診断を確定する場合、電子顕微鏡「OBX-3—検査項目 ID」用識別子は、処置確認を表す接尾辞の付いた検査 ID の値フィールドとして保管されるだろう。処置確認は、外科病理学レポートにおいて最も重要である。しかし処置確認は内視鏡検査などのサービスでも使用され、処置確認として生検や培養などを実施したと記録することもできる。

Procedure medication 処置投薬治療(MED)

接尾辞 MED の付いた OBX-3—検査項目 ID は、造影剤の投薬、生理反応を引き起こすことを目的とした投薬(ストレス試験などを実施するために)、あるいは事前投薬など、手順の一部として投薬を実施した場合その薬剤に関する情報が含まれていることを示す。患者が複数の投薬を受ける場合、それぞれの薬剤は個別の OBX 投薬セグメントで報告すべきである。伝送システムで投薬にコードを利用できる場合、そのようなコードは OBX-3—検査項目 ID の第 1 成分として記録する。薬剤名と(または)投薬量は、OBX-5 検査結果値の第 2 成分に含むことができる。

Anatomic site 解剖部位(ANT)

単一レポートに複数部位についての検査を含むような診断観察がある。例えば患者が胆嚢手術に伴い虫垂切除術を受けた場合、両検体に対する病理学者の病理診断は通常、1 つのレポートの単一検体番号に含まれるだろう。それぞれ個別の部位は、接尾辞 ANT(OBX-3—検査項目 ID)を持つ個別の OBX セグメントとして報告されることになる。

Devices 装置(DEV)

要求があれば、検査の実施に使用した器具あるいは装置を検査の追加"結果"として転送することができる。この場合、OBX-3—検査項目 ID の接尾辞は DEV である。例えば、臨床検査室の自動化装置、放射線科の画像装置とそのモデル番号、病棟の自動血圧測定器など。装置の識別子はいずれコードとして指定されることが予想されるので、コード化された入力値として装置を指定する。とりあえず当初は、装置関連情報のほとんどを CWE 識別子の第 2 成分のテキストとして転送すると期待される。

© JAHIS 2016

Serial# Device / Instrument 機器/器具の連番(SER)

必要に応じ、検査に使用した機器や器具の製造番号などの連番を表記する場合に用いる。

Gross or general description 概略記述もしくは一般記述(GDT)

一般記述を表す接尾辞により、診断検査の記述成分が識別される。解剖病理学の場合には、一般記述は検体についての概略記述に適用される。記述が複数のパラグラフから成る場合、受信コンピューター側でパラグラフをパラグラフとして表示できるようにするため、パラグラフは反復区切り文字により分離すべきである。レポートが簡潔に表現できる通常検査や EKG 検査などの場合は、診断セグメントですべての情報を表現し尽くしていれば、レポート用記述セグメントを含む必要はないだろう。

Secondary or microscopic description 2 次的記述もしくは詳細記述(MDT)

ほとんどの検査では 2 次的記述は必要ないだろう。しかし、外科病理学の場合には、詳細記述はレポートの独立箇所として存在する。それは顕微鏡を通して見られるような顕微鏡組織検査について記述する。詳細記述は、OBX-3 検査項目 ID の接尾辞に MDT を指定したセグメントで送られるだろう。

Technician comment 医療技術者コメント(TCM)

医療技術者がコメントを記述するのに使用するフリーテキストであり、OBX-3 検査項目 ID の接尾辞が TCM である結果セグメントに保管される。このコメントの内容は通常、処置を実施する際の技術情報である。通常、検査部門からのコメントはこの接尾辞を使用する。

Addendum note 追加情報メモ(ADT)

オリジナルの叙述の後に追加情報として加えられ、レポートの個別のラベル付きセクションとして送られる情報を報告するのに使用する。

Diagnosis (problem) onset date time 診断(プロブレム)開始日時(TTM)

プロブレムが存在するとはじめて認識された日時を記録するのに使用。

Diagnosis (problem) resolution date time 診断(プロブレム)終了日時(RTM)

プロブレムが治療されたか軽減した日時を記録するのに使用。

Comparison study 比較検査(CMS)

診断レポートの読み手が現在の検査結果を以前の検査結果と比較する場合、この接尾辞により、比較検査の性質を個別の結果として報告することができる(つまり検査 ID の接尾辞が CMS であるセグメントを持つ OBX セグメント)。他の任意の比較値が転送されていれば、他の比較 OBX セグメント内の検査 ID によりテストが識別されるので、通常これは必要とされない。

Comparison date time 比較日時(CMT)

診断処置の読み手が以前の検査結果と現在の検査結果を比較する場合、この接尾辞により、以前の検査の日時を個別の結果として現行レポートで報告することができる。

Comparison results 比較結果(CMR)

診断処置の読み手が、現在の結果を同じ患者に関する以前の結果と比較する場合、この接尾辞により、以前の結果(診断)を個別の結果として現行レポートで報告することができる。

Comparison change 比較変化(CMC)

診断部門が現在の検査と以前の検査の比較を報告する場合、この接尾辞を使って変化の程度を個別の結果としてレポートに報告する。(例えば、大幅に悪化、悪化、最小限悪化しないこと、変化なし、少し回復、回復、非常に回復、正常に回復)現行の書き取りレポートでは、比較に関する情報は通常、検査記述に含まれる。上に列記した比較接尾辞の規定は、この情報を個別の成分として送信しなければならないという意味ではない。単に比較変数を使用できるという意味である。システム側で個別のレポート成分としてこの情報を転送したい場合、これらの接尾辞により所望の比較を選択することができる。

Predicted 推定(PRD)

多くの肺活量測定の場合がそうであるように、検査に推定値がある場合、この接尾辞により推測と実測定が区別される。最大肺活量を表す AS4 コードは 94010. 1 である。推定される最大肺活量は 94010. 1&PRD になるだろう。

Percent of predicted 推定率(PPR)

これは(実測)/(推測)により計算される観察である。最大肺活量の場合、推定率は 94010. 1&PPR となるだろう。

After drug observed 投薬後検査(AFD)

投薬の前後に検査を実施する場合がある。これは特に肺活量測定で生じる。投薬前検査は基本 ID により識別される。投薬後測定は接尾辞「AFD」により識別される。最大肺活量に基本コード「AS4」を使用して、投薬後結果は 94010. 1&AFD として特定されるだろう。

Predicted value after drug 投薬後推測値(ADP)

投薬後推測値は、接尾辞「ADP」により識別される。上記のパターン例に従い、94010. 1&ADP となるだろう。

Percent predicted after drug 投薬後推測率(APP)

投薬後の推測率は、基本単位コードへ接尾辞「APP」を適用することで識別される—— 最大肺活量に AS4 コードを使用して 94010. 1&APP となる。

Timing Information タイミング情報(TIM)

TIM 属性 OBX 結果セグメントは、波形チャネルをグループ化する与えられた検査サブ ID において、第 1 のデータポイントの日付および時間を確立する。波形データの時間シーケンスでギャップがある場合、これは、同じ検査サブ ID を備えた事後の WAV 属性結果セグメントに先立ち、新しい TIM 属性結果セグメントの送信によって示されるべきである。

Channel Definition Data チャンネル定義データ(CHN)

CHN 属性 OBX 結果セグメントは、デジタルでサンプリングされた時系列波形のための 1 つ以上の記録チャネルを定義する。OBX-5—検査値フィールドは補足チャネルを定義するために反復することがある。

Waveform Digital Data 波形デジタルデータ(WAV)

WAV 属性 OBX 結果セグメントは、実際の波形データ(アナログ/デジタル変換器(ADC)またはサンプリングされた時系列デジタルデータ)を送信するためである。WAV 属性結果セグメントは、それらの対応チャネル定義(CHN 属性 OBX 結果セグメント)に検査サブ ID を介して関係している。CHN 属性結果セグメントの中で定義されたチャネルの数は、それに関連した WAV 属性結果セグメントに含まれていた、多重化データのチャネルの数を指定する。すべてのチャネルに対する多数の連続の時間での波形データの与えられたセットは、単一の WAV 属性結果セグメント中で送信される。または多数の連続の WAV 属性結果セグメント中で送信される。このとき、おそらく他の種類の点在了した結果セグメントとともに送信される(例えばコメントを含む)。

WAV 属性結果セグメントのデータ型は NA(数値の配列)または MA(多重化される配列)である。NA データ型を使用すると、データ値は「チャネルブロック」、すなわち「多重化されていない」書式で記録される。各チャネルのためのデジタルサンプルは、成分の区切記号を使用して分離される。また、連続のチャネルは、反復区切記号を使用して分離される。MA データ型を使用すると、データ値は「多重化チャネル」の書式で記録される。すなわち、第 1 時間サンプルの値(すべてのチャネル)が最初に送信される。次に第 2 時間サンプルの値(すべてのチャネル)が送信される。以下同様にすべてのサンプルが送信されるまで続く。各チャネルのデジタルデータは成分区切記号によって分離される。また、連続のデータは反復区切記号によって分離される。チャンネル多重化書式が使用できるのは、多重化チャネルが全て同じ有効なサンプリング周波数を持っているときだけである。

Waveform Annotation 波形注釈(ANO)

ANO 属性 OBX セグメントが使用されるのは、波形注釈(波形記録中に与えられたときに関連したコード化された入力)を送信するためである。ANO 属性結果セグメントは、それらの対応するチャネル定義(CHN 属性 OBX 結果セグメント)に対して、検査サブ ID を介して参照される。CHN 属性結果セグメントの中で定義されたチャネルの数は、それに関連した任意の ANO 属性結果セグメントに含まれる注釈のチャネルの数を指定する。

ANO 属性結果セグメントのデータ型は CWE である。連続のチャネルへの注釈コード化入力は、反復区

切記号を使用して分離される。隣接する反復区切り記号が使用されるのは、チャンネルの注釈コード化入力が多重チャンネルの結果セグメントの中にあるときである。値については「使用者定義表 0317—注釈」を参照。

使用者定義表0317—Annotations 注釈

Value	Description
9900	ベーススパイク
9901	SAS マーカー
9902	感知マーカー
9903	ビートマーカー
9904	etc

5.7.3 検査結果コメントの例

検査結果コメントは検査結果の OBX に続く OBX で表現する。コメントの値型は ST や TX が代表的と考えられるがコメントコードでの運用しか出来ない場合は二者間の協議の上で、値型 CWE でコードでの運用やコメント内容に制限のないフリーテキストでの利用も可能である。一般財団法人 医療情報システム開発センター (MEDIS-DC) 制定の臨床検査結果コメントマスターは統一結果コメントを定めている。下記に記載例を示す。

OBX||NM|3A016000002327101^A/G 比^JC10||2.33||1.30-2.00|H|||F
OBX||CWE|3A016000002327101&TCM^^JC10||E01^参考値です^L|||F

検査結果
そのコメント

5.8 定性結果・不等号等の表現方法

OBX セグメントの検査結果値 (OBX-5) は必ず値型 (OBX-2) で定義されているものであり、下記に参考のため例を示す。

例：

OBX-2 値型	OBX-5 検査結果値	検査結果の表示
NM	+0123.5	123.5 または+123.5
NM	-0199.8	-199.8
NM	<100 (これは誤り)	
NM	+4.5E+3	4.5E+3 または+4.5E+3 (4.5 x 10 ³)
ST	+0123.5	+0123.5
ST	<100	<100
ST	陽性	陽性
CWE	^陽性	陽性
SN	<^100	<100
SN	<^1E+2	<1E+2 (<100)

定性結果値の場合、そのまま ST 型にて表現する方法と結果をコードとして表記する CWE 型、CNE 型がある。また、数値結果であっても以下・以上など比較演算子を伴う場合がある。その場合文字を含むため NM 型ではなく、そのまま文字列とし ST 型で表現する方法と構造的に表現する SN 型がある。SN 型はデータを構造的に表現するため統計的扱いに適するが表示の際に編集が必要である。どの値型を使用するかは、検査報告をする施設にゆだねられるが結果を受け取る側のシステムではどの値型でも正しく処理できる様配慮しなければならない。さらに SN 型の表記例をあげておく。

結果値	SN型表記
100 超	>^100
100 以上	>=^100
10 未満	<^10
5 以下	<=^5
(-)	^^
(+)	^^+
(+-)	^^+-
1+	^1^+
2+	^2^+
2~3	^2^^3
1:128	^1^^128
1/3	^1/^3

5.9 コード体系表

この表は ASTM E1238-94、診断、処置、検査、薬物 ID、健康上のアウトカムおよび他のコード体系を示す。

コードセットを発行している機関は、複数のコードセットを作成していることがある。そのため、コード体系を一意に表現するためには、コード化専門機関の名称と、コードセットまたは表名称の組み合わせで表現する。CWE データ型に HL7 の表が用いられた場合、コード化体系の名称の欄には、HL7 表番号 nnnn に対し、HL7nnnn と定義される。同様に ISO の表は ISO 番号が nnnn の場合、ISOnnnn と名づけられる。(最新情報はこちらを参照 http://www.hl7.org/special/committees/vocab/table_0396/index.cfm)

HL7表0396 - コード体系表

Value	Description	Comment/Source
一般的なコード		
L	Local general code	送信側または受信側の目的のためにローカルに定義されたコード。下位互換性のため、本規約では非推奨。
99zzz	Local general code (where z is an alphanumeric character)	送信側または受信側の目的のためにローカルに定義されたコード。ローカルコードは99zzz (zはアルファベットと数字を組み合わせた文字) により識別される。
LB	Local billing code	特定地域内の支払いコードまたは名前 (もし必要なら、拡張有り)。
HL7nnnn	HL7 Defined Codes where nnnn is the HL7 table number	nnnn は HL7(Health Level Seven) 表 ナンバー
ISOnnnn	ISO Defined Codes where nnnn is the ISO table number	International Standards Organization where nnnn is the ISO table number
ISO+	ISO 2955.83 (units of measure) with HL7 extensions	
医薬品コード		
ART	WHO Adverse Reaction Terms	WHO Collaborating Centre for International Drug Monitoring, Box 26, S-751 03, Uppsala, Sweden.
CAS	Chemical abstract codes	これらは、後発品も含めてすべての一般的な薬を含む。コードは違った形態の服用のなかでは区別されない。さまざまな同等のCAS 番号が存在したとき、USANに最初に記載されているものを使う。USAN 1990 and the USP dictionary of drug names, William M. Heller, Ph.D., Executive Editor, United States Pharmacopeial Convention, Inc., 12601 Twinbrook Parkway, Rockville, MD 20852.
CDCM	CDC Methods/Instruments Codes	Public Health Practice Program Office, Centers for Disease Control and Prevention, 4770 Buford Highway, Atlanta, GA, 30421. Also available via FTP: ftp.cdc.gov/pub/laboratory_info/CLIA and Gopher: gopher.cdc.gov:70/11/laboratory_info/CLIA
FDDC	First DataBank Drug Codes	全国医薬品データファイル。First DataBank, Inc. (800) 633-3453, or http://www.firstdatabank.com の所有物
FDDX	First DataBank Diagnostic Codes	薬-診断上の相互作用チェックに使う。First DataBank, Inc.の所有物。FDDC参照。
MDDX	Medispan Diagnostic Codes	薬-診断上の相互作用チェック。所有権のある製品。MediSpan, Inc., 8425 Woodfield Crossing Boulevard, Indianapolis, IN 46240. Tel: (800) 428-4495. http://www.espan.com/medispan/pages/medhome.html . As above for MGPI.
MEDC	Medical Economics Drug Codes	薬を識別するための所有権のあるコード。Medical Economics Data, Inc. (800) 223-0581の製品
MEDR	Medical Dictionary for Drug Regulatory Affairs (MEDDRA)	Dr. Louise Wood, Medicines Control Agency, Market Towers, 1 Nine Elms Lane, London SW85NQ, UK Tel: (44)0 171-273-0000 http://www.open.gov.uk/mca/mcahome.htm

Value	Description	Comment/Source
MEDX	Medical Economics Diagnostic Codes	薬-診断上の相互作用チェック。 Medical Economics Data, Inc. (800) 223-0581の製品
MGPI	Medispan GPI	薬の製造元やサイズまでのレベルで薬を識別するMedispan hierarchical drug コード。MediSpan, Inc., 8425 Woodfield Crossing Boulevard, Indianapolis, IN 46240. Tel: (800) 428-4495の製品
MVX	CDC Vaccine Manufacturer Codes	CVXと同様
W1	WHO record # drug codes (6 digit)	World Health organization record number code。一意的な連続した番号は、それぞれ一意的な成分薬とそれぞれ一意的な多様成分薬に割り当てられる。8つの数は次のようなコードに割り当てられる：6つの数は効果のある薬剤を識別し、2つの数は塩を識別する。6つの数は調剤ユニットで一意的な薬剤を示している。6つの指数コードはW1によって分類され、8つの指数はW2によって分類される。
W2	WHO record # drug codes (8 digit)	
W4	WHO record # code with ASTM extension	ASTM extensions (参照：実装ガイド)といっしょにWHOコードは、血清レベルレポート、薬使用教育での患者応諾、平均日常服用量などに使用される (参考：Appendix X1 実装ガイド)。
WC	WHO ATC	WHOのATC コードは治療上の部類によって薬の階層的分類を与える。それらは上記に記したレコード番号にリンクする。
NDC	National drug codes	このコードは投薬形式、メーカーおよびパッケージングに関して、個々の薬に一意的なコードを与える。 (National Drug Code Directory, FDA, Rockville, MDおよび他の文献より)
CST	COSTART	薬副作用の反対のための国際コードシステム。In the USA, maintained by the FDA, Rockville, MD.
CVX	CDC Vaccine Codes	国民免疫プログラム, Centers for Disease Control and Prevention, 1660 Clifton Road, Atlanta, GA, 30333
医薬品以外の特定のコード		
ACR	American College of Radiology finding codes	American College of Radiology, Reston,VA のRadiological Diagnosis Revised, 3 rd Edition 1986 からの索引。
AS4	ASTM E1238/ E1467 Universal	American Society for Testing & Materials and CPT4 (参考：Appendix X1 of Specification E1238 and Appendix X2 of Specification E1467).
AS4E	AS4 Neurophysiology Codes	神経生理学のためのASTMの診断コードと検査結果コード/グレードシステム。 参考：ASTM Specification E1467, Appendix 2.
ATC	American Type Culture Collection	生物学的材料と関連するデータに関する培養 (微生物、組織培養など)の参照。 American Type Culture Collection, 12301 Parklawn Dr, Rockville MD, 20852. (301) 881-2600. http://www.atcc.org
C4	CPT-4	American Medical Association, P.O. Box 10946, Chicago IL 60610.
C5	CPT-5	(発展途上のため、上記と同じ連絡先)
CD2	CDT-2 Codes	American Dental Association's Current Dental Terminology (CDT-2) code. American Dental Association, 211 E. Chicago Avenue., Chicago, Illinois 60611.
CDS	CDC Surveillance	CDC 監視コード。公衆衛生監視に必要な独自のデータ。 Epidemiology Program Office, Centers for Disease Control and Prevention, 1600 Clifton Rd, Atlanta, GA, 30333. (404) 639-3661.
CE	CEN ECG diagnostic codes	CEN PT007. ECGの診断コード (略記) と説明の包括的なセットがCENTC251によって副-標準として発行された。以下から入手可能：CENTC251 secretariat, c/o Georges DeMoor, State University Hospital Gent, De Pintelaan 185-5K3, 9000 Gent, Belgium or Jos Willems, University of Gathuisberg, 49 Herestraat, 3000 Leuven, Belgium.

Value	Description	Comment/Source
CLP	CLIP	Simon Leeming, Beth Israel Hospital, Boston MA. Codes for radiology reports.
CPTM	CPT Modifier Code	上記CPTIに明記したAMAから得られる。これらのコードはAppendix A of CPT 2000 Standard E. (CPT 2000 Standard Edition, American Medical Association, Chicago, IL)により創られた。
DCM	DICOM Controlled Terminology	DICOMコンテンツの原文でコードが定義されている。Digital Imaging and Communications in Medicine (DICOM). NEMA Publication PS-3.16 National Electrical Manufacturers Association (NEMA). Rosslyn, VA, 22209. Available at: http://medical.nema.org
E	EUCLIDES	Euclides Foundation International nv, Excelsiorlaan 4A, B-1930 Zaventem, Belgium; Phone: 32 2 7. 17 90 60から得られる。
E5	Euclides quantity codes	Euclides Foundation International nv (上記参照)から得られる。
E6	Euclides Lab method codes	Euclides Foundation International nv,Excelsiorlaan 4A, B-1930 Zaventem, Belgium; Phone: 32 2 720 90 60から得られる。
E7	Euclides Lab equipment codes	Euclides Foundation International nv (上記参照)から得られる。
ENZC	Enzyme Codes	生化学と分子生物学の国際協会の酵素委員会。Enzyme Nomenclature: Recommendations on the Nomenclature and Classification of Enzyme-Catalysed Reactions. London: Academic Press, 1992.
FDK	FDA K10	Dept. of Health & Human Services, Food & Drug Administration, Rockville, MD 20857. (device & analyte process codes).
HB	HIBCC	Health Industry Business Communications Council, 5110 N. 40 th St., Ste 120, Phoenix, AZ 85018.
HCPCS	CMS (formerly HCFA) Common Procedure Coding System	医療の設備、注射薬、交通サービスなどCPT4には含まれていないサービスのためのコードが含まれる。
HCPT	Health Care Provider Taxonomy	X12に外部のものとして、コード構造が分類されるように、BlueCrossおよびBlue Shield協会は、供給者分類学の管理者の役割をするだろう。進行中のメンテナンスはANSI ASC X12Nの内に単独でワークグループ15(供給者情報)、あるいは仕事グループの後継者にまかされている。Blue Cross and Blue Shield Association, 225 North Michigan Avenue, Chicago, IL 60601, Attention: ITS Department, ECNS Unit. http://www.wpc-edi.com/taxonomy/ 第1次配布は上記ウェブサイトで、そのワールドワイド・ウェブ・サイトを通して、ワシントン出版社にゆだねられている。
HHC	Home Health Care	Home Health Care Classification System; Virginia Saba, EdD, RN; Georgetown University School of Nursing; Washington, DC.
HI	Health Outcomes	Stratis Health (以前のHealth Care Evaluation と Health Outcomes Institute)の治療効果を表すHealth Outcomes Institute コード, 2901 Metro Drive, Suite 400, Bloomington, MN, 55425-1525; (612) 854-3306 (voice); (612) 853-8503 (fax); dziegen@winternet.com . See examples in the Implementation Guide.
HPC	CMS (formerly HCFA) Procedure Codes (HCPCS)	修正を含む、Health Care Financing Administration (HCFA) Common Procedure Coding System (HCPCS)。
I10	ICD-10	World Health Publications, Albany, NY.
I10P	ICD-10 Procedure Codes	Procedure Coding System (ICD-10-PCS.) See http://www/hcfa.gov/stats/icd10.icd10.htm for more information. Procedure Coding System (ICD-10-PCS.) 参照 : http://www/hcfa.gov/stats/icd10.icd10.htm
I9	ICD9	World Health Publications, Albany, NY.
I9C	ICD-9CM	Commission on Professional and Hospital Activities, 1968 Green Road, Ann Arbor, MI 48105 (includes all procedures and diagnostic tests).

Value	Description	Comment/Source
IBT	ISBT	HL7 V2.5ではHL7旧バージョンとの互換性のために保持された。このコード値はIBTnnnnによって取って代わられた。 International Society of Blood Transfusion. Blood Group Terminology 1990. VOX Sanquines 1990 58(2):152-169.
IBTnnnn	ISBT 128 codes where nnnn specifies a specific table within ISBT 128.	International Society of Blood Transfusion. (specific contact information will be supplied to editor.) The variable suffix (nnnn) identifies a specific table within ISBT 128.
IC2	ICHPPC-2	International Classification of Health Problems in Primary Care, Classification Committee of World Organization of National Colleges, Academies and Academic Associations of General Practitioners (WONCA), 3 rd edition. An adaptation of ICD9 intended for use in General Medicine, Oxford University Press.
ICDO	International Classification of Diseases for Oncology	International Classification of Diseases for Oncology, 2nd Edition. World Health Organization: Geneva, Switzerland, 1990. Order from: College of American Pathologists, 325 Waukegan Road, Northfield, IL, 60093-2750. (847) 446-8800.
ICS	ICCS	Commission on Professional and Hospital Activities, 1968 Green Road, Ann Arbor, MI 48105.
ICSD	International Classification of Sleep Disorders	International Classification of Sleep Disorders Diagnostic and Coding Manual, 1990, available from American Sleep Disorders Association, 604 Second Street SW, Rochester, MN 55902
IUPP	IUPAC/IFCC Property Codes	International Union of Pure and Applied Chemistry/International Federation of Clinical Chemistry. The Silver Book: Compendium of terminology and nomenclature of properties in clinical laboratory sciences. Oxford: Blackwell Scientific Publishers, 1995. Henrik Olesen, M.D., D.M.Sc., Chairperson, Department of Clinical Chemistry, KK76.4.2, Rigshospitalet, University Hospital of Copenhagen, DK-2200, Copenhagen. http://inet.uni-c.dk/~qukb7642/
IUPC	IUPAC/IFCC Component Codes	成分の数量を見分けるIUPAC/IFFによって使われるコード。 Contact Henrik Olesen、上記のIUPPのように。
LN	Logical Observation Identifier Names and Codes (LOINC®)	Regenstrief Institute, c/o LOINC, 1050 Wishard Blvd., 5 th floor, Indianapolis, IN 46202. 317/630-7433. Available from the Regenstrief Institute server at http://www.Regenstrief.org/loinc/loinc.htm . Also available via HL7 file server: FTP/Gopher (www.mcis.duke.edu/standards/termcode/loinclab and www.mcis.duke.edu/standards/termcode/loinclin) and World Wide Web (http://www.mcis.duke.edu/standards/termcode/loincl.htm). January 2000 version has identifiers, synonyms and cross-reference codes for reporting over 26,000 laboratory and related observations and 1,500 clinical measures.
MCD	Medicaid	Medicaid支払いコード／名前。
MCR	Medicare	Medicare支払いコード／名前
NDA	NANDA	North American Nursing Diagnosis Association, Philadelphia, PA.
NIC	Nursing Interventions Classification	Iowa Intervention Project, College of Nursing, University of Iowa, Iowa City, Iowa
NPI	National Provider Identifier	Health Care Finance Administration, US Dept. of Health and Human Services, 7500 Security Blvd., Baltimore, MD 21244.
OHA	Omaha System	Omaha Visiting Nurse Association, Omaha, NB.
OHA	Omaha	Omaha Visiting Nurse Association, Omaha, NB.
POS	POS Codes	HCFA Place of Service Codes for Professional Claims (see http://www.hcfa.gov/medicare/poscode.htm).

Value	Description	Comment/Source
RC	Read Classification	The Read Clinical Classification of Medicine, Park View Surgery, 26 Leicester Rd., Loughborough LE11 2AG (includes drug procedure and other codes, as well as diagnostic codes).
SDM	SNOMED- DICOM Microglossary	College of American Pathologists, Skokie, IL, 60077-1034. (formerly designated as 99SDM).
SNM	Systemized Nomenclature of Medicine (SNOMED)	Systemized Nomenclature of Medicine, 2 nd Edition 1984 Vols 1, 2, College of American Pathologists, Skokie, IL.
SNM3	SNOMED International	SNOMED International, 1993 Vols 1-4, College of American Pathologists, Skokie, IL, 60077-1034.
SNT	SNOMED topology codes (anatomic sites)	College of American Pathologists, 5202 Old Orchard Road, Skokie, IL 60077-1034.
UC	UCDS	Uniform Clinical Data Systems. Ms. Michael McMullan, Office of Peer Review Health Care Finance Administration, The Meadows East Bldg., 6325 Security Blvd., Baltimore, MD 21207; (301) 966 6851.
UML	Unified Medical Language	National Library of Medicine, 8600 Rockville Pike, Bethesda, MD 20894.
UPC	Universal Product Code	The Uniform Code Council. 8163 Old Yankee Road, Suite J, Dayton, OH 45458; (513) 435 3070
UPIN	UPIN	Medicare/CMS 's (formerly HCFA) universal physician identification numbers, available from Health Care Financing Administration, U.S. Dept. of Health and Human Services, Bureau of Program Operations, 6325 Security Blvd., Meadows East Bldg., Room 300, Baltimore, MD 21207
USPS	United States Postal Service	各州を表す2文字からなる略記がPublication 28, Postal Addressing Standardsにリストされている。これはAddress Information Products, National Address Information Center, 6060 Primacy Parkway, Suite 101, Memphis, Tennessee 38188-0001で手に入れられる。 質問やコメントはthe Office of Address and Customer Information Systems, Customer and Automation Service Department, US Postal Service, 475 Lenfant Plaza SW Rm 7801, Washington, DC 20260-5902へ。
装置コード		
UMD	MDNS	Universal Medical Device Nomenclature System. ECRI, 5200 Butler Pike, Plymouth Meeting, PA 19462 USA. Phone: 215-825-6000, Fax: 215-834-1275.
その他		
ANS+	HL7 set of units of measure	HL7の測量ユニットセットはANSI X3.50 – 1986、ISO 2988-83および US customary units/のchapter 7 section 7.4.2.6を基本にしている。
CDCA	CDC Analyte Codes	As above, for CDCM
HOT	Japanese Nationwide Medicine Code	
ICD10AM	ICD-10 Australian modification	
ICD10CA	ICD-10 Canada	
JC8	Japanese Chemistry	医療検査分別コード。 Japan Association of Clinical Pathology. Version 8, 1990. A multiaxial code including a subject code (e.g., Rubella = 5f395, identification code (e.g., virus ab IGG), a specimen code (e.g., serum =023) and a method code (e.g., ELISA = 022)

Value	Description	Comment/Source
JC10	JLAC/JSLM, nationwide laboratory code	Source: Classification & Coding for Clinical Laboratory. Japanese Society of Laboratory Medicine(JSLM, Old:Japan Society of Clinical Pathology). Version 10, 1997. A multiaxial code including a analyte code (e.g., Rubella = 5f395), identification code (e.g., virus ab IGG=1431), a specimen code (e.g., serum =023) and a method code (e.g., ELISA = 022)
JJ1017	Japanese Image Examination Cache	
NUBC	National Uniform Billing Committee Code	

6. 臨床検査依頼・臨床検査結果メッセージ構文

本規約では、HL7 メッセージを構成するセグメントの省略の可否（[]表記）や繰り返しの可否（{}表記）に加え、JAHIS 仕様での要否を明確にするためコメント Comment(JPN)に要否等を付記した。

メッセージ構文での表記規則：

Comment(JPN) (JAHIS 仕様での取り扱い)

- R - 必須
- RE - 存在すれば必須（送信側アプリケーションは、該当データがあれば送信しなければならないが、存在しなければ省略する）
- C - トリガーイベントまたはメッセージの使用条件による
- O - オプション
- X - 本規約では使用しない
- N - 使用しない（関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可）

注: [] は省略可能、{} は繰り返し可能を示す。

注: 特にセグメントグループについては、そのセグメントグループの要否等を記し、さらにそのグループに属する個々セグメントの要否等を記した。

例えば、OML^O33 の場合、PRIOR_RESULT セグメントグループはオプション「O」であるが、そのセグメントグループを使用する場合それに属する PATIENT_VISIT_PRIOR セグメントグループは該当データが存在すれば必須であるという「RE」となっており、この PATIENT_VISIT_PRIOR セグメントグループを使用する場合そのグループの PV1 セグメントは必須「R」であり、PV2 はオプション「O」であるというように、より明確に要否を記述した。なお、論理構造上、セグメントグループには最低 1 個の必須セグメントが存在しなくてはならない。

OML^O33 1検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ（一部抜粋）

OML^O33^OML_O33	Laboratory Order - Multiple Order Per Specimen Message	Comment(JPN)
...	...	
[{	--- PRIOR_RESULT begin	O
[	--- PATIENT_PRIOR begin	N
PID	Patient Identification - previous result	N
[PD1]	Additional Demographics - previous result	N
]	--- PATIENT_PRIOR end	
[	--- PATIENT_VISIT_PRIOR begin	RE
PV1	Patient Visit - previous result	R
[PV2]	Patient Visit Add. Info - previous result	O
]	--- PATIENT_VISIT_PRIOR end	
...	...	

6.1 臨床検査依頼(OML/URL)

臨床検査の依頼時には検査オーダーメッセージ(OML)を用い、それに対する応答には検査オーダー肯定応答メッセージ(ORL)を使用する。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.1.1 OML 一般検査オーダーメッセージ イベント(O21)

一般検査オーダーメッセージ(O21)はバッテリー中心の構造である。これはバッテリーのリストを含み、夫々のバッテリーの上に検体のリストを含み、検体ごとに容器のリストを含む。この構造は、複数のバッテリーが同一の検体を使用するようであっても、検体／容器情報の重複を示している。オーダーのバッテリーが数種類の検体が必要とするような場合に適合する。

OML^O21 一般検査オーダーメッセージ

OML^O21^OML_O21	Laboratory Order Message	Comment(JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[	--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
[{ NK1 }]	Next of Kin/Associated Parties	N	3
[	--- PATIENT_VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	RE	3
[PV2]	Patient Visit- Additional Info	O	3
]	--- PATIENT_VISIT end		
[{	--- INSURANCE begin	N	
IN1	Insurance	N	6
[IN2]	Insurance Additional Info	N	6
[IN3]	Insurance Add'l Info - Cert.	N	6
}]	--- INSURANCE end		
[GT1]	Guarantor	N	6
[{ AL1 }]	Allergy Information	O	3
]	--- PATIENT end		
{	--- ORDER begin	R	
ORC	Common Order	R	4
[{	--- TIIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING end		
[	--- OBSERVATION_REQUEST begin	R	
OBR	Observation Request	R	4
[TCD]	Test Code Details	O	13
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
[CTD]	Contact Data	N	11

OML^O21^OML_021	Laboratory Order Message	Comment(JPN)	HL7 Chapter
[{ DG1 }]	Diagnosis	N	6
[{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation/Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)	C	2
}]	--- OBSERVATION end		
[{	--- SPECIMEN begin	O	
SPM	Specimen	R	7
[{ OBX }]	Observation/Result related to specimen	O	7
[{	--- CONTAINER begin	O	
SAC	Specimen Container	R	13
[{ OBX }]	Observation/Result related to container	O	7
}]	--- CONTAINER end		
}]	--- SPECIMEN end		
[{	--- PRIOR_RESULT begin	O	
[	--- PATIENT_PRIOR begin	N	
PID	Patient Identification - previous result	N	3
[PD1]	Additional Demographics - previous result	N	3
]	--- PATIENT_PRIOR end		
[	--- PATIENT_VISIT_PRIOR begin	O	
PV1	Patient Visit - previous result	R	3
[PV2]	Patient Visit Add. Info - previous result	O	3
]	--- PATIENT_VISIT_PRIOR end		
[{ AL1 }]	Allergy Information - previous result	O	3
{	--- ORDER_PRIOR begin	R	
[ORC]	Common Order - previous result	R	4
OBR	Order Detail - previous result	R	4
[{ NTE }]	Notes and Comments - previous result	O	2
[{	--- TIMING_PRIOR begin	N	
TQ1	Timing/Quantity	N	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	N	4
}]	--- TIMING_PRIOR end		
{	--- OBSERVATION_PRIOR begin	R	
OBX	Observation/Result - previous result	R	7
[{ NTE }]	Notes and Comments - previous result	O	2
}	--- OBSERVATION_PRIOR end		
}	--- ORDER_PRIOR end		
}]	--- PRIOR_RESULT end		
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
[{ FT1 }]	Financial Transaction	N	6
[{ CTI }]	Clinical Trial Identification	N	7
[BLG]	Billing Segment	N	4
}	--- ORDER end		

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはオーダの出力単位（メッセージ）の先頭に1つ必須である。（ファイル伝送の場合：オーダがまとめて伝送される場合オーダごとに先頭にメッセージヘッダ(MSH)セグメントが必須であり、区切りとなる。）
- 患者識別(PID)セグメントは1患者の一連のオーダに1個必須である。（ファイル伝送の場合：オーダがまとめて伝送される場合メッセージヘッダ(MSH)セグメントがオーダの区切りとなる。）
- 共通オーダ(ORC)セグメントは1患者の個々の詳細オーダ検査要求(OBR)セグメントごとに1個必須であり、必要に応じタイミング/数量(TQ1)セグメントを従える。ただし、1オーダ多項目検査の場合、検査要求(OBR)セグメントに続く検査結果(OBX)セグメントで個別の検査項目指示することも可能である。
- 共通オーダ(ORC)セグメントは検査材料単位や検査グループ単位に用いることが望ましい。例えば1オーダで検査材料が血液と尿の複数材料を扱う場合、血液を用いる検査で1つの共通オーダ(ORC)セグメントと検査要求(OBR)セグメントで検査グループを表現し、続く検査結果(OBX)セグメントで個々の検査項目を、尿を用いる検査で1つの共通オーダ(ORC)セグメントと検査要求(OBR)セグメントで検査グループを表現し、続く検査結果(OBX)セグメントで個々の検査項目を指示する。また検査要求(OBR)セグメントで多項目検査の内容が不明確な場合、検査結果(OBX)セグメントで個々の検査項目を指示することも可能である。例えば検査要求(OBR)セグメントで肝炎セット、検査結果(OBX)セグメントでGOT,GPT,HBs抗体や、検査要求(OBR)セグメントで100g糖負荷試験、検査結果(OBX)セグメントで血糖前値,血糖30分値など。
- 検体検査の検査項目コード(OBR-4/OBX-3)は日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コードでコーディングされたものを用いる。
- 検査材料や部位(SPM-4, SPM-8)は日本臨床検査医学会臨床検査分類コードの材料コードを用いる。
- 検査結果(OBX)セグメントは、依頼の際に検査に必要な臨床データを知らせる目的でも利用できるものとする。例えば身長、体重、月経周期など。
- 検査結果(OBX)セグメント又は検査要求(OBR)セグメントに記述できる情報は注釈コメント(NTE)セグメントで送信すべきではない。
- 臨床検査オーダに前回検査報告を付加する場合、OBSERVATION PRIORブロックの来院情報来院情報(PV1)セグメントは必須である。

6.1.2 ORL - 一般検査オーダ肯定応答メッセージ イベント(O21)

一般検査オーダ肯定オーダメッセージ(O22)は臨床検査依頼に対する応答をするイベントである。

ORL^O22 一般検査オーダ肯定応答メッセージ

ORL^O22^ORL_022	General Laboratory Order Acknowledgment Message	Comment (JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
[{ SFT }]	Software	N	2
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[	--- RESPONSE begin	O	
[	--- PATIENT begin	O	
PID	Patient Identification	R	3
[{	--- ORDER begin	R	
ORC	Common Order	R	4
[{	--- TIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4

ORL^O22^ORL_022	General Laboratory Order Acknowledgment Message	Comment(JPN)	HL7 Chapter
<pre>]] [OBR [{ SPM [{SAC}]]]]]]]] </pre>	<pre> --- TIMING end --- OBSERVATION_REQUEST begin Observation Request --- SPECIMEN begin Specimen Specimen Container Details --- SPECIMEN end --- OBSERVATION_REQUEST end --- ORDER end --- PATIENT end --- RESPONSE end </pre>	<pre> R R O R O </pre>	<pre> 4 7 13 </pre>

- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。
- RESPONSE構文は特に必要が無い場合は省略される。

6.1.3 OML 1 検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ イベント (O33)

1 検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ(O33)は検体中心の構造である。検体ごとに容器のリストとこの検体で使用するバッテリー（共通オーダー(ORC)セグメント/検査要求(OBR)セグメント）のリスト、および依頼項目（検査結果(OBX)セグメント）のリストを含む。この場合バッテリーや依頼項目は容器との関連付けが無い。通常日本の検体検査ではこの1 検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージが検体検査の依頼時に使用される。

OML^O33 1検体に対する複数依頼の検査オーダーメッセージ

OML^O33^OML_033	Laboratory Order - Multiple Order Per Specimen Message	Comment (JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[	--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
[{ NK1 }]	Next of Kin/Associated Parties	N	3
[	--- PATIENT_VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	RE	3
[PV2]	Patient Visit- Additional Info	N	3
]	--- PATIENT_VISIT end		
[{	--- INSURANCE begin	N	
IN1	Insurance	N	6
[IN2]	Insurance Additional Info	N	6
[IN3]	Insurance Add'l Info - Cert.	N	6

OML^033^OML_033	Laboratory Order – Multiple Order Per Specimen Message	Comment (JPN)	HL7 Chapter
}}	--- INSURANCE end		
[GT1]	Guarantor	N	6
[{ AL1 }]	Allergy Information	O	3
]	--- PATIENT end		
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen	R	7
[{ OBX }]	Observations related to specimen	O	7
[{ SAC }]	Specimen Container	C	13
{	--- ORDER begin	R	
ORC	Common Order	R	4
[{	--- TIIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING end		
[	--- OBSERVATION_REQUEST begin	R	
OBR	Observation Request	R	4
[TCD]	Test Code Details	O	13
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
[{ DG1 }]	Diagnosis	N	6
[{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation/Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)	C	2
}]	--- OBSERVATION end		
[{	--- PRIOR_RESULT begin	O	
[	--- PATIENT_PRIOR begin	N	
PID	Patient Identification – previous result	N	3
[PD1]	Additional Demographics – previous result	N	3
]	--- PATIENT_PRIOR end		
[	--- PATIENT_VISIT_PRIOR begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
- previous result			
[PV2]	Patient Visit Add. Info – previous result	O	3
}]	--- PATIENT_VISIT_PRIOR end		
[{ AL1 }]	Allergy Information – previous result	O	3
{	--- ORDER_PRIOR begin	R	
[ORC]	Common Order – previous result	R	4
OBR	Order Detail – previous result	R	4
[{ NTE }]	Notes and Comments – previous result	O	2
[{	--- TIMING_PRIOR begin	N	
TQ1	Timing/Quantity	N	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	N	4
}]	--- TIMING_PRIOR end		
{	--- OBSERVATION_PRIOR begin	O	

<u>OML^O33^OML_033</u>	<u>Laboratory Order - Multiple Order Per Specimen Message</u>	<u>Comment</u> (JPN)	<u>HL7</u> Chapter
OBX	Observation/Result - previous result	R	7
[{ NTE }]	Notes and Comments - previous result	C	2
}	--- OBSERVATION_PRIOR end		
}	--- ORDER_PRIOR end		
}}	--- PRIOR_RESULT end	O	
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
[{ FT1 }]	Financial Transaction	N	6
[{ CTI }]	Clinical Trial Identification	N	7
[BLG]	Billing Segment	N	4
}	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN end		

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはオーダの出力単位(メッセージ)の先頭に1つ必須である。(ファイル伝送の場合:オーダがまとめて伝送される場合オーダごとに先頭にメッセージヘッダ(MSH)セグメントが必須であり、区切りとなる。)
- 患者識別(PID)セグメントは1患者の一連のオーダに1個必須である。(ファイル伝送の場合:オーダがまとめて伝送される場合メッセージヘッダ(MSH)セグメントがオーダの区切りとなる。)
- 検体(SPM)セグメントは検体単位に用いることが望ましい。例えば1オーダで検査材料が血清の単数材料を扱う場合であっても、検体が分かれる場合、検体(SPM)セグメントは複数に分割される。各々の検体(SPM)セグメント内のOBR-4/OBX-3はその検体に含まれる検査項目が指示される。
- 検体検査の検査項目コード(OBR-4/OBX-3)は日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コードでコーディングされたものを用いる。
- 検査材料や部位(SPM-4, SPM-8)は日本臨床検査医学会検査分類コードの材料コードを用いる。
- 検査結果(OBX)セグメントは、依頼の際に検査に必要な臨床データを知らせる目的でも利用できるものとする。例えば身長、体重、月経周期など。
- OBSERVATION PRIORは同一患者の前回値をあらわす。患者識別(PID)セグメントが無いのは同一患者であるからである。検査部門はこの患者の前回測定時異なる患者識別かどうかを気にする必要は無い。しかし、電文上前回値と今回値の判断ができなくなるため、前回値を記載する場合「Patient Visit - previous result」を表す来院情報(PV1)セグメントは必須である。
- 検査結果(OBX)セグメント又は検査要求(OBR)セグメントに記述できる情報は注釈コメント(NTE)セグメントで送信すべきではない。

6.1.4 ORL - 1 検体に対する複数依頼の肯定応答メッセージ イベント(O34)

1 検体に対する複数依頼の肯定応答メッセージ(O24)は臨床検査依頼に対する応答をするイベントである。

ORL^O34 1検体に対する複数依頼の肯定応答メッセージ

<u>ORL^O34^ORL_034</u>	<u>Laboratory Order Acknowledgment Message - Multiple</u> <u>Order Per Specimen</u>	<u>Comment</u> (JPN)	<u>HL7</u> Chapter
MSH	Message Header	R	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	O	2
[{ SFT }]	Software	N	2
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O	2

ORL^034^ORL_034	Laboratory Order Acknowledgment Message - Multiple Order Per Specimen	Comment (JPN)	HL7 Chapter
[	--- RESPONSE begin	O	
[	--- PATIENT begin	O	
PID	Patient Identification	O	3
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen	R	7
[{ OBX }]	Observations related to specimen	O	7
[{ SAC }]	Specimen Container	O	
[{	--- ORDER begin	O	
ORC	Common Order	R	4
[{	--- TIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING end		
[	--- OBSERVATION_REQUEST begin	O	
OBR	Observation Request	R	4
[{	--- SPECIMEN begin	N	
SPM	Specimen	N	7
[{ SAC }]	Specimen Container Details	N	13
}]	--- SPECIMEN end		
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
}]	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN end		
]	--- PATIENT end		
]	--- RESPONSE end	O	

- 注：OBSERVATION REQUEST beginの中にSpecimenが存在しているが、これはHL7 V2.5自体の誤記であると思われる。
- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。
- RESPONSE構文は特に必要が無い場合は省略される。

6.1.5 OML 1 検体 1 容器複数依頼時の検査オーダーメッセージ イベント (O35)

1 検体 1 容器複数依頼時の検査オーダーメッセージ(O35)は、検体ごとに容器のリストと容器単位で処理されるバッテリーのリストを提供する。この構造はオーダーされたバッテリーが容器単位でソートされているような場合に適合する。

OML^O35 1検体1容器複数依頼時の検査オーダーメッセージ

OML^O35^OML_035	Laboratory Order - Multiple Order Per Container of Specimen Message	Comment (JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[	--- PATIENT begin	RE	

OML^O35^OML_035	Laboratory Order - Multiple Order Per Container of Specimen Message	Comment (JPN)	HL7 Chapter
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
[{ NK1 }]	Next of Kin/Associated Parties	N	3
[	--- PATIENT_VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit- Additional Info	O	3
]	--- PATIENT_VISIT end		
[{	--- INSURANCE begin	N	
IN1	Insurance	N	6
[IN2]	Insurance Additional Info	N	6
[IN3]	Insurance Add'l Info - Cert.	N	6
}}	--- INSURANCE end		
[GT1]	Guarantor	N	6
[{ AL1 }]	Allergy Information	O	3
]	--- PATIENT end		
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen	R	7
[{ OBX }]	Observations related to specimen	O	7
{	--- SPECIMEN_CONTAINER begin	R	
SAC	Specimen Container	R	13
{	--- ORDER begin	R	
ORC	Common Order	R	4
[{	--- TIIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}}	--- TIMING end		
[	--- OBSERVATION_REQUEST begin	R	
OBR	Observation Request	R	4
[TCD]	Test Code Details	O	13
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Detail)	C	2
[{ DG1 }]	Diagnosis	N	6
[{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation/Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)	O	2
}}	--- OBSERVATION end		
[{	--- PRIOR_RESULT begin	O	
[	--- PATIENT_PRIOR begin	N	
PID	Patient Identification - previous result	N	3
[PD1]	Additional Demographics - previous result	N	3
]	--- PATIENT_PRIOR end		
[	--- PATIENT_VISIT_PRIOR begin	O	
PV1	Patient Visit - previous result	R	3

OML^O35^OML_035	Laboratory Order - Multiple Order Per Container of Specimen Message	Comment (JPN)	HL7 Chapter
[PV2]	Patient Visit Add. Info - previous result	O	3
]	--- PATIENT_VISIT_PRIOR end		
[{ AL1 }]	Allergy Information - previous result	O	3
{	--- ORDER_PRIOR begin	R	
[ORC]	Common Order - previous result	R	4
OBR	Order Detail - previous result	R	4
[{ NTE }]	Notes and Comments - previous result	O	2
[{	--- TIMING_PRIOR begin	N	
TQ1	Timing/Quantity	N	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	N	4
}]	--- TIMING_PRIOR end		
{	--- OBSERVATION_PRIOR begin	O	
OBX	Observation/Result - previous result	R	7
[{ NTE }]	Notes and Comments - previous result	O	2
}	--- OBSERVATION_PRIOR end		
}	--- ORDER_PRIOR end		
}]	--- PRIOR_RESULT end		
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
[{ FT1 }]	Financial Transaction	N	6
[{ CTI }]	Clinical Trial Identification	N	7
[BLG]	Billing Segment	N	4
}	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
}	--- SPECIMEN end		

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはオーダの出力単位(メッセージ)の先頭に1つ必須である。(ファイル伝送の場合:オーダがまとめて伝送される場合オーダごとに先頭にメッセージヘッダ(MSH)セグメントが必須であり、区切りとなる。)
- 患者識別(PID)セグメントは1患者の一連のオーダに1個必須である。(ファイル伝送の場合:オーダがまとめて伝送される場合メッセージヘッダ(MSH)セグメントがオーダの区切りとなる。)
- OML^O35のメッセージ構文では、材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントは検体(SPM)セグメントの下に置かなければならない。
- 検体検査の検査項目コード(OBR-4/OBX-3)は日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コードでコーディングされたものを用いる。
- 検査材料や部位(SPM-4, SPM-8)は日本臨床検査医学会臨床検査分類コードの材料コードを用いる。
- 検査結果(OBX)セグメントは、依頼の際に検査に必要な臨床データを知らせる目的でも利用できるものとする。例えば身長、体重、月経周期など。
- OBSERVATION PRIORは同一患者の前回値をあらわす。患者識別(PID)セグメントが無いのは同一患者であるからである。検査部門はこの患者の前回測定時異なる患者識別かどうかを気にする必要は無い。しかし、電文上前回値と今回値の判断ができなくなるため、前回値を記載する場合「Patient Visit - previous result」を表す来院情報(PV1)セグメントは必須である。
- 検査結果(OBX)セグメント又は検査要求(OBR)セグメントに記述できる情報は注釈コメント(NTE)セグメントで送信すべきではない。

6.1.6 ORL – 1 検体 1 容器複数依頼の肯定応答メッセージ イベント(O36)

1 検体 1 容器複数依頼の肯定応答メッセージ(O36)は臨床検査依頼に対する応答をするイベントである。

ORL^O36 1検体1容器複数依頼の肯定応答メッセージ

<u>ORL^O36^ORL_O36</u>	<u>Laboratory Order Acknowledgment Message - Multiple Order Per Container of Specimen</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	O	2
[{ SFT }]	Software	N	2
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Header)	O	2
[	--- RESPONSE begin	O	
[	--- PATIENT begin	O	
PID	Patient Identification	O	3
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen	R	7
[{ OBX }]	Observations related to specimen	O	7
{	--- SPECIMEN_CONTAINER begin	R	
SAC	Specimen Container	R	13
[{	--- ORDER begin	O	
ORC	Common Order	R	4
[{	--- TIMING begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	RE	4
[{ TQ2 }]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING end		
[	--- OBSERVATION_REQUEST begin	R	
OBR	Observation Request	R	4
]	--- OBSERVATION_REQUEST end		
}]	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
}	--- SPECIMEN end		
]	--- PATIENT end		
]	--- RESPONSE end		

- エラー(ERR)セグメントは否定応答(MSA-1 = AE or AR)の場合に使用されるべきである。
- RESPONSE構文は特に必要が無い場合は省略される。

6.2 到着確認報告、臨床検査結果(ORU/ACK, OUL/ACK)

到着確認報告時、及び臨床検査結果報告時には検査結果メッセージ(ORU あるいは OUL)を用いる。

注：IHE Laboratory Technical Framework ではイベント R22 と R24 がサポートされていたが、R24 は旧バージョンとの互換性のためにのみ残し、代わりに R01 をサポートすることにした。

検査結果のステータスの変更については、HL7 V2.5 では MSH セグメントに含まれるトリガイメントフィールドと ORC-5 (Filler Order status) , OBR-25 (Order Result Status) , OBX.11 (Observation Result Status) の組み合わせによって表現される。

OBX-11 は個別の検査のステータスを含み、OBR-25 は検査全体のステータスを含み。

ORC,OBR,OBX 間のステータスの相互関係を以下に示す。

3つのテーブルの関係の要約

Order Table 0038 (ORC-5)	Request Table 0123 (OBR-25)	Result Table 0085 (OBX-11)	詳細
	O	O	オーダは受信済みだが、検体はまだ到着していない。 オーダの詳細記述のみに使われる。(OBX に結果はない) この値は ORL (OML に対する肯定応答) メッセージにのみ使用される。OML メッセージでは使われるべきでない。
SC	S		検査はスケジュールされたが、未検査。結果は未だ無い。
IP	I	I	検体は検査部門に届いていないかも知れない。OBX には反映されない。 検査中。検体は検査中であるが結果は保留状態であり、完了していない。(いわゆる“到着確認”)
A	R	D	OBX のレコードが削除された。
A	P	R	いくつかの結果が得られたが、未検証。
CM	F	P	いくつかの検証済みの結果が得られた。
(CM)	C	F	最終結果：結果は格納され、検証された。以降は修正のみ許される。
CA	X	C	結果が修正された。最終結果と置換した。
		X	(OBX では) この検査では結果が得られない。(ORC/OBR では) 結果が得られないので、オーダをキャンセル。

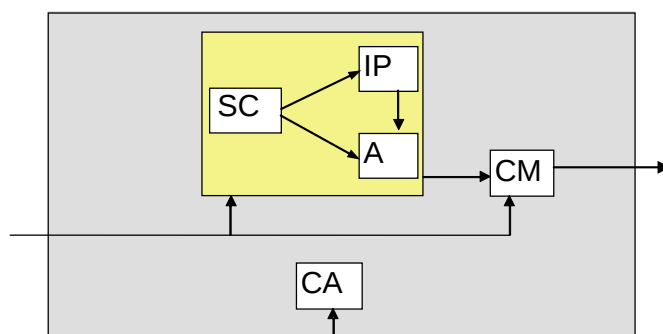
注：ORC-5 で用いられるステータスコードは OBR-25/OBX-11 で用いられるものよりも少ない。もし、直接的に意味が一致するものがなければ、最も近い意味合いのものを採用すること。上記のテーブルはこれらのフィールドに使用するコードの意味合いを記述したものである。ただし、全ての可能性のある関係を示したものではないことに注意すること。

ステータスフィールドの関係の規則と、ステータス遷移図を以下に示す。

- OBR-25 のステータスは“最低位”の個別のテスト(OBX-11)より早く完了することはできない。例えば OBX-11 のフィールドが全て‘F’になったときに限り、OBR-25 は‘F’にすることができる。
- オーダ実施者によって決められるオーダステータスは検査依頼のステータス(OBR-25)よりも早く完了することはできない。
例えば OBR-25 のフィールドが‘F’または‘C’になったときに限り、ORC-5 は‘CM’にすることができる。
- 検査を終結する目的で、OBX-11 が‘X’または‘D’の場合、OBR-25 が‘X’の場合には‘F’とみなしてもよい。

1. ORC-5: オーダステータス (Order status)

検査依頼とそれに関連する結果のステータスフィールドは、検査の進行と完了によって表現される。値の遷移は下記に示される。



SC: 進行中、予定済み(scheduled)、検体は未検査(may not be available yet)

IP: 進行中、検体は検査中(available in laboratory)

A: 部分的完了

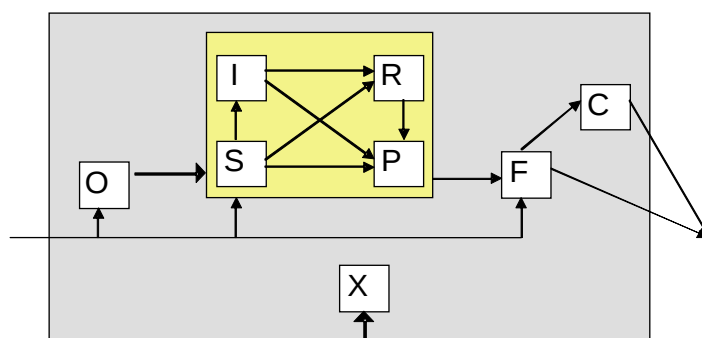
CM: オーダが完了した

CA: オーダが取り消された (どのステータスでも)

図6.2-1: The ORC-5 status transition diagram

図 6.2-1 は ORC-5 のステータスコードが SC から IP, A, CM に変化していく通常のプロセスである。ステータスコードが SC であれば、次の可能なステータスコードは IP, A, CM または SC である。ステータスコードが IP であれば、次の可能なステータスコードは A, CM または IP である。特別なステータスコードとして CA (オーダーが取り消された) があり、プロセス中の任意の過程で起こりうる。

2. OBR-25: オーダ結果ステータス (Order Result status)

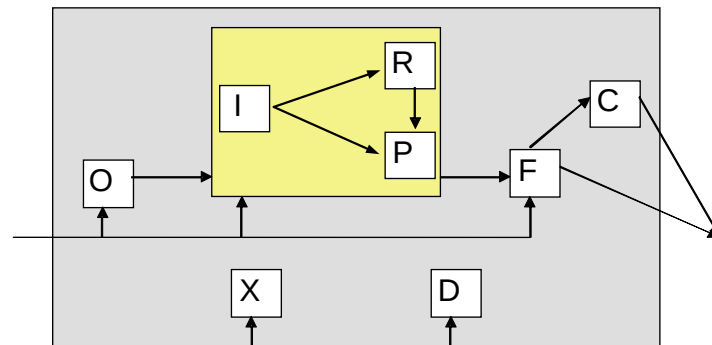


O: オーダ受信、検体未到着
S: 予定済み(Scheduled)、検体は未検査(specimen may not be available yet)
I: 検体は検査中、結果は不完全(results pending)
R: 部分的完了、未確認
P: 事前的(部分的)に確認された結果
F: 確認済み最終結果
C: 最終結果後の訂正、結果は最終・確認済みのまま(Results still final and verified)
X: オーダが取り消された (どのステータスでも)

図6.2-2: The OBR-25 status transition diagram

図 6.2-2 は OBR-25 の O が F に遷移する通常のプロセスである。中央部には4つのコードがある。ステータスコードが S であれば、次の可能なステータスコードは I, R, P, F または S のいずれかである。ステータスコードが P であれば、次の可能なステータスコードは F または P のいずれかである。ステータスコードが F であれば、次の可能なステータスコードは F または C のいずれかである。特別なステータスコードとして X (オーダーが取り消された)があり、プロセス中の任意の過程で起こりうる。

3. OBX-11: 検査結果ステータス (Observation Result Status)



O: オーダ詳細記述のみ、結果なし
I: 検査部門に検体あり、結果保留
R: 結果入力済み(Result entered)、未確認
P: 事前的(部分的)に確認された結果
F: 確認済み最終結果
C: 最終結果後の訂正、結果は最終・確認済みのまま(Result still final and verified)
X: この検査では結果は得られない
D: この OBX レコードを削除する

図6.2-3: The OBX-11 status transition diagram

図 6.2-3 は OBX-11 の O が F に遷移する通常のプロセスである。中央部には3つのコードがある。ステータスコードが I であれば、次の可能なステータスコードは I, R, P または F のいずれかである。ステータスコードが P であれば、次の可能なステータスコードは F または P のいずれかである。特別なステータスコードとして X (この検査では結果が得られない) と D があり、プロセス中の任意の過程で起こりうる。

6.2.1 OUL 非要求検体ベース検査結果メッセージ イベント(R22)

このメッセージは、検体指向の検査を提供することを目指した。それは、例えば採取容器を要求する検査

自動化システムに適用可能である。

イベント R22 と R23 の違いは、材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱いである。

参照：表 6.3.1 イベント R22 と R23 での材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱い

表 6.3.1 イベントR22とR23での材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱い

イベント	HL7 V2.5 での取り扱い	Japan での取り扱い
R22	O	RE
R23	R	R

材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの使い方については臨床検査自動化用セグメント詳細（9章）を参照。

OUL^R22/ACK 非要求検体ベース検査結果メッセージ

OUL^R22^OUL_R22	Laboratory Order Acknowledgment Message - Multiple Order Per Container of Specimen	Comment (JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{SFT}]	Software Segment	N	2
[NTE]	Notes and Comments	O	2
[	--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
]	--- PATIENT end		
[	--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	RE	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Information	O	3
]	--- VISIT end		
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen information	R	7
[{ OBX }]	Observation Result (for Specimen)	O	7
[{	--- CONTAINER begin	O	
SAC	Container information	RE	13
[INV]	Detailed Substance information (e.g., id, lot, manufacturer, ... of QC specimen)	O	13
}}	--- CONTAINER end		
{	--- ORDER begin	R	
OBR	Observation Order	R	7
[ORC]	Common Order	R	4
[{NTE}]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
[{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}}	--- TIMING_QTY end		
[{	--- RESULT begin	O	
OBX	Observation Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
{[SID]}	Substance Identifier (e.g., reagents used for testing)	O	13

<u>OUL^R22^OUL_R22</u>	<u>Laboratory Order Acknowledgment Message - Multiple Order Per Container of Specimen</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
[{NTE}]	Notes and Comments	C	2
}]	--- RESULT end		
[{CTI}]	Clinical Trial Identification	N	7
}	--- ORDER end		
}	--- SPECIMEN end		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

<u>ACK^R22^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの関係者の同意のもとに HL7 V2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（関連する HL7 V2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
以下、他のメッセージも同様である。

6.2.2 ORU 非要求検査結果転送メッセージ イベント(R01)

ORU^R01/ACK 非要求検査結果転送メッセージ

<u>ORU^R01^ORU_R01</u>	<u>Unsolicited Observation Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
{	--- PATIENT_RESULT begin	C ¹⁾	
[	--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{NTE}]	Notes and Comments	O	2
[{NK1}]	Next of Kin/Associated Parties	N	3
[	--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Info	O	3
]	--- VISIT end		
]	--- PATIENT end		
{	--- ORDER_OBSERVATION begin	R	
[ORC]	Order common	R	4
OBR	Observations Request	R	7

<u>ORU^R01^ORU_R01</u>	<u>Unsolicited Observation Message</u>	<u>Comment</u> (JPN)	<u>HL7</u> Chapter
{[NTE]}	Notes and comments	O	2
[{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING_QTY end		
[CTD]	Contact Data	N	11
[{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation related to OBR	R	7
{[NTE]}	Notes and comments	C	2
}]	--- OBSERVATION end		
[{FT1}]	Financial Transaction	N	6
{[CTI]}	Clinical Trial Identification	N	7
[{	--- SPECIMEN begin	O	
SPM	Specimen	R	
[{OBX}]	Observation related to Specimen	O	
}]	--- SPECIMEN end		
}	--- ORDER_OBSERVATION end		
}	--- PATIENT_RESULT end		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

<u>ACK^R01^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Comment</u> (JPN)	<u>HL7</u> Chapter
MSH	Message header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

通常、1 電文の結果報告は 1 患者についてのみである。

6.2.3 OUL 非要求検査結果メッセージ イベント(R21)

IHE Laboratory Technical Framework ではこのメッセージの使用を推奨していない。

このメッセージは HL7 V2.4 以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残している。検体情報（検体 (SPM)セグメント）もしくは採取容器情報（材料と採取容器の詳細(SAC)セグメント）が必要な場合、異なる OUL メッセージを使用しなければならない。（例えば R22）

このメッセージの詳細に関しては HL7 V2.5 7.3.2 節を参照。

6.2.4 OUL 非要求検体採取容器ベース検査結果メッセージ イベント (R23)

このメッセージは、検体指向の検査を提供することを目指した。それは、例えば採取容器を要求する検査自動化システムに適用可能である。

イベント R22 と R23 の違いは、材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱いである。

参照：表 6.3.1 イベント R22 と R23 での材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱い

表 6.3.1 イベントR22とR23での材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの扱い

イベント	HL7 V2.5 での取り扱い	Japan での取り扱い
R22	O	RE
R23	R	R

材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの使い方については臨床検査自動化用セグメント詳細（9章）を参照。

OUL^R23/ACK 非要求検体採取容器ベース検査結果メッセージ

OUL^R23^OUL_R23	Unsolicited Specimen Container Oriented Observation Message	Comment (JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
[NTE]	Notes and Comments	O	2
[	--- PATIENT begin	RE	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
]	--- PATIENT end		
[	--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Information	O	3
]	--- VISIT end		
{	--- SPECIMEN begin	R	
SPM	Specimen information	R	7
[{ OBX }]		O	7
{	--- CONTAINER begin	R	
SAC	Container information	R	13
[INV]	Detailed Substance information (e.g., id, lot, manufacturer, ... of QC specimen)	O	13
{	--- ORDER begin	R	
OBR	Observation Order	R	7
[ORC]	Common Order	R	4
[{NTE}]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
[{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}}	--- TIMING_QTY end		
[{	--- RESULT begin	O	
OBX	Observation Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
{{[SID]}}	Substance Identifier (e.g., reagents used for testing)	O	13
[{NTE}]	Notes and Comments	C	2
}}	--- RESULT end		
[{CTI}]	Clinical Trial Identification	N	7
}	--- ORDER end		
}	--- CONTAINER end		

<u>OUL^R23^OUL_R23</u>	<u>Unsolicited Specimen Container Oriented Observation</u> <u>Message</u>	<u>Comment</u> <u>(JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
} [DSC]	--- SPECIMEN end Continuation Pointer	N	2

<u>ACK^R23^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Comment</u> <u>(JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

6.2.5 OUL 非要求オーダーベース検査結果メッセージ イベント(R24)

IHE Laboratory Technical Framework ではこのメッセージの使用を推奨していない。

材料と採取容器の詳細(SAC)セグメントの使い方については臨床検査自動化用セグメント詳細（9章）を参照。

OUL^R24/ACK 非要求オーダーベース検査結果メッセージ

<u>OUL^R24^OUL_R24</u>	<u>Unsolicited Specimen Container Oriented Observation</u> <u>Message</u>	<u>Comment</u> <u>(JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
[NTE]	Notes and Comments	O	2
[	--- PATIENT begin	O	
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[{NTE}]	Notes and Comments (for Patient ID)	O	2
]	--- PATIENT end		
[	--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional Information	O	3
]	--- VISIT end		
{	--- ORDER begin	R	
OBR	Observation Order	R	7
[ORC]	Common Order	R	4
[{NTE}]	Notes and Comments (for Detail)	O	2
[{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}}	--- TIMING_QTY end		
[{	--- SPECIMEN begin	O	
SPM	Specimen information	R	7
[{OBX}]		O	7
[{	--- CONTAINER begin	RE	
SAC	Container information	R	13

<u>OUL^R24^OUL_R24</u>	<u>Unsolicited Specimen Container Oriented Observation</u>	<u>Comment</u>	<u>HL7</u>
	<u>Message</u>	<u>(JPN)</u>	<u>Chapter</u>
[INV]	Detailed Substance information (e.g., id, lot, manufacturer, ... of QC specimen)	O	13
}}	--- CONTAINER end		
}}	--- SPECIMEN end		
[{	--- RESULT begin	R	
OBX	Observation Result	R	7
[TCD]	Test Code Detail	O	13
{[SID]}	Substance Identifier (e.g., reagents used for testing)	O	13
[{NTE}]	Notes and Comments	C	2
}}	--- RESULT end		
[{CTI}]	Clinical Trial Identification	N	7
}	--- ORDER end		
[DSC]	Continuation Pointer	N	2

<u>ACK^R24^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Comment</u>	<u>HL7</u>
		<u>(JPN)</u>	<u>Chapter</u>
MSH	Message header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

6.2.6 ORU 非要求 Point-Of-Care 検査メッセージ依頼部門オーダなし イベント(R30)

IHE Laboratory Technical Framework では LPOCT (Laboratory Point Of Care Testing : 臨床検査の診療現場即時検査) プロファイルで LAB-32 トランザクションとしてイベント R30 と 31 の使用が定義されている。

このトリガイベントは、メッセージに含まれていた検査の新規オーダを作成するように受信側システムに命じる。

ドクタが検査を行なうように口頭で看護師に命じる場合、このトリガのユースケースの例が生じる。

情報管理の観点からこのユースケースを見て、看護師が検査を行なう前に検査部門情報システムあるいはオーダエントリーシステムへのオーダを予想するかも知れない。

しかしながら、これらのユースケースに於いてオーダエントリーのための時間は通常ない。

POC 検査に於いては POC 機器で測定を行うことによりオーダを生成する事が望ましい。

この ORU メッセージは患者、関係する医者、患者の所在場所などの関連情報を伝えるために来院情報 (PV1)セグメントと付加的な患者属性(PD1)セグメントの使用を要求している。

別のユースケースの例として、

共有の患者識別子のないリモートサイトのドクタが、検査を行なうように看護師に命じる場合がある。検査は LIS への事前オーダなしで行なわれ、検査が実施されたならば、結果と患者情報が、LIS に送信される。

いくつかの状況では、LIS はこれに臨床的な解釈を加えて、オーダエントリーシステムおよび（または）別のシステムにそれを報告するかもしれない。

このために診療科、依頼者、実施場所などの情報が要求とされる。

送信システムがすべての結果をその関連するオーダと関連させることを可能にするために、受信側システ

ムは、OML メッセージ中の共通オーダー(ORC)セグメントに含まれるような依頼者番号を返す必要がある。
(注：IHE Laboratory Technical Framework では filler order number としている)
必要があれば、このメッセージはさらにオーダーに対応する患者の名前のように検査実施者から返された情報を含んでいるかもしれない。そして、結果を格納する。

ORU^R30/ACK 非要求 Point-Of-Care検査メッセージ依頼部門オーダーなし

<u>ORU^R30^ORU_R30</u>	<u>Unsolicited Point-Of-Care observation message without existing order</u>	<u>Comment(JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[	--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional	O	3
]	--- VISIT end		
ORC	Common Order information	R	4
OBR	Observation Request	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for order/result	RE	2
[{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING_QTY end		
{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation Results, one per reported value	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for individual result	C	2
}	--- OBSERVATION end		

<u>ACK^R30^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Comment(JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Acknowledgment	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

IHE Laboratory Technical Framework の LPOCT プロファイルでは、CLSI(Clinical and Laboratory Standards Institute)の取り決めにより、ACK^R33 を使用して MSA-3 に Filler-Order-Number を入れることになっている。

<u>ACK^R33^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Comment(JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Acknowledgment	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

6.2.7 ORU 非要求 Point-Of-Care 検査メッセージ –オーダの検索 (R31)

IHE Laboratory Technical Framework では LPOCT (Laboratory Point Of Care Testing : 臨床検査の診療現場即時検査) プロファイルで LAB-32 トランザクションとしてイベント R30 と 31 の使用が定義されている。

このトリガイイベントは、メッセージに含まれていた検査のための既存のオーダを探索するように受信側システムに命じる。

この場合、送信システムは、オーダが既に存在するかどうかは知らない。

このトランザクションは、関連する結果のための既存のオーダを探索するように受信側システムに命じる。

受信側システムは既存のオーダを見つけた場合は、OML メッセージ中の共通オーダ(ORC)セグメントに含まれるような依頼者 ID を送信側に返すべきである。

この情報は、検査結果確認者がすべての結果をその関連するオーダと関連させることを可能にする。

一致するオーダを見つけることができない場合、受信側システムが何を行うかは施設の規則によって決められる。

可能性としてはオーダを（トリガイイベント R30 のように）を自動的に生成する、あるいは結果の記録ではなく例外を記録することである。

患者、関係する医者、患者の所在場所などの関連する情報を伝達することが必要な場合、ORU メッセージの来院情報(PV1)セグメントと付加的な患者属性(PD1)セグメントを使用する。(記述に関しては ORU ^ R30 を参照)

ORU^R31/ACK 非要求新 Point-Of-Care検査メッセージ –オーダの検索

ORU^R31^ORU_R30	Unsolicited new Point-Of-Care observation message	Comment(JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[	--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional	O	
]	--- VISIT end		
ORC	Common Order information	R	4
OBR	Observation Request	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for order/result	RE	2
[{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING_QTY end		
{	--- OBSERVATION begin	O	
OBX	Observation Results, one per reported value	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for individual result	C	2
}	--- OBSERVATION end		

ACK^R31^ACK	Acknowledgment	Comment(JPN)	HL7 Chapter
-------------	----------------	--------------	-------------

<u>ACK^R31^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Acknowledgment	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

IHE Laboratory Technical Framework の LPOCT プロファイルでは、CLSI の取り決めによって ACK^R33 を使用して、MSA-3 に Filler-Order-Number を入れることになっている。

<u>ACK^R33^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Acknowledgment	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

6.2.8 ORU 非要求事前 Point-Of-Care 検査オーダー イベント(R32)

このトリガイイベントは、メッセージに含まれたオーダー情報の結果を格納するように受信側システムに命じる。

従来の臨床検査室の視点では、これは恐らく主流なユースケースである。

しかし、POC 環境では、検査が行なわれる時に既にオーダー生成していることは実際には珍しいが、まれに存在する。

患者、関係する医者、患者の所在場所などの関連する情報を伝達することが必要な場合、ORU メッセージの来院情報(PV1)セグメントと付加的な患者属性(PD1)セグメントを使用する。(記述に関しては ORU ^ R30 を参照)

ORU^R32/ACK 非要求事前Point-Of-Care検査オーダー

<u>ORU^R32^ORU_R30</u>	<u>Unsolicited</u> <u>Pre-ordered</u> <u>Point-Of-Care</u> <u>observation message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
PID	Patient Identification	R	3
[PD1]	Additional Demographics	O	3
[	--- VISIT begin	RE	
PV1	Patient Visit	R	3
[PV2]	Patient Visit - Additional	O	
]	--- VISIT end		
ORC	Common Order information	R	4
OBR	Observation Request	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for order/result	RE	2
[{	--- TIMING_QTY begin	RE	
TQ1	Timing/Quantity	R	4
[{TQ2}]	Timing/Quantity Order Sequence	O	4
}]	--- TIMING_QTY end		

<u>ORU^R32^ORU_R30</u>	<u>Unsolicited Pre-ordered Point-Of-Care</u> <u>observation message</u>	<u>Comment(JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
{	---	O	
OBX	Observation Results, one per reported value	R	7
{[NTE]}	Notes or Comments for individual result	C	2
}	---		

<u>ACK^R32^ACK</u>	<u>Acknowledgment</u>	<u>Comment(JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Acknowledgment	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

6.3 情報照会(QBP/RSP)

患者基本情報や検査結果情報の照会には情報照会メッセージ(QBP)を用いる。その応答には情報応答メッセージ(RSP)を用いる。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

6.3.1 QBP 患者基本属性照会メッセージ イベント(Q22)

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「6.1.1. QBP 患者基本属性照会メッセージ イベント(Q22)」を参照のこと。

6.3.2 RSP 患者基本属性応答メッセージ イベント(K22)

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「6.1.2. RSP 患者基本属性応答メッセージ イベント(K22)」を参照のこと。

6.3.3 QBP 患者基本属性及び所在照会メッセージ イベント(ZV1)

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「6.1.3. QBP 患者基本属性及び所在照会メッセージ イベント(ZV1)」を参照のこと。

6.3.4 RSP 患者基本属性及び所在応答メッセージ イベント(ZV2)

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「6.1.4. RSP 患者基本属性及び所在応答メッセージ イベント(ZV2)」を参照のこと。

6.3.5 QBP 検査依頼情報照会メッセージ イベント(WOS)

検査依頼情報照会メッセージ(WOS)は、LD(Laboratory Device)から AM(Automation Manager)へ検査依頼情報を照会するメッセージである。

QBP^WOS 検査依頼情報照会メッセージ

QBP^WOS^QBP_Q11	Query By Parameter	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
[{SFT}]	Software Segment	O
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
RCP	Response Control Parameters	R
[DSC]	Continuation Pointer	O

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- MSH-9は「QBP^WOS^QBP_Q11」とする。
- QPD-1は「WOS^Work Order Step^IHE_LABTF」とする。
- QPD-3の詳細は「7.13 QPD - query parameter definition 照会パラメータ定義 /QPD-3 User parameters 使用者パラメータ/a)メッセージ問合せ名=WOS^Work Order Step^IHE_LABTF の場合」参照。
- RCP-1は"T" (=Immediate) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "T" とする。
- RCP-3は"R" (=Real Time) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "R" とする。

- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 V2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（関連する HL7 V2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
以下、他のメッセージも同様である。

6.3.6 RSP 検査依頼情報応答メッセージ イベント(WOS)

検査依頼情報応答メッセージ(WOS)は、検査依頼情報照会メッセージ(WOS)に対して AM(Automation Manager)から LD(Laboratory Device)へ検査依頼情報を応答するメッセージである。

RSP^WOS 検査依頼情報応答メッセージ

RSP^WOS^RSP_K11	Segment Pattern Response	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
[{SFT}]	Software Segment	O
MSA	Message Acknowledgement	R
[ERR]	Error	O
QAK	Query Acknowledgement	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
{	--- SPECIMEN begin	C
SPM	Specimen	R
[{OBX}]	Observation related to specimen	O
[{SAC}]	Specimen Container	RE
[	--- PATIENT begin	O
PID	Patient Identification	R
[{OBX}]	Observation related to the patient	O
]	--- PATIENT end	
{	--- ORDER begin	R
ORC	Common Order	R
[{TQ1}]	Timing/Quantity	RE
[	--- OBSERVATION REQUEST begin	O
OBR	Observation Request	R
[TCD]	Test Code Details	O
[{	--- OBSERVATION begin	O
OBX	Observation/Result	R
[TCD]	Test Code Detail	O
[{ NTE }]	Notes and Comments (for Results)	O
}]	--- OBSERVATION end	
]	--- OBSERVATION REQUEST end	
[{	--- PRIOR RESULT begin	O
PV1	Patient Visit - previous result	R
{	--- ORDER PRIOR begin	R
ORC	Common order - previous result	R
OBR	Order detail - previous result	R
{	--- OBSERVATION PRIOR begin	R

RSP^WOS^RSP_K11	Segment Pattern Response	Comment(JPN)
OBX	Observation/Result - previous result	R
[{NTE}]	Comment of the result	C
}	--- OBSERVATION PRIOR end	
}	--- ORDER PRIOR end	
]]	--- PRIOR RESULT end	
}	--- ORDER end	
}	--- SPECIMEN end	
[DSC]	Continuation Pointer	

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。
- 照会応答(QAK)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須であり、QBPメッセージで記載されたものをそのまま記載する。
- LDによっては、OBSERVATION segment group の検査コード詳細(TCD)セグメント、注釈コメント(NTE)セグメントが必要な場合がある。
- 応答するデータが無い場合は、SPECIMEN segment groupは存在しない。(例: barcode read error など)
- MSH-9は「RSP^WOS^RSP_K11」とする。
- QPD-1は「WOS^Work Order Step^IHE_LABTF」とする。
- QPD-3の詳細は「7.13 QPD - query parameter definition 照会パラメータ定義 /QPD-3 User parameters 使用者パラメータ/a)メッセージ問合せ名=WOS^Work Order Step^IHE_LABTF の場合」参照。
- PRIOR RESULT segment group は同一患者の前回値をあらわす。患者識別(PID)セグメントが無いのは同一患者であるからである。検査部門はこの患者の前回測定時異なる患者識別かどうかを気にする必要は無い。しかし、電文上前回値と今回値の判断ができなくなるため、前回値を記載する場合「Patient Visit - previous result」を表す来院情報(PV1)セグメントは必須である。
- PV1-2 (患者区分) は、送信側がわからない場合は“U”(= patient class unknown)を用いる。
- PRIOR RESULT segment group のORC-1 (オーダ制御) は“PR” (Prior results)とする。
- 検体セグメント(SPM)は、LD側ではSPM-2 (検体ID) 以外は取り扱わない。
- LDにおける患者識別(PID)セグメントについては、必須項目(R)であってもLDの取り扱い仕様に準じる。ただしIHE-Jのコネクタソンにおいては、識別のためPID-3 (患者ID (内部ID))、PID-5 (患者氏名) を必須とする。PID-5 (患者氏名) については、漢字、カナ氏名いずれを取り扱うかはLDの取り扱い仕様に準じる。基本仕様はOML(O33)メッセージの患者識別(PID)セグメントの取り扱いに準じる。
- 共通オーダ(ORC)セグメントは、LD側ではORC-1 (オーダ制御) のみ参照する。
- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位 (トランザクション) を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 V2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。(関連する HL7 V2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。)
以下、他のメッセージも同様である。

6.3.7 QBP ラベル情報照会メッセージ イベント(SLI)

ラベル情報照会メッセージ(SLI)は、LB(Label Broker／ラベル発行者)から LIP(Label Information Provider／ラベル発行指示)へラベル情報を照会するメッセージである。

QBP^SLI ラベル情報照会メッセージ

QBP^SLI^QBP_Q11	Query By Parameter	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
[{SFT}]	Software Segment	O
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
RCP	Response Control Parameters	R
[DSC]	Continuation Pointer	O

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- MSH-9は「QBP^SLI^QBP_Q11」とする。
- QPD-1は「SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF」とする。
- QPD-3の詳細は「7.13 QPD - query parameter definition 照会パラメータ定義 /QPD-3 User parameters 使用者パラメータ/b) メッセージ問合せ名 =SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF の場合」参照。
- RCP-1は"T" (=Immediate) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "T" とする。
- RCP-3は"R" (=Real Time) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "R" とする。
- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。
ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 V2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（関連する HL7 V2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）
以下、他のメッセージも同様である。

6.3.8 RSP ラベル情報応答メッセージ イベント(SLI)

ラベル情報応答メッセージ(SLI)は、ラベル情報照会メッセージ(SLI)に対して LIP(Label Information Provider) から LB(Label Broker)へラベル情報を応答するメッセージである。

RSP^WOS 検査依頼情報応答メッセージ

RSP^SLI^RSP_K11	Segment Pattern Response	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
[{SFT}]	Software Segment	O
MSA	Message Acknowledgement	R
[ERR]	Error	O
QAK	Query Acknowledgement	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
[	--- PATIENT begin	C
PID	Patient Identification	R
PV1	Patient Visit	O

RSP^SLI^RSP_K11	Segment Pattern Response	Comment (JPN)
[{OBX}]	Observation related to the patient	O
{	--- SPECIMEN begin	R
SPM	Specimen	R
[{OBX}]	Observation related to specimen	O
[{SAC}]	Specimen Container	O
{	--- ORDER begin	R
ORC	Common Order	R
[{TQ1}]	Timing/Quantity	RE
[	--- OBSERVATION REQUEST begin	O
OBR	Observation Request	R
[TCD]	Test Code Details	O
[{OBX}]	Observation Result	O
]	--- OBSERVATION REQUEST end	
}	--- ORDER end	
}	--- SPECIMEN end	
]	--- PATIENT end	
[DSC]	Continuation Pointer	

- メッセージヘッダ(MSH)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- メッセージ応答(MSA)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 応答時エラーが発生した場合はエラー(ERR)セグメントは必須である。
- 照会応答(QAK)セグメントはメッセージに1つ必須である。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントはメッセージに1つ必須であり、QBPメッセージで記載されたものをそのまま記載する。
- MSH-9は「RSP^SLI^RSP_K11」とする。
- 照会パラメータ定義(QPD)セグメントは、QBPメッセージ中の照会パラメータ定義(QPD)セグメントと同様の取り扱いとする。
- RCP-1は"I" (=Immediate) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "I" とする。
- RCP-3は"R" (=Real Time) 固定とする。値がない場合、デフォルト値は "R" とする。
- IHE-Jのコネクタソンにおいては、識別のためPID-3 (患者ID (内部ID))、PID-5 (患者氏名) を必須とする。
- 来院情報(PV1)セグメントは、基本仕様はOML(O33)メッセージの来院情報(PV1)セグメントの取り扱いに準じる。
- 検体セグメント(SPM)は、基本仕様はOML(O33)メッセージの検体セグメント(SPM)の取り扱いに準じる。
- 共通オーダ(ORC)セグメントは、基本仕様はOML(O33)メッセージの共通オーダ(ORC)セグメントの取り扱いに準じる。
- タイミング/数量(TQ1)セグメントは、基本仕様はOML(O33)メッセージのタイミング/数量(TQ1)セグメントの取り扱いに準じる。
- 検査要求(OBR)セグメントは、基本仕様はOML(O33)メッセージの検査要求(OBR)セグメントの取り扱いに準じる。
- LIPはLBからのクエリパラメータを解析し、施設の取り決めによって定められた適当な情報を構成してただちにLBに送信すべきである。
- 継続ポインタ(DSC)セグメントについて、本規約ではその使用を想定していないし、後出の「関連セグメント」でも説明していない。

ただし、実装上、十分に大きなメッセージ単位（トランザクション）を扱えない場合は、当該システムの全ての関係システム・関係者の同意のもとに HL7 V2.5 に従って継続ポインタ(DSC)セグメントを採用することができる。この決定には後続ポインタの表現方法も含まれる。（関連する HL7 V2.5 は、2.10.2節、2.15.4節。）

以下、他のメッセージも同様である。

6.4 患者情報通知(ADT/ACK)

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.0 「6. メッセージ構文」を参照のこと。

7. 関連セグメント

セグメントの解説の最初にセグメント属性表を設けている。詳細は第 5 章 関連情報詳細の 5.2 フィールドならびにセグメント属性表を参照。以下にその要約を示す。

SEQ : セグメント ID に続くフィールド連番

LEN : フィールドの最大長

DT : フィールドのデータ型 (データ型の解説を参照)

OPT/Japan : フィールドにおける値の省略の可否(Japan は JAHIS 使用での取り扱い)

R - 必須

RE - 存在すれば必須 (送信側アプリケーションは、該当データがあれば
送信しなければならないが、存在しなければ省略する)

C - トリガイイベントおよびその他のフィールド条件による

O - オプション

X - 本規約では使用しない

B - HL7 の旧バージョンとの互換性のために残されているフィールド

N - 使用しない (関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可)

W - 取り消し

RP# : フィールド成分の反復の可否

N - 反復不可

Y - 反復可、反復回数の制限がある場合続く数値で指定
(整数) 反復数の上限

ITEM# : HL7 規約全体で一意に付けられたフィールド番号

ELEMENT NAME : フィールドの名称

* : JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 「7. 関連セグメント詳細」と差異があることを示す

◇ : HL7 V2.5 と差異があることを示す

7.1 AL1 - Patient Allergy Information Segment 患者アレルギー情報 セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.2 ERR - Error Segment エラー情報セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.3 EVN - Event Type Segment 事象型セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.4 IN1 - Insurance Segment 保険セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.5 MSA - Message Acknowledgment Segment メッセージ応答セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.6 MSH - Message Header Segment メッセージ・ヘッダー・セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.7 NTE - Notes and Comments Segment 注釈コメントセグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.8 OBR - Observation Request Segment 検査要求セグメント

概説(ASTM E1238 から抜粋し一部修正)

検査要求(OBR)セグメントは、診断、検査、身体検査あるいは所見などを要求するオーダに特有な情報を伝送する。

検査要求セグメントは、診断サービス(例えば、検体検査、EKG)あるいは検査要求(例えば、バイタルサイン、身体検査)など特定要求の属性を定義する。依頼者があるまとまった検査を要求する場合、必ずオーダセグメントを指定する。検体検査の場合、通常はオーダセグメント内の情報が1つの検体に適用される。

単一のオーダセグメントにより複数の検査項目セット(電解質、CBC、バイタルサインなど)を依頼することができるが、検査実施側は、それぞれの実施項目セットごとに、単独のオーダセグメントを生成するものとする。検査の報告に際し、オリジナルのオーダセグメントから新規オーダセグメントそれぞれに適切なオーダ(検体)情報を複写し、1つ1つの“オーダ”セグメントが各検査項目セットの“ヘッダ”として依頼者に返信されるようにする。

例えば、血液検体に溶血が見られたために、依頼された検査項目セットを実行できない場合、オーダセグメントは、「OBR-25-結果状態」に検査が実行されなかったことを示す‘X’が依頼者に返される。この場合、検査(OBX)セグメントは伝送されない。(日本では「測定不能」等の結果を伝送することが多い。)

検査がうまく終了した場合、依頼者に帰ってくるメッセージには、オーダにより生成された検査ごとに、オーダセグメント(OBR)と検査(OBX)セグメントがこの順番で含まれる。そのような検査セグメントの数は、プロセスで実行されたそれぞれの測定の数によって異なる。

依頼者は OBX セグメントを受信し、結果診断に必要な臨床データを医師などのサービス担当者に提供することができる。

HL7属性表 — OBR — Observation Request 検査要求

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL #	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	C			Set ID – Observation Request ID設定 — 検査要求
2	22	EI	C	C			Placer Order Number 依頼者オーダ番号
3	22	EI	C	O			Filler Order Number + 実施者オーダ番号
4	250	CWE	R	R			Universal Service ID 検査項目ID
5	2	ID	B	B			Priority 優先度
6	26	TS	B	B			Requested Date/time 要求日時
7	26	TS	C	C			Observation Date/Time # 検査日時
8	26	TS	O	O			Observation End Date/Time # 検査終了日時
9	20	CQ	O	O			Collection Volume * 採取量
10	250	XCN	O	O	Y		Collector Identifier * 採取者識別子
11	1	ID	O	O		0065	Specimen Action Code * 検体処置コード
12	250	CWE	O	O			Danger Code 危険(検体)コード
13	300	ST	O	O			Relevant Clinical Info. 関連臨床情報
14	26	TS	B	B			Specimen Received Date/Time * 検体受理日時
15	300	SPS	B	B			Specimen Source * 検査材料
16	250	XCN	O	O	Y		Ordering Provider 依頼者
17	250	XTN	O	O	Y/2		Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号
18	60	ST	O	O			Placer Field 1 依頼者フィールド1
19	60	ST	O	O			Placer Field 2 依頼者フィールド2
20	60	ST	O	O			Filler Field 1 + 実施者フィールド1
21	60	ST	O	O			Filler Field 2 + 実施者フィールド2
22	26	TS	C	O			Results Rpt/Status Chng – Date/Time+ 結果報告/状態変更-日時
23	40	MOC	O	O			Charge to Practice + 課金
24	10	ID	O	O		0074	Diagnostic Serv Sect ID 診断部門ID
25	1	ID	C	C		0123	Result Status + 結果状態
26	400	PRL	O	O			Parent Result + 親結果
27	200	TQ	B	B	Y		Quantity/Timing 数量/タイミング
28	250	XCN	O	O	Y/5		Result Copies To 結果配布先
29	200	EIP	O	O			Parent Number * 親番号
30	20	ID	O	O		0124	Transportation Mode 患者搬送モード

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL #	ELEMENT NAME
31	250	CWE	O	O	Y		Reason for Study 検査理由
32	200	NDL	O	O			Principal Result Interpreter + 結果判定責任者
33	200	NDL	O	O	Y		Assistant Result Interpreter + 結果判定アシスタント
34	200	NDL	O	O	Y		Technician + 医療技術者
35	200	NDL	O	N	Y		Transcriptionist + 口述記録者
36	26	TS	O	O			Scheduled Date/Time + 予定日時
37	4	NM	O	O			Number of Sample Containers * 検体容器数
38	250	CWE	O	O	Y		Transport Logistics of Collected Sample * 採取検体搬送
39	250	CWE	O	O	Y		Collector's Comment * 採取者コメント
40	250	CWE	O	O			Transport Arrangement Responsibility 搬送調整者
41	30	ID	O	O		0224	Transport Arranged 搬送調整結果
42	1	ID	O	O		0225	Escort Required 随行者要否
43	250	CWE	O	O	Y		Planned Patient Transport Comment 計画患者搬送コメント
44	250	CWE	O	O		0088	Procedure Code 手続きコード
45	250	CWE	O	O	Y	0340	Procedure Code Modifier 手続きコード修飾子
46	250	CWE	O	O	Y		Placer Supplemental Service Information 依頼者補給サービス情報
47	250	CWE	O	O	Y	0411	Filler Supplemental Service Information 実施補給サービス情報
48	250	CWE	C	C		0476	Medically Necessary Duplicate Procedure Reason 医学的に必要な重複手続きの理由
49	2	IS	O	O		0507	Result Handling 結果の取り扱い

OBR フィールド定義

このセグメント内の(+)項目は依頼者ではなく実施者が作成し、その値は、OBR セグメントが報告書の一部として返信されたとき必要に応じて設定する。したがって、実施者が新規オーダを受理する場合、(+)項目の値を設定することはない。ただし実施者がオーダを開始する場合は例外である。その場合、実施者オーダ番号が設定されるが、依頼者オーダ番号はブランクでもよい。

検体関連検査の場合、星印(*)の付いたフィールドのみが関係する。依頼者が検体を受理する場合は、依頼者がこれらのフィールドを指定する。実施者が検体を受理する場合、実施者がこれらのフィールドを指定する。

OBR-7ー検査/採取日時および OBR-8ー検査/採取終了日時(フラグを#に設定)は生体関連検査時間である。検体検査の場合、この2つの情報は検体採取の開始と終了を表す。患者を直接検査する(すなわち血圧や胸部X線など)場合は、検査の開始・終了時刻を表す。

これらの日時はSPM セグメント (SPM-17ー検体採取日時) にも存在する。この様に HL7 V2.5 では、各検体についての情報を記載する SPM セグメントや、オーダ全体のタイミングについての情報を記載する TQ1 セグメントが追加されたため、OBR 上に存在していた検体やタイミングのフィールドについては、同一メッセージに SPM セグメントや TQ1 セグメントなどが存在する場合そちらのフィールドを優先する。

OBR-1 Set ID - Observation Request セット ID - OBR (SI) 00237

定義：検体依存型の検体検査依頼の場合 (OML^O33,OML^O35) の場合、SPM 以下で1から始まる通番とする (必須)。オーダ依存型の臨床検査依頼 (ORM,OMG^O19,OML^O21) の場合、必要に応じてメッセージ内で1から始まる通番とする (オプション)。

OBR-2 Placer Order Number 依頼者オーダ番号 (EI) 00216

成分:<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：ORC-2-依頼者オーダ番号に同じ。依頼側検体番号など。

第1成分の文字列で個々のOBRを識別する。これは依頼者(依頼アプリケーション)によって割り当てられ、ある依頼アプリケーションから送信されるすべてのオーダの中から特定のオーダを一意に識別する。第2成分は依頼者アプリケーションIDである。

OBR-3 Filler Order Number 実施者オーダ番号 (EI) 00217

成分:<entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：オーダおよびその関連する検査に対する永久的な識別子。LIS側検体番号など。

第1成分は個々のOBRを識別する文字列である。これは実施(受信)アプリケーションによって割り当

てられ、ある実施アプリケーション(例えば、臨床生理検査室)からのすべてのオーダの中から特定のオーダを一意に識別する。第2成分は実施者アプリケーションIDである。OBR-3-実施者オーダ番号はORC-3と同一である。

OBR-4 Universal Service ID 検査項目 ID (CWE) 00238

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 要求された検査/試験/セットの識別子コード。このコードは、ローカルコードまたは標準コードのいずれか、もしくはその両方を基準に設定できる。標準コードを使用することが望ましい。個々の検査項目を指示する場合は日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コードを使用する(第5章5.5検査項目コードについて参照)。

個々の検査項目をOBXセグメントで指定する場合は、本セグメントに検査分野、検査セットや検査項目見出しをセットすることができる。そのコードや名称が施設固有である場合はコード体系"99ZZZ"で明示する。例: C123^生化学^99IZZ。

OBR-5 Priority 優先度 (ID) 00239

定義: このフィールドは、HL7 V2.4以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

OBR-6 Requested Date/Time 要求日時 (TS) 00240

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは、HL7 V2.4以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。

OBR-7 Observation Date/Time 検査/採取日時 (TS) 00241

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: 臨床検査関連日時。患者を直接検査した場合は、検査を実施した実際の日時である。検体関連検査の場合、このフィールドは検体を採取した日時を表すものとする。これは結果専用フィールドである。ただし、依頼者あるいは第三者が検体をすでに採取している場合はこの限りでない。又、メッセージ上にSPMセグメントが存在する場合、本情報はSPMセグメントにて記述するものとする。

IHE Laboratory Technical Framework ではSPM-17の第一要素と同じものとしている。

OBR-8 Observation End Date/Time 検査/採取終了日時 (TS) 00242

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: 検査あるいは経時検体採取の終了日時。検査が長時間にわたって実施される場合、検査期間の終了時期を表す。検査が瞬時に終わる場合は、このフィールドはnullになる。これは結果フィールドである。ただし、依頼者、あるいは実施者以外の第三者がすでに検体を採取してしまっている場合はこの限りでない。又、メッセージ上にSPMセグメントが存在する場合、本情報はSPMセグメントにて記述するものとする。

OBR-9 Collection Volume 採取量 (CQ) 00243

成分: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: 検体検査の場合検体量。デフォルト単位はMLである。特に、単位はISO標準単位略語(ISO-2955、1977年)の表記に従うべきである。これは結果専用フィールドである。ただし、依頼者あるいは第三者が検体をすでに採取している場合はこの限りでない。

検体検査の場合、検査項目の特性により採取量の明示が必須の場合がある。この場合、それぞれの検査項目に指定された採取量の明示を行うこと。例えば、24時間蓄尿であれば、採取の如何にかかわらず1日量を記載すること。

メッセージ上にSPMセグメントが存在する場合、本情報はSPMセグメントにて記述するものとする。

OBR-10 Collector Identifier 採取者 ID (XCN) 00244

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR)

(ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE): <identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system (ID)> & <coding system version ID (ST)> & <alternate coding system version ID (ST)> & <original text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：検体検査が要求された場合、このフィールドは、検体を採取した個人、部門あるいは施設を識別する。名前もしくはID コード(あるいはその両方)を指定できる。

OBR-11 Specimen Action Code 検体処置コード (ID) 00245

定義：このオーダに伴ってあるいは先行して実施される検体処置。検体に関する一般処置は、このフィールドに付随する ORC セグメント内のオーダ制御コードにより示されるが、このフィールドで一般処置をさらに詳細に規定する。例えば、新規オーダ(ORC－“NW”)が検査室へ送られた場合、検査室で検体を採取すべきかどうか(“L”あるいは“O”)がこのフィールドによって伝えられる。HL7 表 0065－検体処置コードを参照。

HL7表 0065 - Specimen action code 検体処置コード

Value	Description
A	Add ordered tests to the existing specimen 依頼検査を既存の検体に追加する
G	Generated order; reflex order 生成オーダ; 反映オーダ
L	Lab to obtain specimen from patient 検査室が患者から検体を採取する
O	Specimen obtained by service other than Lab 検査室以外のサービスによる検体採取
P	Pending specimen; Order sent prior to delivery 保留検体; 採取以前に依頼されたオーダ
R	Revised order 改訂オーダ
S	Schedule the tests specified below 指定した検査をスケジュールする
B	検体・作成標本の返却
D	希釈測定
K	特別な検体保管指定
C	測定項目優先順位指定あり
F	強制測定; 検体量不足時希釈測定
U	強制測定; 測定上限値を超えての最終値測定
T	採血者指定、特別な手技を持った人の採血
N	新生児採血

左記 (B=N) は、日本での追加コードである。

OUL (到着確認/検査結果) メッセージでは、OML メッセージでの同フィールドを返す。

OBR-12 Danger Code 危険(検体)コード (CWE) 00535

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 危険であることが知られている、あるいは疑われる患者・検体を示すコードかテキスト、あるいはその両方(例えば、陽性結核患者、肝炎患者の血液などの感染情報)。コードとテキストのどちらかあるいはいずれも指定しない場合がある。しかしながらコードは第1成分の位置に置かれ、フリーテキストは第2成分の位置に置かれる。したがって、フリーテキストのみが記述される場合、フリーテキストの前に区切り記号が先行しておかれる。

OBR-13 Relevant Clinical Information 関連臨床情報 (ST) 00247

定義: このフィールドには、患者あるいは検体に関する追加臨床情報が記述される。このフィールドは、検査診断が要求された場合、疑われる病状や臨床所見を報告するのに使用する。例えば、血中ガスの二酸化炭素量、パップ試験時の月経周期、および検査診断に影響を及ぼすその他の条件を報告する場合など。

ただし、オーダセグメントの直後に一連のOBXセグメントを追加することで、より構造化された形式でこの種の情報を送ることが可能である。したがって、身体情報(身長・体重やバイタルサインなど)、検査情報、投薬情報などはOBXセグメントを利用することを推奨する。

OBR-14 Specimen Received Date/Time 検体受領日時 (TS) 00248

定義: このフィールドは、HL7 V2.4以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。本情報はSPMセグメント(SPM-18 検体受領日時)にて記述される。

OBR-15 Specimen Source 検査材料 (SPS) 00249

定義: このフィールドは、HL7 V2.4以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。HL7 V2.5では、SPMセグメントを使用する。

OBR-16 Ordering Provider 依頼者 (XCN) 00226

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE): <identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system (ID)> & <coding system version ID (ST)> & <alternate coding system version ID (ST)> & <original text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate

Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：検査依頼者の ID。ID コードあるいは名前、またはその両方を指定できる。これは ORC-12-依頼者と同じである。検査依頼医師をセットする。

OBR-17 Order Callback Phone Number オーダコールバック用電話番号 (XTN) 00250

成分： <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：状態あるいは結果を標準フォーマットで報告する際の電話番号。可能であれば、内線または呼出番号(あるいはその両方)も併せて指定する。

OBR-18 Placer Field #1 依頼者フィールド#1 (ST) 00251

定義：依頼者フィールド#1。依頼者によって送られたテキストは、結果と共に返される。

OBR-19 Placer Field #2 依頼者フィールド#2 (ST) 00252

定義：依頼者フィールド#1 に類似。

OBR-20 Filler Field #1 実施者フィールド#1 (ST) 00253

定義：実施者(診断サービス)により任意の使用目的に定義可能。

OBR-21 Filler Field #2 実施者フィールド#2 (ST) 00254

定義：実施者フィールド#1 に類似 (実施者により任意の使用目的に定義可能)。

OBR-22 Results Rpt/Status Cheng - Date/Time 結果報告／状態変更一日時 (TS) 00255

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：結果の報告日時、あるいは状態の変更日時。このフィールドでは、結果を報告書に書込み・発行した日時を示す。あるいはオーダ状態に定義にされたような状態が入力・変更された日時を示す。通常、依頼側は最後に結果を受信した日時(前回更新日)より後で報告された結果だけ入力すべきである。(電文発信日ではない)

OBR-23 Charge To Practice 課金 (MOC) 00256

成分： <Monetary Amount (MO)> ^ <Charge Code (CWE)>

副成分 for Monetary Amount (MO): <Quantity (NM)> & <Denomination (ID)>

副成分 for Charge Code (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：適用可能な場合、実行された検査の為のオーダ全体の料金である。HIS は検査項目から課金情報を生成する。

OBR-24 Diagnostic Serv Sect ID 診断サービス部門 ID (ID) 00257

定義：診断を実施した診断サービス部門。検査が外部サービスによって実施された場合、そのサービスの ID がここに記録される。採りうる値は HL7 表 0074—診断サービス部門 ID-を参照。

HL7表 0074 - Diagnostic service section ID 診断サービス部門ID

Value	Description	Value	Description
AU	Audiology	OUS	OB Ultrasound
BG	Blood gases	OT	Occupational Therapy
BLB	Blood bank	OTH	Other
CUS	Cardiac Ultrasound	OSL	Outside Lab
CTH	Cardiac catheterization	PHR	Pharmacy

Value	Description	Value	Description
CT	CAT scan	PT	Physical Therapy
CH	Chemistry	PHY	Physician (Hx. Dx, admission note, etc.)
CP	Cytopathology	PF	Pulmonary function
EC	Electrocardiac (e.g., EKG, EEC, Holter)	RAD	Radiology
EN	Electroneuro (EEG, EMG, EP, PSG)	RX	Radiograph
HM	Hematology	RUS	Radiology ultrasound
ICU	Bedside ICU Monitoring	RC	Respiratory Care (therapy)
IMM	Immunology	RT	Radiation therapy
LAB	Laboratory	SR	Serology
MB	Microbiology	SP	Surgical Pathology
MCB	Mycobacteriology	TX	Toxicology
MYC	Mycology	VUS	Vascular Ultrasound
NMS	Nuclear medicine scan	VR	Virology
NMR	Nuclear magnetic resonance	XRC	Cineradiograph
NRS	Nursing service measures		

OBR-25 Result Status 結果状態 (ID) 00258

定義： このオーダの結果状態。状態は、オーダに関連する結果すべてに適用される。このフィールドへは、実施者しか値を設定することができない。各結果の状態が必要な場合、OBX-11—検査結果状態を使用することができる。取り得る値は HL7 表 0123—結果状態を参照。

HL7表 0123 - Result status 結果状態

Value	Description
O	Order received; specimen not yet received オーダ受信；検体未到着
I	No results available; specimen received, procedure incomplete 結果無効；検体到着、手続き不完全
S	No results available; procedure scheduled, but not done 結果無効；手続き予定未実施
A	Some, but not all, results available 部分的結果あり
P	Preliminary: A verified early result is available, final results not yet obtained 予備；初期結果確認無効、最終結果未確認
C	Correction to results 結果訂正
R	Results stored; not yet verified 結果ストア；未確認
F	Final results; results stored and verified. Can only be changed with a corrected result. 最終結果；結果格納・確認済。 訂正結果のみ書き換え可能
X	No results available; Order canceled. 結果無効；オーダキャンセル
Y	No order on record for this test. (Used only on queries) オーダによらない検査結果(参照のみ可能)
Z	No record of this patient. (Used only on queries) 患者に対する結果なし(参照のみ可能)

到着確認時 'I'、部分結果報告時 'A'、未承認結果報告時 'R'、最終結果報告時 'F' とする

OBR-26 Parent Result 親結果 (PRL) 00259

Component: <OBX-3-observation identifier of parent result(CWE)> ^ <OBX-4-sub-ID of parent result(ST)> ^ <OBX-5-observation results from parent (*)>

副成分 for Parent Observation Identifier (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは他のタイプ(例えば、毒物学)との連携を可能にするために定義される。この重要な情報は、OBR-29-親番号の情報と組み合わせ、このオーダに関する親結果の OBX セグメントを一意に識別する。親結果内の OBX セグメント値は、この検査セットが報告する生物や化学種を示す。例えば、現在の検査セットが感受性試験である場合、親結果の一意な OBX は、この感受性試験の対象となる生物である。親結果内の生物名が最終的に決定される前にいくつか変遷をたどることがあるので、この間接的な連係を使用するとよい。

第3成分には直接親結果の微生物名を記録する。この場合の生物は、親培養検査の結果どおりに記載すべきである。

このフィールドは、親結果が OBR-29-親番号によって識別される場合のみ必要になる。

標準に検査結果セグメント(OBX)を使用してこの情報を伝達する方法もある。生物が複数存在する場合、OBX-4—サブ ID で複数の生物種から個々を識別する。この場合、サブ ID N を持つ最初の OBX は、N 番目の微生物を識別する値を持つ。また、サブ ID N を持つ後続の OBX はそれぞれ、この生物の感受性試験に使用する感受性値を持つ。

OBR-27 Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ) 00221

定義： このフィールドは、HL7 V2.4 以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。本情報は TQ1 セグメントにて記述される。

このフィールドは1回のサービスで施すサービスの数、そのサービスの繰り返し数に関する情報を含んでいる。これにより要求の継続時間が決まる。

OBR-28 Result Copies To 結果配布先 (XCN) 00260

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: 検査報告書を受け取る人。ローカルの取り決めによって、ID 番号あるいは名前のいずれかを省略してもよい。報告書送付先として科別や病棟を指示してもよい。

OBR-29 Parent Number 親番号 (EIP) 00261

成分: <Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

副成分 for Placer Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Filler Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義: ORC-8 親と同一。ただし、OUL メッセージ (到着確認/検査結果) では、OML メッセージの ORC-2(ORC-3) と同一。LIS 内での受付時は OUL メッセージの ORC-2 と同一。

親子関係が存在する場合、このフィールドにより子供をその親に関連づける。例えば、前回の検査(例えば、血液培養で展開された抗生物質感受性)によって展開された検査は、このフィールドに親(血液培養)の実施者オーダ番号を記録する必要がある。子オーダの場合に、このフィールドが必要になる。親フィールドには、成分が2つある。第1成分には親の依頼者オーダ番号が入る。第2成分はオプションであり、ここには親の実施者オーダ番号が入る。このフィールドは、副成分をもつ、依頼者オーダ番号成分と実施者オーダ番号成分の2つの成分で伝達される。

OBR-30 Transportation Mode 患者搬送モード (ID) 00262

定義: 適用可能な場合、患者を搬送するかどうか(あるいは移動方法)。取り得る値は HL7 表 0124 - 患者移動モードを参照。

HL7表 0124 - Transportation Mode 患者移動モード

Value	Description
CART	Cart - patient travels on cart or gurney 患者はカートまたは担架で移動する
PORT	The examining device goes to patient's location 検査装置が患者のもとへ移動する
WALK	Patient walks to diagnostic service 患者は歩行により移動する
WHLC	Wheelchair 車いすを使用する

OBR-31 Reason For Study 検査理由 (CWE) 00263

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
 定義: 適切な検査を実施するのに検査理由を記述する。

OBR-32 Principal Result Interpreter 結果判定責任者 (NDL) 00264

成分: <Name (CNN)> ^ <Start Date/time (TS)> ^ <End Date/time (TS)> ^ <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)>
 副成分 for Name (CNN): <ID Number (ST)> & <Family Name (ST)> & <Given Name (ST)> & <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> & <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> & <Prefix (e.g., DR) (ST)> & <Degree (e.g., MD (IS))> & <Source Table (IS)> & <Assigning Authority - Namespace ID (IS)> & <Assigning Authority - Universal ID (ST)> & <Assigning Authority - Universal ID Type (ID)>
 副成分 for Start Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 副成分 for End Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 副成分 for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>
 定義: 検査結果を判断し、診断の内容に責任を負う医師あるいは臨床医。

OBR-33 Assistant Result Interpreter 結果判定アシスタント (NDL) 00265

成分: <Name (CNN)> ^ <Start Date/time (TS)> ^ <End Date/time (TS)> ^ <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)>
 副成分 for Name (CNN): <ID Number (ST)> & <Family Name (ST)> & <Given Name (ST)> & <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> & <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> & <Prefix (e.g., DR) (ST)> & <Degree (e.g., MD (IS))> & <Source Table (IS)> & <Assigning Authority - Namespace ID (IS)> & <Assigning Authority - Universal ID (ST)> & <Assigning Authority - Universal ID Type (ID)>
 副成分 for Start Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 副成分 for End Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 副成分 for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>
 定義: この検査結果の判断を支援した医療従事者。

OBR-34 Technician 医療技術者 (NDL) 00266

成分: <Name (CNN)> ^ <Start Date/time (TS)> ^ <End Date/time (TS)> ^ <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)>
 副成分 for Name (CNN): <ID Number (ST)> & <Family Name (ST)> & <Given Name (ST)> & <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> & <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> & <Prefix (e.g., DR) (ST)> & <Degree (e.g., MD (IS))> & <Source Table (IS)> & <Assigning Authority - Namespace ID (IS)> & <Assigning Authority - Universal ID (ST)> & <Assigning Authority - Universal ID Type (ID)>
 副成分 for Start Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 副成分 for End Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
 副成分 for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>
 定義: 実施担当医療従事者。

OBR-35 Transcriptionist 口述記録者(NDL) 00267

成分: <Name (CNN)> ^ <Start Date/time (TS)> ^ <End Date/time (TS)> ^ <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Patient Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)>

副成分 for Name (CNN): <ID Number (ST)> & <Family Name (ST)> & <Given Name (ST)> & <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> & <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> & <Prefix (e.g., DR) (ST)> & <Degree (e.g., MD (IS)> & <Source Table (IS)> & <Assigning Authority - Namespace ID (IS)> & <Assigning Authority - Universal ID (ST)> & <Assigning Authority - Universal ID Type (ID)>

副成分 for Start Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for End Date/time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義: 報告書の口述筆記を担当する人。通常、本フィールドは使用しない。

OBR-36 Scheduled - Date/Time スケジュール日時 (TS) 00268

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: 実施者がスケジュールした検査日時。このフィールドは、ある特定の検査をスケジュールして欲しいという要求に対する結果を表しており、これによりスケジュールされた検査日時を依頼者に通知することができる(結果専用)。

OBR-37 Number Of Sample Containers 検体容器数 (NM) 01028

定義: 受領検体容器の数。検体受領の検証のために使用、オーダの全検体数とは異なるかもしれない。同一検体・同一採取容器での採取量オーバーフロー時の採取容器本数を記述する。記述なしの場合を含め、通常は1と解釈する。本情報はSPMセグメントにて記述される。

OBR-38 Transport Logistics Of Collected Sample 採取検体搬送 (CWE) 01029

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは診断サービス実施者への検体到着で意味がある。これにより検査スケジュールや結果に要する期間などが可能となる。例えば、定期トラック便、郵便など。

OBR-39 Collector's Comment 採取者コメント (CWE) 01030

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検体に関する付加的コメント、例えば、「アルコール禁忌」「看護師採血」。検体採取時のコメントを記述する。

OBR-40 Transport Arrangement Responsibility 搬送調整者 (CWE) 01031

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 予約検査などで検体搬送の手配などを行った者。例えば、依頼者、実施者、患者など。

OBR-41 Transport Arranged 搬送調整結果 (ID) 01032

定義: 検体搬送手配の結果状態。

HL7表 0224 - Transport Arranged 搬送調整

Value	Description
A	Arranged 手配済み
N	Not Arranged 未手配
U	Unknown 不明

OBR-42 Escort Required 随行者要否 (ID) 01033

定義: 患者が診断サービス部門へ出向くに必要な随行者の要否。OBR-43の併用が一般的。

HL7表 0225 - Escort Required 随行者要否

Value	Description
R	Required 必要
N	Not Required 不要
U	Unknown 不明

OBR-43 Planned Patient Transport Comment 患者搬送コメント (CWE) 01034

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
 定義: 患者が診断サービス部門へ出向く際の搬送や随行に関するコメント。

OBR-44 Procedure Code 手続きコード (CWE) 00393

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
 定義: このフィールドは、もしあれば OBR-4 において報告された汎用サービス ID と共に関連した手続きに割り当てられた唯一の識別子である。使用者定義表 0088—手続きコードを参照。このフィールドは、臨床関連のシステムと互換性を取る為 CWE タイプである。

使用者定義表 0088 - Procedure Code 手続きコード

Value	Description	Comment
	no suggested values 推奨値なし	

OBR-45 Procedure Code Modifier 手続きコード修飾子 (CWE) 01316

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
 定義: このフィールドは OBR-44 において報告された手続きコードに適用できれば手続きコード修飾子を含む。手続きコード修飾子は、HCFA や AMA のような監督官庁によって定義される。多重修飾子が報告される場合もある。推奨値は使用者定義表 0340 - Procedure code modifier 手続きコード修飾子を参照。

使用者定義表 0340 - Procedure Code Modifier 手続きコード修飾子

Value	Description	Comment
	no suggested values 推奨値なし	

OBR-46 Placer Supplemental Service Information 依頼者補給サービス情報 (CWE) 01474

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
 定義: このフィールドは、依頼者システムから OBR-4 汎用サービス ID で報告された手続きコードにより実施者システムまで送られた補給サービス情報を含む。このフィールドは OBR セグメントの他の不明なオーダ詳細情報を解決する為に使われる。複数の補助サービス情報の要素が報告されるかもしれない。使用者定義表 0411 - Supplemental service information value 補助サービス情報値を参照。このフィールドは、検査が右部にされたか左部にされたか、例えば、検査部位が腕のどこかになされたかオーダマスタファイルには右腕か左腕か区別されない場合とか、(オーダマスタファイルに区別はなく)検査が対比有りか無しかで実施されたかというような詳細情報を記述するのに使われる。

OBR-47 Filler Supplemental Service Information 実施者発行の追加サービス情報 (CWE) 01475

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
 定義: このフィールドは、OBR-4 汎用サービス ID で報告されている処理コードのための実施者から依頼者に送付される補助サービス情報を含んでいる。このフィールドは、OBR セグメントの特別なフィールドとして、オーダでは利用できないオーダリング情報の詳細を報告するのに使われるであろう。実施者システムがこのフィールドを使って実際に果たした事を報告するケースでオーダが改変されない限りにおいては、典型的には、それは OBR-46—依頼者発行の追加サービス情報の中の実施者システムへ送られた情報と同じ情報を反映するであろう。複数の補助サービス情報の要素が報告され

るかもしれない。使用者定義表 0411 - Supplemental service information values. 補助サービス情報値を参照。

このフィールドは、検査が右部にされたか左部にされたか、例えば、検査部位が腕のどこかになされたがオーダマスタファイルには右腕か左腕か区別されない場合とか、(オーダマスタファイルに区別はなく)検査が対比有りか無しかで実施されたかというような詳細情報を記述するのに使われる。

使用者定義表0411 - Supplemental service information values 補助サービス情報値

Value	Description
	no suggested values 推奨値なし

OBR-48 Medically Necessary Duplicate Procedure Reason 医学的に必要な重複手続きの理由(CWE) 01646

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、OBR-44- 手続きコード内の手続きが、同じ患者に関する同じ日のサービスに対して既にオーダ或いは課金されたものと重複している場合に記録する目的で使用される。かつ医学的に必要と判断された場合に限る。理由は、コード化されるか自由なテキスト形式で入力される。このフィールドは、誰に重複した手続きによって請求するか会計システム情報を提供することを意図している。 推奨値は使用者定義表 0476—医学的に必要な重複手続きの理由を参照。

**使用者定義表 0476 - Medically Necessary Duplicate Procedure Reason
医学的に必要な重複手続きの理由**

Value	Description	Comment
	no suggested values 推奨値なし	

OBR-49 Result Handling 結果の取り扱い (IS) 01647

定義: 結果の取り扱いに関する情報伝達。例えば、あるオーダでは、結果（例えば、X線フィルム）は患者に与えられるべきで、これは請求者に対する成果である。推奨値に関しては、使用者定義表 0507—結果の取り扱いを参照のこと。仮にこのフィールドが入力されていない場合、通常の手取扱いを意味する。

使用者定義表 0507 - Result Handling 結果の取り扱い

Value	Description	Comment
F	患者へのフィルム提供	
N	準備が出来次第通知	

7.9 OBX - Observation /Result Segment 検査結果セグメント

OBXセグメントは検査結果を転送するのに使用される。OBXセグメントはCDAドキュメントやDICOMイメージのようなカプセル化されたデータも含むことが出来る。

その主な機能は報告メッセージで検査関連情報を伝達することである。しかし、OBXを検査オーダに含めることもできる。この場合、OBXは実施者が作成する検査の解釈のために実施者が必要とする臨床情報を伝送する。例えば、GOT、GPT、HBs抗体といった項目だけでなく、身長、体重といった属性情報を報告する場合にOBXが必要である。検査結果コメントをセットしたい場合、検査結果コメントの扱いを参照すること。例えば、血中酸素濃度を血液ガス検査室へオーダする場合に呼気酸素を報告するのにOBXは必要であり、あるいはパニコロウ塗末試験を細胞診検査室へオーダする場合に含まれているべき月経周期情報を報告するためにもOBXは必要である。またOBRで多項目検査の内容が不明確な場合、OBXで個々の検査項目を指示することも可能である。例えばOBRで肝炎セット、OBXでGOT、GPT、HBs抗体や、OBRで100g糖負荷試験、OBXで血糖前値、血糖30分値など。また、検査結果コメントをセットしたい場合、検査結果コメントの扱いを参照すること。

HL7属性表－OBX－Observation/Result 検査結果

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	C			Set ID – OBX セットID-OBX
2	3	ID	C	C		0125	Value Type 値型
3	250	CWE	R	R			Observation Identifier 検査項目
4	20	ST	C	C			Observation Sub-ID 検査副ID
5	99999	varies	C	C	Y		Observation Value 検査値
6	250	CWE	O	O			Units 単位
7	60	ST	O	O			References Range 基準値範囲
8	5	IS	O	O	Y	0078	Abnormal Flags 異常フラグ
9	5	NM	O	O			Probability 確率
10	2	ID	O	O	Y	0080	Nature of Abnormal Test 異常検査の性質
11	1	ID	R	R		0085	Observation Result Status 検査結果状態
12	26	TS	O	O			Effective Date of Reference Range 基準値範囲有効日付
13	20	ST	O	O			User Defined Access Checks 使用者定義アクセス点検
14	26	TS	O	O			Date/Time of the Observation 検査日時
15	250	CWE	O	O			Producer's ID 実施者ID
16	250	XCN	O	O			Responsible Observer 検査責任者
17	250	CWE	O	O	Y		Observation Method 検査方法
18	22	EI	O	O	Y		Equipment Instance Identifier 装置ID
19	26	TS	O	O			Date/Time of the Analysis 分析日時

OBX フィールド定義

OBX-1 Set ID – OBX セットID-OBX (SI) 00569

定義： 同一のOBRセグメントに対し1から付番される通し番号。

OBX-2 Value Type 値型 (ID) 00570

定義： OBX内の検査結果値のフォーマット。値がCWEである場合、結果はコード化入力値でなければならない。値型がTXまたはFTである場合、結果はテキスト群である。値型の検査で採りうる値はHL7表0125-値型に列記される。例えば、NMは有効な型であるが、通常数字として報告される検査では、結果の一部として非数値文字が報告されることが多いので(結果が測定器で計りきれないことを示すために>300を使う場合など)、文字列(ST)データ型を持つことがある。例えば、">300"では、">"は記号であり桁"300"は数値と考えられる。(この場合SNデータ型を用いるのがよい。)

以下を除くすべてのHL7データ型が有効である。

CM: 特定のデータ型でないから、

CQ: OBX-5-検査値の単位は、OBX-6-単位に必ず明示的に指定されるから、

SI及びID: HL7メッセージセグメント以外に適用されないから。

実際の検査値がOBXでは送られていないが、他のどこかに存在する場合、RP値(参照ポインタ)を使用しなければならない。例えば、検査が画像(ドキュメント関連画像あるいは医学関連画像)から成る

場合、画像そのものは OBX で送ることができない。その場合送信システムは、参照ポインタを送信するよう選択することができる。受信システム側は、DICOM などの他の標準インターフェースにより、あるいは適切なデータベースサーバーにより実際の画像へアクセスする必要がある場合は、この参照ポインタを使用することができる。

HL7表 0125 - Value type 値型

Value	Description
AD	Address
CWE	Coded With Exceptions
CF	Coded Element With Formatted Values
CK	Composite ID With Check Digit
CN	Composite ID And Name
CP	Composite Price
CX	Extended Composite ID With Check Digit
DT	Date
ED	Encapsulated Data
FT	Formatted Text (Display)
MO	Money
NM	Numeric
PN	Person Name
RP	Reference Pointer
SN	Structured Numeric
ST	String Data.
TM	Time
TN	Telephone Number
TS	Time Stamp (Date & Time)
TX	Text Data (Display)
XAD	Extended Address
XCN	Extended Composite Name And Number For Persons
XON	Extended Composite Name And Number For Organizations
XPN	Extended Person Number
XTN	Extended Telecommunications Number

値型の詳細については JAHIS データ交換規約共通編 Ver.1.1 の 2.5 節、データ型を参照のこと。

構造化数値データ型 (SN) は、範囲報告(e.g., 3-5 or 10-20)、力値(e.g., 1:10)、範囲外指標(e.g., >50)などを構造化ならびにコンピュータで理解できる方法で提供する。

OBX セグメントでは FT データ型の使用を許しているが推奨しない。書式化テキストは、例えば、独立した 3 つの診断を夫々の行で報告するようリストなど、通常意味のある構造を持っている。しかし理想的には、独立した 3 つの診断文の構造は 3 つの個別の OBX セグメントとして報告すべきである。

TX データ型は大量のテキストを送るとき以外使用すべきではない。TX データ型は反復区切記号が段落の区切として使用できるだけである。短くそしておそらくコード化できるテキスト文字列を送るためには ST データ型を使用すべきである。

CDA ドキュメントは ORU または OUL のようなドキュメントを交換できるすべてのメッセージ中の OBX セグメントによって交換される。OBX セグメント内では MIME パッケージはカプセル化 (ED) データ型としてコード化される。

OBX-3 Observation Identifier 検査項目 ID (CWE) 00571

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検査項目を表す一意な識別子。例: 5F190143002315151^HSV-1 抗原^JC10。日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード体系に則りコーディングされた検査項目コードを使用(結果識別も含む)。検査結果コメントをセットする場合、検査項目 ID を接尾辞で修飾したコードを用いる。検査項目コードならびに検査結果コメントについては第 5 章を参照すること。

OBX-3 のコードとして日本臨床検査医学会検査項目分類コードを用いた場合、そのコード体系による検査依頼項目コードには検査材料も含まれているが、その検査材料と異なる検査材料で検査を実施する場合もある。実際に提出する検査材料は SPM セグメントで明示する。

OBX-4 Observation Sub-ID 検査サブ ID (ST) 00572

定義: 1 つの OBR の下で編成された複数の OBX セグメントが同じ検査項目 ID を持つ場合、それぞれの OBX セグメントを識別するのに使う。

例えば、同定菌名、菌量の関係を識別するために使用する。

OBR|1|000000233000008|108070001536200|6B010000000174200^培養同定(一般細菌)^JC10|||...<cr>
 OBX|1|CWE|6B010000000174214^培養同定(一般細菌)^JC10|1|1201^Enterococcus faecalis^JNS|...<cr>
 OBX|2|ST|6B010000000174201^定量^JC10|1|10E5|||||F||R|20100929<cr>
 OBX|3|CWE|6B010000000174214^培養同定(一般細菌)^JC10|2|2152^Enterobacter aerogenes^JNS|...<cr>
 OBX|4|ST|6B010000000174201^定量^JC10|2|>=10E7|||||F||R|20100929<cr>
 OBX|5|CWE|6B010000000174214^培養同定(一般細菌)^JC10|3|7001^Candida albicans^JNS|...<cr>
 OBX|6|ST|6B010000000174201^定量^JC10|3|<=10E3|||||F||R|20100929<cr>

OBX-5 Observation Value 検査結果値 (varies) 00573

定義：検査実施者により検査された検査結果値。検査結果値はこのセグメント中の OBX-2 一値型で設定されるデータ型に応じて表記される。

OBX-6 Units 単位 (CWE) 00574

成分：<identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：単位のデータ型は CWE データ型である。標準化された単位体系の使用が望まれる。

IHE Laboratory Technical Framework では、UCUM の使用を推奨している。

OBX-7 References Range 基準値範囲 (ST) 00575

成分：数値型データの場合の書式は次のようである：

- 下限値 - 上限値 (下限値と上限値の両方が定義された場合。例えば、3.5 - 4.5 の様に記載する)
- >下限値 (上限値が存在しない場合。例えば、>10)
- <上限値 (下限値が存在しない場合。例えば、<15)

文字型データの場合：正常値をこのフィールドに記載する。

定義：OBX-3 で示された検査項目の、基準値範囲を記載する。

OBX-8 Abnormal Flags 異常フラグ (IS) 00576

定義：検査結果の状態を示す。

使用者定義表 0078 Abnormal Flags 異常フラグ

Value	Description
space	基準値内
L	Below low normal 基準値下限以下
H	Above high normal 基準値上限以上
LL	Below lower panic limits パニック下限以下
HH	Above upper panic limits パニック上限以上
<	Below absolute low-off instrument scale 測定限界下限未満
>	Above absolute high-off instrument scale 測定限界上限越
N	Normal (applies to non-numeric results) 正常(非数値結果に適用)
A	Abnormal (applies to non-numeric results) 異常(非数値結果に適用)
AA	Very abnormal (applies to non-numeric units, analagous to panic limits for numeric units) 非常に異常(数値単位のパニック値に対応するが、これは非数値単位に適用される)
null	No range defined, or normal ranges don't apply 範囲未定義、もしくは正常が適用されない
U	Significant change up 大幅な上昇変化
D	Significant change down 大幅な下降変化
B	Better--use when direction not relevant 改善 — 方向が適用されない場合使用
W	Worse--use when direction not relevant 悪化 — 方向が適用されない場合使用
For microbiology sensitivities only : 微生物感受性の場合のみ	
S	Sensitive 敏感
R	Resistant 耐性
I	Intermediate 中間
MS	Moderately sensitive 少し敏感
VS	Very sensitive 過敏

OBX-9 Probability 確率 (NM) 00577

定義：定性値を持つ結果の場合、結果が真である確率(結果が特定のコードとなる確率)。主として離散的コード化結果に適用される。0~1(0 と 1 を含む)の ASCII 文字列で表した 10 進数である。

OBX-10 Nature of Abnormal Test 異常検査の特質 (ID) 00578

定義：判定の元になった集団を指示する。採りうるコードについては、HL7 表 0080—異常検査の特質—を参照。複数のコードを適用できる。コードは反復区切記号で分離され、例えば、年齢、性別および人種に基づいた正常値は、A～S～R となる。

HL7表 0080 Nature Of Abnormal Testing 異常検査の特質

Value	Description
A	An age-based population 年齢別集団
N	None - generic normal range 無し — 一般正常範囲
R	A race-based population 人種別集団
S	A sex-based population 性別集団
SP	Species 種
B	Breed 品種
ST	Strain 血統

OBX-11 Observation Result Status 検査結果状態 (ID) 00579

定義：採りうるコードについては、HL7 表 0085—検査結果状態を参照。このフィールドは、1つの検査項目についての、現在の結果状態を反映する。

検査依頼時に動的に検査要求を指定しなければならない場合、例えば、糖負荷試験におけるサンプリング時間（前、30、60、120 分など）、OBX セグメントの結果状態を“O”とすることでOMG、OML メッセージにおける検査項目の定義として使用できる。その場合検査項目は必須であるがOBX-2、OBX-5 は Null である。到着確認メッセージの場合はこのフィールドの値は“I”とする。

コード F は結果が正しくかつ最終であると検証されたことを示す。コード W は結果が誤っている（正しくない）と検証されたことを示す；置換（修正）された結果が後で送信されるであろう。コード C はOBX-5検査値フィールドに含まれたデータで、同じ検査 ID やサブ ID を持つ以前に送信された検証済み最終結果データを、置換したことを示す。コード D は以前に送信された同じ検査 ID およびサブ ID の結果セグメントを削除することを示す。結果を変更・削除する場合、同じ検査 ID およびサブ ID の複数の OBX セグメントは、1 単位として置換・削除される。中間（例えば、「グラム陽性球菌」）から最終（例えば、「ぶどう状球菌アウレウス」）といった結果の正常な進行の場合、C（修正）として送信すべきでない；それらは最終になるまで P あるいは S（特定の場合に依存）として送信すべきである。

HL7表 0085 - Observation Result Status Codes Interpretation 検査結果状態

Value	Description
C	Record coming over is a correction and thus replaces a final result 到着レコードは修正であり結果を書き換え
D	Deletes the OBX record OBX レコードを削除する
F	Final results; Can only be changed with a corrected result. 最終結果： 修正結果でのみ変更可能
I	Specimen in lab; results pending 臨床検査室に検体が到着した（結果保留）
N	Not asked; used to affirmatively document that the observation identified in the OBX was not sought when the universal service ID in OBR-4 implies that it would be sought.
O	Order detail description only (no result) 依頼詳細記述（結果なし）
P	Preliminary results 事前結果
R	Results entered -- not verified 結果を入力 — 未検証
S	Partial results 部分結果
X	Results cannot be obtained for this observation この検査では、結果は得られない
U	Results status change to Final. without retransmitting results already sent as 'preliminary'. 結果状態を最終へ変更。結果は変化しなかった(テストを転送しない) 例えば、放射線科により状態が事前から最終へ変更される
W	Post original as wrong, e.g., transmitted for wrong patient

OBX-12 Effective Date of Reference Range 基準値範囲有効日付 (TS) 00580

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：測定方法の変更により、旧方式で得られた値が新規方式で得られた値と比較できなくなる場合、そのような測定方法の変更日付などを表す。

OBX-13 User Defined Access Checks 使用者定義アクセス点検 (ST) 00581

定義：受信システムで検査結果を分類するのに使用する条件を記述する。

ほとんどの分類は固定の検査 ID 属性であり、関連検査マスタファイルで定義することができるので、このフィールドはめったに必要とされない。

国内では、OML 送信時、OBX-13 に、TQ1-9 優先度と同様の HL7 表 0485—拡張優先度コード—セットする事で、依頼項目ごとの優先度を指定するものとしている（通常 'S' (Stat)、'A' (ASAP)、'R' (Routine) のみを用いる）。これは他のオーダに対する優先度を示すものではなく、同一オーダ内

他の項目に対する優先度を指示するものとなる。例えば、OBX-13に'S'がセットされた項目は、同一オーダ内のほかの項目に対して、早く処理する事が望まれている。

IHE Laboratory Technical Framework では実施者が 'P' を入力する事によって、結果の中には特権ユーザしかアクセスできないものがあることを知らせることができるとしている。

OBX-14 Date-Time Of the Observation 検査日時 (TS) 00582

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: 検体に対して行われる測定の場合は、該当日時は検体採取日時である。患者に対して直接行われる測定(例えば、X線画像、病歴、身体測定)の場合には、検査日時は測定が行われた日時である。

OBX-15 Producer's ID 実施者 ID (CWE) 00583

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検査実施責任者の一意な識別子。例えば、検査結果が外部検査室により提供される場合、実施者 ID を明示的に報告すべきである。このフィールドが null の場合、受信システム側は、送信施設が検査を実施したと仮定する。

OBX-16 Responsible Observer 検査責任者 (XCN) 00584

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE): <identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system (ID)> & <coding system version ID (ST)> & <alternate coding system version ID (ST)> & <original text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: 要求された場合、検査に直接責任を負う個人(つまり検査を実行、もしくは検証した人)の識別子。看護部門では、検査実施者は通常、検査(血圧測定)を実行した専門家である。検査室では、検査実施者は解析を実行・検証した医療技術者である。検査実施者を表すコードはCWEデータ型として記録される。ローカルコードとしてコードを送る場合、OBX-15—実施者 ID と組み合わせた時に、一意にして明白でなければならない。

OBX-17 Observation Method 検査方法 (CWE) 00936

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)>
^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version
ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検査項目案内などで公表している検査方法と異なる検査方法を実施した場合などはここに明示する。OBX-3 のコードとして日本臨床検査医学会検査項目分類コードを用いた場合、そのコード体系に検査方法も含まれる。その検査方法と異なる検査方法によって検査結果を得た場合は、本フィールドに実施した検査方法を明示する。

OBX-18 Equipment Instance Identifier 装置 ID (EI) 01479

成分: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type
(ID)>

定義: このフィールドは検査の実施に関わった実際の装置 (例えば、分析器、分析器モジュール、分析器のグループ、...) を識別する。このフィールドの繰返しが装置(最下位レベルが最初)の階層的表現のために許されている、例えば、ひとつの機器のモジュール、複数のモジュールからなる機器、多数の機器の集合体、など。

OBX-19 Date/time of the Analysis 分析日時 (TS) 01480

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは装置 ID(上記参照)で特定される機器によって、分析結果を得られた日時を示す。

7.10ORC - Common Order Segment 共通オーダーセグメント

共通オーダーセグメント(ORC)は、すべてのオーダーに共通なデータ要素を伝達するために使用される(要求されるすべてのタイプのサービス)。

ORC のフィールドとオーダー詳細セグメントの中のフィールドとの間にいくつかの重複がある。これらは以下の節に述べる。原則として、ORC と OBR に重複する情報は、OBR セグメントのものを優先する。

ORC 使用注記

a) 依頼者オーダーグループ

本規格では、複数のオーダーを 1 つのグループに集めるメカニズムをサポートする。大抵の場合、これは 1 人の患者に対して「依頼セッション」を表すために使用される。

オーダーグループは、ORC-4 依頼者グループ番号に関連するオーダー(ORCs)のリストである。グループは、依頼者が最初のオーダーに依頼者グループ番号を付けた時に確立する。オーダーグループは、同じ依頼者グループ番号を有するすべての ORCs およびすべての詳細セグメントから成る。オーダーは、グループからキャンセルを使用して除去したり、置換や親子メカニズムを使用して追加したりできる。新規オーダーは、その他の方法でのグループへの追加はできない。

b) 重複フィールド

ORC は、すべてのオーダー(すなわち要求されたサービス)に共通なフィールドを一様に定義するよう意図されている。ただし、一部の ORC フィールドは、一部のオーダー詳細セグメント(例えば、OBR、RXO)では重複する。例えば、ORC-2 依頼者オーダー番号は、OBR-2 依頼者オーダー番号フィールドと同じ意味および目的を持つ。これによって過去のバージョンおよび ASTM との上位互換性が保たれる。

これらのフィールドを使用する規則では、ORC に現れない値はオーダー詳細セグメントに現れなければならない。しかし、両方の箇所に値を入れて混乱を避けることが望ましい。

c) 親子 — キャンセル、保留、中断

親オーダーのキャンセル、保留または中断の要求の伝達は、その要求は親オーダーおよびすべての関連の子オーダーに対して再帰的に適用されるよう意図されている。

HL7属性表 - ORC - Common Order 共通オーダー

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP#	TBL#	ELEMENT NAME
1	2	ID	R	R		0119	Order Control オーダー制御
2	22	EI	C	C			Placer Order Number 依頼者オーダー番号
3	22	EI	C	C			Filler Order Number 実施者オーダー番号
4	22	EI	O	O			Placer Group Number 依頼者グループ番号
5	2	ID	O	O		0038	Order Status オーダー状態
6	1	ID	O	O		0121	Response Flag 応答フラグ
7	200	TQ	B	B	Y		Quantity/Timing 数量/タイミング
8	200	EIP	O	O			Parent 親
9	26	TS	O	O			Date/Time of Transaction トランザクション日時
10	250	XCN	O	O	Y		Entered By 入力者
11	250	XCN	O	O	Y		Verified By 検証者
12	250	XCN	O	O	Y		Ordering Provider 依頼者
13	80	PL	O	O			Enterer's Location 入力場所
14	250	XTN	O	O	Y/2		Call Back Phone Numberコールバック用電話番号
15	26	TS	O	O			Order Effective Date/Time オーダー有効日時
16	250	CWE	O	O			Order Control Code Reasonオーダー制御コードの理由
17	250	CWE	O	O			Entering Organization 入力組織
18	250	CWE	O	O			Entering Device 入力装置
19	250	XCN	O	O	Y		Action By 発動者
20	250	CWE	O	O		0339	Advanced Beneficiary Notice Code 受益者通知コード
21	250	XON	O	O	Y		Ordering Facility Name オーダー施設名
22	250	XAD	O	O	Y		Ordering Facility Address オーダー施設住所
23	250	XTN	O	O	Y		Ordering Facility Phone Number オーダー施設電話番号

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP#	TBL#	ELEMENT NAME
24	250	XAD	O	O	Y		Ordering Provider Address オーダ依頼者住所
25	250	CWE	O	O			Order Status Modifier オーダ状態修飾子
26	250	CWE	C	O		0052	Advanced Beneficiary Notice Override Reason 受益者通知上書き理由
27	26	TS	O	O			Filler's Expected Availability Date/Time 実施者可能日時
28	250	CWE	O	O		0177	Confidentiality Code 守秘コード
29	250	CWE	O	RE		0482	Order Type オーダタイプ
30	250	CNE	O	O		0483	Enterer Authorization Mode 入力者承認モード

ORC フィールド定義

ORC-1 Order Control オーダ制御 (ID) 00215

定義：オーダセグメントの機能を決定する。取りうる値はHL7表0119-オーダ制御を参照。コードは大別すると次の3つのカテゴリに入る。

a) イベント要求

イベントを発動するために、『NW』（新規オーダ）とか『CA』（オーダ要求のキャンセル）のようなコードが使用される。

b) イベント応答承認

イベント要求に返答するために、『OK』（オーダが受け入れられた）とか『CR』（要求されたようにオーダが取り消された）のようなコードが使用される。

c) イベント通知

イベントが発生したことを他のアプリケーションに知らせるために、『OC』（オーダが取り消された）とか『OD』（オーダが中断された）のようなコードが使用される。いかなるアプリケーション応答も必要としない。

イベント要求コードは、イベントを発動することを意図する。イベント応答コードは、イベントを要求したアプリケーションに回答することを意図する。イベント通知コードは、他のアプリケーションに例えば、次のようなことを知らせることを意図する。すなわち実施者がオーダに対し何かアクションを取りそれを他のアプリケーション、例えば、依頼者が知る必要がある場合等である。

実施者、依頼者、および他のアプリケーションは、イベント要求、イベント応答、およびイベント通知型トリガイイベントを相互互換的に使用できる。しかしながら、あるオーダ制御コード(例 CR)は実施者のみが生成することができ、他のオーダ制御コード(例 CA)は依頼者のみが生成することができる。

HL7表 0119 – Order Control Code オーダ制御コード

Value	Description	Comment
AF	Order/service refill request approval 補充オーダ要求承認	Placer Applications. AFは依頼者が補充または補充の量を許可するRFへの応答である。
CA	Cancel order/service request オーダキャンセル要求	Placer Applications. オーダキャンセルは、以前にオーダしたサービスを実施者に行わせないようにする依頼者からの要求である。キャンセル要求の確認は、実施者によって行われる、例えば、CRのORC-1オーダ制御値)を持つメッセージである。 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR—要求通りオーダキャンセル完了、UC—オーダキャンセル不能。
CH	Child order/service 子オーダ	Placer or Filler Applications. PAとあわせて使用—親オーダコントロールコード。詳細はPAオーダコントロールコードを参照。
CN	Combined result 統合検査結果	Filler Applications. 統合検査結果コードは、複数のオーダに関連する結果を送るためのメカニズムを提供する。この状態は、放射線科医が通常複数のオーダで表示された複数の検査に対して単一のレポートを作成するときの放射線科レポートに見られる。例えば、放射線科医はリウマチ性の関節炎患者のひざと手のフィルムに対してひとつのレポートを生成することがある。 その結果報告のときに、最後のORCを除くREはすべてCNコードに置換される、結果は最後のORCとそのOBRIに続く。以下3つのORCに対する単一のレポート例は下記の通りである。 MSH ...<cr> PID ...<cr> ORC CN ...<cr>

Value	Description	Comment
CR	Canceled as requested 要求通りオーダーキャンセル完了	OBR 1 A4461XA^HIS 81641^RAD 73666^Bilateral Feet ...<cr> ORC CN ...<cr> OBR 2 A4461XB^HIS 81642^RAD 73642^Bilateral Hand PA ...<cr> ORC RE ...<cr> OBR 3 A4461XC^HIS 81643^RAD 73916^Bilateral Knees ...<cr> OBX 1 CE 73916&IMP 1 Radiologist's Impression ...<cr> OBX 2 CE 73642&IMP 1 Radiologist's Impression ...<cr> OBX 3 FT 73642&GDT 1 Description ...<cr> Filler Applications. キャンセル (依頼者アプリケーションからのCA) の要求が成功したことを示す実施者アプリケーションからの応答
DC	Discontinue order/service request オーダー中断要求	Placer Applications. 実施者アプリケーションに前もって要求したサービスを中断するための依頼者アプリケーションからの要求。中断とキャンセルの違いとして、中断はオーダー/サービスおよび今後起こるすべての動作に影響、キャンセルは現在のアクションだけに影響する。 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR—要求通りオーダーキャンセル完了、UC—オーダーキャンセル不能
DE	Data errors データエラー	Placer or Filler Applications.
DF	Order/service refill request denied 補充オーダー要求拒否	Placer Applications. 補充許可(RF)に対する実施者アプリケーションの応答、DFは依頼者がオーダーの補充を許可しないことを意味する。ORC-16オーダー制御コードの理由は要求拒否の理由を意味する。提案された値は以下を含む： AA Patient unknown to the provider 患者は依頼者、提供者、医療機関(provider)に知られていない。 AB Patient never under provider care 依頼者の看護下の患者ではない AC Patient no longer under provider care 依頼者の長期看護下の患者ではない AD Patient has requested refill too soon 患者はすぐに補充を要請した AE Medication never prescribed for the patient 患者の薬剤は一度も処方されていない。 AF Patient should contact provider first 患者は最初に依頼者に連絡しなければならない AG Refill not appropriate 補充は適していない。 注：これらの値はNCPDP SCRIPT応答セグメントコードリストに由来する。 資料の複製は©National Council for Prescription Drug Programs, Inc. (米国規格協会認定の機関) 1988, 1992, 2002 NCPDPの承諾を得てください。
DR	Discontinued as requested 要求通りオーダー中断	Filler Applications. 実施者は、中断 (依頼者アプリケーションからのDC) の要求に応じて、オーダー/サービスを中断する。
FU	Order/service refilled, unsolicited 補充オーダー済、未承諾	Filler Applications. FUは依頼者に実施者が患者要求のオーダーに対して補充を発行したことを通知する。
HD	Hold order request オーダー保留要求	Placer Applications. 一般的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる、CR—要求通りオーダーキャンセル完了、UC—オーダーキャンセル不能。
HR	On hold as requested 要求通りオーダー保留	Filler Applications.
LI	Link order/service to patient care problem or goal 患者看護プロブレムまたはゴールへのリンクオーダー	Placer or Filler Applications. 本規約では取り扱わない。 詳細はHL7 V2.5 第12章：患者看護を参照。

Value	Description	Comment																								
NA	Number assigned 割り当て番号	Placer Applications. オーダー番号の要求に関与する3つの状態がある（ORC-2－依頼者オーダー番号またはORC-3－実施者オーダー番号）。 (1) 実施者アプリケーションが、例えば、HISのような中央型アプリケーションからORC-3－実施者オーダー番号を要求する必要があるとき。 SN－送信オーダー番号コードは、実施者が集中アプリケーション（下記の表で“other”と呼ばれている）例えば、中央HISからORC-3－実施者オーダー番号を要求するためのメカニズムを提供する。これはSNのORC-1－オーダー制御値を含んでいるORMメッセージを送ることによって行う。このORCはNullのORC-3－実施者オーダー番号とORC-2－依頼者オーダー番号を持つ。これらは実施者がオーダーを開始するとき、実施者アプリケーションによって作成されたものである。 オーダー（SN型）メッセージは、以下2つの方法のいずれかで応答される： a) OKのORC-1－オーダー制御値を持つオーダーアプリケーションACKメッセージ。未承諾オーダーメッセージは、割り当てられた実際の数値を提供するためにNAのORC-1－オーダー制御値NAのORCを含み、後で送ることができる。 b) 以下に記載のNAのORC-1－オーダー制御値を含むオーダーアプリケーションACKメッセージ NA－コードを割り当てられた番号は“other”アプリケーションが最近割り当てられた実施者オーダー番号を実施者アプリケーションに知らせることを許可する。NAのORC-1－オーダー制御値は、ORC-2－依頼者オーダー番号（SN値を持つORCから）および最近割り当てられた実施者オーダー番号を含む。 <table><tr><th>Code</th><th>From</th><th>ORC-2-Placer Order Number</th><th>ORC-3-Filler Order Number</th></tr><tr><td>SN</td><td>filler application</td><td>placer order number*filler application ID</td><td>Null</td></tr><tr><td>NA</td><td>other application</td><td>placer order number*filler application ID</td><td>filler order number*filler application ID</td></tr></table> Note: Both the placer order number and the filler order number have the filler's application ID 注：依頼者オーダー番号と実施者オーダー番号は実施者のアプリケーションIDを持ちます。 (2) 実施者アプリケーションはその他のアプリケーション（例：オーダーエントリ）からORC-2依頼者オーダー番号を要求する必要があるとき SN－送信オーダー番号コードは、実施者アプリケーションがORC-2－依頼者オーダー番号をその他のアプリケーション（下記表で“other”と記載）から要求するためのメカニズムを提供する。これはSNのORC-1－オーダー制御値を含みオーダーメッセージを送ることによって行う。このORCはnullのORC-2－依頼者オーダー番号とORC-3－実施者オーダー番号を持つ。これらは実施者がオーダーを開始するとき、実施者アプリケーションによって作成されたものである。 オーダー（SN型）メッセージは、2つの方法によって応答される。 a) OKのORC-1－オーダー制御値を含むオーダーアプリケーションACKメッセージ。修正オーダーメッセージは、割り当てられた実際の番号を提供するためNAのORC-1－オーダー制御値を含んでいて、後で送られる。 b) 以下で述べるNAのORC-1－オーダー制御値を含むオーダーACKメッセージ。 NA－コードを割り当てられた番号は、“other”アプリケーションが新しく割り当てられたORC-2－依頼者オーダー番号を実施者アプリケーションに知らせることを許す。ORCはNAのORC-1－オーダー制御値、新しく割り当てられたORC-2－依頼者オーダー番号、およびORC-3－実施者オーダー番号（SN値を持つORCから）を含む。 <table><tr><th>Code</th><th>From</th><th>ORC-2-Placer Order Number</th><th>ORC-3-Filler Order Number</th></tr><tr><td>SN</td><td>filler application</td><td>Null</td><td>filler order number*filler application ID</td></tr><tr><td>NA</td><td>other application</td><td>placer or filler number*placer application ID</td><td>filler order number*filler application ID</td></tr></table> Note: The new ORC-2-placer order number has the placer's application ID 注：新しいORC-2依頼者のオーダー番号は依頼者のアプリケーションIDを持ちます。 3) アプリケーション（実施者アプリケーションではない）が、新規オーダーのORC-3実施者オーダー番号	Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number	SN	filler application	placer order number*filler application ID	Null	NA	other application	placer order number*filler application ID	filler order number*filler application ID	Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number	SN	filler application	Null	filler order number*filler application ID	NA	other application	placer or filler number*placer application ID	filler order number*filler application ID
Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number																							
SN	filler application	placer order number*filler application ID	Null																							
NA	other application	placer order number*filler application ID	filler order number*filler application ID																							
Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number																							
SN	filler application	Null	filler order number*filler application ID																							
NA	other application	placer or filler number*placer application ID	filler order number*filler application ID																							

Value	Description	Comment																					
		号を割り当てたい場合。 NW – オーダを作成するアプリケーション（実施者アプリケーションではない）が、新規オーダの実施者オーダ番号を割り当てたいとき。 または RO –（RPIに続くRO）この場合、“other”のアプリケーションがORC3－実施者オーダ番号を完成する。このときには実施者オーダ番号の2番目の項目として、実施者アプリケーションIDを使用する。 <table><tr><th>Code</th><th>From</th><th>ORC-2-Placer Order Number</th><th>ORC-3-Filler Order Number</th></tr><tr><td>NW or RO</td><td>Other application to filler application</td><td>placer order number*placer application ID</td><td>filler order number*filler application ID</td></tr></table>	Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number	NW or RO	Other application to filler application	placer order number*placer application ID	filler order number*filler application ID													
Code	From	ORC-2-Placer Order Number	ORC-3-Filler Order Number																				
NW or RO	Other application to filler application	placer order number*placer application ID	filler order number*filler application ID																				
NW	New order/service 新規オーダ	Placer Applications. NAのコメントを参照－番号は割り当て																					
OC	Order/service canceled オーダキャンセル完了	Filler Applications.																					
OD	Order/service discontinued オーダ中断	Filler Applications.																					
OE	Order/service released オーダ開放	Filler Applications.																					
OF	Order/service refilled as requested 要求通り補充オーダ済	Filler Applications. OFは依頼者システムからの補充要求に直接応答する。																					
OH	Order/service held オーダ保留	Filler Applications.																					
OK	Order/service accepted & OK オーダ受付&OK	Filler Applications. NAのコメントを参照－番号割り当て。																					
OP	Notification of order for outside dispense 外部調剤へのオーダ通知	Placer Applications. これらオーダ制御コードはオーダが情報提供目的とされるシステム間でオーダを通信するために使用される。例えば、通信システムの企業外部のベンダーによってオーダは実行される。通信システムでは、臨床継続性のためのオーダに関連した情報の維持が必要であるが、オーダされたサービスを実行するアクションを意図するものではない。 OPIはNWの情報提供バージョンを表す。PYIはROだけの情報提供バージョンといえる。NWとROの表注記はOPとPYそれぞれにも適用できる。																					
OR	Released as requested 要求通りオーダ開放	Filler Applications.																					
PA	Parent order/service 親オーダ	Filler Applications. 親(PA)と子(CH)のオーダ制御コードは親（オリジナルオーダ）を変えることなく「親オーダ」から「子オーダ」を作成可能である。PAのORC-1－オーダ制御値を持つ1個以上のORCセグメントはCHのORC-1－オーダ制御値を持つ1個以上のORCセグメントが後に続く。ORC-6－応答フラグの値によってOBRセグメントが存在しなければならないかどうか決定される。 例えば、細菌培養で2つの細菌を生成しそれに対応する感受性試験の結果がでたと仮定して、そのときセグメントの順序は、次の通りである <table><tr><th>Segment</th><th>Order Control</th><th>Comment</th></tr><tr><td>ORC</td><td>PA</td><td>1st parent ORC</td></tr><tr><td>ORC</td><td>CH</td><td>1st child ORC</td></tr><tr><td>OBR</td><td></td><td>1st child order</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ORC</td><td>CH</td><td>2nd child ORC</td></tr><tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd child order</td></tr></table>	Segment	Order Control	Comment	ORC	PA	1st parent ORC	ORC	CH	1st child ORC	OBR		1st child order				ORC	CH	2nd child ORC	OBR		2nd child order
Segment	Order Control	Comment																					
ORC	PA	1st parent ORC																					
ORC	CH	1st child ORC																					
OBR		1st child order																					
ORC	CH	2nd child ORC																					
OBR		2nd child order																					
		親－子パラダイムの依頼者番号の割り当ては、実施者あるいは依頼者が子オーダを生成するかどうか、または、後者の場合は依頼者がSN/NAトランザクションをサポートするかどうかに依存する。依頼者が子オーダを作成する場合、その通常の手続きに従い、依頼者番号を割り当てる。実施者が																					

Value	Description	Comment																																													
PR	Previous Results with new order/service 以前の結果	子オーダを作成する場合、そこで2つの可能性がある：それぞれの子はその親の依頼者番号を受け継ぐか、あるいは、実施者は依頼者が依頼者オーダ番号(placer order number.)を割り当てるよう要求するためにSN/NAトランザクションを使用する。どちらのケースでも、実施者アプリケーションは、その通常の手続きに応じて子の実施者オーダ番号を作成する。 ORCセグメントのORC-8親に子オーダが送られるときは、親の実施者番号（実施者から開始するならば）および親の依頼者番号（実施者、あるいは依頼者から開始するならば）が割り振られる。親子のメカニズムは、例えば、毎朝、連続して3回のEKGのオーダを発行するといったように、親オーダを拡張するために使用される。 Placer Applications. PRはORCのオーダに組み込まれた過去の検査を含むORU構造の一部だと示す。 少なくとも2つの主要なユースケースは、過去の検査の完了結果をそのオーダとともに転送されるために必要とする。 - 診断検査室が結果（HIV等）の確認あるいは検査（遺伝子検査等）を行う設備がない等で他の検査機関に検査を問い合わせる。 - 診断検査室が検査報告に含まれる診断コメントの自動生成のための知識ベースに結果を送る。																																													
PY	Notification of replacement order for outside dispense 外部調剤へのオーダ修正通知	Placer Applications. OP（外部調剤へのオーダ通知）のコメントを参照。																																													
RE	Observations/Performed Service to follow 検査付帯情報	Placer or Filler Applications. 検査付帯情報コードはオーダとともに患者固有情報を送るのに使用される。オーダ詳細セグメント（例えば、OBR）の後には1個またはそれ以上の検査セグメント(OBX)が続けることができる。ORUメッセージとして伝えることができるいかなる検査情報も、このメカニズムで伝えることができる。オーダとともに結果が送られる際は、サポートするためオーダの直後に結果が次にくる。 次の例は、3個の処方オーダのためのセグメントのシーケンスを、REコードの使用例で示す。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Segment</th><th>Order Control</th><th>Comment</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>MSH</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>PI</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ORC</td><td>NW</td><td>First new order</td></tr> <tr><td>RXO</td><td></td><td>First order segment</td></tr> <tr><td>ORC</td><td>NW</td><td>2nd new order</td></tr> <tr><td>RXO</td><td></td><td>2nd order segment</td></tr> <tr><td>[ORC</td><td>RE</td><td>Patient-specific observation, optional in V 2.2</td></tr> <tr><td>OBR]</td><td></td><td>Observation OBR, optional in V 2.2</td></tr> <tr><td>OBX</td><td></td><td>An observation segment</td></tr> <tr><td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr> <tr><td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr> <tr><td>OBX</td><td></td><td>Another observation segment</td></tr> <tr><td>ORC</td><td>NW</td><td>3rd order</td></tr> <tr><td>RXO</td><td></td><td>3rd order segment</td></tr> </tbody> </table> HL7のこのバージョンにおいて、結果は1個あるいはそれ以上のOBXセグメントとしてオーダとともに送ることができる。ただしORCとOBRセグメントを必ずしも含む必要はない。 検査情報はORCを使用せずにORUメッセージを用いて伝えることができる。 ORUメッセージのOBRセグメントに含まれない情報を伝える必要が生じるときがある。この場合、ORCがORUメッセージに含まれていることを推奨する。 オーダ制御値REはオーダの後に検査結果(OBX)が続くことを示すためにORMメッセージにおいてのみ要求される。REコードはORUメッセージでは必要ではない。なぜならOBRセグメントの後に検査結果(OBX)が続けることができるからである。 Placer or Filler Applications. RFは実施者または依頼者のどちらかによる要求を受け入れる。実施者は依頼者からの補充許可を要求することができる。依頼者システムは、補充が実施者システムによって行われるよう要求することができる。 標準的な応答は、これらに限定されないが、以下のようなものが挙げられる。実施者要求に関してはAF—補充オーダ要求承認、DF—補充オーダ要求拒否；依頼者要求には、RE—検査付帯情報、UF—補充不能	Segment	Order Control	Comment	MSH			PI			ORC	NW	First new order	RXO		First order segment	ORC	NW	2nd new order	RXO		2nd order segment	[ORC	RE	Patient-specific observation, optional in V 2.2	OBR]		Observation OBR, optional in V 2.2	OBX		An observation segment	OBX		Another observation segment	OBX		Another observation segment	OBX		Another observation segment	ORC	NW	3rd order	RXO		3rd order segment
Segment	Order Control	Comment																																													
MSH																																															
PI																																															
ORC	NW	First new order																																													
RXO		First order segment																																													
ORC	NW	2nd new order																																													
RXO		2nd order segment																																													
[ORC	RE	Patient-specific observation, optional in V 2.2																																													
OBR]		Observation OBR, optional in V 2.2																																													
OBX		An observation segment																																													
OBX		Another observation segment																																													
OBX		Another observation segment																																													
OBX		Another observation segment																																													
ORC	NW	3rd order																																													
RXO		3rd order segment																																													
RF	Refill order/service request 補充オーダ要求																																														
RL	Release previous hold 前回保留オーダ開放	Placer Applications.																																													
RO	Replacement order	Placer or Filler Applications.																																													

Value	Description	Comment																																																																																										
	修正後オーダー	オーダー修正依頼は以前に依頼された1個以上のオーダーの置き換えである。 修正されたオーダーはあたかも取り消されたオーダーのように扱われる。依頼されたサービスが取り換えられるかどうか、いつ修正されるかは、現場独自で決定する。 オリジナルのオーダーが元の状態を保つことをサイトが要求するならば、親／子オーダー制御コードを使用する。以下の場合には、オーダー修正コードを使用しない。 修正される各オーダーにはRP（実施者に対するオーダー修正依頼）のORC-1ーオーダー制御値またはRU（実施者によって作成された未承認オーダー修正）を使用すること。RUは実施者によって使用され、依頼者および、または他のシステムに通知するためのものである。現場での取り決め(local agreement)によって、ORCセグメント（RPまたはRUと）の後には、そのオリジナルのオーダー詳細セグメントが続いてもよい。ORCセグメント（RPまたはRUを含む）の後には、RO（修正後オーダーを示す）のORC-1ーオーダー制御値を持つ、ORCセグメントが続かなければならない。現場での取り決めによっては、RO値を持つORCは、オーダー詳細セグメントが後に続いてよい。 例えば、部門のアプリケーションが2個のOBRオーダーを3つの異なったオーダーで修正されていたと仮定して、セグメントの順序は、次の通りになる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Seg</th><th>Order Control</th><th>Commen</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>ORC</td><td>RU</td><td>1st replaced ORC</td></tr> <tr><td>OBR</td><td></td><td>1st replaced order's detail segment</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ORC</td><td>RU</td><td>2nd replaced ORC</td></tr> <tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd replaced order's detail segment</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>1st replacement ORC</td></tr> <tr><td>OBR</td><td></td><td>1st replacement order's detail segment</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>2nd replacement ORC</td></tr> <tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd replacement order's detail segment</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>3rd replacement ORC</td></tr> <tr><td>OBR</td><td></td><td>3rd replacement order's detail segment</td></tr> </tbody> </table> ORC-6ー応答フラグの値によってOBRセグメントが存在しなければならないかどうか決定される。 この修正方法はすべての修正可能なケースを扱う： 1個から1個へ、多数から1個へ、1個から多数へ、および多数から多数へである。もし依頼者が実施者に2つのRP付き要求を送り実施者から依頼者への応答があるとすると、2つのRU（未承認のオーダー修正）は2つのRQ（要求どおりオーダー修正）となる。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Seg</th><th>Order Control</th><th>Comment</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>ORC</td><td>RQ</td><td>1st replaced ORC</td></tr> <tr><td>OBR</td><td></td><td>1st replaced order's detail segment</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ORC</td><td>RQ</td><td>2nd replaced ORC</td></tr> <tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd replaced order's detail segment</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>1st replacement ORC</td></tr> <tr><td>OBR</td><td></td><td>1st replacement order's detail segment</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>2nd replacement ORC</td></tr> <tr><td>OBR</td><td></td><td>2nd replacement order's detail segment</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ORC</td><td>RO</td><td>3rd replacement ORC</td></tr> <tr><td>OBR</td><td></td><td>3rd replacement order's detail segment</td></tr> </tbody> </table> 修正オーダーコードは実施者のアプリケーションによってオーダーされたサービスの正確な取り換えを指示する別なアプリケーションに送られる。それは上記のRPとRUのオーダー制御コードによって使用される。 ROの制御値を持つORCセグメントのオーダー番号の規則は修正型（RPまたはRU）によって決定される。 RU型（すなわち実施者からの未承認オーダー修正）のときには、実施者オーダー番号は、実施者アプリ	Seg	Order Control	Commen	ORC	RU	1st replaced ORC	OBR		1st replaced order's detail segment				ORC	RU	2nd replaced ORC	OBR		2nd replaced order's detail segment				ORC	RO	1st replacement ORC	OBR		1st replacement order's detail segment				ORC	RO	2nd replacement ORC	OBR		2nd replacement order's detail segment				ORC	RO	3rd replacement ORC	OBR		3rd replacement order's detail segment	Seg	Order Control	Comment	ORC	RQ	1st replaced ORC	OBR		1st replaced order's detail segment				ORC	RQ	2nd replaced ORC	OBR		2nd replaced order's detail segment				ORC	RO	1st replacement ORC	OBR		1st replacement order's detail segment				ORC	RO	2nd replacement ORC	OBR		2nd replacement order's detail segment				ORC	RO	3rd replacement ORC	OBR		3rd replacement order's detail segment
Seg	Order Control	Commen																																																																																										
ORC	RU	1st replaced ORC																																																																																										
OBR		1st replaced order's detail segment																																																																																										
ORC	RU	2nd replaced ORC																																																																																										
OBR		2nd replaced order's detail segment																																																																																										
ORC	RO	1st replacement ORC																																																																																										
OBR		1st replacement order's detail segment																																																																																										
ORC	RO	2nd replacement ORC																																																																																										
OBR		2nd replacement order's detail segment																																																																																										
ORC	RO	3rd replacement ORC																																																																																										
OBR		3rd replacement order's detail segment																																																																																										
Seg	Order Control	Comment																																																																																										
ORC	RQ	1st replaced ORC																																																																																										
OBR		1st replaced order's detail segment																																																																																										
ORC	RQ	2nd replaced ORC																																																																																										
OBR		2nd replaced order's detail segment																																																																																										
ORC	RO	1st replacement ORC																																																																																										
OBR		1st replacement order's detail segment																																																																																										
ORC	RO	2nd replacement ORC																																																																																										
OBR		2nd replacement order's detail segment																																																																																										
ORC	RO	3rd replacement ORC																																																																																										
OBR		3rd replacement order's detail segment																																																																																										

Value	Description	Comment
RP	Order/service replace request オーダー修正要求	ケーションによって通常生成される。依頼者オーダー番号は、RUのオーダー制御値を含む最初に送られたORCの依頼者オーダー番号と全く同一である。 RP型（すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダー修正要求）のときには、依頼者オーダー番号は、新規オーダーのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダー番号は、新規オーダーと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 修正シーケンスがORUメッセージ（すなわち検査結果報告の間に）において使用されるとき、オーダー修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。 a) オーダー制御値ROのORC。 b) 任意のOBRセグメント（任意のオーダー詳細セグメントによって変えられる）。 c) 任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く。 d) NTEセグメントは、OBR（あるいはいかなるオーダー詳細セグメント）後、あるいは、通常のORUメッセージにおけるのと同様にOBXセグメントの後に続けられる。 Placer Applications. オーダー修正依頼は、以前に依頼された、1個あるいはそれ以上のオーダーの置き換えである。今後の議論のためには、RO-修正後オーダーのコメントを参照 オーダー修正要求コードは依頼者アプリケーションの要求に応じて、実施者が1個あるいはそれ以上の新規オーダーを1個あるいはそれ以上の新規オーダーと取り換えることを許可する。 ROの制御値を持つORCセグメントのオーダー番号の規則は修正型（RPまたはRU）によって決定される。 RU型（すなわち実施者からの未承諾オーダー修正）のときには、実施者オーダー番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダー番号は、RUのオーダー制御値付きの最初に送られたORCの依頼者オーダー番号と全く同一である。 RP型（すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダー修正要求）のときには、依頼者オーダー番号は、新規オーダーのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダー番号は、新規オーダーと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 修正シーケンスがORUメッセージ（すなわち検査結果報告の間に）において使用されるとき、オーダー修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。 a) オーダー制御値ROのORC b) 任意のOBRセグメント（任意のオーダー詳細セグメントによって変えられる） c) 任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く d) NTEセグメントは、OBR（あるいはいかなるオーダー詳細セグメント）後、あるいは、通常のORUメッセージにおけるのと同様にOBXセグメントの後に続けられる。
RQ	Replaced as requested 要求通りオーダー修正	Filler Applications. オーダー修正依頼は、以前に依頼された、1個あるいはそれ以上のオーダーの置き換えである。今後の議論のためには、RO-修正後オーダーのコメントを参照。 オーダー修正要求コードは依頼者アプリケーションの要求に応じて、実施者が1個あるいはそれ以上の新規オーダーを1個あるいはそれ以上の新規オーダーと修正することを許可する。 修正後オーダーコードは実施者アプリケーションによってオーダーされたサービスの正確な修正を指示する別なアプリケーションに送られる。それは上記のRPとRUのオーダー制御コードによって使用される。 ROの制御値を持つORCセグメントのオーダー番号の規則は修正型（RPまたはRU）によって決定される。 RU型（すなわち実施者からの未承諾オーダー修正）のときには、実施者オーダー番号は、実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダー番号は、RUのオーダー制御値付きの最初に送られたORCの依頼者オーダー番号と全く同一である。 RP型（すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダー修正要求）のときには、依頼者オーダー番号は、新規オーダーのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダー番号は、新規オーダーと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 修正シーケンスがORUメッセージ（すなわち検査結果報告の間に）において使用されるとき、オーダー修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。 a) オーダー制御値ROのORC b) 任意のOBRセグメント（任意のオーダー詳細セグメントによって変えられる） c) オプションで、検査結果セグメント(OBX)が後に続く d) NTEセグメントは、OBR（あるいはいかなるオーダー詳細セグメント）後、あるいは、通常のORUメッセージにおけるのと同様にOBXセグメントの後に続けられる。

Value	Description	Comment
RR	Request received 要求受付	Placer or Filler Applications. 旧バージョンとの互換性のため。現在のバージョンにおいてはACK（確認応答）の受諾に等しい。要求受信コードはオーダーメッセージが受信されて、後で処理されることを示す。すなわち、そのオーダーはより正確な応答をするための処理をまだ実行していないということである。 Filler Applications. オーダー修正依頼は以前に依頼された、1個あるいはそれ以上のオーダーの置き換えである。今後の議論のためにはRO-修正後オーダーのコメントを参照。 未承諾オーダー修正コードは依頼者アプリケーションから要求されることなしに実施者アプリケーションが別なアプリケーションに知らせることを許可する。 ROの制御値を持つORCセグメントのオーダー番号の規則は取り換え型（RPまたはRU）によって決定される。 RU型（すなわち実施者からの未承諾オーダー修正）のときには、実施者オーダー番号は実施者アプリケーションによって通常生成される。依頼者オーダー番号はRUのオーダー制御値つきの最初に送られたORCの依頼者オーダー番号と全く同一である。 RP型（すなわち別のアプリケーションから実施者へのオーダー修正要求）のときには、依頼者オーダー番号は、新規オーダーのための手続きを使用して、依頼者アプリケーションによって生成される。実施者オーダー番号は、新規オーダーと同一の手順を使用して、実施者アプリケーションによって生成される。 取り換えシーケンスがORUメッセージ（すなわち検査結果報告の間に）において使用されるとき、オーダー修正に使用されるべき推奨セグメントを以下に述べる。 a) オーダー制御値ROのORC b) 任意のOBRセグメント（任意のオーダー詳細セグメントによって変えられる） c) 任意に、検査結果セグメント(OBX)が後に続く d) NTEセグメントは、OBR（あるいはいかなるオーダー詳細セグメント）後、あるいは、通常のORUメッセージにおけるのと同様にOBXセグメントの後に続けられる。
RU	Replaced unsolicited 未承諾オーダー修正	
SC	Status changed 状態変更	
SN	Send order/service number 送信オーダー番号	
SR	Response to send order/service status request 送信オーダー状態要求応答	
SS	Send order/service status request 送信オーダー状態要求	
UA	Unable to accept order/service 受付オーダーキャンセル	
UC	Unable to cancel オーダーキャンセル不能	
UD	Unable to discontinue オーダー中断不能	
UF	Unable to refill 補充不能	
UH	Unable to put on hold オーダー保留不能	Filler Applications. UFは実施者システムがRF-許可補充要求／サービス要求に対して否定応答で、受信アプリケーションが補充要求を完了できないことを示す
UM	Unable to replace オーダー修正不能	
UN	Unlink order/service from patient care problem or goal 患者看護プロブレムまたは ゴールからのリンクオーダー	

Value	Description	Comment
UR	解除 Unable to release オーダー開放不能	Filler Applications.
UX	Unable to change オーダー変更不能	Filler Applications.
XO	Change order/service request オーダー変更要求	Placer Applications.
XR	Changed as requested 要求通りオーダー変更	Filler Applications.
XX	Order/service changed unsolicited. オーダー変更 (未承諾)	Filler Applications.
MC	Miscellaneous Charge – not associated with an order 雑費—オーダーとは関連なし	applies to DFT^P03^DFT_P03 and DFT^P11^DFT_P11 DFT^P03^DFT_P03 と DFT^P11^DFT_P11を適用。

注記: HL7 V2.5の当該表は、オーダー制御コードに対応するメッセージの記述が不十分であるため、HL7 V2.7の当該表を採用した。

ORC-2 Placer Order Number 依頼者オーダー番号 (EI) 00216

成分: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義: 依頼アプリケーションのオーダー番号

第1成分は、個々のオーダー(例えば、(OBR))を識別する文字列である。それは、依頼者(依頼アプリケーション)によって割り当てられ、特定の依頼アプリケーションからのすべてのオーダーの中から一意に1つのオーダーを識別する。

第2成分は依頼アプリケーションのアプリケーションIDを含む。アプリケーションIDは、アプリケーションに一意に関連する文字列である。ひとつの施設または相互に通信する施設のグループは、アプリケーションで一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。2つの成分は、成分区切り文字によって分離される。

真の依頼者がややあいまいな(それで一意でない)3つの状況がある:

- a) RU 置換に続く、ORC-1-オーダー制御値 RO の場合;
- b) ORC-1-オーダー制御値 CH(子オーダー)の場合;
- c) ORC-1-オーダー制御値 SN(番号を送ること)の場合。

ORC-2-依頼者オーダー番号がこれらの場合どのように割り当てられるかの詳細については、ORC-1-オーダー制御の下の表の注を参照すること。

アプリケーションID リストは、マスタファイルの章で文書化されている、施設のマスタ辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダーの依頼者および実施者以外)が OML と ORL のメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーションIDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(それはMSHセグメントで識別される)。

ORC-2-依頼者オーダー番号は、OBR-2-依頼者オーダー番号と同じである。依頼者オーダー番号がORCの中に存在していないならば、それは関連したOBR内に存在しなければならない。その逆もまた真である。もし両方のフィールド、すなわちORC-2-依頼者オーダー番号およびOBR-2-依頼者オーダー番号が設定されるならば、それらは同じ値でなければならない。結果がORU、OULメッセージで送られるとき、ORCは必要ないが、依頼者オーダー番号がOBRセグメント内に存在しなければならない。

これらの規則は、上位互換性のためORCとOBRの両方の中に存在している他のフィールドにも適用する。(例えば、数量/タイミング、親番号、オーダー依頼者、および依頼コールバック用電話番号)。

ORC-3 Filler Order Number 実施者オーダー番号 (EI) 00217

成分: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義: 実施アプリケーションに関連したオーダー番号。その第1成分は、オーダー詳述セグメントを識別する文字列である(例 OBR)。それは、オーダー実施(受け取る)アプリケーションによって割り当て

られる。この文字列は、特定の実施アプリケーション(例 臨床検査)の他のオーダから、そのオーダ(オーダ詳細セグメントにおいて明示されるように)を、一意に識別しなければならない。一意性は長時間にわたって持続しなければならない。例えば、実施者が発行する受付日・受付番号等。

第2成分は、実施アプリケーションIDを含んでいる。実施アプリケーションIDはアプリケーションをネットワーク上の他のアプリケーションから識別する。実施者オーダ番号の第2成分は、オーダの実際の実施者を常に識別する。

ある施設または相互通信施設グループは、アプリケーションの一意のリストを確立すべきである。リストは潜在的な依頼者と実施者であってもよく、そして一意なアプリケーションIDを割り当ててもよい。アプリケーションIDリストは、本規格の他の箇所でも文書化されている、施設のマスタ辞書の1つになる。第三者アプリケーション(オーダの依頼者および実施者以外)がOMLとORLのメッセージ送受信ができるので、このフィールドの依頼アプリケーションIDは、ネットワーク上の送信および受信アプリケーションと同じでなくともよい(MSHセグメントにおいて確認したように)。

ORC-3-実施者オーダ番号は、OBR-3-実施者オーダ番号と同じである。実施者オーダ番号がORCの中に存在していないならば、それは関連したOBR内に存在しなければならない。(この規則はORCおよびOBRの中の他の同一フィールドに対するものと同じであり、上位互換性およびASTMとの互換性を促進する。)これが特に重要なのは、結果がOULメッセージで送られる場合である。この場合、ORCは必要ないが、実施者オーダ番号がOBRセグメント内に存在しなければならない。

実施者オーダ番号(OBR-3あるいはORC-3)は、オーダとその関連した検査を一意に識別する。例えば、ある施設が検査をいくつかの関連アプリケーションから集め、それを共通のデータベースの中に入れ、この共通のデータベースがまた別のアプリケーションによって検査のために照会される、と仮定する。この場合、共通のデータベースアプリケーションによって送られた実施者オーダ番号と依頼者オーダ番号は、それぞれオリジナルの実施者および依頼者であろう。すなわち共通のデータベースアプリケーションによって割り当てられた新しいものではない。

同様に、実施者あるいは依頼者でないオーダの第三者アプリケーションが、オーダの状態を修正する(例えば、それをキャンセルすること)権限があるならば、その第三者アプリケーションは、実施者にOMLメッセージを送る。そこには、『CA』に等しいORC-1オーダ制御の付いたORCセグメント、およびオリジナル依頼者オーダ番号および実施者オーダ番号を含む。いずれもそれ自身が割り当てることはない。

ORC-4 Placer Group Number 依頼者グループ番号 (EI) 00218

成分: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義: オーダ依頼アプリケーションが複数セットのオーダを一緒にグループ化して後でそれらを識別できるようにする。例えば、依頼者側の発行する、受付日・受付番号等。

第1成分の文字列がすべての他のオーダグループを特定の依頼アプリケーションから一意に識別する。それは依頼アプリケーションによって割り当てられて、ORCの依頼者オーダ番号と同じシリーズでもよいが、これは必須ではない。

第2成分は、依頼アプリケーションIDであり、これはORC-2-依頼者オーダ番号の第2成分と同じである。

ORC-5 Order Status オーダ状態 (ID) 00219

定義: オーダの状態。取りうる値についてはHL7表0038-オーダ状態を参照すること。このフィールドの目的は、要求された場合(同期)または状態が変更になった場合(非同期)に、オーダの状態を報告することであり、オーダ自体を処理する事ではない。オーダ状態は、メッセージが送られるとき送信アプリケーションに知られていた状態を反映させる。実施者だけがこのフィールドに値を付けることができる。

HL7表0038に示すオーダ状態は、HL7表0119-オーダ制御と同じ様な内容を含んでいるが、目的は異なる。オーダ状態は、ORC-1-オーダ制御値のSRまたはSCにおいて典型的に使用される。これはオーダの状態を、要求を受けた時または当事者に随時報告するためである。

HL7表 0038 - Order status オーダ状態

Value	Description
A	Some, but not all, results available 部分的完了

Value	Description
CA	Order was canceled オーダが取り消された
CM	Order is completed オーダが完了した
DC	Order was discontinued オーダが中断した
ER	Error, order not found エラー、オーダが見つからない
HD	Order is on hold オーダが保留
IP	In process, unspecified 進行中、不定
RP	Order has been replaced オーダが取替えられた
SC	In process, scheduled 進行中、予定

ORC-6 Response Flag 応答フラグ (ID) 00220

定義：これによって依頼者(送信)アプリケーションは、実施者から返されるべき情報の量を決定できる。要求されたレベルの応答は、即時には可能ではないかもしれない、しかし、それが可能なときは、実施者(受信)アプリケーションは、情報を送らなければならない。フィールドが null であるとき、フィールドのデフォルト値は D である。取りうる値については HL7 表 0121-応答フラグを参照。

HL7表 0121 - Response flag 応答フラグ

Value	Description
E	Report exceptions only 例外のみを報告
R	Same as E, also Replacement and Parent-Child Eと同じ、また置換および親子
D	Same as R, also other associated segments Rと同じ、また他の関連セグメント
F	Same as D, plus confirmations explicitly Dと同じ、プラス明確な確認
N	Only the MSA segment is returned MSA セグメントのみが返却される

ORC-7 Quantity/Timing 数量/タイミング (TQ) 00221

成分： <Quantity (CQ)> ^ <Interval (RI)> ^ <Duration (ST)> ^ <Start Date/Time (TS)> ^ <End Date/Time (TS)> ^ <Priority (ST)> ^ <Condition (ST)> ^ <Text (TX)> ^ <Conjunction (ID)> ^ <Order Sequencing (OSD)> ^ <Occurrence Duration (CWE)> ^ <Total Occurrences (NM)>

副成分 for Quantity (CQ): <Quantity (NM)> & <Units (CWE)>

注 副成分は副-副成分を含んでいる

副成分 for Interval (RI): <Repeat Pattern (IS)> & <Explicit Time Interval (ST)>

副成分 for Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Order Sequencing (OSD): <Sequence/Results Flag (ID)> & <Placer Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Placer Order Number: Namespace ID (IS)> & <Filler Order Number: Entity Identifier (ST)> & <Filler Order Number: Namespace ID (IS)> & <Sequence Condition Value (ST)> & <Maximum Number of Repeats (NM)> & <Placer Order Number: Universal ID (ST)> & <Placer Order Number: Universal ID Type (ID)> & <Filler Order Number: Universal ID (ST)> & <Filler Order Number: Universal ID Type (ID)>

副成分 for Occurrence Duration (CWE): <identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system (ID)> & <name of alternate coding system (ID)> & <coding system version ID (ST)> & <alternate coding system version ID (ST)> & <original text (ST)>

定義：このフィールドは、HL7 V2.4 以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。TQ1、TQ2 セグメントの説明を参照のこと。

優先度、数量、頻度およびアトミックサービスのタイミングを決定する。オーダセグメントは、アトミックサービスを記述するものとして考えられる必要がある。

例えば、OBR セグメントが血液の単位を記述するとし、このフィールドによって 3 つの単位が毎朝続けて与えられるように要求する。この場合 ORC-7-数量/タイミングは『1-XQAM^X3』である。

ORC-7-数量/タイミングは、OBR-27-数量/タイミングと同じである。

ORC-8 Parent 親 (EIP) 00222

成分： <parent's placer order number (EI)> ^ <parent's filler order number (EI)>

副成分 of parent's placer order number: <entity identifier (ST)> & <application identifier 1(IS)> & <universal identifier (UI)>

副成分 of parent's filler order number: <entity identifier (ST)> & <application identifier 1(IS)> & <universal identifier (UI)>

定義：親子のメカニズムの関係が存在するとき子を親に関係付ける。親子のメカニズムは、ORC-1-オーダ制御の注のところで述べられる。

第1成分は、親オーダの依頼者オーダ番号を含んでいる。それは、オーダが子であるとき要求される。
 第2成分は、親オーダの実施者オーダ番号を含んでいる。依頼者オーダ番号と実施者オーダ番号との成分は、このフィールドの2つの成分の副成分として送られる。

ORC-9 Date/Time of Transaction トランザクション日時 (TS) 00223

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは ORC-1 オーダ制御コードに反映された現在の処理を始めたイベントの日時からなる。このフィールドは、物理的メッセージの日時を反映した MSH-7 メッセージ日時と同じではない。

ORC-10 Entered By 入力者 (XCN) 00224

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE): <identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system (ID)> & <coding system version ID (ST)> & <alternate coding system version ID (ST)> & <original text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: 要求をアプリケーションに実際に打鍵した人の ID、氏名、所属。これは ORC-1 オーダ制御コードに反映された現在のトランザクションを示すことに注意する。それは、要求が不正確に入れられ、関連部門が要求を明らかにする必要がある場合、監査証跡となる。現場の取り決めによって、ID 番号または名前成分は、省略されてもよい。

ORC-11 Verified By 検証者 (XCN) 00225

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE): <identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system (ID)> & <coding system version ID (ST)> & <alternate coding system version ID (ST)> & <original text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: 入れられた要求の精度を検証した人の所属氏名。これは ORC-1 オーダ制御コードに反映された現在のトランザクションを示すことに注意する。それが使用されるのは、要求が技師によって入力され、より高い権威者（看護師など）によって検証される必要がある場合である。現場の取り決めによって、ID 番号や名前成分は、省略されてもよい。

ORC-12 Ordering Provider オーダ依頼者 (XCN) 00226

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE): <identifier (ST)> & <text (ST)> & <name of coding system (ID)> & <alternate identifier (ST)> & <alternate text (ST)> & <name of alternate coding system (ID)> & <coding system version ID (ST)> & <alternate coding system version ID (ST)> & <original text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義： 要求を作成することに責任がある人（すなわちオーダ医師など）の I D、氏名、所属など。
ORC-12-オーダ依頼者は、OBR-16-オーダ依頼者と同じである。

ORC-13 Enterer's Location 入力者の場所 (PL) 00227

成分： <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)>
^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)>
^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分 for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Comprehensive Location Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Authority for Location (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義： このフィールドは要求を入力した人がその入力をしたときに居た場所（例えば、ナースステーション、関連サービス場所、診療室、階）を指定する。これは ORC-1 オーダ制御コードに反映された現在のトランザクションを示すことに注意する。入力者の場所に関係のある副成分だけに限った値にするべきである（通常は共通の看護ユニット、施設、建物、階）。要求を入力した人は ORC-10-入力者によって定義される。

ORC-14 Call Back Phone Number コールバック用電話番号 (XTN) 00228

成分： <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^
<Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)>
^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^
<Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義： 要求またはオーダに関して、必要な他の情報を確認するための電話番号。ORC-14-コールバック用電話番号は、OBR-17-オーダコールバック用電話番号と同じである。

ORC-15 Order Effective Date/Time オーダ有効の日時 (TS) 00229

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義： 変更要求が有効になった、あるいは、有効になる予定の日時。

ORC-9-トランザクション日時が、ORC-15-オーダ有効日時以降になっているならば、ORC およびその下のセグメントにおけるデータ値は有効になった。

ORC-9-トランザクション日時が ORC-15-オーダ有効日時より前ならば、ORC およびその下位セグメントのデータ値は、オーダ有効日時に有効になる。

有効 ORC-15-オーダ有効日時が空白にしておかれるならば、その値は、ORC-9-トランザクション日時と等しいと仮定される。また、トランザクション日時が空白であるならば MSH-7-メッセージ日時と等しいと仮定される。

ORC-15-オーダ有効日時(同じ ORC セグメントのオーダ制御コードイベントのために)が、ORC-7-数量／タイミングと異なる場合は、ORC-15-オーダ有効日時が優先する。一例として ORC イベントが実施者への連続オーダに対する中断要求であり、かつオーダ有効日時が ORC-7-数量／タイミング終了日時の前にあるならば、オーダ有効日時が優先する。ORC の中で識別されたオーダが子を持っているならば、開始しなかった子は取り消される必要がある；プロセスに子がいるならば、それは中断される必要がある；子が中断できる点を超えて前進しているならば、その状態は影響されない。

ORC-16 Order Control Code Reason オーダ制御コード理由 (CWE) 00230

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)>
^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義： オーダ制御コード(HL7 表 0119)によって述べたオーダイベントの理由の説明。コード化したあるいはテキスト形式のどちらでもよい。オーダ特定のセグメント(例えば、RXO、ORO、OBR)の後の NTE は、その特定のセグメントのためにコメントとなる。もうひとつ、オーダ制御コード理由の目的には、そのオーダイベントの理由を拡張することがある。

ORC-1-オーダ制御が NW であるときは、ORC-16-オーダ制御コード理由に、普通は値を設定しない。ただし、設定できないわけではない。取り消されたオーダのときには、例えば、このフィールドは、一般的に、キャンセルの理由を説明するために使用される。良く実証されたアレルギーのために医者からの処方オーダをキャンセルした調剤システムは、このフィールドでアレルギーの事実が多分報告される。

それが薬理相互作用のためにこのオーダをキャンセルしたならば、このフィールドは、相互作用物質の少なくとも名称(および、必要とするならばコード)となる。文章で相互作用、および相互作用の激しさの程度を述べる。

ORC-17 Entering Organization 入力組織 (CWE) 00231

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義: 入力者がオーダを入力/更新した時に所属していた組織(医療グループや診療部門)を示す。要求を入力した人はORC-10-入力者によって定義される。

なお、診療科は入院・外来共にPV1-10やORC-17に表現する。ORC-17は入力者の所属を示すが、医師が入力するオーダ情報では診療科と扱うことにした。

ORC-18 Entering Device 入力装置識別 (CWE) 00232

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義: オーダを入力するため使用された物理的装置(端末やPC)の識別子。

ORC-19 Action By 発動者 (XCN) 00233

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: 対応するオーダ制御コードによって表されたイベントを発動した人の所属氏名。たとえば、オーダ制御コードがCA(オーダキャンセル依頼)であるならば、このフィールドは、オーダキャンセルを要求した人を表す。

本規約ではオーダの更新者をセットするものとする。

ORC-20 Advanced Beneficiary Notice Code 受益者通知コード (CWE) 01310

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは潜在的な保険外サービスに対する支払い責任のための患者のまたは患者の代理人の承諾状態を示す。この要素は、外来患者に対する CMS 医療要求を満たすことを促す。この要素は次のような内容で、(a)関連づけられたサービスの診断コードが医療上必要な処置の対象かどうか。(b)この種のサービスに対して、支払い責任があることを患者に通知しているか。(c)そして、患者がサービスにたいする請求に同意しているか。そのフィールドの値は、 使用者定義表 0339 – 受益者通知コードから引用される。

使用者定義表 0339 – Advanced beneficiary notice code 受益者通知コード

Value	Description
1	Service is subject to medical necessity procedures サービスは医療上必要な処置である
2	Patient has been informed of responsibility, and agrees to pay for service 患者はサービスに対して支払い責任があることを通知され、同意している
3	Patient has been informed of responsibility, and asks that the payer be billed 患者は支払いを了承し請求書を要求している
4	Advanced Beneficiary Notice has not been signed 受益者注意はサインされていない

ORC-21 Ordering Facility Name オーダ施設名 (XON) 01311

成分： <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <DEPRECATED-ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、オーダの発行施設名を記述する。オーダが発行された医療機関 ID 等。

ORC-22 Ordering Facility Address オーダ施設住所 (XAD) 01312

成分： <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

注 副成分は副-副成分を含んでいる

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは、オーダの発行施設の住所を記述する

ORC-23 Ordering Facility Phone Number オーダ施設電話番号 (XTN) 01313

成分： <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：このフィールドは、オーダの発行施設の電話番号を記述する

ORC-24 Ordering Provider Address オーダ依頼者住所 (XAD) 01314

成分： <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

注 副成分は副-副成分を含んでいる

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドはオーダを要求している医療提供者(ORC-12)の住所からなる。

ORC-25 Order Status Modifier オーダ状態修飾子 (CWE) 01473

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義: このフィールドは、ORC-5 オーダ状態により詳細なレベルの状態あるいは補足情報を提供するために使用される。HL7 定義表により管理されるオーダ状態フィールドとは異なり、アプリケーションはCWE データタイプを定義する。

使用規則: このフィールドはORC-5 オーダ状態に値がある場合に限り使用される。

例: L I SがORC-5にて”IP”の状態ではオーダを処理中である場合に、そのオーダが病院内の検査室で処理されているか、もしくは外部の検査室機関に転送されているかなどを示す場合に、本フィールドを使用して詳細な状態の更新を行う。

ORC-26 Advanced Beneficiary Notice Override Reason 受益者通知上書き理由 (CWE) 01641

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義: このフィールドは、患者が受益者通知にサインしない理由からなる。理由はコード化されるかあるいは自由なテキスト形式で入力される。HL7 表 0552—受益者通知上書き理由を参照。

条件: このフィールドはORC-20 受益者通知コードの値が、通知にサインされていないを示している場合に必要となる。例えば、ORC-20 が使用者定義表 0339—受益者通知コードに「3」あるいは「4」の値が入力されている場合、または、関連する外部コード表で同様の値が入力されている場合、追加条件あるいは説明情報として使用される。

HL7表 0552 – Advanced beneficiary notice override reason 受益者通知上書き理由

Value	Description	Comments
	no suggested values 推奨値なし	

ORC-27 Filler's Expected Availability Date/Time 実施者サービス可能日時 (TS) 01642

成分: <Time(DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision(ID)>

定義: このフィールドは、実施者がサービス可能な日時を指定する。例えば、検査結果が利用可能となる日時などである。

ORC-28 Confidentiality Code 守秘コード (CWE) 00615

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義: このフィールドは、オーダを取り巻くセキュリティレベル或いは注意度に関する情報を含む(例えば厳重注意、注意不要、注意など)。使用者定義表 0177-守秘コードを参照。特別な守秘レベルを持つデータの処理に関しては、現場での交渉にゆだねる。

使用者定義表 0177 - Confidentiality code 守秘コード

Value	Description
V	Very restricted 非常に限定
R	Restricted 限定
U	Usual control 通常管理
EMP	Employee 従業員
UWM	Unwed mother 未婚の母
VIP	Very important person or celebrity 重要人物や名士
PSY	Psychiatric patient 精神医学患者
AID	AIDS patient AIDS 患者
HIV	HIV(+) patient HIV(+)患者
ETH	Alcohol/drug treatment patient アルコール/薬物中毒治療患者

ORC-29 Order Type オーダタイプ (CWE) 00615

成分: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義: このフィールドは、オーダが入院患者、或いは外来患者として実行されるかどうかを示している。もしこのフィールドが値を持っていないければ、システムのデフォルト値が取られる。推奨値はHL7 表 0482—オーダタイプを参照。

例：入院中に別診療科の検査で採血室に行く場合（いわゆる「入院中外来」）、その患者はPV1によると入院患者だが、そのオーダー自体は外来患者オーダーである。

HL7表 0482 – Order Type オーダタイプ

Value	Description	Comments
I	Inpatient Order 入院患者オーダー	
O	Outpatient Order 外来患者オーダー	

ORC-30 Enterer Authorization Mode 入力者承認モード (CNE) 01644

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、オーダーを作成或いは変更する責任者からの記録を承認する形態を示している。推奨値はHL7表0483－承認モードを参照。

HL7表 0483 – Authorization Mode 承認モード

	Description	Comments
EL	Electronic 電子的	
EM	E-mail 電子メール	
FX	Fax ファックス	
IP	In Person 本人自ら	
MA	Mail 郵便	
PA	Paper 紙	
PH	Phone 電話	
RE	Reflexive (Automated system) 再帰的 (自動化システム)	
VC	Video-conference TV 会議	
VO	Voice 口頭	

7.11PID - Patient Identification Segment 患者識別セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.12PV1 - Patient Visit Segment 来院情報セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

7.13PV2 - Patient Visit - Additional Information Segment 来院補足情報セグメント

PV2 セグメントはPV1 セグメントにおける情報の補足である。

患者情報通知(ADT/ACK)構文内で使用する場合は、JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1「6.2 患者情報通知(ADT/ACK)」を参照のこと。

HL7 属性表 - PV2 - Patient Visit - Additional Information 来院補足情報セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	80	PL	C	C			Prior Pending Location 事前保留所在場所
2	250	CWE	O	O			Accommodation Code 設備コード
3	250	CWE	O	O			Admit Reason 入院の理由
4	250	CWE	O	O			Transfer Reason 転科転棟の理由
5	25	ST	O	O	Y		Patient Valuables 患者貴重品情報
6	25	ST	O	O			Patient Valuables Location 患者貴重品の保管場所
7	2	IS	O	O	Y	0130	Visit User Code 来院種別コード
8	26	TS	O	O			Expected Admit Date/Time 予定入院日時
9	26	TS	O	O			Expected Discharge Date/Time 予定退院日時
10	3	NM	O	O			Estimated Length of Inpatient Stay 予定入院期間
11	3	NM	O	O			Actual Length of Inpatient Stay入院期間
12	50	ST	O	O			Visit Description 来院時記述情報
13	250	XCN	O	O	Y		Referral Source Code 紹介元情報
14	8	DT	O	O			Previous Service Date 前回来院日
15	1	ID	O	O			Employment Illness Related Indicator 職業由来疾病情報
16	1	IS	O	O		0213	Purge Status Code 削除状態標識
17	8	DT	O	O			Purge Status Date 削除予定日
18	2	IS	O	O		0214	Special Program Code 特別プログラムコード
19	1	ID	O	O			Retention Indicator 保持標識
20	1	NM	O	O			Expected Number of Insurance Plans 適応可能保険の数
21	1	IS	O	O		0215	Visit Publicity Code 来院情報周知範囲
22	1	ID	O	O			Visit Protection Indicator 来院情報保護標識
23	250	XON	O	O	Y		Clinic Organization Name 診療部門名
24	2	IS	O	O		0216	Patient Status Code 患者状態
25	1	IS	O	O		0217	Visit Priority Code 受診優先指標
26	8	DT	O	O			Previous Treatment Date 最終治療日
27	2	IS	O	O			Expected Discharge Disposition 希望退院種別
28	8	DT	O	O			Signature on File Date 署名日
29	8	DT	O	O			First Similar Illness Date 発症日
30	250	CWE	O	O			Patient Charge Adjustment Code 患者費用補正コード
31	2	IS	O	O			Recurring Service Code 通院治療標識
32	1	ID	O	O			Billing Media Code 請求媒体コード
33	26	TS	O	O			Expected Surgery Date and Time 予定手術日時
34	1	ID	O	O			Military Partnership Code 軍隊との契約の有無
35	1	ID	O	O			Military Non-Availability Code非軍隊施設の利用許可の有無
36	1	ID	O	O			Newborn Baby Indicator 新生児標識
37	1	ID	O	O			Baby Detained Indicator 新生児残留標識
38	250	CWE	O	O		0430	Mode of Arrival Code 患者到着手段
39	250	CWE	O	O	Y	0431	Recreational Drug Use Code 嗜好情報
40	250	CWE	O	O		0432	Admission Level of Care Code 入院時患者重症度
41	250	CWE	O	O	Y	0433	Precaution Code 要注意コード
42	250	CWE	O	O		0434	Patient Condition Code 患者容態標識
43	2	IS	O	O		0315	Living Will Code 延命希望標識
44	2	IS	O	O		0316	Organ Donor Code 臓器提供希望標識
45	250	CWE	O	O	Y	0435	Advance Directive Code その他の患者要望
46	8	DT	O	O			Patient Status Effective Date 患者状態(PV2-25)の発症日
47	26	TS	C	O			Expected LOA Return Date/Time 予定帰院日時
48	26	TS	O	O			Expected Pre-admission Testing Date/Time入院前検査予定日時
49	20	IS	O	O	Y	0534	Notify Clergy Code 聖職者通知標識

PV2 フィールド定義

PV2-1 Prior Pending Location 事前保留所在場所 (PL) 00181

成分: <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)>
^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)>
^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分for Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Comprehensive Location Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Authority for Location (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義: このフィールドは転科転棟待ちの取消 (A26) メッセージに必須となる。他の事象ではオプションである。

PV2-2 Accommodation Code 設備コード (CWE) 00182

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドでは来院時に患者に必要な設備を示す。

PV2-3 Admit Reason 入院の理由 (CWE) 00183

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは患者の入院理由の概要説明を示す。

PV2-4 Transfer Reason 転科転棟の理由 (CWE) 00184

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドでは患者の転科転棟理由の概要説明を示す。

PV2-5 Patient Valuables 患者貴重品情報 (ST) 00185

定義: このフィールドでは入院期間に確認された患者の貴重品に関する記述情報を示す。

PV2-6 Patient Valuables Location 患者貴重品の保管場所 (ST) 00186

定義: このフィールドでは患者の貴重品の保管場所を示す。

PV2-7 Visit User Code 来院種別コード (IS) 00187

定義: このフィールドでは個々の医療機関における必要に応じて患者の来院を分類するために、医療機関に応じた目的で用いられる。推奨値は使用者定義表 0130-来院種別コードを参照のこと。

使用者定義表 0130 - Visit User Code 来院種別コード

Value	Description	Comment
TE	Teaching 教育	
HO	Home 自宅	
MO	Mobile Unit 移動単位	
PH	Phone 電話	

PV2-8 Expected Admit Date/Time 予定入院日時 (TS) 00188

成分: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドでは患者が入院する予定の日時を示す。このフィールドは非入院患者/救急患者が登録される日時を反映する。

PV2-9 Expected Discharge Date/Time 予定退院日時 (TS) 00189

成分: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは患者の予定退院日時を示す。これは作業負荷計画をより正確に判断するために補助的に使用される事象に関連しない日付である。このフィールドは、非入院患者/救急患者または入院患者の予測される退院日時を反映させるために使用する。

PV2-10 Estimated Length of Inpatient Stay 予定入院期間 (NM) 00711

定義: このフィールドは入院患者の予想入院期間を示す。

PV2-11 Actual Length of Inpatient Stay 入院期間 (NM) 00712

定義: このフィールドは入院患者が実際に入院していた日数を示す。実際に入院していた期間は入退院日から計算されない。というのも、患者が外泊する可能性があるからである。

PV2-12 Visit Description 来院時記述情報 (ST) 00713

定義：このフィールドは来院における使用者定義の簡単な記述情報である。

PV2-13 Referral Source Code 紹介元情報 (XCN) 00714

成分： <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Name Context (CWE): <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

副成分for Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <Degree of Precision (ID)>

副成分for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは患者の紹介を行った個人または組織の名前と識別番号を示す。この個人／組織は紹介医師とは異なる。例えば、Joe Smith は私をそのクリニック（またはそのクリニックの Dr.Jones）に紹介した。

PV2-14 Previous Service Date 前回来院日 (DT) 00715

定義：このフィールドは通院患者における前回来院日を示す。この情報は第三者に対して特定の疾患（例：事故に関連した）請求をする際に求められているフィールドである。

PV2-15 Employment Illness Related Indicator 職業由来疾病標識 (ID) 00716

定義：このフィールドは患者が職業に由来した疾患にかかっているか否かを示す。有効値は以下の Y/N 識別を参照。

Y 患者の疾患は職業に由来している。

N 患者の疾患は職業に由来していない。

PV2-16 Purge Status Code 削除状態標識 (IS) 00717

定義：このフィールドは会計情報に関する削除状態を示す。アプリケーションプログラムにより削除プロセスを実行するかどうかの判断に使用される。推奨値については使用者定義表 0123 削除状態標識を参照のこと。

使用者定義表 0213 – Purge Status Code 削除状態標識

Value	Description	Comment
P	Marked for purge. User is no longer able to update the visit. 削除マーク有り。使用者は来院情報を更新できない。	
D	The visit is marked for deletion and the user cannot enter new data against it. 来院情報は削除マークがあり、使用者は新しいデータを入力不可。	

Value	Description	Comment
I	The visit is marked inactive and the user cannot enter new data against it. 来院情報には不活性マークがあり、使用者は新しいデータを入力不可。	

PV2-17 Purge Status Date 削除予定日 (DT) 00718

定義：このフィールドはデータがシステムから削除される予定日を示す。

PV2-18 Special Program Code 特別プログラムコード (IS) 00719

定義：このフィールドは来院時の医療費の支払いに必要な特別な健康保険プログラムを示す。推奨値については使用者定義表 0214 特別プログラムコードを参照のこと。

使用者定義表 0214 – Special Program Code 特別プログラムコード

Value	Description	Comment
CH	Child Health Assistance 小児健康補助	
ES	Elective Surgery Program 随意手術プログラム	
FP	Family Planning 家族計画	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

PV2-19 Retention Indicator 保持標識 (ID) 00720

定義：このフィールドは来院時の財務、患者基本情報の削除をコントロールするために使用する。特別な、優先度の高い来院に関する患者基本情報、財務データを維持するために使用される。有効値は以下の Y/N 標識を参照。

Y データは維持されている

N 通常の削除処理中

PV2-20 Expected Number of Insurance Plans 適応可能保険の数 (NM) 00721

定義：このフィールドは来院時の支払いに使用可能な保険の数を示す。

PV2-21 Visit Publicity Code 来院情報周知範囲 (IS) 00722

定義：このフィールドは使用者定義コードで、特定の来院についてどの程度の公開が許されるかを示す（例えば、非公開、家族のみ）。推奨値については使用者定義表 0125 周知標識を参照のこと。患者レベルの周知標識は PD1-11 周知標識を参照のこと。

使用者定義表 0125 – Publicity Code 周知標識

Value	Description	Comment
F	Family only 家族のみ	
N	No Publicity 公開禁止	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

PV2-22 Visit Protection Indicator 来院情報保護標識 (ID) 00723

定義：このフィールドは特定の来院情報について十分な権限を持たない使用者に対して情報を保護すべきかどうかを判断する患者の保護標識を示す。有効値は以下の Y/N 標識を参照。

Y 患者情報へのアクセスを阻止する

N 通常のアクセス制限

患者レベルの保護標識は PDI-12 保護標識を参照のこと。

PV2-23 Clinic Organization Name 診療部門名 (XON) 00724

成分： <Organization Name (ST)> ^ <Organization Name Type Code (IS)> ^ <ID Number (NM)> ^ <Check Digit (NM)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Organization Identifier (ST)>

副成分for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは医療機関の名称、またはその部門や患者の（来院に関する）治療上の出来事に関係した識別情報を示す。例えば、医療機関内のアレルギーまたは腫瘍クリニックといった名前である。

PV2-24 Patient Status Code 患者状態 (IS) 00725

定義：このフィールドは治療上の出来事：例えば、現役の入院患者、退院した入院患者といった状態を示す。推奨値は使用者定義表-0216 患者状態を参照のこと。

使用者定義表 0216 – Patient Status Code 患者状態

Value	Description	Comment
AI	Active Inpatient 入院中の患者	
DI	Discharged Inpatient 退院した患者	

PV2-25 Visit Priority Code 受診優先標識 (IS) 00726

定義：このフィールドは来院の優先度を示す。推奨値は使用者定義表 0217 受診優先標識を参照のこと。

使用者定義表 0217 – Visit Priority Code 受診優先標識

Value	Description	Comment
1	Emergency 救急	
2	Urgent 緊急	
3	Elective 選択	

PV2-26 Previous Treatment Date 最終治療日 (DT) 00727

定義：このフィールドは今回の来院以前に、どんな状態でも患者が前回の治療を受けた日を示す。前回の病院訪問時は前回の退院日であることが多い。

PV2-27 Expected Discharge Disposition 希望退院種別 (IS) 00728

定義：このフィールドは退院時に患者が望む退院区分を示す。推奨値は使用者定義表 0112 退院区分を参照のこと。

PV2-28 Signature on File Date 署名日 (DT) 00729

定義：このフィールドは保険の支払い目的で、サインを得た日付を示す。

PV2-29 First Similar Illness Date 発症日 (DT) 00730

定義：このフィールドは患者が潜伏期間があったかどうかを判断することに利用する。

PV2-30 Patient Charge Adjustment Code 患者費用補正コード (CWE) 00731

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは使用者定義コードで、この患者の支払いに対してどの補正がなされるべきかを示す。推奨値については、使用者定義表 0218 費用補正を参照のこと。このフィールドは GTI-26 保証人支払い補正コードと同じである。

PV2-31 Recurring Service Code 通院治療標識 (IS) 00732

定義：このフィールドは治療が継続しているか否かを示す。

PV2-32 Billing Media Code 請求媒体コード (ID) 00733

定義：このフィールドはテープ媒体による請求が拒否されるかどうかを示す。有効値は以下の Y/N 標識を参照。

Y テープ媒体による請求が拒否される
N 通常処理

PV2-33 Expected Surgery Date and Time 予定手術日時 (TS) 00734

成分：<Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドは手術を予定している日時を示す。

PV2-34 Military Partnership Code 軍隊との契約の有無 (ID) 00735

定義：このフィールドは軍隊の医療機関が非軍事医療施設のサービスを受ける契約をしているか否かを示す。有効値は以下の Y/N 標識を参照。

Y 契約が存在する
N 契約は存在しない

PV2-35 Military Non-Availability Code 非軍隊施設の利用許可の有無 (ID) 00736

定義：このフィールドは患者が非軍事医療施設で治療を受ける許可を持っているか否かを示す。有効値は以下の Y/N 標識を参照。

Y 患者は非軍事医療施設で治療を受ける許可を持っている
N 患者は非軍事医療施設で治療を受ける許可を持っていない

PV2-36 Newborn Baby Indicator 新生児標識 (ID) 00737

定義：このフィールドは患者が新生児か否かを示す。有効値は以下の Y/N 標識を参照。

Y 患者は新生児である
N 患者は新生児ではない

PV2-37 Baby Detained Indicator 新生児残留標識 (ID) 00738

定義：このフィールドは母親が退院した後も新生児が病院に留まることを示す。有効値は以下の Y/N 標識を参照。

Y 新生児は残留
N 母親と新生児は通常退院

PV2-38 Mode of Arrival Code 患者到着手段 (CWE) 01543

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：どのように患者が医療機関に運ばれたかを示す。推奨値については使用者定義表 0430-到着手段コードを参照。

使用者定義表 0430 – Mode of Arrival Code 到着手段コード

Value	Description	Comment
A	Ambulance 救急車	
C	Car 自動車	
F	On foot 徒歩	
H	Helicopter ヘリコプタ	
P	Public Transport 公共輸送機関	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

PV2-39 Recreational Drug Use Code 嗜好薬情報 (CWE) 01544

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは患者がどのような嗜好薬を用いているかを示す。これは部屋割りのために用いられる。推奨値は使用者定義表 0431-嗜好薬コードを参照。

使用者定義表 0431 – Recreational Drug Use Code 嗜好薬コード

Value	Description	Comment
A	Alcohol アルコール	
K	Kava カバ	
M	Marijuana マリファナ	
T	Tobacco - smoked タバコ	
C	Tobacco - chewed 噛みタバコ	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

PV2-40 Admission Level of Care Code 入院時患者重症度 (CWE) 01545

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは入院時の患者重症度を示す。推奨値は使用者定義表 0432-入院時重症度を参照。

使用者定義表 0432 – Admission Level of Care Code 入院時重症度

Value	Description	Comment
AC	Acute 急性	
CH	Chronic 慢性	
CO	Comatose 昏睡状態	
CR	Critical 重篤	
IM	Improved 改善	
MO	Moribund 瀕死	

PV2-41 Precaution Code 要注意コード (CWE) 01546

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは患者を扱う上で医療以外の注意事項を示す。推奨値は使用者定義表 0433-要注意コードを参照。

使用者定義表 0433 - Precaution Code 要注意コード

Value	Description	Comment
A	Aggressive 攻撃的	
B	Blind 視覚障害者	
C	Confused 困惑	
D	Deaf 聴覚障害者	
I	On IV 点滴中	
N	"No-code" (i.e. Do not resuscitate) 蘇生不要等	
P	Paraplegic 対麻酔患者	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

PV2-42 Patient Condition Code 患者容態標識 (CWE) 01547

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは医療関係者以外の、例えば、家族、雇用主、牧師、取材に対して患者の現在の容態説明を示す。推奨値については使用者定義表 0434-患者容態コードを参照。

使用者定義表 0434 - Patient Condition Code 患者容態コード

Value	Description	Comment
A	Satisfactory 改善	
C	Critical 危機	
P	Poor 不安定	
S	Stable 安定	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

PV2-43 Living Will Code 生前意志標識 (IS) 00759

定義：このフィールドは患者が延命を希望しているか否か、もしそうであれば延命希望を示す書類を医療機関が持っているかを示す。もし尊厳死を希望している場合は、この値は尊厳死希望の書類の保管場所を示す。推奨値については使用者定義表 0315-生前意志標識を参照。また、PD1-7 延命希望標識もあわせて参照。

使用者定義表 0315 - Living Will Code 生前意志標識

Value	Description	Comment
Y	Yes, patient has a living will 患者は生前意志表示を行っている	
F	Yes, patient has a living will but it is not on file 患者は生前意志表示があるが、文書ファイルにはなっていない	
N	No, patient does not have a living will and no information was provided 患者の生前意志表示が無く、情報も提供されていない	
I	No, patient does not have a living will but information was provided 患者の生前意志表示が無いが、情報は提供されている	
U	Unknown 不明	

PV2-44 Organ Donor Code 臓器提供希望標識 (IS) 00760

定義：このフィールドは患者が臓器提供を望むか否か、その医療機関においてドナーカードまたは類似の書類を保管しているか否かを示す。推奨値については使用者定義表 0316-臓器提供コードを参照。

使用者定義表 0316 - Organ Donor Code 臓器提供コード

Value	Description	Comment
Y	Yes, patient is a documented donor and documentation is on file 患者は臓器提供を希望しており、ドナーカードを有している	
F	Yes, patient is a documented donor, but documentation is not on file 患者は臓器提供を希望しているが、ドナーカードは無い	
N	No, patient has not agreed to be a donor 患者は臓器提供に合意していない	
I	No, patient is not a documented donor, but information was provided 患者は臓器提供を希望していないが、情報は提供されている	
R	Patient leaves organ donation decision to relatives 患者は親戚の判断で臓器提供する	
P	Patient leaves organ donation decision to a specific person	

Value	Description	Comment
U	患者は特定の人の判断で臓器提供する Unknown 不明	

PV2-45 Advance Directive Code その他の患者要望 (CWE) 01548

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
 定義: このフィールドは医療機関に対する患者の指示を示す。推奨値は使用者定義表 0435-その他の患者要望を参照。また PD1-15-その他の患者要望もあわせて参照。

使用者定義表 0435 – Advance Directive Code その他の患者要望

Value	Description	Comment
DNR	Do not resuscitate 蘇生措置不要	

PV2-46 Patient Status Effective Date 患者状態 (PV2-25) の発効日 (DT) 01549

定義: このフィールドはPV2-24患者状態が有効となった日付を示す。

PV2-47 Expected LOA Return Date/Time 予定帰院日時 (TS) 01550

成分: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>
 定義: このフィールドはA21 患者の外出・外泊開始において必要となる。同様に、A22 患者の帰院、A52 患者の外出・外泊の取消、A53 患者の帰院の取消も同様である。このフィールドは患者が帰院する予定の日時を示す。

PV2-48 Expected Preadmission Testing Date/Time 入院前検査予定日時 (TS) 01841

成分: <Time (DTM)> ^ <Degree of Precision (ID)>
 定義: このフィールドは患者の入院前検査を予定している日時を示す。

PV2-49 Notify Clergy Code 聖職者通知標識 (IS) 01842

定義: このフィールドは聖職者に通知されるべきかを通知するために使用される。推奨値は使用者定義表 0534-聖職者通知標識を参照。

使用者定義表0534 - Notify Clergy Code 聖職者通知標識

Value	Description	Comment
Y	Yes 必要あり	
N	No 必要なし	
L	Last Rites only 埋葬業者のみ	
O	Other その他	
U	Unknown 不明	

7.14QAK - Query Acknowledgment Segment 照会認知セグメント

QAK セグメントは、照会に対する応答で送られた情報を含んでいる。QAK セグメントは拡張照会に対する応答に必要であるが、いずれのオリジナルモードの照会に対する、いずれの照会応答(メッセージ)中の ERR セグメント (オプション) の後に置かれるオプションセグメントとして現れても良い。

HL7属性表－QAK－Query Acknowledgment Segment 照会認知セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	32	ST	C	C			Query Tag 問合せタグ
2	2	ID	O	O		0208	Query Response Status 問合せ応答ステータス
3	250	CWE	O	O		0471	Message Query Name メッセージ問合せ名
4	10	NM	O	O			Hit Count Total 合計データトータル数
5	10	NM	O	O			This payload この応答中の合致データ数
6	10	NM	O	O			Hits remaining 残りの合致データ数

QAK フィールドの定義

QAK-1 Query Tag 問合せタグ (ST) 00696

定義： 問合せを識別するために、問合せ側システムがこのフィールドに値を設定する。このフィールドは問合せメッセージと応答メッセージの組み合わせ照合に用いられる。もしこの値が存在するならば、応答システムは問合せ応答セグメント(QAK)の最初のフィールドとしてこの値を返す必要がある。このフィールドは MSA-2-message control ID とは異なる。その値はある問合せに関係した各メッセージ(すなわち、すべての継続するメッセージ)に対して一定である。一方、MSA-2-message control ID は継続するメッセージで変化するかもしれない。なぜなら、それは問合せ全体としてではなく独立したメッセージに関係するためである。オリジナルモードの照会の時、QAK-1-Query Tag は使用しない。

QAK-2 Query Response Status 問合せ応答ステータス (ID) 00708

定義： このフィールドは応答システムが正確な応答ステータスを返すためのものである。このフィールドは、特に問合せパラメータに合致するデータが見つからなかったが、エラーは発生しなかった場合に有効である。値は HL7 表 0208 - Query Response Status にて定義される。

HL7表0208－ Query Response Status 照会応答状態

Value	Description	Comments
OK	Data found. No errors(this is the default) データ検出 エラー無し (これはデフォルトである)。	
NF	No data found. No errors データ未検出 エラー無し	
AE	Application error アプリケーションエラー	
AR	Application reject アプリケーション拒絶	

QAK-3 Message Query Name メッセージ問合せ名 (CWE) 01375

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは問合せの名称を含む。これらの名称は、機能ごとの章にて割当てられる。サイト固有の事象の場合、問合せ名は”Z”で始まる。 使用者定義表 0471 - Query name を参照。

QAK-4 Hit Count Total 合計データトータル数 (NM) 01434

定義： このフィールドが用いられる場合、このフィールドはサーバが検出した問合せに対する合致データのトータル数を含む。表形式の応答(tabular response)では、これは検出した列の数に相当する。その他の応答タイプでは、Conformance Statement にて“合致”の意味を定義する。

QAK-5 This Payload この応答中の合致データ数 (NM) 01622

定義： このフィールドが用いられる場合、このフィールドはサーバがクライアントの応答の中で送る合致データの数を含む。継続プロトコルが応答伝達に用いられる場合、この数は QAK-4-Hit count total で送られる値とは一致しない。

QAK-6 Hits Remaining 残りの合致データ数 (NM) 01623

定義： このフィールドが用いられる場合、このフィールドはサーバがまだ送っていない合致データの数を含む。このフィールドは、サーバが応答を伝達するのに継続プロトコルを用いる場合にのみ意味がある。

7.15 QPD - query parameter definition 照会パラメータ定義

QPD セグメントは照会のパラメータを定義する。

HL7属性表 - QPD - Query Parameter Definition 照会パラメータ定義

SEQ	LEN	DT	OPT	JAPAN	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	250	CWE	R	R		0471	Message Query Name 照会メッセージ名
2	32	ST	C	C			Query Tag 照会タグ
3-n	256	varies		C			User Parameters (in successive fields) 使用者パラメータ

QPD フィールド定義

QPD-1 Message Query Name 照会メッセージ名 (CWE) 01375

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは照会名を含む。これらの名前は、この仕様の機能に特定した章に指定されている。照会名に関しては、コンフォーマンス・ステートメントと一対一であり、実は、そのコンパフォーマンス・ステートメントのための識別子である。サイトで定義した照会名は、文字「Z」から始まる。提案された値については、使用者定義表 0471—照会名参照。

使用者定義表 0471 - Query name 照会名

Value	Description	Comment
	no suggested values 推奨値なし	

例)

患者基本属性照会メッセージ イベント(Q22): IHE PDQ Query (JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 を参照のこと)

患者基本属性及び所在照会メッセージ イベント(ZV1): IHE PDVQ Query (JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 を参照のこと)

検査依頼情報照会メッセージ イベント(WOS):

(LDA の場合): WOS^Work Order Step^IHE_LABTF

(LAW の場合): WOS^Work Order Step^IHALAW

WOS_ALL^Work Order Step All^IHALAW

WOS_BY_RACK^Work Order Step by Rack^IHALAW

WOS_BY_TRAY^Work Order Step by Tray^IHALAW

WOS_BY_ISOLATE^Work Order Step by Isolate^IHALAW

ラベル情報照会メッセージ イベント(SLI): SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF

IHE の記載がある照会名は IHE Laboratory Technical Framework を参照のこと。

QPD-2 Query Tag 照会タグ (ST) 00696

定義: 問合せを識別するために、問合せ側システムがこのフィールドに値を設定する。このフィールドは問合せメッセージと応答メッセージの組み合わせ照会に用いられる。もしこの値が存在するならば、応答システムは問合せ応答セグメント(QAK)の最初のフィールドとしてこの値を返す必要がある。このフィールドは MSA-2-message control ID とは異なる。その値はある問合せに関係した各メッセージ(すなわち、すべての継続するメッセージ)に対して一定である。一方、MSA-2-message control ID は継続するメッセージで変化するかもしれない。なぜなら、それは問合せ全体としてではなく独立したメッセージに関係するためである。

[実装時の考慮: ソケットの返答メッセージだけが、今送られた照会に対して唯一の応答になる場合には、実装でこのフィールドに値を入れる必要がない。逆に、多くの照会、応答、および他のメッセージが、同じソケットを越えて双方向に伝えられる「非同期」の場合には、サーバがどちらの照会に答えているかをクライアントが知れるように、このフィールドに値が入ることが必須である。]

QPD-3 User Parameters 使用者パラメータ (Varies) 01435

定義: QPD-3~nは使用者パラメータ・データを伝える。パラメーターについては、下記の表を参照すること。

a) メッセージ問合せ名=WOS^Work Order Step^IHE_LABTF の場合

QPD Input Parameter Specification

Field Seq (Query ID=Znn)	Col Name	Key/ Search	Sort	LEN	TYPE	Opt	Rep	Match Op	TBL	Segment Field Name	Service Identifier Code	Element Name
1	MessageQueryName			60	CWE	R						
2	QueryTag			32	ST	R						
3	Specimen Identification			80	EIP	C	Y	=		SPM-2		01756
4	Container Identification			80	EI	C	Y	=		SAC-3		01331
5	Carrier Identification			80	EI	C		=		SAC-10		01337
6	Position in Carrier			80	NA	C		=		SAC-11		01338
7	Tray Identification			80	EI	C		=		SAC-13		01340
8	Position in Tray			80	NA	C		=		SAC-14		01341
9	Location			705	CWE	C	Y	=		SAC-15		01342

b) メッセージ問合せ名=SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF の場合

QPD Input Parameter Specification

Field Seq (Query ID=SLI)	Col Name	Key/ Search	Sort	LEN	TYPE	Opt	Rep	Match Op	TBL	Segment Field Name	Service Identifier Code	Element Name
1	MessageQueryName			60	CWE	R						01375
2	QueryTag			32	ST	R						00696
3	Patient ID			80	CK	C		=		PID-3		00105
4	Patient Visit Number			80	CX	C		=		PV1-19		00149
5	Placer Group Number			80	EI	C		=		ORC-4		00218
6	Placer Order Number			80	EI	C		=		ORC-2		00216
7	Filler Order Number			80	EI	C		=		ORC-3		00217
8	Search Period			53	DR	C						

c) メッセージ問合せ名=IHE PDQ Query の場合

QPD Input Parameter Specification

Field Seq (Query ID=)	Col Name	Key/ Search	Sort	LEN	TYPE	Opt	Rep	Match Op	TBL	Segment Field Name	Service Identifier Code	Element Name
1	MessageQueryName			705	CWE	R			01375			
2	QueryTag			32	ST	R			00696			
3	Demographics Fields			80	QIP	R						
8	What Domains Returned			80	CX	O						

d) メッセージ問合せ名=IHE PDVQ Query の場合

QPD Input Parameter Specification

Field Seq (Query ID=)	Col Name	Key/ Search	Sort	LEN	TYPE	Opt	Rep	Match Op	TBL	Segment Field Name	Service Identifier Code	Element Name
1	MessageQueryName			705	CWE	R			01375			
2	QueryTag			32	ST	R			00696			
3	Demographics Fields			80	QIP	R						
8	What Domains Returned			80	CX	O						

e) メッセージ問合せ名=WOS^Work Order Step^IHELAW の場合

QPD Input Parameter Specification

Field Seq (Query ID=)	Col Name	Key/ Search	Sort	LEN	TYPE	Opt	Rep	Match Op	TBL	Segment Field Name	Service Identifier Code	Element Name
1				60	CWE				1375			Message Query Name
2				32	ST				696			Query Tag
3				80	EI				1331			SAC-3:Container Identifier
4				80	EI				1337			SAC-10:Carrier Identifier
5				80	NA				1338			SAC-11:Position in Carrier
6				80	EI				1340			SAC-13:Tray Identifier
7				80	NA				1341			SAC-14:Position in Tray
8				250	CWE				1342			SAC-15:Location
9				80	EI				1332			SAC-4: Primary (parent) Container Identifier

7.16 RCP - response control parameter segment 応答制御パラメータセグメント

RCP セグメントは、照会に対する応答で返送されるべきデータの、量を制限するために使われる。

HL7属性表 - RCP - Response Control Parameter 応答制御パラメータ

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	1	ID	O	O		0091	Query Priority 問合せ優先度
2	10	CQ	O	O		0126	Quantity Limited Request 量限定要求
3	250	CWE	O	O		0394	Response Modality 応答モダリティ
4	26	TS	C	N			Execution and Delivery Time 実行伝達時間
5	1	ID	O	N		0395	Modify Indicator 修正フラグ
6	512	SRT	O	N	Y		Sort-by Field フィールドごとのソート制御
7	256	ID		O	Y	0391	Segment Group Inclusion セグメントグループ包含

RCP フィールド定義

RCP-1 Query Priority 照会優先度 (ID) 00027

定義：このフィールドは応答が期待されるタイムフレームが含まれる。

提案される値については、HL7 表 0091—照会優先度を参照。表値とその後のフィールドは、応答のためのタイムフレームを指定する。

HL7表 0091 - Query priority 照会優先度

Value	Description	Comment
D	Deferred	
I	Immediate	

本規約では、I (Immediate)の使用を推奨する。

RCP-2 Quantity Limited Request 数量限定要求 (CQ) 00031

成分： <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE): <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、要求しているシステムにより受け入れられる応答の最大長が含まれる。有効な入力、第2のコンポーネントで指定されたユニットで与えられる数値(最初のコンポーネントに)である。デフォルトはLI (ライン)。

第2のコンポーネントの有効なエントリは、HL7 表 0126 —数量制限要求を参照。セグメントパターン応答では、ラインは1つのセグメントとして定義される。

HL7表 0126 - Quantity limited request 数量制限要求

Value	Description	Message Usage	Comment
CH	Characters	RSP/RTB/RDY	Used where size of input buffer has limitations
LI	Lines	RTB/RDY	
PG	Pages	RDY	
RD	Records	RSP/RTB/RDY	In RSP record = hit
ZO	Locally defined		

例) 1^RD

RCP-3 Response Modality 応答様式 (CWE) 01440

成分： <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

定義：このフィールドは、応答メッセージのタイミングとグルーピングを指定する。有効な値については、HL7 表 0394—応答様式を参照。

HL7表 0394 - Response modality 応答様式

Value	Description
R	Real Time

Value	Description
T	Bolus (a series of responses sent at the same time without use of batch formatting)
B	Batch

本規約では、R (Real Time)の使用を推奨する。

RCP-4 Execution and Delivery Time 実行及び配送時間 (TS) 01441

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

返送される応答の時間を指定する。このフィールドは、RCP-1 照会優先度が D (遅延)の値の時に限り、評価される (値が入れられる)。

RCP-5 Modify Indicator 変更表示子 (ID) 01443

定義: このフィールドは、申し込みが新しいものか、あるいは変更がされつつあるのかを指定する。有効な値については、HL7 表 0395 – 変更指示子を参照。

HL7表 0395 – Modify indicator 変更指示子

Value	Description	Comment
N	New Subscription	
M	Modified Subscription	

RCP-6 Sort-by Field ソートするフィールド (SRT) 01624

成分: <Sort-by Field (ST)> ^ <Sequencing (ID)>

定義: 表になっている返答を求める照会のために、このフィールドは、どちらのフィールドによって、応答がソートされるかということ、そして、区分けをする順序を指定する。QSC 別形が用いられていないときに、このフィールドの最初のコンポーネントのために指定された値は、アウトプット仕様および注釈の ColName フィールドから引き出される。セクション 5.3.3.1 を参照。QSC 別形が使われるときには、これらの値はインプット/アウトプット仕様および注釈の ColName フィールドから引き出される。例についてはセクション 5.9.4.1 を参照。

このフィールドのそれぞれの繰り返しは、1つのソート・フィールドを指定する。このように、このフィールドの最初の繰り返しは、第一次的なソート・フィールドを指定する; 第2の繰り返しは、第二次的なソート・フィールドを指定する; etc. .

RCP-7 Segment Group Inclusion セグメントグループ包含 (ID) 01594

定義: 応答に含まれるオプション・セグメント・グループを指定する。セグメントグループの値については、HL7 表 0391 – セグメントグループを参照。これは、複数のセグメントグループを含めるための繰り返しフィールドである。このフィールドのデフォルト (表されていない) は、すべての関連するグループが含まれることを意味する。 .

注: セグメントグループのためのコードは、HL7 表 0391 から取り出されるが、セグメントグループ (e.g. PIDG) の正確なセグメント-レベルの定義は、そのセグメントグループが現れる、その照会のコンフォーマンス・ステートメントの中だけから与えられる。 .

例:

HL7表 0391 – Segment group セグメントグループ

Value	Description	Comment
PIDG	PID group	
OBRG	OBR group	
ORCG	ORC group	
RXAG	RXA group	
RXDG	RXD group	
RXEG	RXE group	
RXOG	RXO group	
Etc		

注: HL 7 表 0391 – セグメントグループは、現在、HL7 によって定義されたいかなる値も含まない。値は HL7 技術委員会によって投票により同意されたものがコンフォーマンス・ステートメント中にあるので、それらがこの表に含まれるだろう。 .

7.17ROL - Role Segment 役割セグメント

役割セグメントは個人に関連したレコードの追加、更新、修正、削除はもちろん、それらの伝達されるアクティビティについての機能的関連性にも、必要なデータからなる。

HL7属性表 - ROL - Role 役割

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	60	EI	C	C			Role Instance ID 役割実体ID
2	2	ID	R	R			Action Code アクションコード
3	250	CWE	R	R		0443	Role-ROL 役割
4	250	XCN	R	R	Y		Role Person 役割者
5	26	TS	O	O			Role Begin Date/Time 役割開始日時
6	26	TS	O	O			Role End Date/Time 役割終了日時
7	250	CWE	O	O			Role Duration 役割継続時間
8	250	CWE	O	O			Role Action Reason 役割行為理由
9	250	CWE	O	O	Y		Provider Type 提供者タイプ
10	250	CWE	O	O		0406	Organization Unit Type 組織単位タイプ
11	250	XAD	O	O	Y		Office/Home Address/Birthplace 職場／自宅住所／出生地
12	250	XTN	O	O	Y		Phone 電話

ROL フィールド定義

ROL-1 Role Instance ID 役割実体 ID (EI) 01206

成分: <Entity Identifier (ST)> ^ <Namespace ID (IS)> ^ <Universal ID (ST)> ^ <Universal ID Type (ID)>

定義: このフィールドは特定の役割レコードの一意な識別子からなる。

条件適応規則: 患者ケアと人事管理メッセージで使用されるときこのフィールドは必要である。ADTと財務メッセージで使用されるときこのフィールドはオプションである。

ROL-2 Action Code アクションコード (ID) 00816

定義: このフィールドはメッセージの意図を明確にする。取りうる値はHL7表 0287-プロBLEM/ゴールアクションコードを参照。

HL7表0287-Problem/goal action code プロBLEM/ゴール アクションコード

Value	Description	Comment
AD	ADD	
CO	CORRECT	
DE	DELETE	
LI	LINK	
UC	UNCHANGED *	
UN	UNLINK	
UP	UPDATE	

*UNCHANGED アクションコードが使用されるのは、適用プログラムに対して、この特定セグメントは修正されるべき情報を含まないことを示すためである。それは後続の正しいレコードへの修正と区別するために提供されている。

ROL-3 Role-ROL 役割 (CWE) 01197

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このセグメントは伝達されるアクティビティについての機能的関連性を識別する (例えば、ケースマネージャー、評価者、記録者、看護従事者、助産婦、副医師、など)。取りうる値は使用者定義表 0443- 提供者の役割を参照。ROL セグメントが PV1 セグメントにおける主治医、紹介医師、入院許可医師に関して使用されるとき、HL7 特定の表を使用すべきである。付加的サイトでは相互に打ち合わせた値が可能である。

注: 表 0443 は表 0286 と同様の使用や同様の値を持つと思われるが、より一般的な概念を支援するものである。

使用者定義表0443 - Provider role 提供者の役割

Value	Description	Used with
AD	Admitting 入院許可	PV1-17 Admitting doctor入院許可医師
AT	Attending 治療・看護担当	PV1-7 Attending doctor主治医
CP	Consulting Provider コンサルティング提供者	
FHCP	Family Health Care Professional 家庭医専門者	
PP	Primary Care Provider プライマリケア提供者	
RP	Referring Provider 紹介提供者	PV1-8 Referring doctor紹介医師
RT	Referred to Provider 紹介受託者	

*ADT と財務メッセージにおける ROL セグメントの位置づけは関連性を識別することである。セグメントがIN3に続いて使用されるとき、そして役割-ROL の値がPP あるいはFHCP であるとき、PP あるいはFHCP は医療計画に関係している。セグメントがPIDに続いて使用されるとき、そして役割-ROL の値がPP あるいはFHCP であるとき、PP あるいはFHCP は個人に関係している。セグメントがPV2に続いて使用されるとき、そして役割-ROL の値がPCP（訳注：PP の誤記） あるいはFHCP であるとき、PP あるいはFHCP は来院に関係している。
本規約に推奨される値は定義されていない。

ROL-4 Role Person 役割者 (XCN) 01198

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 for Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 for Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Name Context (CWE): <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ID)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ID)> ^ <coding system version ID (ST)> ^ <alternate coding system version ID (ST)> ^ <original text (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>
Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 for Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは伝達されている役割を担当している人の識別からなる。

ROL-5 Role Begin Date/Time 役割開始日時 (TS) 01199

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
定義: このフィールドは役割が開始された日時からなる。

ROL-6 Role End Date/Time 役割終了日時 (TS) 01200

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>
定義: このフィールドは役割を終えた日時からなる。

ROL-7 Role Duration 役割継続期間 (CWE) 01201

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは役割の履行についての質的時間長からなる (例えば、次のアセスメントまで、4 日間、退院まで、など)。

ROL-8 Role Action Reason 役割の行動理由 (CWE) 01205

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドはなぜ個人がこの役割を担当 (あるいは変更) しているかの理由を識別する (例えば、シフト変更、新規主看護婦、など)。

ROL-9 Provider Type 提供者タイプ (CWE) 01510

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは提供者のタイプを識別するコードからなる。この属性は続くマスタファイル属性: STF-4 職員タイプと相互に関連する。相互に関連するマスタファイル表からのコード値が使用される; 使用者定義マスタファイル表はこの属性のためにコーディング体系として使用される。

ROL-10 Organization Unit Type 組織単位タイプ (CWE) 01461

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは ROL-3 で特定された役割を提供者が実施する環境を識別する。使用者定義表 0406 - 組織単位タイプを参照。

使用者定義表0406 - Organization unit type 組織単位タイプ

Value	Description
H	Home 家庭
O	Office 職場
1	Hospital 病院
2	Physician Clinic 医院
3	Long Term Care 長期療養
4	Acute Care 急性期療養
5	Other その他

ROL-11 Office/Home Address/Birthplace 職場/自宅住所/出生地 (XAD) 00679

成分: <Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 for Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 for DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

Note subcomponent contains sub-subcomponents

副成分 for Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは提供者の職場の住所と自宅の住所からなる。

ROL-12 Phone 電話 (XTN) 00678

成分: <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義: このフィールドは提供者の電話番号からなる。

7.18SPM - Specimen Segment 検体セグメント

このセグメントの意図は検体の特性について記述することである。それは、OBR がオーダに特有の情報を示す点で OBR の意図と異なる。また、SAC が検体容器情報を示す点で SAC セグメントとも異なる。検体セグメントの分離によってもたらされる利点は、オーダ、結果、検体および検体容器の間の複数の関係を一般化するという点である。

検体は「個人、グループ、アイテムあるいはグループ、クラスあるいは全体に関する結論を引き出す目的で観察や分析の対象である、より大きなグループ、クラスあるいは全体の部分代表である、物理的な実体」として定義される。宇宙のどんな物理的な実体も検体になる可能性を持っていることに注意されたい。検体がどこから採取され、どこから分離されたかを明確にし、その違いを表わす。検体は、検査の間にすべて、もしくは部分的に消費される。また、検体の残る部分も持続的に保管することができる。

このセグメントも、「仮想の」検体についてある制約をもって記述するために使用されてもよい。特性を識別することは、特に、特定の観察か検査の状況で必要なため要求した。

まとめとして、SPM セグメントは検体の識別とその属性を認識するためにある。

HL7 属性表 - SPM - Specimen 検体

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O	RE			Set ID - SPM セットID - SPM
2	80	EIP	O	RE			Specimen ID 検体ID
3	80	EIP	O	O	Y		Specimen Parent IDs 親検体ID
4	250	CWE	R	R		0487	Specimen Type 検体タイプ
5	250	CWE	O	O	Y	0541	Specimen Type Modifier 検体タイプ修飾子
6	250	CWE	O	O	Y	0371	Specimen Additives 検体添加物
7	250	CWE	O	O		0488	Specimen Collection Method 検体採取法
8	250	CWE	O	RE		0070	Specimen Source Site 検査材料・検査部位
9	250	CWE	O	O	Y	0542	Specimen Source Site Modifier 検査材料修飾子
10	250	CWE	O	O		0543	Specimen Collection Site 検体採取部位
11	250	CWE	O	O	Y	0369	Specimen Role 検体役割
12	20	CQ	O	O			Specimen Collection Amount 検体採取量
13	6	NM	C	C			Grouped Specimen Count 検体総数
14	250	ST	O	O	Y		Specimen Description 検体記述
15	250	CWE	O	O	Y	0376	Specimen Handling Code 検体取り扱いコード
16	250	CWE	O	O	Y	0489	Specimen Risk Code 検体リスクコード
17	26	DR	O	RE			Specimen Collection Date/Time 検体採取日時
18	26	TS	O	O			Specimen Received Date/Time 検体受領日時
19	26	TS	O	O			Specimen Expiration Date/Time 検体有効日時
20	1	ID	O	O		0136	Specimen Availability 検体有効性
21	250	CWE	O	C	Y	0490	Specimen Reject Reason 検体拒否理由
22	250	CWE	O	O		0491	Specimen Quality 検体品質
23	250	CWE	O	O		0492	Specimen Appropriateness 検体適合性
24	250	CWE	O	O	Y	0493	Specimen Condition 検体条件
25	20	CQ	O	O			Specimen Current Quantity 検体量
26	4	NM	O	O			Number of Specimen Containers 検体容器数
27	250	CWE	O	O			Container Type 容器タイプ
28	250	CWE	O	O		0544	Container Condition 容器状態
29	250	CWE	O	O		0494	Specimen Child Role 子検体役割

SPM フィールド定義

SPM-1 Set ID – SPM セット ID – SPM (SI) 01754

定義：このフィールドはシーケンス番号を持ち、同じメッセージ中の SPM セグメントの繰り返しを識別する。

SPM-2 Specimen ID 検体 ID (EIP) 01755

成分： <Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

副成分 for Placer Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Filler Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、依頼者アプリケーション、実施者アプリケーション、またはその両方で検体を識別するためのユニークな ID を持つ。

SPM-3 Specimen Parent IDs 親検体 ID (EIP) 01756

成分： <Placer Assigned Identifier (EI)> ^ <Filler Assigned Identifier (EI)>

副成分 for Placer Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 for Filler Assigned Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義：このフィールドは、セグメント実例によって記述される検体に寄与した検体(複数可)のための確認を含んでいる。

このフィールドが繰り返される場合、SPM-11-検体役割は「L」(プール検体)と評価される。その後、この項目の反復は、プールに寄与する親検体の検体 ID を示す。

SPM-4 Specimen Type 検体タイプ (CWE) 01900

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは、検査の原材料の正確な性質について記述する。

この属性の特定の实体についてできるだけ正確に記述する。

この属性は OBR-15– Specimen Source と SAC-6– Specimen Source の第 1 のコンポーネント– Specimen source name or code に相当する。本規約では、これらのコンポーネントは使用しない。

一般に認識されるコーディング体系は、このフィールドのために使用されることになっている。このフィールドで有効なコードには次のものがある：

- ・ 日本臨床検査医学会 臨床検査項目分類コード 材料コード表 (第 5 章 5.6 節参照)
- ・ HL7 表 0487– Specimen Type 検体タイプ、HL7 V2.5 第 7 章 7.18.4 節参照 (HL7 表 0070– Specimen source codes 検査材料コード、HL7 V2.5 第 7 章 7.18.2 節参照を置換)
- ・ SNOMED、その他.
- ・ 獣医学では、その分野で決定したこのフィールドの要素をサポートする表を選択してもよい。

HL7 表0487 - Specimen Type 検体タイプ

Value	Description	Comment
ABS	Abscess 膿瘍	
PELVA	Abscess Pelvic 骨盤	Condition
PERIA	Abscess, Perianal 肛門周辺	Condition, Abscess & Body Part
RECTA	Abscess, Rectal 直腸	Condition
SCROA	Abscess, Scrotal 陰囊	Condition
SUBMA	Abscess, Submandibular 顎下腺	Condition
SUBMX	Abscess, Submaxillary 下腺部	Condition
TSTES	Abscess, Testicular 睾丸	Condition
AIRS	Air Sample 空気	Environment
ALL	Allograft 移植片	Tissue 組織
AMP	Amputation 切片	Tissue 組織
GASAN	Antrum 胸腔, Gastric 胃	Tissue 組織
ASP	Aspirate 吸引物	
ETA	Aspirate, Endotrach 気管	Aspirate

Value	Description	Comment
GASA	Aspirate, Gastric 胃	Aspirate
NGASP	Aspirate, Nasogastric 鼻腔	Aspirate
TASP	Aspirate, Tracheal 導管	Aspirate
TTRA	Aspirate, Transtracheal 導管經由	Aspirate
AUTP	Autopsy 剖検	Tissue
BX	Biopsy 生検	Tissue
GSPEC	Biopsy, Gastric 胃	Tissue
SKBP	Biopsy, Skin 皮膚	Tissue
CONE	Biospy, Cone 下腿	Tissue
BITE	Bite 噛む	Conditions
CBITE	Bite, Cat 猫	Conditions
DBITE	Bite, Dog 犬	Conditions
HBITE	Bite, Human 人	Conditions
IBITE	Bite, Insect 昆虫	Conditions
RBITE	Bite, Reptile 爬虫類	Conditions
BLEB	Bleb 気泡	Condition, Fluid/Tissue
BLIST	Blister 水ぶくれ	Condition, Fluid/Tissue
BBL	Blood bag 血液バック	Blood
BPU	Blood product unit 血液製剤	Blood
HBLUD	Blood, Autopsy 剖検血液	Blood
CSV	Blood, Cell Saver 血液細胞	Transfusion
FBLOOD	Blood, Fetal 胎児血	Blood
MBLD	Blood, Menstrual 生理血	Blood
WB	Blood, Whole 血液	Blood
BOIL	Boil おでき	Condition
BON	Bone 骨	
BOWL	Bowel contents 内臓物	Condition
BRTH	Breath (use EXHLD) 呼吸	
BRSH	Brush 擦過	Product; Brush or brushing (these may be 2 separate entries as in a physical brush or a portion thereof vs the substance obtained after a surface has been brushed)
EBRUSH	Brush, Esophageal 食道	Product
BRUS	Brushing ブラッシング	Product
GASBR	Brushing, Gastric 胃	Product
BUB	Bubo 横根	Condition
BULLA	Bulla/Bullae 水泡	Condition
BRN	Burn やけど	
CALC	Calculus (=Stone) 結石	
CARBU	Carbuncle 吹き出物	Condition
CAT	Catheter 導尿管	Device
CSITE	Catheter Insertion Site 導尿部位	Device
CTP	Catheter tip 導尿チップ	Device
ANGI	Catheter Tip, Angio 血管	Device
ARTC	Catheter Tip, Arterial 動脈	Device
CVPT	Catheter Tip, CVP 中心静脈圧	Device
ETTP	Catheter Tip, Endotracheal 気管内	Device
FOLEY	Catheter Tip, Foley 薄板	Device
HEMAQ	Catheter Tip, Hemaquit 赤血球	Device
HEMO	Catheter Tip, Hemovac インフレンザワクチン	Device
IDC	Catheter Tip, Indwelling 留置物	Device
INTRD	Catheter Tip, Introducer 導入物	Device

Value	Description	Comment
IVCAT	Catheter Tip, IV 点滴	Device
MAHUR	Catheter Tip, Makurkour マクア	Device
SCLV	Catheter Tip, Subclavian 鎖骨下動脈	Device
SPRP	Catheter Tip, Suprapubic 陰部	Device
SWGZ	Catheter Tip, Swan Gantz スワンガン	Device
VASTIP	Catheter Tip, Vas 血管	Device
VENT	Catheter Tip, Ventricular 腹腔	Device
GROSH	Catheter, Groshong グロソン	Device
HIC	Catheter, Hickman ヒックマン	Device
PORTA	Catheter, Porta ポルタ	Device
SPRPB	Cathether Tip, Suprapubic 陰部	Device
TLC	Cathether Tip, Triple Lumen トリプルルーメン	Device
CLIPP	Clippings 切り落とし	Condition
COL	Colostrum 初乳	
CNJT	Conjunctiva 結膜	
LENS1	Contact Lens コンタクトレンズ	Device
LENS2	Contact Lens Case コンタクトレンズケース	Device
CYST	Cyst 嚢胞	
BCYST	Cyst, Baker's ベーカー	Condition
ICYST	Cyst, Inclusion 異物	Condition
PILOC	Cyst, Pilonidal 毛嚢胞	Condition
RENALC	Cyst, Renal 胃臓	Condition
DIA	Dialysate 血液透析液	Condition
DISCHG	Discharge 退院	Condition
DIV	Diverticulum 憩室	Condition
DRN	Drain ドレーン	
DRN	Drain ドレーン	Device
HEV	Drain, Hemovac インフルエンザ®リクチン	Device
GTUBE	Drainage Tube, Drainage (Gastrostomy) チューブ®	Condition
GASD	Drainage, Gastric 胃	Condition
ILEO	Drainage, Ileostomy 回腸	Condition
JP	Drainage, Jackson Pratt	Condition
JEJU	Drainage, Jejunal	Condition
NASDR	Drainage, Nasal 経鼻	Condition
NGAST	Drainage, Nasogastric 胃経鼻	Condition
PND	Drainage, Penile ペニス	Condition
DRNGP	Drainage, Penrose ペンローズ	Condition
RECT	Drainage, Rectal 直腸	Condition
SUMP	Drainage, Sump 排水だめ	Condition
DRNG	Drainage, Tube 管	Device
EARW	Ear wax (cerumen) 耳垢	
EFFUS	Effusion 流出	Condition
ELT	Electrode 溶血	
AUTO	Environment, Attest 証明	Environment
ATTE	Environmental, Autoclave Ampule オートクレーブ®容器	Environment
AUTO	Environmental, Autoclave Capsule カプセル	Environment
EFF	Environmental, Effluent 廃液	Environment
EEYE	Environmental, Eye Wash 洗眼	Environment
EFOD	Environmental, Food 食物	Environment
EISO	Environmental, Isolette 保育器	Environment
EOTH	Environmental, Other Substance 薬物	Environment; (Substance is Known but not in code Table)

Value	Description	Comment
ESOI	Environmental, Soil 汚水	Environment
ESOS	Environmental, Solution (Sterile) 無精子	Environment
SPS	Environmental, Spore Strip 孢子	Environment
STER	Environmental, Sterrad ステラッド	Environment
ENVIR	Environmental, Unidentified Substance 不明物	Environment
WWA	Environmental, Water 水	Environment
DEION	Environmental, Water (Deionized) 脱イオン化	Environment
WWT	Environmental, Water (Tap) たまり	Environment
FAW	Environmental, Water (Well) 泉	Environment
WWO	Environmental, Water (Ocean) 海	
EWHI	Environmental, Whirlpool 渦巻き	Environment
EXUDTE	Exudate 滲出液	Condition
FLT	Filter 濾過	
FIST	Fistula 瘻孔	
FLUID	Fluid 流体	Fluid
FGA	Fluid, Abdomen 腹部	Fluid
CSMY	Fluid, Cystostomy Tube 膀胱管	Fluid
ACNFLD	Fluid, Acne 挫傷	Fluid
FLU	Fluid, Body unsp 不明	
CST	Fluid, Cyst 嚢胞	Fluid
HYDC	Fluid, Hydrocele 睾丸溜	Fluid
IVFLD	Fluid, IV 点滴	Fluid
JNTFLD	Fluid, Joint 関節	Fluid
KIDFLD	Fluid, Kidney 腎臓	Fluid
LSAC	Fluid, Lumbar Sac 腰部	Fluid
FLD	Fluid, Other その他	Fluid
PCFL	Fluid, Pericardial 心嚢	
RENC	Fluid, Renal Cyst 肝臓細胞	Fluid
FRS	Fluid, Respiratory 呼吸器	Fluid
SHUNF	Fluid, Shunt シヤント	Fluid
SNV	Fluid, synovial (Joint fluid) 骨髄	
GAST	Fluid/contents, Gastric 胃内容物	
FUR	Furuncle せつ腫	Condition
GAS	Gas ガス	
EXG	Gas, exhaled (=breath) 排気	
IHG	Gas, Inhaled 感染	
GENV	Genital vaginal 膺	
GRAFT	Graft 移植片	Condition
GRAFT	Graft Site 移植部	Condition
POPGS	Graft Site, Popliteal 膝	Condition
POPLG	Graft, Popliteal 膝	Condition
GRANU	Granuloma 肉芽	Condition
IMP	Implant 移植組織	Device
INFIL	Infiltrate 浸潤物	Condition
INS	Insect 昆虫	Object
IUD	Intrauterine Device 子宮内器具	Device (Common Usage)
IT	Intubation tube 挿管	
KELOI	Lavage 洗浄	Product
LAVG	Lavage, Bronhial 気管洗浄	Product
LAVGG	Lavage, Gastric 胃洗浄	Product
LAVGP	Lavage, Peritoneal 腹腔洗浄	Product

Value	Description	Comment
LAVPG	Lavage, Pre-Bronch 前気管洗浄	Product
LESN	Lesion 損傷	Condition
ORL	Lesion, Oral 口腔	Condition (Common Usage)
PENIL	Lesion, Penile ペニス	Condition (Common Usage)
LIQO	Liquid, Other その他	
LIQ	Liquid, Unspecified 未定義	
MASS	Mass 多数	Condition
SMM	Mass, Sub-Mandibular 下顎	Condition
MUCOS	Mucosa 粘膜	Condition
MUCUS	Mucus 粘液	Condition
NEDL	Needle 穿刺	Device
NODUL	Nodule(s) 瘤	Condition
CYN	Nodule, Cystic 瘤のう胞	Condition
ORH	Other	
PACEM	Pacemaker ペースメーカー	Device
PLAN	Plant Material プラント材	Object
PLAS	Plasma 血漿	Blood
PLB	Plasma bag 血漿バック	Blood
PPP	Plasma, Platelet poor 血小板不足	Blood
PRP	Plasma, Platelet rich 血小板過多	Blood
POL	Polyps ポリープ	Condition
PROST	Prosthetic Device 人口装具	Device
PSC	Pseudocyst 偽装嚢胞	Condition
PUS	Pus 膿	
PUST	Pus 膿	Condition
PUSFR	Pustule 小膿	Condition
QC3	Quality Control 品質管理	Environment
RES	Respiratory 呼吸器	Condition (Ambiguous)
SAL	Saliva 唾液	
FSCLP	Scalp, Fetal 胎児	Condition
CSCR	Scratch, Cat 猫	Condition
SECRE	Secretion(s) 分泌物	Fluid/Secretion
NSECR	Secretion, Nasal 鼻汁	Condition
SER	Serum 血清	
ASERU	Serum, Acute 急性期	Blood
CSERU	Serum, Convalescent 回復期	Blood
PLEVS	Serum, Peak Level ピーク期	Blood
TSERU	Serum, Trough 谷期	Blood
SHUNT	Shunt シヤント	Condition
EXS	Shunt, External 外部シヤント	Condition
SITE	Site 部位	Site
CVPS	Site, CVP 中心静脈圧	Site
INCI	Site, Incision/Surgical 外科的切開	Site
NGS	Site, Naso/Gastric 胃径鼻	Site
NEPH	Site, Nephrostomy 腎造成	Site
PIS	Site, Pacemaker Insetion ペースメーカー挿入	Site
PDSIT	Site, Peritoneal Dialysis 腹膜還流	Site
PDTS	Site, Peritoneal Dialysis Tunnel 腹膜還流管	Site
PINS	Site, Pin	Site
POPLV	Site, Popliteal Vein 膝	Site
SHU	Site, Shunt シヤント	Site

Value	Description	Comment
TRAC	Site, Tracheostomy 気管開設	Site
SKN	Skin 皮膚	
TZANC	Smear, Tzanck 塗抹	
GSOL	Solution, Gastrostomy 胃造成	Product
ILLEG	Source of Specimen Is Illegible 判断できず	
OTH	Source, Other その他	
UDENT	Source, Unidentified 未定義	
USPEC	Source, Unspecified 未定義	
SPRM	Spermatozoa 精虫	
SPT	Sputum 喀痰	
SPTC	Sputum – coughed 咳	
SPTT	Sputum - tracheal aspirate 気音	
DCS	Sputum, Deep Cough 深咳	Condition
SPUTIN	Sputum, Inducted 挿入	Condition
SPUT1	Sputum, Simulated 擬態	Condition
SPUTSP	Sputum, Spontaneous 自然	Condition
STONE	Stone, Kidney 腎臓結石	Condition
STL	Stool = Fecal 便秘	
SUP	Suprapubic Tap	Product
SUTUR	Suture 縫合	Object
TISS	Tissue 組織	
TISU	Tissue ulcer 潰瘍	
ACNE	Tissue, Acne 挫創	Tissue
HERNI	Tissue, Herniated 脱痙	Tissue
SCAR	Tissue, Keloid (Scar) 傷跡	Tissue
TRANS	Transudate 濾出液	Condition
ETTUB	Tube, Endotracheal 気管	Device
GT	Tube, Gastric 胃	Device
TUBES	Tubes 管	Device
IVTIP	Tubing Tip, IV 中心静脈圧	Device
TUMOR	Tumor 腫瘍	Condition
DEC	Ulcer, Decubitus 褥瘡	Condition
UR	Urine 尿	
URT	Urine catheter 導尿管	
URC	Urine clean catch 清潔採取	
URINB	Urine, Bladder Washings 膀胱洗浄	Condition
URINC	Urine, Catheterized カテーテル挿入	Condition
USCOP	Urine, Cystoscop 膀胱鏡検査	Condition
URINM	Urine, Midstream 中間尿	Condition
URINN	Urine, Nephrostomy 腎瘻造	Condition
URINP	Urine, Pedibag 足袋	Device
RANDU	Urine, Random ランダム	Condition
VITF	Vitreous Fluid 流体	
VOM	Vomit 吐物	
WRT	Wart 瘤	Tissue
WASH	Wash 洗浄	Product
WASI	Washing, e.g. bronchial washing 気管洗浄	Product
WAT	Water 水	
WEN	Wen 瘤 (大)	Tissue
WICK	Wick 芯	
WORM	Worm 女性	Object

Value	Description	Comment
WND	Wound 外傷	
WDA	Wound abscess 膿瘍	
WDD	Wound drainage 排水	
WDE	Wound exudates 滲出液	
PUNCT	Wound, Puncture 穿刺	Condition

SPM-5 Specimen Type Modifier 検体タイプ修飾子 (CWE) 01757

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは検体タイプについて修飾あるいは限定する記述からなる。

この属性の仕様は、SPM-4—検体タイプによって記述された実体を修正するか、制限するか、さらに限定するものである。SPM-4—検体タイプの中で使用されるコード・セットで完全に記述できない場合、これは特に有用である。使用者定義表 0541 - 検体タイプ修飾子を参照。

使用者定義表 0541 - Specimen Type Modifier 検体タイプ修飾子

Value	Description	Comment
	no suggested values 推奨値なし	

SPM-6 Specimen Additives 検体添加物 (CWE) 01758

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、採取前に、あるいは採取時に検体に導入されたどんな添加物例えば、ヘパリン、凝固促進剤等を識別する。これらの添加物は検体の特性や要素を、保存、維持、増強するために導入される。HL7 表 0371 – Additive/Preservative 添加物、HL7 V2.5 第7章 7.18.5 節参照。

HL7表 0371 – Additive 添加物

Value	Description	Comment
F10	10% Formalin	Tissue preservative
C32	3.2% Citrate クエン酸	Blue top tube
C38	3.8% Citrate クエン酸	Blue top tube
HCL6	6N HCL 塩酸	24 HR Urine Additive
ACDA	ACD Solution A	Yellow top tube
ACDB	ACD Solution B	Yellow top tube
ACET	Acetic Acid	Urine preservative
AMIES	Amies transport medium	Protozoa
HEPA	Ammonium heparin	Green top tube
BACTM	Bacterial Transport medium	Microbiological culture
BOR	Borate Boric Acid	24HR Urine Additive
BOUIN	Bouin's solution	Tissue
BF10	Buffered 10% formalin	Tissue
WEST	Buffered Citrate (Westergren Sedimentation Rate)	Black top tube
BSKM	Buffered skim milk	Viral isolation
CARS	Carson's Modified 10% formalin	Tissue
CARY	Cary Blair Medium	Stool Cultures
CHLTM	Chlamydia transport medium	Chlamydia culture
CTAD	CTAD (this should be spelled out if not universally understood)	Blue top tube
ENT	Enteric bacteria transport medium	Bacterial culture
ENT+	Enteric plus	Stool Cultures
JKM	Jones Kendrick Medium	Bordetella pertussis
KARN	Karnovsky's fixative	Tissue
LIA	Lithium iodoacetate	Gray top tube
HEPL	Lithium/Li Heparin ヘパリン	Green top tube
M4	M4	Microbiological culture
M4RT	M4-RT	Microbiological culture

Value	Description	Comment
M5	M5	Microbiological culture
MICHTM	Michel's transport medium	IF tests
MMDTM	MMD transport medium	Immunofluorescence
HNO3	Nitric Acid	Urine
NONE	None	Red or Pink top tube
PAGE	Pages's Saline	Acanthoemba
PHENOL	Phenol	24 Hr Urine Additive
KOX	Potassium Oxalate	Gray top tube
EDTK	Potassium/K EDTA	Deprecated. Replaced by EDTK15 and EDTK75
EDTK15	Potassium/K EDTA 15%	Purple top tube
EDTK75	Potassium/K EDTA 7.5%	Purple top tube
PVA	PVA (polyvinylalcohol)	O&P
RLM	Reagan Lowe Medium	Bordetella pertussis cultures
SST	Serum Separator Tube (Polymer Gel)	'Tiger' Top tube
SILICA	Siliceous earth, 12 mg	Gray top tube
NAF	Sodium Fluoride	Gray top tube
FL100	Sodium Fluoride, 100mg	Urine
FL10	Sodium Fluoride, 10mg	Urine
NAPS	Sodium polyanethol sulfonate 0.35% in 0.85% sodium chloride	Yellow (Blood Culture)
HEPN	Sodium/Na Heparin ヘパリン	Green top tube
EDTN	Sodium/Na EDTA	Dark Blue top tube
SPS	SPS(this should be spelled out if not universally understood)	Anticoagulant w/o bacteriocidal properties
STUTM	Stuart transport medium	Bacterial culture
THROM	Thrombin	Orange or Grey/Yellow (STAT Chem)
FDP	Thrombin NIH; soybean trypsin inhibitor (Fibrin Degradation Products)	Dark Blue top tube
THYMOL	Thymol	24 Hr Urine Additive
THYO	Thyoglycollate broth	Bacterial Isolation
TOLU	Toluene	24 Hr Urine Additive
URETM	Ureaplasma transport medium	Ureaplasma culture
VIRTM	Viral Transport medium	Virus cultures

SPM-7 Specimen Collection Method 検体採取法 (CWE) 01759

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検体の採取過程、方法について記述する

このフィールドには、SNOMED を含む国家的に認識されたコード体系を使用する。代替として HL7 表 0488- Specimen Collection Method 検体採取法、HL7 V2.5 第7章 7.18.6 節、が使用される。獣医学では、その分野で決定したこのフィールドの要素をサポートする表を選択してもよい。

HL7表 0488 – Specimen Collection Method 検体採取法

Value	Description	Comment
FNA	Aspiration, Fine Needle	
PNA	Aterial puncture	
BIO	Biopsy	
BCAE	Blood Culture, Aerobic Bottle	
BCAN	Blood Culture, Anaerobic Bottle	
BCPD	Blood Culture, Pediatric Bottle	
CAP	Capillary Specimen	
CATH	Catheterized	
EPLA	Environmental, Plate	
ESWA	Environmental, Swab	
LNA	Line, Arterial	

Value	Description	Comment
CVP	Line, CVP	
LVN	Line, Venous	
MARTL	Martin-Lewis Agar	
ML11	Mod. Martin-Lewis Agar	
PACE	Pace, Gen-Probe	
PIN	Pinworm Prep	
KOFFP	Plate, Cough	
MLP	Plate, Martin-Lewis	
NYP	Plate, New York City	
TMP	Plate, Thayer-Martin	
ANP	Plates, Anaerobic	
BAP	Plates, Blood Agar	
PRIME	Pump Prime	
PUMP	Pump Specimen	
QC5	Quality Control For Micro	
SCLP	Scalp, Fetal Vein	
SCRAPS	Scrapings	
SHA	Shaving	
SWA	Swab	
SWD	Swab, Dacron tipped	
WOOD	Swab, Wooden Shaft	
TMOT	Transport Media,	
TMAN	Transport Media, Anaerobic	
TMCH	Transport Media, Chlamydia	
TMM4	Transport Media, M4	
TMMY	Transport Media, Mycoplasma	
TMPV	Transport Media, PVA	
TMSC	Transport Media, Stool Culture	
TMUP	Transport Media, Ureaplasma	
TMVI	Transport Media, Viral	
VENIP	Venipuncture	

SPM-8 Specimen Source Site 検査材料・検査部位 (CWE) 01901

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検体採取源を指定する (試料が得られた材料や臓器、サービスの適用部位を指定する)。例えば、肝生検が経皮的な針によって得られる場合には、材料は肝臓となる。

このフィールドには、SNOMED を含む国家的に認識されたコード体系を使用する。代替として HL7 表 0070 が使用される。獣医学では、その分野で決定したこのフィールドの要素をサポートする表を選択してもよい。

HL7 表 0070 - Specimen Source Codes 検体検査材料・採取部位コード

Value	Description	Comment
ABS	Abscess 腫物	
AMN	Amniotic fluid 羊水	
ASP	Aspirate 吸入	
BPH	Basophils 好塩基球	
BIFL	Bile fluid 胆汁	
BLDA	Blood arterial 動脈血	
BBL	Blood bag 血液バッグ	
BLDC	Blood capillary 毛細血	
BPU	Blood product unit	
BLDV	Blood venous 静脈血	
BON	Bone 骨	
BRTH	Breath (use EXHLD) 呼吸(EXHLD を使用)	
BRO	Bronchial 気管支	
BRN	Burn 火傷	
CALC	Calculus (=Stone) 結石 (=石)	
CDM	Cardiac muscle 心筋	
CNL	Cannula カニューレ	
CTP	Catheter tip カテーテル・チップ	

Value	Description	Comment
CSF	Cerebral spinal fluid 髄液	
CVM	Cervical mucus 子宮頸管粘液	
CVX	Cervix 頸部	
COL	Colostrum 初乳	
BLDCO	Cord blood	
CNJT	Conjunctiva 結膜	
CUR	Curettage 搔爬	
CYST	Cyst 嚢胞	
DIAF	Dialysis fluid 透析液	
DOSE	Dose med or substance 投与薬剤または物質	
DRN	Drain 排液	
DUFL	Duodenal fluid 十二指腸液	
EAR	Ear 耳	
EARW	Ear wax (cerumen) 耳垢	
ELT	Electrode 電極	
ENDC	Endocardium 心内膜	
ENDM	Endometrium 子宮内膜	
EOS	Eosinophils 好酸球	
RBC	Erythrocytes 赤血球	
EYE	Eye 目	
EXG	Exhaled gas (=breath)	
FIB	Fibroblasts 繊維芽細胞	
FLT	Filter フィルター	
FIST	Fistula 瘻孔	
FLU	Body fluid, unsp 体液、unsp	
GAS	Gas ガス	
GAST	Gastric fluid/contents 胃液/内容物	
GEN	Genital 生殖器	
GENC	Genital cervix 生殖器頸部	
GENL	Genital lochia 生殖器悪露	
GENV	Genital vaginal 生殖器陰部	
HAR	Hair 毛髪	
IHG	Inhaled Gas 吸入ガス	
IT	Intubation tube 挿管チューブ	
ISLT	Isolate 分離株	
LAM	Lamella 薄膜	
WBC	Leukocytes 白血球	
LN	Line ライン	
LNA	Line arterial ライン、動脈	
LVN	Line venous ライン、静脈	
LIQ	Liquid NOS 鼻汁	
LYM	Lymphocytes リンパ球	
MAC	Macrophages マクロファージ	
MAR	Marrow 骨髄	
MEC	Meconium 胎便	
MBLD	Menstrual blood 月経血	
MLK	Milk 乳	
MILK	Breast milk 母乳	
NAIL	Nail 爪	
NOS	Nose (nasal passage) 鼻 (鼻腔)	
ORH	Other その他のもの	
PAFL	Pancreatic fluid 膵液	
PAT	Patient 患者	
PRT	Peritoneal fluid /ascites 腹膜液/腹水	
PLC	Placenta 胎盤	
PLAS	Plasma 血漿	
PLB	Plasma bag 血漿バッグ	
PLR	Pleural fluid (thoracentesis fld) 胸水	
PMN	Polymorphonuclear neutrophils 多形核好中球	
PPP	Platelet poor plasma 血小板乏血漿	

Value	Description	Comment
PRP	Platelet rich plasma 血小板多血漿	
PUS	Pus	
RT	Route of medicine 投薬経路	
SAL	Saliva 唾液	
SMN	Seminal fluid	
SER	Serum 血清	
SKN	Skin 皮膚	
SKM	Skeletal muscle 骨格筋	
SPRM	Spermatozoa 精子	
SPT	Sputum 痰	
SPTC	Sputum - coughed 痰－咳をした	
SPTT	Sputum - tracheal aspirate 痰－気管吸入	
STON	Stone (use CALC) 石 (CALC を使用すること)	
STL	Stool = Fecal 便 = 排泄物	
SWT	Sweat 汗	
SNV	Synovial fluid (Joint fluid) 関節滑液 (関節液)	
TEAR	Tears 涙	
THRT	Throat 喉	
THRB	Thrombocyte (platelet) 紡錘細胞 (血小板)	
TISS	Tissue 組織	
TISG	Tissue gall bladder 組織胆嚢	
TLGI	Tissue large intestine 組織大腸	
TLNG	Tissue lung 組織肺	
TISPL	Tissue placenta 組織胎盤	
TSMI	Tissue small intestine 組織小腸	
TISU	Tissue ulcer 組織潰瘍	
TUB	Tube NOS 鼻管	
ULC	Ulcer 潰瘍	
UMB	Umbilical blood 臍血	
UMED	Unknown medicine 未知の薬剤	
URTH	Urethra 尿道	
UR	Urine 尿	
URC	Urine clean catch 尿、クリーンキャッチ	
URT	Urine catheter 尿カテーテル	
URNS	Urine sediment 尿沈渣	
USUB	Unknown substance 未知の物質	
VITF	Vitreous Fluid	
VOM	Vomitus 吐物	
BLD	Whole blood 全血	
BDY	Whole body 全身	
WAT	Water 水	
WICK	Wick ガーゼ	
WND	Wound 傷	
WNDA	Wound abscess 傷腫物	
WNDE	Wound exudate 傷浸出物	
WNDD	Wound drainage 傷排液	
XXX	To be specified in another part of the message メッセージの別の部分で指定されること	

SPM-9 Specimen Source Site Modifier 検査材料修飾子 (CWE) 01760

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは検査材料について修飾あるいは限定する記述からなる。

この属性の使用は、SPM-8-検査材料について記述された実体を修飾、制限、さらに限定するものである。SPM-8-検査材料の中で使用されるコード・セットが完全に記述できない場合、これは特に有用である。例えば、もし検体が正確には「左橈骨静脈」とすると、コード・セットが単に「橈骨静脈」を使用したならば、修飾語「左」を加えるためにこの属性を使用することができる。

獣医学では、その分野で決定したこのフィールドの要素をサポートする表を選択してもよい。使用者定義表 0542 – 検査材料タイプ修飾子を参照。

使用者定義表 0542 – Specimen Source Type Modifier 検査材料タイプ修飾子

Value	Description	Comment
	no suggested values 推奨値なし	

SPM-10 Specimen Collection Site 検体採取部位 (CWE) 01761

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、特定の部位(例えば、解剖学的位置)経由で到達すべき原点部位である時に SPM-8-検査材料とは異なる。例えば、肝生検が経皮的な針によって得られる時に、採取部位は針のエントリーのポイントになる。左のとう骨静脈から採取された静脈血については、採取部位が「肘前窩」となる。

獣医学では、その分野で決定したこのフィールドの要素をサポートする表を選択してもよい。使用者定義表 0543 – 検体採取部位を参照。

使用者定義表 0543 – Specimen Collection Site 検体採取部位

Value	Description	Comment
	no suggested values 推奨値なし	

SPM-11 Specimen Role 検体役割 (CWE) 01762

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは、検体の役割を示す (使用者定義表 0369 – 検体役割を参照)。それらの検体の役割はシステムにより異なり、検体関連データの管理や工程の管理などに使われる。

このフィールドは一般的ではない。記述された検体に対して検査のために特別の視点でみる役割である。そのような検体は、分析のために意図される患者検体、環境上の検体および他の検体を含んでいる。

グループ化された検体は、個々の確認者を持っていない多数の個人からのもの、および同じサービスが実行されない同一の検体タイプから成る。検体役割値がそのとき「G」である場合、グループ化された検体数(SPM-13)は、グループに含まれていた検体の総数で評価される。

検体役割が「L」である場合、親検体 ID(SPM-3)の反復はプールされたされた検体に関連する個々の親検体を表わす。使用者定義表 0369 – 検体役割を参照。

使用者定義表 0369 – Specimen Role 検体役割

Value	Description	Comment
B	Blind Sample 精度管理用ブラインド検体	
C	Calibrator キャリブレーション、used for initial setting of calibration	
E	Electronic QC 予測 QC 値、used with manufactured reference providing signals that simulate QC results	
F	Specimen used for testing proficiency of the organization performing the testing (Filler) 検査室検体	
G	Group (where a specimen consists of multiple individual elements that are not individually identified) 個別 ID なし	
L	Pool (aliquots of individual specimens combined to form a single specimen representing all of the components.) プール検体	
O	Specimen used for testing Operator Proficiency 検査者検体	
P	Patient specimen 患者検体	
Q	Control specimen 精度管理検体	
R	Replicate 複製	
V	Verifying Calibrator キャリブレーション検証、used for periodic calibration checks	

IHE Laboratory Technical Framework LAWプロファイルでは、不明な検体を表現する場合“U”使用する。その際は、Name of Coding Systemが「IHELAW」としている。

SPM-12 Specimen Collection Amount 検体採取量 (CQ) 01902

成分: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義：このフィールドは採取された検体の総量(volume or mass)を示す。検体検査の場合それは検体採取量である。単位は標準化された単位体系の使用が望まれる。

IHE Laboratory Technical Framework では、UCUM の使用を推奨している。

SPM-13 Grouped Specimen Count 総検体数 (NM) 01763

定義：このフィールドは検体の実体によって表される特定タイプの個々の検体の数を示す。このフィールドの使用は、検体に関連する属性がすべて同一の検体に限られる。検体役割属性が値「G」を持っている場合、この項目の意味はない。

SPM-14 Specimen Description 検体記述 (ST) 01764

定義：このフィールドはテキスト表現される。特別に検体情報を追加したい場合メッセージとして送信される。

SPM-15 Specimen Handling Code 検体取り扱いコード (CWE) 01908

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：これは採取から検査開始までの間に検体/容器をどのように扱うかを記載する。この項目は一般的ではので条件で利用される。使用者定義表 0376 – 検体取り扱いコードを参照。

使用者定義表 0376 – Special Handling Code 検体取り扱いコード

Code	Description	Comment/Usage Note/Definition
C37	Body temperature 体温	Critical to keep at body temperature: 36 - 38° C.
AMB	Ambient temperature 環境温度	Keep at ambient (room) temperature, approximately 22 ± 2 degrees C. Accidental refrigeration or freezing is of little consequence
CAMB	Critical ambient temperature 重要な環境温度	Critical ambient – must not be refrigerated or frozen.
REF	Refrigerated temperature 冷蔵温度	Keep at refrigerated temperature: 4-8° C. Accidental warming or freezing is of little consequence
CREF	Critical refrigerated temperature 重要な冷蔵温度	Critical refrigerated – must not be allowed to freeze or warm until immediately prior to testing
FRZ	Frozen temperature 冷凍温度	Keep at frozen temperature: -4° C. Accidental thawing is of little consequence
CFRZ	Critical frozen temperature 重要な冷凍温度	Critical frozen – must not be allowed to thaw until immediately prior to testing
DFRZ	Deep frozen 凍結	Deep frozen: -16 to -20° C.
UFRZ	Ultra frozen 氷結	Ultra cold frozen: ~ -75 to -85° C. (ultra cold freezer is typically at temperature of dry ice).
NTR	Liquid nitrogen 液体窒素	Keep in liquid nitrogen.
PRTL	Protect from light 暗視保存	Protect from light (e.g., wrap in aluminum foil).
CATM	Protect from air 真空保存	Critical. Do not expose to atmosphere. Do not uncap.
DRY	Dry 乾燥保存	Keep in a dry environment.
PSO	No shock 禁ショック	Protect from shock.
PSA	Do not shake 禁シェイク	Do not shake.
UPR	Upright 垂直保存	Keep upright. Do not turn upside down.
MTLF	Metal Free 金属可	Container is free of heavy metals including lead.

SPM-16 Specimen Risk Code 検体リスクコード (CWE) 01903

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは検体の知られている危険もしくは予見される危険について記載する。例えば、肝炎患者またはキャリアの血液。一方のコードおよび(または)テキストは無いこともある。しかし、コードは、第2のコンポーネントに、第1の構成要素の位置および任意の自由なテキストがデリミッターの後に置かれる。使用者定義表 0489 – リスクコードを参照。

使用者定義表 0489 – Risk Codes リスクコード

Code	Description	Comment/Usage Note/Definition
BIO	Biological 生物製剤	The dangers associated with normal biological materials. I.e. potential risk of unknown infections. Routine biological materials from living subjects.
COR	Corrosive 腐食物	Material is corrosive and may cause severe injury to skin, mucous membranes and eyes. Avoid any unprotected contact.

Code	Description	Comment/Usage Note/Definition
ESC	Escape Risk 回避リスク	The entity is at risk for escaping from containment or control.
AGG	Aggressive 悪性	A danger that can be associated with certain living subjects, including humans.
IFL	Material Danger Inflammable 引火性物質	Material is highly inflammable and in certain mixtures (with air) may lead to explosions. Keep away from fire, sparks and excessive heat.
EXP	Explosive 爆発物	Material is an explosive mixture. Keep away from fire, sparks, and heat.
INF	Material Danger Infectious 感染性危険物質	Material known to be infectious with human pathogenic microorganisms. Those who handle this material must take precautions for their protection.
BHZ	Biohazard バイオハザード	Material contains microorganisms that is an environmental hazard. Must be handled with special care.
INJ	Injury Hazard 疾病障害	Material is solid and sharp (e.g., cannulas.) Dispose in hard container.
POI	Poison 毒薬	Material is poisonous to humans and/or animals. Special care must be taken to avoid incorporation, even of small amounts.
RAD	Radioactive 放射性物質	Material is a source for ionizing radiation and must be handled with special care to avoid injury of those who handle it and to avoid environmental hazards.

SPM-17 Specimen Collection Date/Time 検体採取日時 (DR) 01765

成分: <Range Start Date/Time (TS)> ^ <Range End Date/Time (TS)>

副成分 for Range Start Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 for Range End Date/Time (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: 採取元から検体を採取した日時。検体採取の終了時間を表現するため、日時範囲データタイプも許される (例えば、24 時間採尿など)。

一時点で採取された検体のためには、第 1 コンポーネント(採取開始日時)が代入される。

SPM-18 Specimen Received Date/Time 検体受領日時 (TS) 00248

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: 検体受領日時は検査部門が検体を受け取った時間である。記録される実際の時間は、検体の受取がどのように管理されるかにより異なることもある。これは基本的に SPM-17 Specimen Collection date/time 検体採取日時とは異なる。

SPM-19 Specimen Expiration Date/Time 検体有効日時 (TS) 01904

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは指示された検査目的のために検体がもはや使用することができない日付および時間である。検査部門は SPM セグメントは SPM-21-検体拒否理由の“EX”(期限切れ、この日付を過ぎている場合)と記述することができる。

SPM-20 Specimen Availability 検体有効性 (ID) 01766

定義: これは検体があれば、それが現在分析に使用できるかどうかを記載する。取りうる値は HL7 表 0136 – Yes/no 標識を参照。

SPM-21 Specimen Reject Reason 検体拒否理由 (CWE) 01767

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: これは、依頼された検査/結果/分析のために検体が拒絶される 1 つ以上の理由について記述する。取りうる値は HL7 表 0490 – 検体拒否理由を参照。

HL7 表 0490 – Specimen Reject Reason 検体拒否理由

Value	Description	Comment
EX	Expired 期限切れ	
QS	Quantity not sufficient 量不足	
RB	Broken container 破損容器	
RC	Clotting 凝固	
RD	Missing collection date 採取日漏れ	
RA	Missing patient ID number 親検体 ID 漏れ	
RE	Missing patient name 患者名漏れ	
RH	Hemolysis 溶血	
RI	Identification problem ID 不具合	

Value	Description	Comment
RM	Labeling ラベル異常	
RN	Contamination 混濁	
RP	Missing phlebotomist ID (採血者、血液学者) ID 漏れ	
RR	Improper storage 不適切保管	
RS	Name misspelling 氏名間違い	

SPM-22 Specimen Quality 検体品質 (CWE) 01768

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 受領検体の状態の程度。実施者がこの属性を代入する。推奨値は使用者定義表 0491-検体品質を参照。

使用者定義表 0491 – Specimen Quality 検体品質

Value	Description	Comment
E	Excellent 優秀	
G	Good 良好	
F	Fair 適正	
P	Poor 不適	

SPM-23 Specimen Appropriateness 検体適合性 (CWE) 01769

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 実施者によって決定されるような特別に計画された使用のための検体の適応性。推奨値は使用者定義表 0492-検体適合性を参照。

使用者定義表 0492 – Specimen Appropriateness 検体適合性

Value	Description	Comment
P	Preferred 良好	
A	Appropriate 適切	
I	Inappropriate 不適切	
??	Inappropriate due to 期限切れ...	

SPM-24 Specimen Condition 検体状態 (CWE) 01770

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検体の特性であるモードもしくは状態を記述する。推奨値は使用者定義表 0493-検体状態を参照。

使用者定義表 0493 – Specimen Condition 検体状態

Value	Description	Comment
AUT	Autolyzed 自己溶解 (溶血)	
CLOT	Clotted 凝固	
CON	Contaminated 混濁	
COOL	Cool 冷却	
FROZ	Frozen 凍結	
HEM	Hemolyzed 溶血	
LIVE	Live 生	
ROOM	Room temperature 室温	
SNR	Sample not received 検体未受領	

SPM-25 Specimen Current Quantity 検体量 (CQ) 01771

成分: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 for Units (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: この属性は現在存在するあるいは次の検査に使用が可能である検体量からなる。

SPM-26 Number of Specimen Containers 検体容器数 (NM) 01772

定義: このフィールドは、与えられたサンプルのための容器の数を示す。サンプル受付時の検証目的で用いる。オーダーに伴うサンプルの総数とは異なってもよい。

SPM-27 Container Type 容器タイプ (CWE) 01773

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検体を入れるあるいは載せて移送するための容器タイプを示す。

SPM-28 Container Condition 容器状態 (CWE) 01774

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検体が検査室から検査室に移される場合、各受付で記録されるべき検体が移送される容器の状態。容器がさまざまな(封印漏れ、容器破損、検体漏れなど)危険にさらされる場合、これを法的な理由で記録する必要がある場合に使用する。使用者定義表 0544 – 容器状態を参照。

使用者定義表 0544 – Container Condition 容器状態

Value	Description	Comment
	no suggested values 推奨値なし	

SPM-29 Specimen Child Role 子検体役割 (CWE) 01775

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 子検体と親検体の関係を示す。このフィールドが代入されるとき SPM-3 親検体 ID も代入しなければならない。このフィールドは SPM-15-検体役割とは異なり、このフィールドがオーダされた検査上の検体の役割ではなく親検体に関するこの検体の役割を示す。HL7 表 0494 – 子検体役割を参照。

HL7表 0494 – Specimen Child Role 子検体役割

Value	Description	Comment
A	Aliquot 分注検体	
C	Component 成分	
M	Modified from original specimen 加工 (希釈など)	

7.19TQ1 - Timing/Quantity Segment タイミング／数量セグメント

JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 「7. 関連セグメント詳細」を参照のこと。

8. 臨床検査自動化用メッセージ構文

メッセージ構文での表記規則：

- Comment(JPN) (JAHIS仕様での取り扱い)
 - R - 必須。
 - O - オプション。
 - C トリガイベントまたはメッセージの使用条件による。
 - X - 本規約では使用しない。
 - N - 使用しない（関係者の合意のもとに関係システム内限定で使用可。
- 注： [] は省略可能、{} は繰り返し可能を示す。

8.1 自動化装置ステータス(ESU/ESR)

装置または装置ステータスに関する情報の要求には自動化装置ステータス要求(ESR)を用い、その場合の応答には自動化装置ステータス更新(ESU)を使用する。

なお、自動化装置ステータス更新(ESU)は自発的に装置または装置ステータスに関する情報の更新を行うために送信できる。

8.1.1 ESU/ACK – 自動化装置ステータス更新 イベント (U01)

このメッセージは、1つのアプリケーションから別のアプリケーションに装置または装置のステータスに関する情報を送信するために使用される（例：Equipment → LAS）。

ステータス更新は、自発的に、または「自動化装置ステータス要求」トリガへの応答として送信できる。

ESU/ACK 自動化装置ステータス更新メッセージ

ESU^U01 Equipment Status Message			
<u>ESU^U01^ESU_U01</u>	<u>Equipment Status Message</u>	<u>Comment(JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ [ISD] }	Interaction Status Detail	O	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U01 General Acknowledgment			
<u>ACK^U01^ACK</u>	<u>General Acknowledgement</u>	<u>Comment(JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error ¹	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはメッセージに1つ必須である。
- EQUはメッセージに1つ必須である。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ISDセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

¹ このエラーセグメントは否認トランザクションの起因となったフィールドを示す。

8.1.2 ESR/ACK – 自動化装置ステータス要求 イベント (U02)

このメッセージは、1つのアプリケーションから別のアプリケーションに機器または装置のステータスに関する情報を要求するために使用される（例：LAS → Equipment）。

EQU セグメントで指定された装置は、「自動化装置ステータス更新」を使ってステータスを返す必要がある。

ESR/ACK 自動化装置ステータス要求メッセージ

ESR^U02 Equipment Status Message

<u>ESR^U02^ESR_U02</u>	<u>Equipment Status Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U02 General Acknowledgment

<u>ACK^U02^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはメッセージに1つ必須である。
- EQUはメッセージに1つ必須である。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.2 検体ステータス(SSU/SSR)

8.2.1 SSU/ACK 検体ステータス更新 イベント(U03)

このメッセージは、検体の位置とステータスに関する情報を1つのアプリケーションから他のアプリケーションに送信するために使用される。(例：自動化装置から臨床検査自動化システムへ)

SAC セグメントの後の OBX セグメントは SAC セグメントに含まれない情報を転送するために使われる。

SPM セグメントの後の OBX セグメントは SPM セグメントに関連する情報を転送するために使われる。

注) このメッセージは IHE Laboratory Technical Framework LDA プロファイルの LAB-26 トランザクションに使用される。

SSU/ACK 検体ステータス更新メッセージ

SSU^U03 Specimen Status Message			
SSU^U03^SSU_U03	Specimen Status Message	Comment(JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	R	13
{ [OBX] }	Additional specimen characteristics	O	7
[{	--- SPECIMEN begin		
SPM	Specimen	O	7
{ [OBX] }	Specimen related observation	O	7
}]	--- SPECIMEN end		
}	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
[ROL]	Role Detail	N	12

ACK^U03 General Acknowledgment			
ACK^U03^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- MSAセグメントは、ACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- SACセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- SFTセグメントは省略ができる。
- OBXセグメントは省略ができる。
- SPMセグメントは省略ができる。

- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.2.2 SSR/ACK 検体ステータス要求 イベント(U04)

このメッセージは、検体の位置とステータスに関する情報を1つのアプリケーションから他のアプリケーションに要求するために使用される（例：自動化装置から臨床検査自動化システムへ）。

この要求は SAC セグメントの内容の組み合わせ—容器、キャリア、トレイ、検体位置によって実現される。

EQU セグメントで指定された装置は「検体ステータス更新」を使って応答する必要がある。

SSR/ACK 検体ステータス要求メッセージ

SSR^U04 Specimen Status Message			
SSR^U04^SSR_U04	Specimen Status Message	Comment(JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	R	13
{ [SPM] }	Specimen	O	7
}	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U04 General Acknowledgment			
ACK^U04^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- MSAセグメントは、ACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- SACセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- SFTセグメントは省略ができる。
- SPMセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.3 自動化装置在庫 (INU/INR)

8.3.1 INU/ACK 自動化装置在庫更新 イベント(U05)

このメッセージは、在庫項目に関する情報を 1つのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される（例： 自動化装置から臨床検査自動化システムへ）。

INU/ACK 自動化装置在庫更新メッセージ

INU^U05 Inventory Update Message		Comment (JPN)	HL7 Chapter
<u>INU^U05^INU_U05</u>	<u>Inventory Update Message</u>		
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ INV }	Inventory Detail	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U05 General Acknowledgment		Comment (JPN)	HL7 Chapрте
<u>ACK^U05^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>		
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、EQU-1（装置ID）とEQU-2（イベントの日付／時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- INVは一連の在庫情報の通知に1個以上必須である。 複数の在庫情報がまとめて伝送される場合、INVが在庫項目毎の区切りとなる。
- INVセグメントに含まれる主題フィルター(INV-1、物資ID)は、照会システム(LIS/LAS)と自動化装置の間のローカルな取り決めによって定義される。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.3.2 INR/ACK 自動化装置在庫要求 イベント(U06)

このメッセージは、在庫項目に関する情報を 1つのアプリケーションから別のアプリケーションに要求するために使用される（例：臨床検査自動化システムから自動化装置へ）。

EQU セグメントで指定された装置は、「自動化装置在庫更新」を使って INV セグメントに指定された在庫項目（またはすべての項目）を返す必要がある。

INR/ACK 自動化装置在庫要求メッセージ

INR^U06 Inventory Request Message

<u>INR^U06^INR_U06</u>	<u>Inventory Request Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ INV }	Inventory Detail	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U06 General Acknowledgment

<u>ACK^U06^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、EQU-1（装置ID）とEQU-2（イベントの日付／時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- 複数の在庫情報がまとめて要求する場合、INVが要求項目毎の区切りとなる。
INVは一連の在庫情報の要求に最低1個必須である。（すべての在庫情報を要求する時は、INV-1の物資IDに'ALL'に相当するコード、文字列などをCWE型で指定する。）
- INVセグメントに含まれる主題フィルター(INV-1、物資ID)は、照会システム(LIS/LAS)と自動化装置の間のローカルな取り決めによって定義される。
- INRに対する回答(INU)では、INVセグメントに含まれる問い合わせ内容(INV-1、など)をエコーバックする。
また、同じの数だけのINVセグメントを繰り返す。
- INUがあった時、先行するINRの回答である保証はしない。必要あれば、要求側(LIS/LAS)が再度要求する。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.4 自動化装置コマンド(EAC/EAR)

自動化装置コマンド、自動化装置応答にはメッセージ(EAC/EAR)を用いる。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

EAC メッセージは、自動化装置コマンド、自動化装置通知(クリア)の2種類のコマンドに使用される。自動化装置通知での使用方法については、次節に記載する。

8.4.1 EAC/ACK 自動化装置コマンド イベント(U07)

このメッセージは、装置コマンドを、ひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される。(例：LAS→Equipment)

EAC/ACK 自動化装置コマンドメッセージ

EAC^U07 Equipment Command Message

EAC^U07^EAC_U07	Equipment Command Message	Comment(JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- COMMAND begin		
ECD	Equipment Command Detail	R	13
[TQ1]	Timing/quantity	O	?
[	--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	O	13
{ [SPM] }	Specimen	O	7
]	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
[CNS]	Clear Notification	O	13
}	--- COMMAND end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U07 General Acknowledgment

ACK^U07^ACK	General Acknowledgment	Comment(JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- MSAセグメントは、ACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、1つのコマンド情報送信に対応して1セグメント必要である。
- 1つのECDセグメントに対して、SAC、CNSセグメントで情報を補足することができる。
- SACセグメントは省略ができる。

- CNSは、メッセージ構造上定義されているが、装置コマンドとしてのメッセージ交換では使用しない。(次節の通知メッセージで使用する)
- ECD-2リモート制御コマンドは、テーブル0368をベースに、個々の施設でテーブルを追加できる。
- *HL7*自体に明確な規定はないが、本仕様では、*ECD-2*リモート制御コマンドに、詳細な情報を付加する必要がある場合には、*ECD-5*パラメータに詳細を記述する。*(ECD-2が”EX”に限らない)*SFTセグメントは省略ができる。
- TQ1セグメントは省略ができる。
- SPMセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答 (MSA-1 = AE or AR) の場合に使用されるべきである。

8.4.2 EAR/ACK 自動化装置応答 イベント(U08)

このメッセージは、直前に発行されたコマンドに対する自動化装置応答を、ひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される。(例：Equipment→LAS)

EAR/ACK 自動化装置応答メッセージ

EAR^U08 Equipment Command Response

EAR^U08^EAR_U08	Equipment Command Message	Comment (JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- COMMAND_RESPONSE begin		
ECD	Equipment Command Detail	R	13
[	--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	O	13
{ [SPM] }	Specimen	O	7
]	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
ECR	Equipment Command Response	R	13
}	--- COMMAND_RESPONSE end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U08 General Acknowledgment

ACK^U08^ACK	General Acknowledgment	Comment (JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- MSAセグメントは、ACKメッセージに1つ必須である。
- ECDセグメントは、1つのコマンド情報送信への応答として、1セグメント必要である。
- EARメッセージのECDセグメントは、EACメッセージのECDセグメントをエコーバックする。
- 1つのECDセグメントに、1つのECRセグメントを対で付加する。
- 1つのECDセグメントに対して、SACセグメントおよびSPMセグメントで情報を補足することができる。
- SFTセグメントは省略ができる。
- SACセグメントは省略ができる。
- SPMセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.5 自動化装置通知(EAN/ACK)

自動化装置通知及びクリアにはメッセージ(EAN/ EAC)を用いる。その場合のセグメントと構文規則は以下のとおりである。

EAN メッセージは自動化装置からのメッセージをひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される。(例えば警報を Equipment→LAS)

8.5.1 EAN/ACK 自動化装置通知 イベント(U09)

このメッセージは、装置からの通知を、ひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される。(例：Equipment→LAS)

EAN/ACK 自動化装置通知メッセージ

EAN^U09 Equipment Status Message

<u>EAN^U09^EAN_U09</u>	<u>Equipment Status Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- NOTIFICATION begin		
NDS	Notification Detail	R	13
[NTE]	Notification Note	O	2
}	--- NOTIFICATION end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U09 General Acknowledgment

<u>ACK^U09^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- MSAセグメントは、ACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- NDSセグメントによる通知は、EANメッセージ内で複数の使用が可能である。
- NTEセグメントは省略ができる。
- NDS-4通知コードは、接続仕様ごとに、機種間でエラーコードなどの取り決めを行い使用する。
- HL7自体に明確な規定はないが、本仕様では、NDS-2は、送信日時ではなく、通知するイベントの発生日時とする。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。

- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.5.2 EAC/ACK 自動化装置コマンド(通知クリア) イベント(U07)

このメッセージは、ひとつのアプリケーションから別のアプリケーションに行った通知を送信するために使用される。(例：LAS→Equipment)

EAC メッセージは EAN メッセージで送信された通知をクリアするコマンドとしても用いる事ができる。

EAC/ACK 自動化装置コマンドメッセージ

EAC^U07 Equipment Command Message

<u>EAC^U07^EAC_U07</u>	<u>Equipment Command Message</u>	<u>Comment(JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- COMMAND begin		
ECD	Equipment Command Detail	R	13
[TQ1]	Timing/quantity		?
[	--- SPECIMEN_CONTAINER begin		
SAC	Specimen Container Detail	O	13
{ [SPM] }	Specimen	O	7
]	--- SPECIMEN_CONTAINER end		
[CNS]	Clear Notification	O	13
}	--- COMMAND end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U07 General Acknowledgment

<u>ACK^U07^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment(JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHセグメントは、メッセージに1つ必須である。
- MSAセグメントは、ACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、1つのコマンド情報送信に対応して1セグメント必要である。
- ECD-2リモート制御コマンドは、HL7表0368をベースに、個々の施設でテーブルを追加できる。
- SACは、メッセージ構造上定義されているが、装置コマンド(通知クリア)としてのメッセージ交換では使用しない。
- EACメッセージは、EAN(自動化装置通知)メッセージで送信したメッセージのクリアコマンドとして使用する。
- SFTセグメントは省略ができる。
- TQ1セグメントは省略ができる。
- SPMセグメントは省略ができる。
- CNSセグメントは省略ができる。

- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.6 自動化装置検査コード設定(TCU/TCR)

8.6.1 TCU/ACK 自動化検査コード設定 イベント(U10)

TCU メッセージは、検査コードとパラメータに関する情報を 1 つのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される（例。自動化装置から臨床検査自動化システムへ）。このメッセージは、送り側システムの現在の測定パラメータを送信する。送信されたパラメータセットは、このメッセージの受け取り側のそれまでのパラメータセットに置き換わるとみなされる。（「追加」および「削除」はできない）

TCU/ACK 自動化検査コード設定メッセージ

TCU ^U10 Test Code Settings Update

TCU^U10^TCU_U10	Test Code Settings Update	Comment (JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- TEST_CONFIGURATION begin		
[SPM]	Specimen	C	7
{ TCC }	Test Code Configuration	R	13
}	--- TEST_CONFIGURATION end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U10 General Acknowledgment

ACK^U10^ACK	General Acknowledgment	Comment (JPN)	HL7 Chapter
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、EQU-1（装置ID）とEQU-2（イベントの日付／時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- TCCセグメントはメッセージに最低1つ必須である。
- SFTセグメントは省略ができる。
- SPMセグメントは省略ができる。使用される場合は検査材料の指定に使用されるべきである。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.6.2 TCR/ACK 自動化検査コード要求 イベント(U11)

TCR メッセージは、検査コードとパラメータに関する情報を 1 つのアプリケーションから別のアプリケーションに要求するために使用される（例. 臨床検査自動化システムから自動化装置へ）。

EQU セグメントで指定された装置は、「自動化検査コード設定」を使って検査コードとパラメータを返す必要がある。

TCR/ACK 自動化検査コード要求メッセージ

TCR ^U11 Test Code Settings Request

<u>TCR^U11^TCU_U10</u>	<u>Test Code Settings Request</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{	--- TEST_CONFIGURATION begin		
[SPM]	Specimen	C	7
{ TCC }	Test Code Configuration	R	13
}	--- TEST_CONFIGURATION end		
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK ^U11 General Acknowledgment

<u>ACK^U11^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、EQU-1（装置ID）とEQU-2（イベントの日付／時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- TCCセグメントはメッセージに最低1つ必須である。
- SFTセグメントは省略ができる。
- SPMセグメントは省略ができる。使用される場合は検査材料の指定に使用されるべきである。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.7 自動化装置ログ／サービス (LSU/LSR)

8.7.1 LSU/ACK 自動化装置ログ／サービス更新 イベント(U12)

このメッセージは、ログ／サービスのイベントのどちらかまたは両方を1つのアプリケーションから別のアプリケーションに送信するために使用される（例：自動化装置から臨床検査自動化システムへ）。

LSU/ACK 自動化装置ログ／サービス更新メッセージ

LSU^U12 Equipment Log/Service Message

<u>LSU^U12^LSU_U12</u>	<u>Equipment Log/Service Message</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ EQP }	Equipment Log/Service	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U12 General Acknowledgment

<u>ACK^U12^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはACKメッセージに1つ必須である。
- EQUセグメントは、EQU-1（装置ID）とEQU-2（イベントの日付／時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- EQPは一連のログ／サービス情報の通知に1個以上必須である。複数の情報がまとめて伝送される場合、EQPが在庫項目毎の区切りとなる。
- EQPセグメントに含まれる主題フィルター(EQP-1、EQP-2)（内容精査の必要有り）は、照会システム(LIS/LAS)と自動化装置の間のローカルな取り決めによって定義される。
- LSRに対する回答(LSU)では、EQPセグメントに含まれる問い合わせ内容(EQP-1、EQP-2)をエコーバックする。（内容精査の必要有り）
また、同じの数だけのEQPセグメントを繰り返す。
- LSUがあった時、先行するLSRの回答である保証はしない。必要あれば、要求側(LIS/LAS)が再度要求する。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

8.7.2 LSR/ACK 自動化装置ログ／サービス要求 イベント(U13)

このメッセージは、ログ／サービスのイベントのどちらかまたは両方を1つのアプリケーションから別のアプリケーションに要求するために使用される（例：臨床検査自動化システムから自動化装置へ）。
EQU セグメントで指定された装置は、「自動化装置ログ／サービス更新」を使って EQP セグメントに指定された内容を返す必要がある。（ひとつの LSR に複数の LSU を返すことができる。）

LSR/ACK 自動化装置ログ／サービス要求メッセージ

LSR^U13 Equipment Log/Service Request Message

<u>LSR^U13^LSU_U12</u>	<u>Equipment Log/Service Message</u>	<u>Comment(JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software Segment	N	2
EQU	Equipment Detail	R	13
{ EQP }	Equipment Log/Service	R	13
[ROL]	Role Detail	O	12

ACK^U13 General Acknowledgment

<u>ACK^U13^ACK</u>	<u>General Acknowledgment</u>	<u>Comment(JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software segment	N	2
MSA	Message Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2

- MSHはメッセージに1つ必須である。
- MSAはACKメッセージに1つ必須である。
LSRの要求に対してLSUで回答することができない時は、MSAでリジェクトを応答する（例えば、要求されたデータ種がない、要求範囲が大きすぎる）。(内容精査の必要有り)
- EQUセグメントは、EQU-1（装置ID）とEQU-2（イベントの日付／時刻）のみ使用し、他のフィールドは使用しない。
- 複数のログ／サービス情報をまとめて要求する場合、EQPが要求項目毎の区切りとなる。EQPは最低1個必須である。
- EQPセグメントに含まれる主題フィルター(EQP-1、EQP-2、EQP-3、EQP-4)は、照会システム(LIS/LAS)と自動化装置の間のローカルな取り決めによって定義される。
- SFTセグメントは省略ができる。
- ROLセグメントは省略ができる。
- ERRセグメントは否定応答（MSA-1 = AE or AR）の場合に使用されるべきである。

9. 臨床検査自動化用セグメント詳細

9.1 CNS - Clear Notification Segment 通知クリアセグメント

CNS セグメントは、受信側の装置が関連する通知をクリアするために必要なデータを示す。

HL7属性表 -CNS- Clear Notification 通知クリアセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japa n	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOT E
1	20	NM	O	O			01402	Starting Notification Reference Number 最初の通知参照番号	
2	20	NM	O	O			01403	Ending Notification Reference Number 最後の通知参照番号	
3	26	TS	O	O			01404	Starting Notification Date 最初の通知日時	
4	26	TS	O	O			01405	Ending Notification Date 最後の通知日時	
5	250	CWE	O	O			01406	Starting Notification Code 最初の通知コード	
6	250	CWE	O	O			01407	Ending Notification Code 最後の通知コード	

CNS フィールド定義

HL7 自体に規定はないが、本仕様では各指定の組み合わせは可とする。CNS-1,2, CNS-3,4, CNS-5,6, の評価が異なる範囲となった場合、その AND の領域が指定された対象とする。

CNS-1 Starting Notification Reference Number 最初の通知参照番号 (NM) 01402

定義： このフィールドは、クリアされるべき最初の通知参照番号を示す。

CNS-2 Ending Notification Reference Number 最後の通知参照番号 (NM) 01403

定義： このフィールドは、クリアされるべき最後の通知参照番号を示す。もしこのフィールドが空であれば、最初の通知参照番号のみがクリアされる。

CNS-3 Starting Notification Date 最初の通知日時 (TS) 01404

定義： このフィールドは、クリアされるべき最初の通知の日時を示す。このフィールドが空で、最後の通知日時が埋められていれば、最後の通知日時より前の全ての通知がクリアされる。

CNS-4 Ending Notification Date 最後の通知日時 (TS) 01405

定義： このフィールドは、クリアされるべき最後の通知の日時を示す。このフィールドが空で、最初の通知日時が埋められていれば、最初の通知日時より後の全ての通知がクリアされる。

CNS-5 Starting Notification Code 最初の通知コード (CWE) 01406

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding systemコーディングシステム名 (IS)> ^ <alternate identifier 代替識別子(ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義： このフィールドは、クリアされるべき最初の通知コードを示す。(NDS-4 の通知コードを参照)

CNS-6 Ending Notification Code 最後の通知コード (CWE) 01407

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding systemコーディングシステム名 (IS)> ^ <alternate identifier 代替識別子(ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義： このフィールドは、クリアされるべき最後の通知コードを示す。(NDS-4 の通知コードを参照)。このフィールドが空で、最初の通知コードが埋められていれば、最初の通知コードの通知のみがクリアされる。

9.2 ECD - Equipment Command Segment 装置コマンドセグメント

ECD セグメントは、受信側の構成要素に、これから何が起こるかを通知するために必要な情報を定義する。

HL7属性表 -ECD- Equipment Command 装置コマンドセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	20	NM	R	R			01390	Reference Command Number 参照コマンド番号	
2	250	CWE	R	R		0368	01391	Remote Control Command リモート制御コマンド	
3	80	ID	O	R		0136	01392	Response Required 応答要求	
4	200	TQ	B	B			01393	Requested Completion Time 応答完了時間	
5	65536	TX	O	O	Y		01394	Parameters パラメータ	

ECD フィールド定義

ECD-1 Reference Command Number 参照コマンド番号 (NM) 01390

定義： 様々な構成要素から、このコマンドに対して参照が行われたときに、このコマンドを識別するためのユニークな識別子である。MSH-10 フィールドのメッセージコントロールID と似ているが、Equipment Command/Response では、この数字は、このコマンドの発行元によって生成される。

ECD-2 Remote Control Command リモート制御コマンド (CWE) 01391

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding systemコーディングシステム名 (IS)> ^ <alternate identifier 代替識別子 (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義： このフィールドは、構成要素が開始すべきコマンドを示す。「使用者定義表 0368-リモート制御コマンド」を参照。詳細は、LEICIS Standard を参照。

HL7 自体に規定はないが、本仕様では、"EX"以外のコードを使用した場合でも、ECD-5 のパラメータを使用できるものとする。

使用者定義表0368 リモート制御コマンド

Value	Description
SA	Sampling サンプルング
LO	Load ロード
UN	Unload アンロード
LK	Lock ロック
UC	Unlock アンロック
TT	Transport To 移送先
CN	Clear Notification 通知クリア
IN	Initialize/Initiate 初期化/開始
SU	Setup セットアップ
CL	Clear クリア
PA	Pause 休止
RE	Resume 再開
ES	Emergency-stop 緊急停止
LC	Local Control Request ローカル制御要求
RC	Remote Control Request リモート制御要求
AB	Abort 中断
EN	Enable Sending Events イベント送信イネーブル
DI	Disable Sending Events イベント送信ディゼーブル
EX	Execute (command specified in field Parameters (ST) 01394) 実行 (パラメータ 01394 のフィールドで規定される)

ECD-3 Response Required 応答要求 (ID) 01392

定義： このフィールドは、コマンドの実行に関連して使用される同期のモードを示す。"Yes"は、実行の直後に応答が必要であることを示し、"No"は応答が全く必要ないことを示す。「HL7 表 0136 -Yes/no 指示」(7.7 節) を参照。

HL7 自体に規定はないが、本規約では、ECD-3 は必須のフィールドとする。

ECD-4 Requested Completion Time 応答完了時間 (TQ) 01393

定義: このフィールドは、リモート制御動作が終了すべき時間を示す。LAS 内で管理される装置の間で時間を同期する必要がある (HL7 のオリジナルのメッセージ NMQ、NMD とシステムクロックセグメント NCL を使用)。相対時間量を使用する場合は、EQU セグメントで送信される時間を規格時間とする。

HL7 V2.5 においてはこの項目は下位互換のためにある。ECD セグメントで使われている関連時間は TQ1 セグメントの TQ1-4 に明示的時間、TQ1-5 に相対的時間が定義されている。

ECD-5 Parameters パラメータ (ST) 01394

定義: このフィールドは、コマンドのパラメータを示す。(別のセグメントにパラメータが含まれていない場合)

NOTE : 遠心分離機、分別機、ソーター、開栓機、閉栓機、自動倉庫などの目的が明確な装置のために、セグメントの要素(あるいはここで定義されない他の要素)が、要求されるかもしれない。

9.3 ECR - Equipment Command Response Segment 装置コマンド応答セグメント

ECR セグメントは、直前に受信したコマンドの、受信側構成要素の応答を定義する。

HL7属性表 -ECR- Equipment Command Response 装置コマンド応答セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	R	R		0387	01395	Command Response コマンド応答	
2	26	TS	R	R			01396	Date/Time Completed 終了日時	
3	65536	TX	O	O	Y		01397	Command Response Parameters コマンド応答パラメータ	

ECR フィールド定義

ECR-1 Command Response コマンド応答 (CWE) 01395

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding systemコーディングシステム名 (IS)> ^ <alternate identifier代替識別子 (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義： このフィールドは、直前に発行されたコマンドの応答を示す。使用者定義表 0387 を参照。

使用者定義表0387 コマンド応答

Value	Description
OK	Command completed successfully 正常終了されたコマンド
TI	Command cannot be completed within requested completion time 要求された終了時間内に完了しなかったコマンド
ER	Command cannot be completed because of error condition (see response parameters) エラー状態のため完了しなかったコマンド(応答パラメータを参照)
ST	Command cannot be completed because of the status of the requested equipment (要求された装置のステータスのため完了しなかったコマンド)
UN	Command cannot be completed for unknown reasons (不明な理由のために完了しなかったコマンド)

ECR-2 Date/Time Completed 終了日時 (TS) 01396

定義： このフィールドは、受信側構成要素が、要求されたコマンドを完了した日時を示す。

ECR-3 Command Response Parameters コマンド応答パラメータ (ST) 01397

定義： このフィールドは、返される応答コマンドに関連するパラメータを示す。

9.4 EQP - Equipment Log/Service Segment 装置ログ／サービスセグメント

装置のログまたはサービスのセグメントは、特定の装置で発生したイベントの適切な監査記録を維持するために必要なデータである。

HL7属性表 -EQP- Equipment/log Service 装置ログ／サービスセグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	R	R		0450	01430	Event type イベントタイプ	
2	20	ST	O	O			01431	File name ファイル名	
3	26	TS	R	R			01202	Start date/time 開始日時	
4	26	TS	O	O			01432	End date/time 終了日時	
5	6553 6	FT	R	R			01433	Transaction data トランザクションデータ	

EQP フィールド定義

EQP-1 Event Type イベントタイプ (CWE) 01430

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: このフィールドは、メッセージが持つイベントのタイプを指定する。次の表を参照。

HL7表 0450 - Event type イベントタイプ

Value	Description
LOG	ログイベント Log Event
SER	サービスイベント Service Event

EQP-2 File Name ファイル名 (ST) 01431

定義: このフィールドは、送信されるログイベントまたはサービスイベントに関する情報の保存に使用される物理ファイル名を示す。または、個別のログ/サービスを示す代用名称。

EQP-3 Start Date/Time 開始日時 (TS) 01202

定義: このフィールドは、(EQP-5 で示す)イベントが開始した日付と時刻を示す。

要求メッセージの場合は、要求範囲の始点を示す。

EQP-4 End Date/Time 終了日時 (TS) 01432

定義: このフィールドは、(EQP-5 で示す)イベントが終了した日付と時刻を示す。

要求メッセージの場合は、要求範囲の終点を示す。

EQP-5 Transaction Data トランザクションデータ (FT) 01433

定義: このフィールドは、ログイベントまたはサービスイベントに関連し、記録されるデータである。

9.5 EQU - Equipment Detail Segment 装置詳細セグメント

EQU セグメントは、臨床検査自動化システムで使われる装置の識別と保守に必要なデータである。

HL7属性表 -EQU- Equipment Detail 装置詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME
1	22	EI	R	R			01479	Equipment Instance Identifier 装置ID
2	26	TS	R	R			01322	Event Date/Time イベントの日付／時刻
3	250	CWE	C	C		0365	01323	Equipment State 装置ステータス
4	250	CWE	O	O		0366	01324	Local/Remote Control State ローカル／リモート制御のステータス
5	250	CWE	O	O		0367	01325	Alert Level 警報レベル

EQU フィールド定義

EQU-1 Equipment Instance Identifier 装置 ID (EI) 01479

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは、装置を示す。この ID は、部署 (施設) 全体の装置のマスタリストから取得される。<namespace ID> は装置名称を示す識別子である。

EQU-2 Event Date/Time イベントの日付／時間 (TS) 01322

定義：このフィールドは、イベント発生時点の装置の日付と時刻を示す (イベント例：状態の遷移、コマンド発行、コマンド実行終了)。

EQU-3 Equipment State 装置ステータス (CWE) 01323

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、装置の通信時点でのステータスの識別コードを示す。

HL7表 0365 - Equipment state 装置ステータス

Value	Description
PU	Powered Up 電源 ON
IN	Initializing 初期化中
ID	Idle アイドル
CO	Configuring 設定中
OP	Normal Operation 通常オペレーション
CL	Clearing クリア中
PA	Pausing 休止中
PD	Paused 休止
ES	E-stopped 緊急停止
TS	Transport stopped
SS	Sampling stopped
SD	Shutting down
DI	Diagnose
MA	Maintenance
	(null) No state change ステータス変化なし

この表は LECIS に基づく

EQU-4 Local/Remote Control State ローカルリモート制御のステータス (CWE) 01324

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、装置のリモート制御のステータスを示す。

HL7表 0366 - Local/remote control state ローカル/リモート制御のステータス

Value	Description
L	Local ローカル
R	Remote リモート
(null)	No state change ステータス変化なし

この表は LECIS に基づく

EQU-5 Alert Level 警報レベル (CWE) 01325

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、指示された装置に関連付けられている最高位の警報ステータス（最高位の警報重要性）を示す（例：処理イベント、在庫イベント、QC イベント）。

HL7表 0367 - Alert level 警報レベル

Value	Description	Note
N	Normal	No Corrective Action Needed 修正作業は不要
W	Warning	Corrective Action Anticipated 修正作業が期待される
S	Serious	Corrective Action Required 修正作業が必要
C	Critical	Shut Down, Fix Problem and Re-init シャットダウン、問題修正、再起動
(null)	No level change	変化なし

9.6 INV - Inventory Detail Segment 在庫詳細セグメント

在庫詳細セグメントは、装置の試薬等（試薬の他、チップ、廃液など）の在庫（量）の追跡記録もしくは管理のために必要なデータである。在庫量としては、消費(減少)するものと蓄積(増加)するものがある。

INV 使用注記

a) 同様の内容を持つセグメントに SID セグメントがある。SID は、分析に必要な試薬等を確認する為に ORC/OBR および TCD セグメントと共に使用される。つまり、使用する目的とタイミングが異なり、INV と SID を混同してはならない。但し、同じ試薬等を指すのに両者の内容に矛盾があってはならない。

b) 装置内で製造日、製造ロットが異なる複数の容器を単一の試薬等として扱う場合、試薬等ステータスは最悪の状態、すなわち、有効期限は現在に最も近い日時、使用開始日時は最悪の状態を表す容器/ロットのものを示すこととする。製造元ロット番号は区切り文字(^)で羅列する。

c) 検体を扱う場合は、SAC セグメントを使用する。

SAC では、SAC-3 採取容器 ID (INV-4 に相当)、SAC-10 キャリア ID (INV-5 に相当)、SAC-11 キャリア内の位置 (INV-6 に相当)、SAC-22 利用可能容量 (INV-9 に相当)、SAC-23 初期検体容量 (INV-7 に相当)、SAC-24 容量単位 (INV-11 に相当) を扱うことができる。

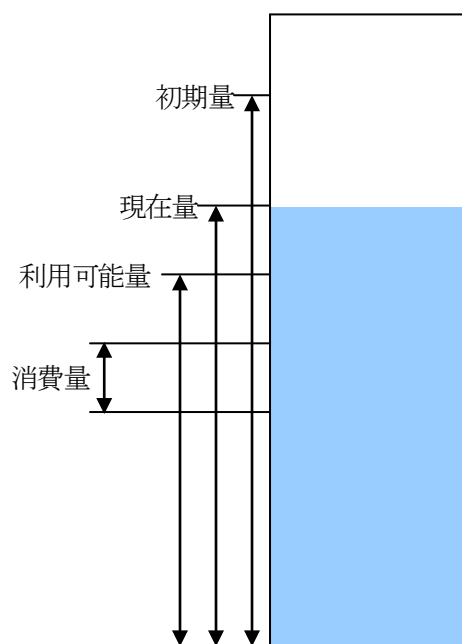


図 13-6. 採取容器の測定規格タイプの情報

HL7属性表 -INV- Inventory Detail 在庫詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	R	R		0451	01372	Substance identifier 試薬等ID	

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
2	250	CWE	R	R	Y	0383	01373	Substance status 試薬等の在庫ステータス	
3	250	CWE	O	O		0384	01374	Substance type 試薬等タイプ	
4	250	CWE	O	O			01532	Inventory container identifier 在庫容器ID	
5	250	CWE	O	O			01376	Container carrier identifier 在庫容器キャリアID	
6	250	CWE	O	O			01377	Position on carrier キャリア上の位置	
7	20	NM	O	O			01378	Initial quantity 初期量	
8	20	NM	O	O			01379	Current quantity 現在量	
9	20	NM	O	O			01380	Available quantity 利用可能量	
10	20	NM	O	O			01381	Consumption quantity 消費量	
11	250	CWE	O	O			01382	Quantity units 量の単位	
12	26	TS	O	O			01383	Expiration date/time 有効期限	
13	26	TS	O	O			01384	First used date/time 使用開始日時	
14	200	TQ	W	W			01385	On board stability duration 機上の安定期間	
15	250	CWE	O	O	Y		01386	Test/fluid identifier(s) 検体/試薬ID	
16	200	ST	O	O			01387	Manufacturer lot number 製造元ロット番号	
17	250	CWE	O	O		0385	00286	Manufacturer Identifier製造元ID	
18	250	CWE	O	O		0386	01389	Supplier identifier 供給元ID	
19	20	CQ	O	O			01626	Manufacturer lot number 機上の安定時間	
20	20	CQ	O	O			01896	Target Value 目標値	

INV フィールド定義

INV-1 Substance identifier 試薬等 ID (CWE) 01372

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: 在庫に関わる試薬等の一意の ID。試薬等の製造元特有の ID。

使用者定義表 0451 - Substance identifier 試薬等ID

Value	Description
ALL	すべての在庫項目を要求

INV-2 Substance status 試薬等の在庫ステータス (CWE) 01373

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: 試薬等の在庫ステータス。ステータスはその試薬等の現在のステータスを示す。次の表を参照。

(リアルタイムに知らせる)警報や警告が必要な場合は、INU メッセージ/INV セグメントではなく、EAN メッセージ/NDS セグメントを使用する。

HL7表 0383 - Substance status 試薬等の在庫ステータス

Value	Description
EW	Expired Warning 警告: 期限切れ
EE	Expired Error エラー: 期限切れエラー
CW	Calibration Warning 警告: 校正
CE	Calibration Error エラー: 校正
QW	QC Warning 警告: QC
QE	QC Error エラー: QC
NW	Not Available Warning 警告: 利用不可能

NE	Not Available Error エラー：利用不可能
OW	Other Warning 警告：その他
OE	Other Error エラー：その他
OK	OK Status OK

INV-3 Substance type 試薬等タイプ (CWE) 01374

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: 試薬等のタイプ。 次の表を参照。

HL7表 0384 - Substance type 試薬等タイプ

Value	Description
SR	Single Test Reagent 単一検査試薬
MR	Multiple Test Reagent 複数検査試薬 (消費量は単位テストの依頼に結びつけられない)
DI	Diluent 希釈剤
PT	Pretreatment 予備処置
RC	Reagent Calibrator 試薬校正
CO	Control 制御
PW	Purified Water 精製水
LW	Liquid Waste 廃棄物(液体)
SW	Solid Waste 廃棄物(固体)
SC	Countable Solid Item 計数可能な固形項目(例：チップなど)
LI	Measurable Liquid Item 計量可能な液体項目
OT	Other その他

INV-4 Inventory container identifier 在庫容器 ID (CWE) 01532

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: 採取容器を含む在庫容器の ID で、試薬等を特定する容器のただ 1 つの ID。例えば、製造元が発行する特定の ID。

INV-5 Container carrier identifier 在庫容器キャリア ID (CWE) 01376

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: 試薬等の容器を搬送するために使用されるキャリア (例: 試薬瓶付きの脱着式ローター)。

INV-6 Position on carrier キャリア上の位置 (CWE) 01377

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: キャリア上の位置 (例: インデックス)を示す。

INV-7 Initial quantity 初期量 (NM) 01378

定義: このフィールドは、在庫試薬等の初期の在庫量を示す。

INV-8 Current quantity 現在量 (NM) 01379

定義: このフィールドは現在の量、つまり初期量から実際に使用された量を引いたもの、または、増加した量を示す。

INV-9 Available quantity 利用可能量 (NM) 01380

定義: このフィールドは試薬等の利用可能量または廃棄可能量を示す。例えば、試薬の場合で、現在量から予定されている消費量 (例: 予定されている検査) を引いたものを示す。

INV-10 Consumption quantity 消費量 (NM) 01381

定義: このフィールドは、装置がこの試薬等を使用するたびに消費または廃棄される量を示す。

INV-11 Quantity units 量の単位 (CWE) 01382

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: このフィールドは、利用可能量(INV-9)に使用される単位を示す。ISO+ 単位の場合は、省略形で記録される。デフォルトの単位はミリリットル (mL) で、単位が示されていない場合は、この単位が仮定される。

INV-12 Expiration date/time 有効期限 (TS) 01383

定義: このフィールドは、試薬等の有効期限 (日付と時刻) を示す。

INV-13 First used date/time 使用開始日時 (TS) 01384

定義: このフィールドは、試薬等が最初に使用された日付と時刻を示す。この日付と時刻は、試薬等の安定性を判断するために必須にしても良い。

INV-14 On board stability duration 機上の安定期間 (TQ) 01385

定義: このフィールドは、試薬等が安定している期間を示す。

下位互換の為に残された。INV-19（機上の安定期間）が代わりに使われるべきである。

INV-15 Test/fluid identifier(s) 検体/試薬 ID (CWE) 01386

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: このフィールドは、この試薬等に適用される検査項目と検体(材料/部位)のリストである。 反復フィールドである。空白のフィールドは、この試薬等が検査に特定でなく、すべての検査に適用されることを示す。

INV-16 Manufacturer lot number 製造元ロット番号 (ST) 01387

定義: このフィールドは、その試薬等の製造時に製造元が割り当てたロット番号を示す。

INV-17 Manufacturer Identifier 製造元 ID (CWE) 00286

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: このフィールドは、その試薬等の製造元を示す。 次の表を参照。

使用者定義表0385 - Manufacturer identifier 製造元ID

Value	Description
	no suggested values 推奨値なし

INV-18 Supplier identifier 供給元 ID (CWE) 01389

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (ST)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (ST)>

定義: このフィールドは、その試薬等の供給元を示す。 次の表を参照。

使用者定義表 0386 - Supplier identifier 供給元ID

Value	Description
	no suggested values 推奨値なし

INV-19 On Board Stability Time 機上の安定時間 (CQ) 01626

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

Subcomponents for Units (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: この項目は試薬の利用/キャリブレーションで安定している時間である。この時間は INV-13 開始時間に INV-19 安定時間をくわえ有効時間を計算するのに利用される。

第一要素は時間表現で第二要素は時間の単位を定義する。「使用者定義表 0255 – 期間属性」(10.6.8 節)を参照。推奨する形式は日時分 ("minutes", "hours" and "days") である。

INV-20 Target Value 目標値(CQ) 01896

Components: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

Subcomponents for Units (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)>

定義: この項目は検査結果の目標値を示す。この QC（精度管理）のための目標値は検査管理者や関連する参考値として利用される。第一要素は値で第二要素はその単位である。

9.7 ISD - interaction status detail segment インタラクションステータスの詳細セグメント

ISD セグメントは、特定の装置に対する特定のインタラクション（処理など）のステータスに関するデータである。

HL7属性表 -ISD- Interaction Status Detail インタラクションステータスの詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	20	NM	R	R			01326	Reference Interaction Number (unique identifier) 参照インタラクション番号(一意のID)	
2	250	CWE	O	O		0368	01327	Interaction Type Identifier インタラクションタイプID	
3	250	CWE	R	R		0387	01328	Interaction Active State インタラクションアクティブステータス	

ISD フィールド定義

ISD-1 Reference interaction number 参照インタラクション番号 (NM) 01326

定義：この番号は、インタラクションを一意に示す。インタラクションがコマンドにより実行される場合は、参照コマンド番号（Reference Command Number）を使用する（CLSI AUTO3 の LECIS Comparison Section 5.2.1 を参照）。それ以外の場合は、ユーザまたは装置の専用のテーブルを定義すること。

ISD-2 Interaction type identifier インタラクションタイプ ID (CWE) 01327

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、インタラクションのタイプを指定する。インタラクションがコマンドの効果として実行される場合は、ECD フィールド定義中の「使用者定義表 0368 リモート制御コマンド」（9.5 節）の ID を使用する。それ以外の場合は、ユーザまたは装置の専用のテーブルを定義すること。

ISD-3 Interaction active state インタラクションアクティブステータス (CWE) 01328

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、インタラクションのステータスを伝える。インタラクションがコマンドにより実行される場合は、ステータスとしてコマンド応答を使用できる（「使用者定義表 0387 コマンド応答」（9.6 節）を参照）。これを使用しない場合、ステータスはインタラクションに特定されている LECIS ステータストランザクションを参照する。それ以外の場合は、ユーザまたは装置の専用のテーブルを定義すること。

9.8 NDS - Notification Detail Segment 通知詳細セグメント

NDS セグメントは、適当な監査記録とイベントの通知を維持するために必要なデータである。
(例：装置の特定の部位で発生したアラーム)

HL7属性表 -NDS- Notification Detail 通知詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japa n	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME	NOT E
1	20	NM	R	R			01398	Notification Reference Number 通知参照番号	
2	26	TS	R	R			01399	Notification Date/Time 通知日時	
3	250	CWE	R	R		0367	01400	Notification Alert Severity 通知警報の重要度	
4	250	CWE	R	R			01401	Notification Code 通知コード	

NDS フィールド定義

NDS-1 Reference Command Number 参照コマンド番号 (NM) 01398

定義： このフィールドは、このトランザクションを参照するために、様々な構成要素によって使用されるユニークで連続的な参照番号である。この番号は、この通知の発行者によって生成される。

NDS-2 Notification Date/Time 通知日時 (TS) 01399

定義： このフィールドは、通知の日時を示す。

HL7 自体に規定はないが、本仕様では、イベントの発生日時を示すものとする。

NDS-3 Notification Alert Severity 通知警報の重要度 (CWE) 01400

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding systemコーディングシステム名 (IS)> ^ <alternate identifier 代替識別子(ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義： このフィールドは、特定の通知の重要度を示す。「HL7 表 0367—警報レベル」(9.1 節) を参照。

NDS-4 Notification Code 通知コード (CWE) 01401

Components: <identifier識別子 (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding systemコーディングシステム名 (IS)> ^ <alternate identifier 代替識別子(ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system代替コーディングシステム名 (IS)>

定義： このフィールドは、送信されている通知のタイプを示す。これらはメーカーや装置固有のエラー・状態コードである。(例：AQN-0123—分注エラー—詰まり検知)

9.9 SAC - Specimen And Container Detail Segment 材料と採取容器の詳細セグメント

採取容器詳細セグメントは臨床検査自動化システムで使用する採取容器の取り扱いに必要なデータである。普通、検査室では検体は採取容器で輸送され、処理される。SPM セグメントと SAC セグメントが同一メッセージ上で使われる場合は、概念的に同一な値は SPM セグメントだけに記述されるべきである。SAC-6 (Specimen Source), SAC-27 (Additives), SAC-43 (Special Handling Considerations).が適用される。

(注 : SPM-8(Specimen Source Site), SPM-6(Specimen Additives), SPM-15(Specimen Handling Code))

HL7属性表 -SAC- Specimen Container detail 材料と採取容器の詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	80	EI	O	O			01329	External accession identifier 外部識別ID	
2	80	EI	O	O			01330	Accession identifier 識別ID	
3	80	EI	C	C			01331	Container identifier 採取容器ID	
4	80	EI	C	C			01332	Primary (parent) container identifier 親採取容器ID	
5	80	EI	O	O			01333	Equipment container identifier 装置採取容器ID	
6	300	SPS	W	W		0369	00249	Specimen source 検査材料	
7	26	TS	O	O			01334	Registration date/time 登録の日付/時間	
8	250	CWE	O	O		0370	01335	Container status 採取容器ステータス	
9	250	CWE	O	O		0378	01336	Carrier type キャリアタイプ	
10	80	EI	O	O			01337	Carrier identifier キャリアID	
11	80	NA	O	O			01338	Position in carrier キャリア内の位置	
12	250	CWE	O	O		0379	01339	Tray type トレイタイプ	
13	80	EI	O	O			01340	Tray identifier トレイID	
14	80	NA	O	O			01341	Position in tray トレイ内の位置	
15	250	CWE	O	O	Y		01342	Location ロケーション	
16	20	NM	O	O			01343	Container height 採取容器高さ	
17	20	NM	O	O			01344	Container diameter 採取容器直径	
18	20	NM	O	O			01345	Barrier delta バリアデルタ	
19	20	NM	O	O			01346	Bottom deltaボトムデルタ	
20	250	CWE	O	O			01347	Container diameter/height/delta units 採取容器高さ/直径/デルタの単位	
21	20	NM	O	O			00644	Container volume 採取容器容量	
22	20	NM	O	O			01349	Available volume 利用可能容量	
23	20	NM	O	O			01350	Initial specimen volume 初期検体容量	
24	250	CWE	O	O			01351	Volume units 容量単位	
25	250	CWE	O	O		0380	01352	Separator type 分離剤タイプ	
26	250	CWE	O	O		0381	01353	Cap type キャップタイプ	
27	250	CWE	O	O	Y	0371	00647	Additive 添加剤	
28	250	CWE	O	O			01355	Specimen component 材料成分	
29	20	SN	O	O			01356	Dilution factor 希釈率	
30	250	CWE	O	O		0373	01357	Treatment 処置	
31	20	SN	O	O			01358	Temperature 温度	
32	20	NM	O	O			01359	Hemolysis index 溶血指数	
33	250	CWE	O	O			01360	Hemolysis index units 溶血指数の単位	
34	20	NM	O	O			01361	Lipemia index 乳び指数	
35	250	CWE	O	O			01362	Lipemia index units 乳び指数の単位	
36	20	NM	O	O			01363	Icterus index 黄疸指数	
37	250	CWE	O	O			01364	Icterus index units 黄疸指数の単位	
38	20	NM	O	O			01365	Fibrin index フィブリン指数	
39	250	CWE	O	O			01366	Fibrin index units フィブリン指数の単位	
40	250	CWE	O	O	Y	0374	01367	System induced contaminants システム由来の汚染物質	
41	250	CWE	O	O	Y	0382	01368	Drug interference 薬剤干渉	
42	250	CWE	O	O		0375	01369	Artificial blood 人工血液	

43	250	CWE	O	O	Y	0376	01370	Special handling considerations 特別の取り扱い注意
44	250	CWE	O	O	Y	0377	01371	Other environmental factors その他の環境因子

SAC フィールド定義

SAC-1 External accession identifier 外部識別 ID(EI) 01329

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは、臨床検査の ID を示す。この ID は外部臨床検査情報システムによって割り当てられる。

例：ラボ A からラボ B へ検体が移送されたとき、ラボ B ではこのフィールドの内容をラボ A とする。

SAC-2 Accession identifier 識別 ID(EI) 01330

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは臨床検査の ID を示す。この ID は検査を実施している臨床検査の情報システムにより割り当てられる。

識別 ID は 1 本以上の採取容器を参照させる事が可能である。採取容器 ID（後述）は採取容器毎にユニークな識別子である。

SAC-3 Container identifier 採取容器 ID(EI) 01331

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは採取容器を示す。このフィールドは採取容器の一意な ID で、対応する装置により割り当てられる。1つの採取容器には、親材料または、材料の分注検体が入る。親検体の場合はこのフィールド親採取容器 ID が入り、バーコード付きでない分注検体（例：micro-titer プレート）の場合は空白となる。

CLSI 規格では臨床検査情報システムに導入される採取容器にはそれぞれ一意の ID が要求される。親採取容器 ID、採取容器 ID、キャリア ID/位置、トレイ ID/位置のフィールドの組み合わせにより、LAS 内の採取容器が一意に識別される必要がある。自然で最良の方法は、機械で読みとれる一意の ID（当然、この ID はフィールドの組み合わせの一意性を保証する）を採取容器に貼付することである。

この ID を記号化するバーコードは、CLSI AUTO2(Laboratory Automation: Bar Codes for Specimen Container Identification)

の規格案に適合すること。

SAC-4 Primary (parent) container identifier 親採取容器 ID (EI) 01332

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドに内容がある場合は、その検体の元の採取容器を示す。親検体の場合は、このフィールドは空白となる。分注検体の場合は、このフィールドには親採取容器の ID が入る。

SAC-5 Equipment container identifier 装置採取容器 ID(EI) 01333

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは、特定の装置内の採取容器 ID を示す。

例：分析機内のカローセルまたはラック内の特定の検体、または分析機に特定のバーコードの割り当てなど。

各種サンプルタイプの採取容器IDフィールドの使用例

SAC field	Primary container 親採取容器	Aliquot container with Bar-code バーコード付き分注採取容器	Aliquot container without Bar-code, e.g. microtiter well バーコード無し分注採取容器
“Container ID” 採取容器	Primary container ID	Aliquot container ID	

ID(SAC-3)	親採取容器 ID	分注採取容器 ID	
“Primary (parent) Container ID” 親採取容器 ID(SAC-4)		Primary container ID 親採取容器 ID	Primary container ID 親採取容器 ID

SAC-6 Specimen source 検査材料 (SPS) 00249

Components: <Specimen Source Name or Code (CWE)> ^ <Additives (CWE)> ^ <Specimen Collection Method (TX)> ^ <Body Site (CWE)> ^ <Site Modifier (CWE)> ^ <Collection Method Modifier Code (CWE)> ^ <Specimen Role (CWE)>

Subcomponents for Specimen Source Name or Code (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

Subcomponents for Additives (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

Subcomponents for Body Site (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

Subcomponents for Site Modifier (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

Subcomponents for Collection Method Modifier Code (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

Subcomponents for Specimen Role (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは HL7 V2.4 以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。SPM セグメントと SAC セグメントが同時に使用される場合は SPM セグメントを優先する。SPM セグメントについては 7 章を参照。

SAC-7 Registration date/time 登録日付と時刻 (TS) 01334

定義：このフィールドは、その採取容器が最後に自動システムに登録された日付と時刻を示す。例：採取容器バーコードが装置によって読まれた。

SAC-8 Container status 採取容器ステータス(CWE) 01335

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、そのトランザクションが開始された時点で検体が属していた一意の採取容器のステータスを示す。値については「HL7 表 0370 - Container status」を参照。必要なら、装置に特定の採取容器ステータスを <alternate identifier> として送信する。

HL7表 0370 - Container status 採取容器ステータス

Value	Description
I	Identified 識別されている
P	In Position 装置の中にある
O	In Process 処理中
R	Process Completed 処理終了
L	Left Equipment 機器から解放された
M	Missing ミッシング
X	Container Unavailable 採取容器利用不能
U	Unknown 不明

採取容器ステータスは (LAS 内の) 装置間の情報交換に関係する。全てではないが、LIS-LAS 間のデータ転送にも関連する。

以下の記述は LAS または機器と他の LAS または機器とのインターフェースに関するものである。

Identified はシステムが他のシステムに対して採取容器を受け取った事を通知する。

LAS と LIS 間での情報交換では Identified は検体を受け取った「このラボ」のステータスをレポートする事が可能である。

最初のサンプルの認識と同一にはならないケースもある。

In Position はシステムから他のシステムに対して検体搬送中の採取容器の位置を通知する。(例：採取容器がラックから取り出された。ピペッティング中、等)

In Process はシステムから他のシステムに対して特定の採取容器が機器によって処理されていることを通知する。これは特定の処理ステップが適切で無いとき、採取容器ステータスについてのクエリーを応答するのに有用である。

Process Completed はシステムから他のシステムに対して処理が終了したが、採取容器は未だシステムから解放されていない状態を示す。

Left Equipment はシステムから他のシステムに対して採取容器が解放されたことを示す。

Missing はシステムから他のシステムに対して採取容器が予想された位置に無い事を示す。

Cancelled はシステムから他のシステムへこのシステムの範疇で採取容器がもはや利用不可能であることを示す。(例：採取容器破損、破棄)

Unknown はシステムから他のシステムに対して採取容器を受け取っていないことを示す。

SAC-9 Carrier type キャリアタイプ(CWE) 01336

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドはキャリアのタイプを示す。使用者定義表 0378 に提案する値を示す。

それぞれの形状が異なるので、可能ならキャリアタイプかキャリア内のポジションの数を示すようにする。

この定義は階層的に表現できると想定している。「採取容器はキャリアの中にあり、キャリアはトレイの中にある。」のように表現するには、SAC-10～15 のフィールドと組み合わせて定義する。

使用者定義表 0378 – Carrier type キャリアタイプ

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値は定義されない

値の例： R01 (one position carrier), R05 (five position carrier)

SAC-10 Carrier identifier キャリア ID (EI) 01337

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドはキャリアを示す。この ID (例：番号、バーコード) は、採取容器 (例：採取容器) が置かれているキャリアを示す。

例：キャリアが、1、または複数の検体採取容器用のラックである場合、キャリアは通常、自動検体搬送に使用される。複数のキャリアをトレイにストックして、そのトレイを手動または自動で搬送してもよい。

SAC-11 Position in carrier キャリア内の位置(NA) 01338

定義：このフィールドはキャリア内の採取容器の位置を示す。(例：1,2,3・・・) 必要なら、複数の座標軸情報 (例：2 次元なら x\y) を送るためにサブ要素を使用できる。

SAC-12 Tray type トレイタイプ(CWE) 01339

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドはトレイのタイプを示す。使用者定義表 0379 に提案する値を示す。

それぞれの形状が異なるので、可能ならトレイ内のポジションの数を示すようにする。

この定義は階層的にネストされていると想定している。「採取容器はキャリアの中にあり、キャリアはトレイの中にある。」のように。

使用者定義表 0379 – Tray type トレイタイプ

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値は定義されない

SAC-13 Tray identifier トレイ ID(EI) 01340

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは採取容器キャリアがあるトレイの ID（例：トレイの番号またはトレイ上のバーコード）を示す。

SAC-14 Position in tray トレイ内の位置(NA) 01341

定義：このフィールドはトレイ内のキャリアの位置を示す。必要なら、複数の座標軸情報（例：2次元なら x\y）を送るためにサブ要素を使用できる。

SAC-15 Location ロケーション(CWE) 01342

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、トランザクションが開始した時点での物理的な場所を示す。ロケーションの記述は LAS により異なる。例えば、ストレージ内の XYZ 座標で表したり、採取容器キャリアのトレイがある冷蔵庫の番号や引き出しの番号で表したり、現在採取容器を所有している部署と臨床検査の名前で表す場合がある。このフィールドを繰り返すことにより、ロケーションを階層的に表現できる。（最下位レベルから順に示す）例えば、棚番号、冷蔵庫 ID、ラボ名、施設名など。

SAC-16 Container height 採取容器高さ(NM) 01343

定義：このフィールドは採取容器の高さを示す。

SAC-17 Container diameter 採取容器直径(NM) 01344

定義：このフィールドは採取容器の直径を示す。

SAC-18 Barrier delta バリアデルタ(NM) 01345

定義：このフィールドは規格点（Point of Reference）から分離剤までの距離を示す。この距離は、おそらく LAS によって与えられ、機器あるいは検体操作を行う装置が分離剤への接触なしにサンプリングプローブを検体に挿入するのに有用である。

Point of Reference の定義については CLSI 規格の AUTO5 (Laboratory Automation: Electromechanical Interfaces)を参照。

SAC-19 Bottom delta ボトムデルタ(NM) 01346

定義：このフィールドは規格点（Point of Reference）から採取容器の底（外壁）までの距離を示す。

Point of Reference の定義については CLSI 規格の AUTO5 (Laboratory Automation: Electromechanical Interfaces)を参照。

SAC-20 Container diameter/height/delta units 採取容器直径／高さデルタの単位 (CWE) 01347

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、採取容器の直径、高さ、デルタを記述されるために使用される単位を示す。ISO+単位の場合は、省略形で記録される。ANS+または L(ローカル) の場合は単位とソースコードの表を記録する必要がある。それ以外の場合は、要素の区切り文字はサブ要素の区切り文字に置き換えられなければならない。デフォルトの単位はミリメートル(mm)で単位が示されていない場合はこの単位が仮定される。

SAC-21 Container volume 採取容器容量(NM) 00644

定義：このフィールドは採取容器の容量を示す。

SAC-22 Available volume 利用可能容量(NM) 01349

定義：このフィールドは、この採取容器で現在利用できる容量を示す。

SAC-23 Initial specimen volume 初期検体容量 (NM) 01350

定義：このフィールドは採取容器の吸引体積を示す。

SAC-24 Volume units 容量単位 (CWE) 01351

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、採取容器の容量を示すために使用される単位を示す。ISO+単位の場合は、省略形で記録される。デフォルトの単位はミリリットル (mL) で、単位が示されていない場合はこの単位が仮定される。

SAC-25 Separator type 分離剤タイプ (CWE) 01352

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、採取容器で使用する分離剤のタイプを示す。(例えば、ゲル状の分離剤のことであって、通信上のセパレータと混同しないこと) 使用者定義表 0380 に提案する値を示す。テーブルの最初のエントリが"NO"なら「分離剤なし」を示す。

使用者定義表 0380 – Separator type セパレータタイプ

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値は定義されない

Examples of values 値の例: NO (no separator 分離剤なし), GEL (gel separator ゲル状の分離剤), M01 (manufacturer specific メーカー独自のもの)

SAC-26 Cap type キャップタイプ (CWE) 01353

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、採取容器の開栓、ピアシングなどの機構に使用されるキャップのタイプを示す。使用者定義表 0381 に提案する値を示す。

使用者定義表 0381 – Cap type キャップタイプ

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値は定義されない

値の例: SCR (screw cap スクリュー栓), PSH (push cap プッシュ栓), FOIL (foil シール栓)

SAC-27 Additive 添加剤(CWE) 00647

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、採取前または採取の時点で検体に添加された添加剤を示す。繰り返し可能。HL7 表 0371 に提案する値を示す。

この表の値は CLSI AUTO4 による。ユーザによる拡張が可能である。

注) このフィールドは HL7 V2.4 以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。SPM セグメントと SAC セグメントが同時に使用される場合は SPM セグメントを優先する。SPM セグメントについては第 7 章を参照。

SAC-28 Specimen component 検体成分(CWE) 01355

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体成分（上清、沈殿など）を示す。使用者定義表 0372 に提案する値を示す。

この表の値は CLSI AUTO4 による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0372 - Specimen component 検体成分

Value	Description
SUP	Supernatant 上清
SED	Sediment 沈殿
BLD	Whole blood, homogeneous 全血
BSEP	Whole blood, separated 分離された全血
PRP	Platelet rich plasma 多血小板血漿
PPP	Platelet poor plasma 乏血小板血漿
SER	Serum, NOS (not otherwise specified) 血清 (他に特徴のない)
PLAS	Plasma, NOS (not otherwise specified) 血漿 (他に特徴のない)

SAC-29 Dilution factor 希釈率(SN) 01356

Components: <comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、既に検体を実施されている希釈の希釈率を示す。希釈率を変更する装置はこの情報を他の装置に送信する必要がある。内因性の希釈剤内容物が濃度計算に必要な場合は、マスタファイルまたは他の方法で特定の値がシステム間で交換される必要がある。

例：

|^1^/5| - means dilution 1 to 5, i.e., 1 part sample, 4 parts diluent

5 倍希釈 例えば、1 が検体、4 が希釈剤

|^1^+| - sample is diluted, but the factor is unknown

サンプルが希釈されたが、希釈率は不明

|1^1| - not diluted sample

希釈されなかった

|| - dilution not changed

希釈率は不変

SAC-30 Treatment 処置(CWE) 01357

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体採取時の処置を示す。使用者定義表 0373 に提案する値を示す。この表の値は CLSI AUTO4 による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0373 – Treatment 処置

Value	Description
LDLP	LDL Precipitation LDL 沈殿
RECA	Recalcification カルシウム再添加
DEFB	Defibrination フィブリン除去
ACID	Acidification 酸化
NEUT	Neutralization 中和
ALK	Alkalization アルカリ化
FILT	Filtration 濾過
UFIL	Ultrafiltration 限外濾過

SAC-31 Temperature 温度(SN) 01358

Components: <comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、EQU セグメントにトランザクションが指定されたときの検体の摂氏 (Celsius) 温度 (°C) を示す。

SAC-32 Hemolysis index 溶血指数 (NM) 01359

定義：このフィールドは、検体の溶血指数を表すために使用される。

SAC-33 Hemolysis index units 溶血指数の単位 (CWE) 01360

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体の溶血指数の単位を表すために使用される。推奨される単位は g/L である。(OBX のオリジナルの使用法に換わり、この指数値の送信が追加された。理由は検体の詳細情報の送信頻度の点から、より効率的な機構の使用が望ましいためである。このフィールドが空の場合は推奨値と見なされる。

SAC-34 Lipemia index 乳び指数 (NM) 01361

定義：このフィールドは、検体の乳び指数を表すために使用される。600nm で測定した光学的濁度 (単位は absorbance) が推奨される。

SAC-35 Lipemia index units 乳び指数の単位(CWE) 01362

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体の乳び指数の単位を表すために使用される。このフィールドが空の場合は推奨値と見なされる。

SAC-36 Icterus index 黄疸指数 (NM) 01363

定義：このフィールドは、検体の黄疸指数を表すために使用される。

SAC-37 Icterus index units 黄疸指数の単位 (CWE) 01364

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体の黄疸指数の単位を表すために使用される。ビリルビンの mMOL/L が推奨される。

このフィールドが空の場合は推奨値と見なされる。

SAC-38 Fibrin index フィブリン指数 (NM) 01365

定義：このフィールドは、検体のフィブリン指数を表すために使用される。フィブリンの有／無しの違いしか無い場合に限り、それぞれ1または0を用い、単位は空とする。

SAC-39 Fibrin index units フィブリン指数の単位 (CWE) 01366

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体のフィブリン指数の単位を表すために使用される。

SAC-40 System induced contaminants システム由来の汚染物質 (CWE) 01367

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体に関連する汚染物質を示す。使用者定義表 0374 に提案する値を示す。この表の値は CLSI AUTO4 による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0374 - System induced contaminants 汚染物質

Value	Description
CNTM	Present, type of contamination unspecified 検体汚染有り、詳細不明

SAC-41 Drug interference 薬剤干渉(CWE) 01368

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体に関連する妨害物質を示す。使用者定義表 0382 に提案する値を示す。

使用者定義表 0382 – Drug interference 薬剤干渉

Value	Description
	No suggested values defined 推奨値は定義されない

SAC-42 Artificial blood 人工血液 (CWE) 01369

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体に関連する人工血液を示す。使用者定義表 0375 に提案する値を示す。

この表の値は CLSI AUTO4 による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0375 - Artificial blood 人工血液

Value	Description
SFHB	Stromal free hemoglobin preparations 基質遊離ヘモグロビン製剤
FLUR	Fluorocarbons フルオロカーボン

SAC-43 Special handling considerations 特別の取り扱い (CWE) 01370

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体に関連する特別の取り扱いを示す。注) このフィールドは HL7 V2.4 以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。SPM セグメントと SAC セグメントが同時に使用される場合は SPM セグメントを優先する。SPM セグメントについては第7章を参照。

SAC-44 Other environmental factors その他の環境因子 (CWE) 01371

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、検体に関連するその他の環境因子を示す(例：大気への露出)))。使用者定義表 0377 に提案する値を示す。この表の値は CLSI AUTO4 による。ユーザによる拡張が可能である。

使用者定義表 0377 - Other environmental factors その他の環境因子

Value	Description
ATM	Opened container, atmosphere/duration unspecified 開栓された採取容器の露出時間は規定しない
A60	Opened container, indoor atmosphere, 60 minutes duration 開栓された採取容器の露出時間は室内で60分

9.10 SID - Substance Identifier Segment 試薬等識別セグメント

試薬等識別セグメントは分析の過程で使用される物質（例えば、試薬）を確認するのに必要なデータを含んでいる。これらの分野の結合は試薬等をユニークに確認しなければならない。すなわちメーカーに依存することも必要である。分析が複数の試薬等を必要とする場合は、このセグメントは各試薬等の毎に繰り返される。このセグメントはTCDセグメントと組み合わせて使われる。

もう1つのこのセグメントの目的は、コントロール製造業者、ロットなどの情報を通知することである。この場合 SID セグメントはコントロール検体で採取容器を記述している SAC セグメントに置かれるべきである。

HL7属性表 -SID- Substance Identifier 試薬等識別セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	C	C			01426	Application / method identifier アプリケーション／方法 ID	
2	20	ST	C	C			01129	Substance lot number 試薬等ロット番号	
3	200	ST	C	C			01428	Substance container identifier 試薬等容器 ID	
4	250	CWE	C	C			01429	Substance manufacturer identifier 試薬等製造元 ID	

SID フィールド定義

SID-1 Application / method identifier アプリケーション／方法 ID (CWE) 01426

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは分析に使用されるアプリケーション／方法を示す。

例：グルコースは様々な測定法が存在する検査である。様々なアプリケーション／方法（メーカーの ID を持っている）を使用してグルコースを分析することができる。

SID-2 Substance lot number 試薬等ロット番号 (ST) 01129

定義：このフィールドは試薬等の製造時にメーカーが割り当てた番号を指定する。

SID-3 Substance container identifier 試薬等容器 ID (ST) 01428

定義：このフィールドは試薬等の製造時にメーカーが割り当てた容器を指定する。この ID は特定のアプリケーション／方法の特定のロットの中でユニークでなければならない。

SID-4 Substance manufacturer identifier 試薬等製造元 ID (CWE) 01429

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドはこの試薬等の製造元を示す。これはユーザで定義された表である。

「使用者定義表 0451 – 試薬等 ID」(9.4 節) を参照。

9.11 TCC - Test Code Configuration 検査コード設定セグメント

検査（例：分析）コード設定セグメントは、自動システム全体で使用される検査コードに関する情報を維持および送信するために必要なデータである。

HL7属性表 -TCC- Test Code Configuration 検査コード設定セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/ #	TBL #	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	R	R			00238	Universal service Identifier 汎用サービスID	
2	80	EI	R	R			01408	Equipment test application identifier 装置試験APID	
3	300	SPS	B	B			00249	Specimen source 検査材料	
4	20	SN	O	O			01410	Auto-dilution factor default 自動希釈率のデフォルト	
5	20	SN	O	O			01411	Rerun dilution factor default 再検希釈率のデフォルト	
6	20	SN	O	O			01412	Pre-dilution factor default 予備希釈率のデフォルト	
7	20	SN	O	O			01413	Pre-dilution factor default 予備希釈の希釈剤の容量	
8	10	NM	O	O			01414	Inventory limits warning level 残量警告レベル	
9	1	ID	O	O			01415	Automatic rerun allowed 自動再検許可	
10	1	ID	O	O			01416	Automatic repeat allowed 多重測定許可	
11	1	ID	O	O			01417	Automatic reflex allowed 追加許可	
12	20	SN	O	O			01418	Equipment dynamic range 装置のダイナミックレンジ	
13	250	CWE	O	O			00574	Units 単位	
14	250	CWE	O	O			01419	Processing type 処理タイプ	

TCC フィールド定義

TCC-1 Universal service Identifier 汎用サービス ID (CWE) 00238

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、情報が送信される検査コードを示す。代替要素は、装置や試薬メーカーによりこの検査コードに割り当てられた検査コードを示す。

TCC-2 Equipment test application identifier 装置試験 APID (EI) 01408

Components: <entity identifier (ST)> ^ <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義：このフィールドは、装置や試薬のメーカーによって割り当てられ、テスト項目によって指定される特定のテストを行なう時に関連付けられるテストアプリケーションコードを示す。

TCC-3 Specimen source 検査材料 (SPS) 00249

V2.5 においてはこの項目は HL7 V2.4 以前の旧バージョンとの互換性のためにのみ残されている。SPM セグメントと TCC セグメントが同時に使用される場合は SPM セグメントを優先する。SPM セグメントについては第 7 章を参照。

TCC-4 Auto-dilution factor default 自動希釈率のデフォルト (SN) 01410

Components: <comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、この検査コードについて装置が自動的に行う希釈のデフォルト希釈率として使用される値である。（「材料と採取容器の詳細セグメント」の「SAC-29 希釈率」を参照）

TCC-5 Rerun dilution factor default 再検希釈率のデフォルト (SN) 01411

Components: <comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、この検査コードについて装置が再検する場合のデフォルト希釈率として使用される値である。

TCC-6 Pre-dilution factor default 予備希釈率のデフォルト (SN) 01412

Components: <comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、この検査コードの予備希釈のために臨床検査自動化システムに配送される検体のフォルト希釈率として使用される値である。

TCC-7 Endogenous content of pre-dilution diluent 予備希釈の希釈剤容量 (SN) 01413

定義：このフィールドは、検体中の希釈剤の測定済み濃度を示す。この値は、この検査コードのために予備希釈された検体の濃度を計算するために使用される。

TCC-8 Inventory limits warning level 残量警告レベル (NM) 01414

定義：このフィールドは、試薬等在庫の残量警告を出す閾値として使用される。

TCC-9 Automatic rerun allowed 自動再検許可 (ID) 01415

定義：このフィールドは、この検査コード項目を、自動的に再検を行なうかどうかを指定する。「HL7 表 0136 -Yes/no 指示」(7.7 節)を参照。

TCC-10 Automatic repeat allowed 多重測定許可 (ID) 01416

定義：このフィールドは、この検査コード項目を、自動的に2重測定を行なうかどうかを指定する。「HL7 表 0136 -Yes/no 指示」(7.7 節)を参照。

TCC-11 Automatic reflex allowed 追加許可 (ID) 01417

定義：このフィールドは、この検査コード項目を、自動的にまたは手動で追加項目の検査を行なうかどうかを指定する。「HL7 表 0136 -Yes/no 指示」(7.7 節)を参照。

TCC-12 Equipment dynamic range 装置のダイナミックレンジ (SN) 01418

Components: <comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：装置のダイナミックレンジを示す。

TCC-13 Units 単位 (CWE) 00574

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドはデータタイプCWEを持つ単位である。

標準化された単位体系の使用が望まれる。

IHE Laboratory Technical Framework では、UCUM の使用を推奨している。

TCC-14 Processing type 処理タイプ (CWE) 01419

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、この検査コードに適用される処理タイプを示す。この属性が省略されている場合は、通常処理がデフォルトとなる。

HL7表0388 - Processing typ 処理タイプ

Value	Description
P	通常処理 Regular Production
E	評価 Evaluation

9.12 TCD - Test Code Detail Segment 検査コード詳細セグメント

検査コード詳細セグメントは、臨床検査自動化システムによるオペレーション、計算、意思決定を行なうために必要なデータである。

HL7属性表 -TCD- Test Code Detail 検査コード詳細セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	Japan	RP/#	TBL#	ITEM #	ELEMENT NAME	NOTE
1	250	CWE	R	R			00238	Universal service Identifier 汎用サービス ID	
2	20	SN	O	O			01420	Auto-dilution factor 自動希釈率	
3	20	SN	O	O			01421	Rerun dilution factor 再検希釈率	
4	20	SN	O	O			01422	Pre-dilution factor 予備希釈率	
5	20	SN	O	O			01413	Endogenous content of pre-dilution diluent 予備希釈の希釈剤容量	
6	1	ID	O	O			01423	Automatic repeat allowed 自動再検許可	
7	1	ID	O	O			01424	Reflex allowed 追加許可	
8	250	CWE	O	O			01425	Analyte repeat status 分析反復ステータス	

TCD フィールド定義

TCD-1 Universal service Identifier 汎用サービス ID (CWE) 00238

Components: <identifier (ST)> ^ <text (ST)> ^ <name of coding system (IS)> ^ <alternate identifier (ST)> ^ <alternate text (ST)> ^ <name of alternate coding system (IS)>

定義：このフィールドは、情報が送信される検査コードを示す。

TCD-2 Auto-dilution factor 自動希釈率 (SN) 01420

Components: <comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、この検査コードについて装置が自動的に行う希釈の希釈率として使用される値である。

TCD-3 Rerun dilution factor 再検希釈率 (SN) 01421

Components: <comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、この検査コードの再検時自動希釈の希釈率として使用される値である。

TCD-4 Pre-dilution factor 予備希釈率 (SN) 01422

Components: <comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、この検査コードの予備希釈のために臨床検査自動化システムに配送される検体の希釈率として使用される値である。

TCD-5 Endogenous content of pre-dilution diluent 予備希釈における希釈液の含有濃度 (SN) 01413

Components: <comparator (ST)> ^ <num1 (NM)> ^ <separator/suffix (ST)> ^ <num2 (NM)>

定義：このフィールドは、希釈剤の当該測定項目の既知の含有濃度を示す。この値は、この検査コードのために予備希釈された検体の濃度を計算するために使用される。

TCD-6 Automatic repeat allowed 自動再測定許可 (ID) 01423

定義：このフィールドは、この検査コード項目を、自動的に再測定を行なうかどうかを指定する。「HL7 -Yes/no 指示」(7.7 節) を参照。

TCD-7 Reflex allowed 追加許可 (ID) 01424

定義：このフィールドは、この検査コード項目を、自動的にまたは手動で追加項目の検査を行なうかどうかを指定する。「HL7 表 0136 -Yes/no 指示」(7.7 節) を参照。

TCD-8 Analyte repeat status 分析反復ステータス (CWE) 01425

定義：このフィールドは結果の反復ステータスを識別する。(例えば：初期値、再測定、反復、追加)。「HL7 表 0389 - 結果反復ステータス」を参照。

このフィールドの目的は次のように仮定する：

希釈剤なしの反復検査—正しい結果を確認することを行われる (例、“パニック” または機械的失敗としての結果の場合)。

希釈剤ありの反復検査 —通常、測定限界（技術上の限界）を超えたケースで行われる。
 反射作用検査—他のテスト結果に基づいて、このテストは行われる。

HL7表 0389 – 結果反復ステータス Analyte repeat status

Value	Description
O	オリジナル/初期値 Original, first run
R	再検査 (e.g. フラグの設定による) Repeated without dilution
D	検体希釈後の再測定 Repeated with dilution
F	再追加. (e.g.条件による、または他の結果からの追加) Reflex test

10. マスタファイル Master Files

10.1 目的

臨床検査データ交換を運用するにあたり、相互に情報を認識するために同じ内容を持ったマスタファイルが不可欠である。本章では必要となる各種マスタファイル情報を設定更新する場合に使用する標準的メッセージを規定する。

マスタファイル通知メッセージはオンラインやバッチモードを問わずシステム間における種々のマスタファイルに対する設定更新情報の配布を支援する。これらの応答モードはオリジナル、拡張、遅延アプリケーションを提供する。これらのメッセージは基本的な事象コード（マスタファイル通知または応答）を受け渡すために MSH セグメントを使う。MFI（マスタファイル識別）セグメントは更新すべきマスタファイルのみならず初期化やいつ適用するかといった「ファイルレベル」事象（「ファイル置換」ような）のための要求日付を識別する。変更すべき各レコードのための MFE（マスタファイルエントリ）セグメントはレコードレベル事象コード（例えば、追加、更新など）、事象のための初期化や要求日付、そしてマスタファイルのエントリを識別するレコードレベルキーを持つ。MFA（マスタファイル応答）セグメントはレコードに特有の応答情報を返す。

注: MFE セグメントは、マスタファイルレコードでなく、その識別子、事象と事象日付を指定するだけである。そこで識別されたマスタファイルレコードは MFE セグメントに続く Z-セグメントや HL7 定義セグメントを含んでいる。このレコードは単一のセグメントよりなるフラットレコード、あるいはそのデータと（通常階層的）構造より導き出される多くの単一セグメントを必要とする複合レコードである。

一般に、受信側システムが変更通知メッセージを処理する方法は、受信側システムの設計とそのサイトの要件に依存し、特定のマスタファイルに対する変更を手動で行う場合もあるし、自動的に行う場合もある。

10.2 トリガイイベント

マスタファイル変更通知メッセージ MFN のメッセージ型は MFN であり、対象となる臨床検査マスタファイルや各種表を次のトリガイイベント(参照 HL7 表 0003-事象型)を用いて通知する。(メッセージ型およびトリガイイベントは MSH-9 に指定)

HL7表 0003 - Event type 事象型（マスタファイル関連のみ）

Value	Description
M01	MFN/MFK - 他に特定されないマスタファイル(旧版互換のみ)
M02	MFN/MFK - 職員／従事者マスタファイル
M03	MFN/MFK - 検査項目マスタファイル(旧版互換のみ)
M04	MFN/MFK - 課金明細マスタファイル
M05	MFN/MFK - ロケーションマスタファイル
M06	MFN/MFK - 相とスケジュールを伴う治験マスタファイル
M07	MFN/MFK - 相を除くスケジュールを伴う治験マスタファイル
M08	MFN/MFK - 数値型検査項目マスタファイル
M09	MFN/MFK - カテゴリ型検査項目マスタファイル
M10	MFN/MFK - バッテリ（セット）検査項目マスタファイル
M11	MFN/MFK - 計算型検査項目マスタファイル
M12	MFN/MFK - 付加的基本的観察サービス属性マスタファイル
M13	MFN/MFK - 一般マスタファイル
M14	MFN/MFK - サイト定義マスタファイル
M15	MFN/MFK - 在庫管理項目マスタファイル

MFN メッセージは MFI セグメントで指定される次のようなファイルレベル事象を含む。

REP: 置換 Replace current version of this master file with the version contained in this message.

UPD: 更新 Change file records as defined in the record-level event codes for each record that follows.

REP はすべての MFE セグメントがレコードレベルの削除通知なしに MAD (追加) され、UPD は次の MFE セグメントのレコードレベル事象コードで定義されることを意味する。

MFN メッセージは MFE セグメントで指定される次のようなレコードレベル事象を含む。

MAD: 追加 Add record to master file.

MDL: 削除 Delete record from master file.

MUP: 更新 Update record for master file.

MDC: 無効 Deactivate: discontinue using record in master file, but do not delete from database.

MAC: 復活 Reactivate deactivated record.

MFD トランザクションは次のトリガイイベントで用いられる:

MFA: マスタファイル遅延アプリケーション応答。

10.3 メッセージ

マスタファイル更新のために MFN マスタファイル通知、MFK マスタファイルアプリケーション応答、MFD マスタファイル遅延アプリケーション応答、MFQ マスタファイル照会メッセージを定義する。

応答や照会 (MFK、MFD、MFQ、QBP 等) はファイル交換では使用しない。

10.3.1 MFN/MFK - master files notification マスタファイル通知メッセージ

MFN メッセージは次のように定義される: 詳細は各マスタファイルの節を参照。

MFN^Mnn^MFN_Mnn	マスタファイル 通知	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
MFI	Master File Identification	R
{	--- MF begin	R
MFE	Master File Entry	R
[...]	MFE セグメントで識別されたデータを持つセグメント	C
}	--- MF end	

MFK^Mnn^MFK_M01	マスタファイル アプリケーション 応答	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
MSA	Acknowledgment	R
[{ ERR }]	Error	C
MFI	Master File Identification	R
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C

注: MFKメッセージはオリジナルまたは拡張応答モード両方でアプリケーション応答に使用される。

10.3.2 MFQ/MFR - マスタファイル照会(事象 M01-M14)

MFQ 処理はシステムが特定のマスタファイルの主キーで定義される特定のレコード群を照会する。

注： 照会は HL7 V2.5 第5章で定義されるコンフォーマン스에に基づく照会を優先し、MFQ 処理のようなオリジナルモード照会の使用は避けるべきである。 10.3.3 節のコンフォーマン스에に基づくマスタファイル照会の例を参照。

MFQ マスタファイル照会は次のように定義される：

MFQ^Mnn^MFQ_M01	マスタファイルレコード照会	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
QRD	Query Definition	R
[QRF]	Query Filter	O
[DSC]	Continuation	N

MFR^Mnn^MFR_M01	マスタファイル応答	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
MSA	Acknowledgment	R
[{ ERR }]	Error	C
[QAK]	Query Acknowledgment	C
QRD	Query Definition	R
[QRF]	Query Filter	O
MFI	Master File Name	R
{	--- MF_QUERY begin	R
MFE	Master File Entry	R
[...]	One or more HL7 and/or Z-segments carrying the data for the entry identified in the MFE segment.	C
}	--- MF_QUERY end	
[DSC]	Continuation	N

MFQ 注釈

QRD セグメントの QRD-9 - What Subject Filter の値「MFQ」はマスタファイル照会を意味し、QRD セグメントの QRD-10 - What Department Data Code は照会するマスタファイルの名前である。QRD セグメントの QRD-11 - What Data Code Value Qual. は応答として返されるマスタファイル MFE セグメント（および「...」によって示される随伴するマスタファイルレコード）の主キー（または複数のキーやキーの範囲）を定義する。QRF セグメントは、時間範囲、特に MFN レコードレベル事象符号を定義するために用いられる。特段の指定のないかぎり、その応答はアクティブな現在のレコードを返す。

10.3.3 コンフォーマン스에に基づくマスタファイル照会の例

以下はサイト定義コンフォーマン스에に基づくマスタファイル照会の例である。この例では、使用者はロケーションマスタファイルの特定のロケーションに関する情報を照会する。実際の照会コンフォーマン스文において、「Znn」は「Z」に続く照会の2桁の数字に置き換えられる。

ロケーションマスタファイル照会のためのコンフォーマン스文の例

照会文 ID (照会 ID=Znn):	Znn
型:	Query
照会名称:	Znn Find Location
照会トリガー (= MSH-9):	QBP^Znn^QBP_Q11
照会モード:	Real time
応答トリガー (= MSH-9):	RSP^Znn^RSP_Q11

照会文 ID (照会 ID=Znn):	Znn
照会特性:	
目的:	Find the characteristics for the specified location.
応答特性:	
基本セグメント形式:	

QBP^Znn^QBP_Q11	照会文法：変数による照会	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
RCP	Response Control Parameters	R
[DSC]	Continuation Pointer	N

RSP^Znn^RSP_Q11	応答文法：セグメント形式の応答	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
MSA	Message Acknowledgement	R
[{ ERR }]	Error	C
QAK	Query Acknowledgement	R
QPD	Query Parameter Definition Segment	R
[	--- QUERY_RESULT_CLUSTER begin	R
MFE	Master File Entry	R
LOC	Patient Location Master	R
[{ LCH }]	Location Characteristic	C
[{ LRL }]	Location Relationship	C
{	--- MF_LOC_DEPT begin	C
LDP	Location Department	C
[{ LCH }]	Location Characteristic	C
[{ LCC }]	Location Charge Code	C
}	--- MF_LOC_DEPT end	
]	--- QUERY_RESULT_CLUSTER end	
[DSC]	Continuation Pointer	N

QPD 入力変数仕様

フィールド順 (照会 ID=Znn)	名称	キー／ 探索	ソート	長	型	オプション	繰り返し 返し	一貫性 オプション	表	セグメント フィールド名	サービス 識別コード	要素名
1	メッセージ照会名称			705	CWE	R				QPD-1		Message Query Name
2	照会タグ			32	ST	R				QPD-2		Query Tag
3	マスタファイル識別子			705	CWE	R				MFI-1		Master File Identifier
4	マスタファイルアプリケーション識別子			227	HD	O				MFI-2		Master File Application Identifier
5	主キー			1230	PL	R				MFE-4		Primary Key Value - MFE

QPD 入力変数フィールド説明と備考

入力変数 (Query ID=Znn)	成分名	データ型	説明
---------------------	-----	------	----

入力変数 (Query ID=Znn)	成分名	データ型	説明
メッセージ照会名称		CWE	成分 : <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
	識別子	ST	値は Znn である
	テキスト	ST	値は Find Location である
	コード体系名称	IS	値は HL70471 である
照会タグ		ST	値はこの照会メッセージ実体ための一意な識別子である
マスタファイル識別子		CWE	成分 : <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
	識別子	ST	値は LOC である
	コード体系名称	IS	値は HL70175 である
マスタファイルアプリケーション識別子		HD	成分 : <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>
主キー		PL	成分 : <point of care (IS)> ^ <room (IS)> ^ <bed (IS)> ^ <facility (HD)> ^ <location status (IS)> ^ <person location type (IS)> ^ <building (IS)> ^ <floor (IS)> ^ <location description (ST)>
			このフィールドはロケーションのための施設の識別コードからなる。少なくともこのフィールドの第1成分は必須である。第一成分は入院ロケーションのためのナースステーション、あるいは診療所、入院患者以外の患者ロケーションとしての部門や家庭の、識別コードでありえる。

RCP 応答管理変数フィールド説明と備考

フィールド順(照会 ID=Znn)	名称	成分名	長	データ型	説明
1	照会優先度		1	ID	値は I (即時) である
3	応答規則		705	CWE	値は R (リアルタイム) である

ロケーションマスタファイル照会の使用例

以下はロケーションマスタファイル照会の使用例である。以下の照会はナースステーション 2N、101 号室のロケーションマスタファイル情報を要求：

```
MSH|^~\&|BEDMGMT|HSP1|HIS|HSP1|200105311135||QBP^Znn^QBP_Q11|1|P|2.5
QPD|Znn^Find Location^HL70471|1022|LOC^Location Master^HL70175|HSP1|2N^101^^HSP1
RCP|I||R
```

以下は応答の例：

```
MSH|^~\&|HIS|HSP1|BEDMGMT|HSP1|200105311136||RSP^Znn^RSP_Q11|1|P|2.5|
MSA|AA|8699|
QAK|1022|OK|Znn^Find Location^HL70471|1|1|0
QPD|Znn^Find Location^HL70471|1022|LOC^Location Master^HL70175|HSP1|2N^101^^HSP1
MFE|MAD|||2N^101^^HSP1|PL
LOC|2N^101^^HSP1|Station 2 North, room 101|R|| (407)804-5000||IVP|P
LCH|2N^101^^HSP1||PRL^Privacy level^HL70324|S^Semi-private room^HL70262
LCH|2N^101^^HSP1||SMK^Smoking^HL70324|Y^^HL70136
```

QAK セグメントで識別された単一の一致が返された。そのロケーション定義と特性は LOC と LCH セグメントで返される。

上記の例に出現する LOC と LCH セグメントに関しては、HL7 原本を参照のこと。

10.4 マスタファイル通知メッセージ共通セグメント

10.4.1 MFI - Master file identification segment マスタファイル識別セグメント

HL7属性表 MFI - Master File Identification マスタファイル識別

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	250	CWE	R		00658	Master File Identifier マスタファイル識別
2	180	HD	O		00659	Master File Application Identifier マスタファイルアプリケーション識別
3	3	ID	R		00660	File-Level Event Code ファイルレベル事象コード
4	26	TS	O		00661	Entered Date/Time 入力日時
5	26	TS	O		00662	Effective Date/Time 有効日時
6	2	ID	R		00663	Response Level Code 応答レベルコード

MFI フィールド定義

MFI-1 Master file identifier マスタファイル識別 (CWE) 00658

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: HL7 マスタファイルを識別するものであり、取りうる値は HL7 表 0175 に示す。この表にはサイト特有の拡張が含まれる場合がある。

HL7表 0175 - Master file identifier code マスタファイル識別コード(日本仕様を含む)

Value	Description	Comment
CDM	課金明細マスタファイル	
CMA	フェーズとスケジュールされた治験マスタファイル	
CMB	フェーズを除くスケジュールされた治験マスタファイル	
LOC	ロケーションマスタファイル	
OMA	数値結果検査マスタファイル	
OMB	カテゴリー値結果検査マスタファイル	
OMC	検査群 (セット) マスタファイル	
OMD	計算値結果検査マスタファイル	
PRA	従事者マスタファイル	
STF	職員マスタファイル	
CLN	医院マスタファイル	
OME	他の基本的検査/サービス属性	
INV	在庫マスタファイル	

MFI-2 Master files application identifier マスタファイルアプリケーション識別 (HD) 00659

成分: <namespace ID (IS)> ^ <universal ID (ST)> ^ <universal ID type (ID)>

定義: マスタファイルが適用されるアプリケーションを一意に識別する。

MFI-3 File-level event code ファイルレベル事象コード (ID) 00660

定義: ファイルレベルの事象コード

HL7表 0178 - File level event code ファイルレベル事象コード

Value	Description
REP	置換 Replace current version of this master file with the version contained in this message
UPD	更新 Change file records as defined in the record-level event codes for each record that follows

Note: ファイルレベル事象コード MFI-3 - File-Level Event Code が "REP" (replace file) であるならば各 MFE セグメントのレコードレベル事象コード MFE-1 - Record-Level Event Code は "MAD" (add record to master file) である。

MFI-4 Entered date/time 入力日時 (TS) 00661

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: 原本側のファイルレベル事象日時

MFI-5 Effective date/time 有効日時 (TS) 00662

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：ファイルレベルの処理において、変更を有効とする日時、送り側ではこの日時には変更されていることを期待する。指定がない場合、メッセージを受け取った日時とする。

MFI-6 Response level code 応答レベルコード (ID) 00663

定義：アプリケーションレベルでの応答レベルを表 0179 の値で指定する。メッセージレベルでの応答レベルは MSH で指定する。（ファイル交換では NE 応答不要と設定する）

HL7表 0179 - Response level 応答レベル

Value	Description
NE	アプリケーションレベル応答不要
ER	エラー/リジェクトの場合のみアプリケーションレベル応答を返す。
AL	常時アプリケーションレベル応答を返す。
SU	更新成功のみアプリケーションレベル応答を返す。

10.4.2 MFE - master file entry segment マスタファイルエントリセグメント

HL7属性表 MFE - Master File Entry マスタファイルエントリ

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	3	ID	R		00664	Record-Level Event Code レコードレベル事象コード
2	20	ST	C		00665	MFN Control ID MFN制御ID
3	26	TS	O		00662	Effective Date/Time 有効日時
4	200	Varies	R	Y	00667	Primary Key Value – MFE 主キー値
5	3	ID	R	Y	01319	Primary Key Value Type 主キー値型

MFE フィールド定義

MFE-1 Record-level event code レコードレベル事象コード (ID) 00664

定義：レコードレベル事象を指定

HL7表 0180 - Record-level event code レコードレベル事象コード

Value	Description
MAD	追加 Add record to master file
MDL	削除 Delete record from master file
MUP	更新 Update record for master file
MDC	無効 Deactivate: discontinue using record in master file, but do not delete from database
MAC	復活 Reactivate deactivated record

Note: ファイルレベル事象コードMFI-3 - File-Level Event Codeが“REP”(replace file)であるならば各MFEセグメントのレコードレベル事象コードMFE-1 - Record-Level Event Codeは“MAD” (add record to master file)である。

MFE-2 MFN control ID MFN 制御 ID (ST) 00665

定義：原本側システムの視点で受側システムのレコード更新が一意に識別できる数字や識別子。MFIの応答レベルコードがNE以外のとき、この応答はMFAセグメントで行われる。

MFE-3 Effective date/time 有効日時 (TS) 00662

成分： <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：レコードレベルの処理において、変更を有効とする日時、送り側ではこの日時には変更されていることを期待する。指定がない場合、メッセージを受け取った日時とする。

MFE-4 Primary key value 主キー値 (Varies) 00667

定義：MFIセグメントで指定されるマスタファイルのレコードレベル事象コードで定義される変更のレコードを一意に識別する。ロケーションマスタファイル更新ではPLデータタイプ、それ以外はCWEデータタイプである。CWEデータタイプの場合第1成分のアプリケーションIDがプライマリキー生成のためのアプリケーションを一意に示す。アプリケーションIDは複数のアプリケーションにおいてプライマリキーの一意性を保証するために用いられる。

プライマリキーの反復によりレコードレベル事象コードの対象としての複合レコードの独立した成分の識別を可能としている。この仕様によりマスタファイルプロトコルが複合レコードの単一成分の修正に使用できるようになる。このフィールドが反復される場合、MFE-5 - Value type フィールドも反復 (同じ反復回数で) すべきであり、MFE-4 - Primary key value の各反復のデータ型はMFE-5 - Value type の適切な反復より特定される。

MFE-5 Primary key value type 主キー値型 (ID) 01319

定義：MFE-4 プライマリキー値のデータ型を表 0355 の値で指定する。

HL7表 0355 - Primary key value type 主キー値型

Value	Description
PL	Person location 人物ロケーション
CWE	Coded element 符号化要素

10.4.3 MFA - マスタファイル応答セグメント

MFA セグメントは HL7 属性表 - MFA - マスタファイル応答で定義される以下のフィールドからなる。

HL7属性表 MFA - Master File Acknowledgment マスタファイル応答

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	3	ID	R		00664	Record-Level Event Code レコードレベル事象コード
2	20	ST	C		00665	MFN Control ID MFN制御ID
3	26	TS	O		00668	Event Completion Date/Time 事象完了日時
4	250	CWE	R		00669	MFN Record Level Error Return MFNレコードレベルエラー戻値
5	250	Varies	R	Y	01308	Primary Key Value – MFA 主キー値
6	3	ID	R	Y	01320	Primary Key Value Type – MFA 主キー値型

MFA フィールド定義

MFA-1 Record-level event code レコードレベル事象コード (ID) 00664

定義：このフィールドは MFI セグメントによって識別されるマスタファイルレコードとそのセグメントの主キーのためのレコードレベル事象を定義する。取りうる値は表 0180 - レコードレベル事象コードを参照。

注：もし MFI-3 - File-level event code が“REP”(置換)であるならば各 MFA セグメントの MFA-1 - Record-level event code は“MAD”(マスタファイルにレコード追加)である。

MFA-2 MFN control ID MFN 制御 ID (ST) 00665

定義：このフィールドは原本側システムの視点でレコード更新が一意に識別できる番号や識別子からなる。このフィールドはこの MFA セグメントによって応答される特定のレコード (MFE セグメントで識別される) を一意に識別する。MFA セグメントを通して原本側システムに返されるときの、このフィールドは目標となるシステムのどのレコードが変更されたか通知されることにより正確に識別することを可能とする。それは MFI-6 - Response level code がレコードレベル (NE 以外の値) における応答を要求する場合のみ必要である。

MFA-3 Event Completion Date/Time 事象完了日時 (TS) 00668

成分：<Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：このフィールドの要否は与えられるマスタファイル、マスタファイルイベント、および受信側施設の仕様に依存する。

MFA-4 MFN Record Level Error Return MFN レコードレベルエラー戻値 (CWE) 00669

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：このフィールドは要求された更新の状況からなる。サイト定義表、このトランザクションを介して更新される個々のマスタファイルに特定される。取りうる値は使用者定義表 0181 - MFN レコードレベルエラー戻値を参照。

使用者定義表 0181 - MFN record-level error return レコードレベルエラー戻値

Value	Description
S	MFE セグメントで定義されたレコードの成功記録
U	MFE セグメントで定義されたレコードの非成功記録

MFA-5 Primary Key Value - MFA 主キー値 (Varies) 01308

定義：MFN-4 - Record level error return フィールドで定義される応答すべき変更状況の MFI セグメントで識別されるマスタファイルレコードを一意に識別する。フィールドのデータ型は MFA-6 - Value type - MFA の値で定義され、取りうる値は表 0355 - プライマリキー値型において定義される。プライマリキーの反復によりレコードレベル事象コードの対象としての複合レコードの独立した成分の識別を可能としている。この仕様によりマスタファイルプロトコルが複合レコードの単一成分の修正に使用できるようになる。このフィールドが反復される場合、MFA-6 - Primary key value type - MFA フィールドも反復 (同じ反復回数で) すべきであり、MFA-5 - Primary key value - MFA の各反復のデータ型は MFA-6 - Value type - MFA の適切な反復より特定される。

MFA-6 Primary Key Value Type – MFA 主キー値型 (ID) 01320

定義：MFA-5 - Primary key value - MFA のデータ型を表 0355 の値で指定する。

10.5一般マスタファイル

標準 HL7 表やコードと名称といった単階層のコード表の更新に用いる。

10.5.1 MFN 一般マスタファイル通知メッセージ

MFN/MFK - マスタファイル通知 - 一般 (事象 M13)

サイト定義「Z」セグメントでない場合。このメッセージ型は要求されたマスタファイル情報すべてを扱うために標準の HL7 セグメントが適用できるときに使用する（テキスト値であるひとつのキーのみからなる単純なマスタファイルの場合）。

一般マスタファイル通知は次のように定義される。（事象 M13）

MFN^M13^MFN_M13	マスタファイル通知—一般	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
MFI	Master File Identification	R
{ MFE }	Master File Entry	R

MFK^M13^MFK_M01	マスタファイルアプリケーション応答	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
MSA	Acknowledgment	R
[{ ERR }]	Error	C
MFI	Master File Identification	R
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C

MFN/MFK - マスタファイル通知 - サイト定義 (事象 M14)

サイト定義「Z」使用の場合。このメッセージ型は要求されたマスタファイル情報すべてを扱うために標準の HL7 セグメントが適用できないときに使用する。このメッセージ型は標準の HL7 セグメントが適用できるが、処理型が現状 HL7 で定義されていない場合にも使用される。

サイト定義マスタファイル通知は次のように定義される。（事象 M14）

MFN^M14^MFN_ZGN	マスタファイル通知—サイト定義	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
MFI	Master File Identification	R
{	--- MF_SITE_DEFINED begin	R
MFE	Master File Entry	R
[ZGN]	MFE セグメントで識別された HL7 あるいは ZGN セグメント	C
}	--- MF_SITE_DEFINED end	

MFK^M14^MFK_M01	マスタファイルアプリケーション応答	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
MSA	Acknowledgment	R
[{ ERR }]	Error	C
MFI	Master File Identification	R
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C

10.5.2 対象とするコード表

HL7 表のほか以下のコード表を対象とする。

コード表一覧

対象	コード制定組織	組織コード	マスタファイル識別コード
HL7 表	HL7	HL7	nnnn HL7 表番号
MEDIS-DC 暫定版の結果コメントコード表	MEDIS-DC	MEDIS	RCM
分析物 Analyte	日本臨床検査医学会	JC10 (第 10 改訂)	ANA
識別 Discrimination	日本臨床検査医学会	JC10 (第 10 改訂)	DISC
材料 Specimen	日本臨床検査医学会	JC10 (第 10 改訂)	SP
検査方法 Method	日本臨床検査医学会	JC10 (第 10 改訂)	MET
結果識別 (共通) Test result type (common)	日本臨床検査医学会	JC10 (第 10 改訂)	RTC
結果識別 (固有) Test result type (dependent)	日本臨床検査医学会	JC10 (第 10 改訂)	RTD
採取方法	(未定)	(未定)	(未定)

10.5.3 ZGN 一般マスタファイルセグメント (事象 M14)

HL7属性表 ZGN 一般マスタファイル

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	250	CWE	R			Table entry for table xxxx xxxx表エントリー
2	5	NM	O			Display-sort-key 表示ソートキー

ZGN フィールド定義

ZGN-1 Table entry for table xxxx 表エントリー (CWE)

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 更新すべきマスタファイル表の値(行要素)を識別子とテキストを CWE データタイプで記述する。MFE-4 で指示されたレコードへのデータ。

ZGN-2 Display-sort-key 表示ソートキー (NM)

定義: HL7 表の表示や印刷の際、コード順でない場合の表示順を指示する。

10.5.4 一般マスタファイル更新の MFN メッセージ例

メッセージ例 MFN メッセージオリジナル応答モード

この例では、メッセージはサイト定義「Z」セグメントを含む。以下のメッセージが応答システムへ送信される:

```
MSH|^~\&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290544||MFN^M14^MFN_ZGN|MSGID001|P|2.5
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD|||AL
MFE|MAD|6772331|200106290500|BUD^Buddhist^HL70006|CWE
ZGN|BUD^Buddhist^HL70006|3
MFE|MAD|6772332|200106290500|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE
ZGN|BOT^Buddhist: Other^HL70006|4
```

応答側はメッセージを受信しそしてメッセージについて必要な検証を行う。この例では、受信したメッセージは処理可能と判断し、MFN^M14 メッセージを開始側システムへ送信する:

```
MSH|^~\&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290545||MFK^M14^MFK_M01|MSGID99001|P|2.5
MSA|AA|MSGID001
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD|||AL
MFA|MAD|6772331|200106290545|S|BUD^Buddhist^HL70006|CWE
MFA|MAD|6772332|200106290545|S|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE
```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信され成功裏に処理されたことを示す「AA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「AE」または「AR」であることもある。MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへの応答と連携する開始側 MFN^M14 メッセージ(MSGID001)の MSH-10 - Message Control ID からの値を含む。

日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード材料コード表の更新例(応答不要例、ファイル交換向き)、この例では既存の材料コード表を更新する(「蓄尿」を「24 時間蓄尿」と変更)。

```
MSH|^~\&|JSCPREG|JSCP|LAB|OAL|20000313143000||MFN^M14^MFN_ZGN|MSGID1|P|2.5|||NE|NE
MFI|SP^材料コード^JC10||UPD|||NE
MFE|MUP||200003150000|004^蓄尿&pooled urine^JC10|CWE
ZGN|004^24 時間蓄尿&24h pooled urine^JC10
```

メッセージ例 MFN メッセージ拡張モードアプリケーションレベル応答

この例では、メッセージはサイト定義「Z」セグメントを含まない。以下のメッセージが応答側システムへ送信される:

```
MSH|^~\&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290544||MFN^M13^MFN_M01|MSGID004|P|2.5|||AL|AL
```

```

MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD||AL
MFE|MAD|6772333|200106290500|BUD^Buddhist^HL70006|CWE
MFE|MAD|6772334|200106290500|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE

```

応答側はメッセージを受信しそしてメッセージについて必要な検証を行う。この例では、受信したメッセージは処理可能と判断する。開始側メッセージの MSH-15 - Accept Acknowledgment は受信応答が必要（「AL」）と識別しているので、以下の ACK メッセージが応答側によって組み立てられ MFN^M13 メッセージの応答と識別して開始側システムへ送信する：

```

MSH|^~&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290545||ACK^M13^ACK|MSGID99004|P|2.5
MSA|CA|MSGID004

```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信されそして安全に保管することを約束した識別である「CA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「CE」または「CR」であることもある。MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへの応答と連携する開始側 MFN^M13 メッセージ(MSGID004)の MSH-10 - Message Control ID からの値を含む。

開始側システムはこの例ではアプリケーションレベル応答（「AL」）を要求していることを MSH-16 - Application Acknowledgment Type によって識別している。応答側は、開始側システムに上記 ACK メッセージの送信することに基づきある時点で、MFN^M13 メッセージの処理を行うであろう。メッセージ処理が完了すれば、アプリケーション応答はメッセージが処理された識別で応答側から開始側システムへ送信される。応答側は MFK^M13 応答メッセージを組み立て、そしてそれを開始側システムへ送信する：

```

MSH|^~&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290550||MFK^M13^MFK_M01|MSGID99501|P|2.5||AL|
MSA|AA|MSGID004
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD||AL
MFA|MAD|6772333|200106290550|S|BUD^Buddhist^HL70006|CWE
MFA|MAD|6772334|200106290550|S|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE

```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信され成功裏に処理されたことを示す「AA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「AE」または「AR」であることもある。この値は後続のすべての MFA セグメントに適用する。MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへのアプリケーション応答と連携する開始側 MFN^M13 メッセージ(MSGID004)の MSH-10 - Message Control ID からの値を含む。

開始側システムは応答側からのアプリケーション応答メッセージを受信し、そしてその応答である ACK メッセージを形成する。以下のメッセージが応答側システムへ送信される：

```

MSH|^~&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290551||ACK^M13^ACK|MSGID445|P|2.5
MSA|CA|MSGID99501

```

MSA-2 - Message Control ID は、開始側からの MFN^M13 でなく、ちょうど受信した MFK^M13 メッセージ(MSGID99501)の MSH-10 - Message Control ID からの値を含んでいることに注意。

日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード材料コード表の更新例（応答不要例、ファイル交換向き）、この例では既存の材料コード表を更新する（「蓄尿」を「24 時間蓄尿」と変更）。

```

MSH|^~&|JSCPREG|JSCP|LAB|OAL|20000313143000||MFN^M13^MFN_M01|MSG01|P|2.5||NE|NE
MFI|SP^材料コード^JC10||UPD||NE
MFE|MUP||200003150000|004^24 時間蓄尿&24h pooled urine^JC10|CWE

```

10.6検査項目マスタファイル

10.6.1 検査項目マスタファイル全般

臨床や診断サービスの実施やクライアントへの送付ための臨床検査項目に関する情報フォーマットを定める。このフォーマットはすべての検査項目あるいは一部の限られた検査項目の手法や技術や解釈の変更などを送ることができる。

OM1 検査項目共通事項 contains the attributes that apply to all observations

OM2 数値結果検査項目用 applies to numerically-valued observations

OM3 判定値結果検査項目用 applies to text or code-valued observations

OM4 検体を必要とする検査項目用 applies to observations or batteries that require specimens

OM5 セット検査用 contains the attributes of batteries, or sets of observations or other batteries

OM6 計算値結果検査項目用 contains the quantities (observations in a most general sense) that are calculated from one or more other observations

OM7 付加的基本的属性に関する事項 contains additional basic attributes that apply to the definition of most observations/services

すなわち、数値結果の検体検査項目の全定義は OM1, OM2, OM4 を必要とする。

OMx セグメントの各インスタンスはひとつの検査項目やバッテリーの情報を含んでいる。これらの OMx セグメントは包括的にいかなる種類の検査属性をも適用できるようデザインされている。全てのセグメントやフィールドを使用する必要はなく、検査実施者やクライアントの要件により使用するフィールドの組み合わせを選択する。

これらセグメントの TX データ型フィールドの多くは診断サービスのユーザーマニュアルなどに反映すべきデータの解釈などの情報であり、コンピュータ処理のためのものではない。

処置の多くは検査結果と見なし、これらのセグメントで検査結果として表現することに留意すること。いくつかの例をあげる。血液ガスの場合、オーダ側は酸素治療の吸入量を OBX セグメントでオーダとともに通知する。血中薬物濃度を求める場合、薬剤の最終投与の量と時刻を OBX セグメントで通知する。薬剤システムは通常外来患者の調剤ごとに平均一日投与量を診療記録システムへ送る。これらのケースでは、処置量は受信側システムにとっては検査結果であり OBX セグメントで送信される。受信時それらは他の検査結果同様に扱われる。それから診療記録システムは検査結果のフローチャートや関連の処置を加味した検査結果を生成する。

10.6.2 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査／観察 (事象 M03)

マスタファイル通知 MFN メッセージとマスタファイル照会 MFR メッセージにおける OMx セグメントは、10.4.1「MFN/MFK - マスタファイル通知」と10.4.4「MFQ/MFR - マスタファイル照会」の記述の MFI および MFE セグメントに続く [...] 部分に相当する。以下のメッセージ構成図の [other segment(s) 他のセグメント] は OM1 セグメントに関連する OMx セグメントである。

注: MFN^M03 は旧版互換性のためのみに残す。新規導入に適用する場合 (MFN^M08, MFN^M09, MFN^M10, MFN^M11, および MFN^M12) のような特定のマスタファイルメッセージを使用することを推奨する。

MFN^M03^MFN_M03	マスタファイル通知 - 検査／観察	Comment (JPN)
MSH	Message Header	R
[{ SFT }]	Software	N
MFI	Master File Identification	R
{	--- MF_TEST begin	R

<u>MFN^M03^MFN_M03</u>	<u>マスタファイル通知 - 検査/観察</u>	<u>Comment (JPN)</u>
MFE	Master File Entry	R
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R
[...]	[other segment(s)]	0
}	--- MF_TEST end	

<u>MFK^M03^MFK_M01</u>	<u>マスタファイルアプリケーション応答</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.6.3 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査/観察 (数値) (事象 M08)

MFI-1 - マスタファイル識別コード = OMA、数値型検査項目用

検査結果値が数値および/またはカテゴリ値両者である場合、OM2 (数値)およびOM3 (カテゴリ値)セグメントの両方をこのメッセージで扱う場合もある。

<u>MFN^M08^MFN_M08</u>	<u>マスタファイル通知 - 検査/観察 (数値)</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_TEST_NUMERIC begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R	8
[OM2]	Numeric Observation Segment	C	8
[OM3]	Categorical Service/Test/Observation Segment	0	8
[{ OM4 }]	Observations that Require Specimens	0	8
}	--- MF_TEST_NUMERIC end		

<u>MFK^M08^MFK_M01</u>	<u>マスタファイルアプリケーション応答</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7 Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.6.4 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査／観察（カテゴリ値）（事象 M09）

MF1-1 - マスタファイル識別コード = OMB、カテゴリ値型検査項目用

<u>MFN^M09^MFN_M09</u>	<u>マスタファイル通知 - 検査／観察（カテゴリ値）</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_TEST_CATEGORICAL begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R	8
[	--- MF_TEST_CAT_DETAIL begin	C	
OM3	Categorical Service/Test/Observation Segment	C	8
[{ OM4 }]	Observations that Require Specimens	O	8
]	--- MF_TEST_CAT_DETAIL end		
}	--- MF_TEST_CATEGORICAL end		

<u>MFK^M09^MFK_M01</u>	<u>マスタファイルアプリケーション応答</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.6.5 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 検査／観察バッテリー（事象 M10）

MF1-1 - マスタファイル識別コード = OMC、セット検査項目用

<u>MFN^M10^MFN_M10</u>	<u>マスタファイル通知 - 検査／観察バッテリー</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_TEST_BATTERIES begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R	8
[	--- MF_TEST_BATT_DETAIL begin	C	
OM5	Observation Batteries	C	8
[{ OM4 }]	Observations that Require Specimens	O	8
]	--- MF_TEST_BATT_DETAIL end		
}	--- MF_TEST_BATTERIES end		

<u>MFK^M10^MFK_M01</u>	<u>マスタファイルアプリケーション応答</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
------------------------	--------------------------	----------------------	------------------------------

<u>MFK^M10^MFK_M01</u>	<u>マスタファイルアプリケーション応答</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.6.6 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 計算型検査／観察 (事象 M11)

MFI-1 - マスタファイル識別コード = OMD、計算値型検査項目用

<u>MFN^M11^MFN_M11</u>	<u>マスタファイル通知 - 計算型検査／観察</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_TEST_CALCULATED begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most Observations)	R	8
[	--- MF_TEST_CALC_DETAIL begin	C	
OM6	Observations Calculated from Other Observations	C	8
OM2	Numeric Observation Segment	C	8
]	--- MF_TEST_CALC_DETAIL end		
}	--- MF_TEST_CALCULATED end		

<u>MFK^M11^MFK_M01</u>	<u>マスタファイルアプリケーション応答</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.6.7 MFN/MFK - マスタファイル通知 - 付加的基本的観察／サービス属性 (事象 M12)

MFI-1 - マスタファイル識別コード = OME、付加的の基本検査／サービス属性用

<u>MFN^M12^MFN_M12</u>	<u>マスタファイル通知 - 付加的基本的観察／サービス属性</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MFI	Master File Identification	R	8
{	--- MF_OBS_ATTRIBUTES begin	R	
MFE	Master File Entry	R	8
OM1	General Segment (Fields That Apply to Most	R	8

<u>MFN^M12^MFN_M12</u>	<u>マスタファイル通知 - 付加的的基本的観察/サービス属性</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
[OM7] }	Observations) Other Basic Observation/Service Attributes --- MF_OBS_ATTRIBUTES end	C	8

<u>MFK^M12^MFK_M01</u>	<u>マスタファイルアプリケーション応答</u>	<u>Comment (JPN)</u>	<u>HL7</u> <u>Chapter</u>
MSH	Message Header	R	2
[{ SFT }]	Software	N	2
MSA	Acknowledgment	R	2
[{ ERR }]	Error	C	2
MFI	Master File Identification	R	8
[{ MFA }]	Master File ACK segment	C	8

10.6.8 OM1 - general segment 検査項目一般セグメント

OM1 セグメントはほとんどの検査項目定義に関する属性からなる。またこのセグメントはこの検査項目定義のための追加セグメントがあるかを明示するフィールド属性も含んでいる。

HL7属性表 - OM1 - General Segment 一般セグメント

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	R		00586	Sequence Number 連番
2	250	CWE	R		00587	Producer's Test/Observation ID 実施者検査項目ID
3	12	ID	O	Y	00588	Permitted Data Types 許容データ型
4	1	ID	R		00589	Specimen Required 検体要否
5	250	CWE	R		00590	Producer ID 実施者ID
6	200	TX	O		00591	Observation Description 検査詳細
7	250	CWE	O		00592	Other Test/Observation IDs for the Observation 他の検査項目ID
8	200	ST	R	Y	00593	Other Names 別名
9	30	ST	O		00594	Preferred Report Name for the Observation 報告名称
10	8	ST	O		00595	Preferred Short Name or Mnemonic for Observation 略称
11	200	ST	O		00596	Preferred Long Name for the Observation 正式名称
12	1	ID	O		00597	Orderability オーダ可否
13	250	CWE	O	Y	00598	Identity of Instrument Used to Perform this Study 検査機器ID
14	250	CWE	O	Y	00599	Coded Representation of Method 検査法コード
15	1	ID	O		00600	Portable 可搬性
16	250	CWE	O	Y	00601	Observation Producing Department/Section 検査部門
17	250	XTN	O		00602	Telephone Number of Section 部門の電話番号
18	1	IS	R		00603	Nature of Test/Observation 検査特性
19	250	CWE	O		00604	Report Subheader 報告サブヘッダ
20	20	ST	O		00605	Report Display Order 報告表示順
21	26	TS	O		00606	Date/time stamp for any change in Def. for Obs. 検査項目変更日時
22	26	TS	O		00607	Effective Date/Time of Change 変更適用日時
23	20	NM	O		00608	Typical Turn-Around Time 典型的所要時間
24	20	NM	O		00609	Processing Time 処理時間
25	40	ID	O	Y	00610	Processing Priority 処理優先度
26	5	ID	O		00611	Reporting Priority 報告優先度
27	250	CWE	O	Y	00612	Outside Site(s) Where Observation may be Performed 外部検査施設
28	250	XAD	O		00613	Address of Outside Site(s) 外部施設住所
29	250	XTN	O		00614	Phone Number of Outside Site 外部施設電話番号
30	250	CWE	O		00615	Confidentiality Code 秘匿コード
31	250	CWE	O		00616	Observations Required to Interpret the Obs 必要な所見
32	65536	TX	O		00617	Interpretation of Observations 判断情報
33	250	CWE	O	Y	00618	Contraindications to Observations 禁忌
34	250	CWE	O	Y	00619	Reflex Tests/Observations 追加する検査
35	80	TX	O		00620	Rules that Trigger Reflex Testing 追加検査起動規則
36	250	CWE	O		00621	Fixed Canned Message 定型文
37	200	TX	O		00622	Patient Preparation 患者の準備
38	250	CWE	O		00623	Procedure Medication 薬剤処置
39	200	TX	O		00624	Factors that may Effect the Observation 検査に影響する要因
40	60	ST	O	Y	00625	Test/Observation Performance Schedule検査実施スケジュール
41	65536	TX	O		00626	Description of Test Methods 検査方法解説
42	250	CWE	O		00937	Kind of Quantity Observed 検査値の種類
43	250	CWE	O		00938	Point Versus Interval 測定間隔
44	200	TX	O		00939	Challenge Information 負荷試験情報
45	250	CWE	O		00940	Relationship Modifier 関係修飾子
46	250	CWE	O		00941	Target Anatomic Site Of Test 検査対象解剖学的部位
47	250	CWE	O		00942	Modality Of Imaging Measurement 画像検査モダリティ

OM1 フィールド定義

OM1-1 Sequence number 連番-検査項目マスタファイル (NM) 00586

定義：メッセージの最初の OM1 セグメントは 1 と表記、2 番目は 2 というように表記する。

OM1-2 Producer's test/observation ID 実施者検査項目 ID (CWE) 00587

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>
 定義: 検査実施者側の検査項目コード。3つの要素 <ID code> ^ <service text name / description> ^ <source list of code> は必須である。日本臨床病理学会臨床検査項目分類コード体系に則りコーディングされた検査項目コードを使用(結果識別も含む)。

OM1-3 Permitted data types 許容データ型 (ID) 00588

定義: この検査の結果データ型。これらのコード型は OBX (検査の状況により異なるデータ型を取る場合がある) のためにリストアップされたのと同じである。実際、限られた環境において検査は1つ以上の異なるデータ型の分画よりなることもある。複数のデータ型を持つ場合、例えば、コード値 (CWE) や数値(NM) など許容されるデータ型を反復区切り文字で繰り返す。取りうる値は HL7 表 0125 - 結果値タイプを参照。

OM1-4 Specimen required 検体要否 (ID) 00589

定義: 検査のために検体が必要か否かのフラグ。通常検体が必要な場合は検体毎に OM4 セグメントを伴う。

Y 1つ以上の検体が必要 one or more specimens are required to obtain this observation

N 検体は不要 a specimen is not required

OM1-5 Producer ID 実施者 ID (CWE) 00590

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このセグメントを記述する検査の実施者を一意に識別する実施者 ID。CWE 型で 323-5678^Acme Special Lab^MC のようにコーディングする。米国では通常メディケア提供者番号(MC) や HIBCC 場所コードが使用される。それぞれの国で適切なコード体系を設定することを望むかも知れない。処置の量や呼吸装置など機器のセッティングなども検査と見なすことに留意。このような場合、薬局や呼吸器看護部門を検査の実施者のように扱う。

OM1-6 Observation description 検査詳細 (TX) 00591

定義: 検査の説明。

OM1-7 Other test/observation IDs for the observation 他の検査項目 ID (CWE) 00592

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: この検査の代替識別コード、複数ある場合は CWE データ型を反復区切り文字で繰り返す。用語マッピングができるほどのコード(e.g., ICD9, ACR-NEMA, SNOMED, and READ)をあげることを推奨する。また、処置の量なども検査として扱うので処置の識別コード(e.g., NDC, ICCS)も対象である。各々の CWE 型の要素の3つ (ID, テキスト、コード体系) は省略不可。

OM1-8 Other names (recognized by the producer for the observation) 別名 (ST) 00593

定義: この検査のコード体系と関係なく用いられる別名や同義語。

OM1-9 Preferred report name for the observation 報告名称 (ST) 00594

定義: 検査報告書に使用する適切な名称を空白を含む 30 文字以内で表現。桁数の固定された報告書で用いる。

OM1-10 Preferred short name or mnemonic for the observation 略称 (ST) 00595

定義: 検体ラベルなどのようにスペースが限られた報告書に人が読める利便性のために検査を特定する名称を 8 文字以内で表現。

OM1-11 Preferred long name for the observation 正式名称 (ST) 00596

定義: 検査の正式な名称、可能な限り科学的であり、省略されない単語で 200 文字以内で表現。

OM1-12 Orderability オーダ可否 (ID) 00597

定義: オーダ可能な検査であるか否かのフラグ。例えば、血球分類算定で MCV(平均赤血球容積)は血算に含まれてオーダされ通常単独ではオーダされない。

Y オーダ可 the test/observation is an orderable code

N オーダ不適 the test/observation is not orderable

OM1-13 Identity of Instrument used to perform this study 検査機器 ID (CWE) 00598

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検査に使用する装置や機器の識別に使用。例えば、自動分析器、放射線画像装置とモデル番号、病棟の自動血圧装置など。

OM1-14 Coded representation of method 検査法コード (CWE) 00599

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検査方法をコンピュータで判別できる形(コード)で表現。以降のフィールドでの叙述記録と同じ方法とすべきである。臨床的に1つの方法では判別できない場合に限り複数の方法を反復区切文字により列記できる。

OM1-15 Portable 可搬性 (ID) 00600

定義: 検査に用いる機器が携帯可能か否かのフラグ。

Y 携帯機器により患者の所在場所で検査可能

N 患者あるいは検体を機器のあるところに搬送

OM1-16 Observation producing department/section 検査部門 (CWE) 00601

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検査実施部門を識別するために使用。識別子を使用しない場合フリーテキストで第2要素に記録する。複数の部門がある場合反復区切文字によって分割する。

OM1-17 Telephone number of section 部門の電話番号 (XTN) 00602

成分: <DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義: 結果の問い合わせや示唆を求める場合の対応可能な部門の電話番号。

OM1-18 Nature of test/observation 検査特性 (IS) 00603

定義: 検査の性格の定義。バッテリーなのか、総合的な処置や機能試験なのか、単一検査なのか、依頼可能なバッテリーや機能試験が複数の検査からなるのか、他の独立した検査から計算される単一検査なのか、など。取りうる値は表 0174- 検査特性を参照。

使用者定義表 0174 - Nature of test/observation検査特性

Value	Description
P	プロフィールやバッテリーは通常一装置で一検体で実施されるいくつかの独立した単一検査項目より成り立つ。(例えば、電解質)
F	いくつかの関連付けられた測定(例えば、糖負荷試験、クレアチンクリアランス)からなる機能試験、通常異なる時間や検体で実施される。
A	単一検査項目 Atomic service/test/observation (test code or treatment code)
S	スーパーセット — 構成要素が単一検査項目のみならず別々のバッテリーの場合。(例えば、ルーチン = 血球算定、尿酸、電解質) このセットは多数の検査やバッテリーを依頼するために記述されているコードが使われることを示す。例えば、外来患者プロフィールとしてルーチンで血球算定、血液像、サイロキシンをこれら3つのバッテリーをそれぞれの依頼コードの替りに1つの特定のコードで依頼する。
C	一定の規則や形式で他の独立した検査から計算して得られる検査項目。(e.g., A/G 比)

コードP、FおよびSはセット(バッテリー)を示し、その要素は随伴するOM5セグメントで定義される。その構成要素の定義はそれぞれに他の独立したOMxセグメントで送られなければならない。ASTMでは、例えば、退院サマリなどの、多くのテキスト報告はセットと見なされ、報告書の各部は、個別の検査と考えられる。

コードAは単一の直接の検査を示し、通常OM2やOM3セグメントを伴う。

コードCは演算された量であることを示し、通常OM6セグメントを伴う。

これらすべてのコードは1つ以上のOM4(検体)セグメントを伴うことができる。

OM1-19 Report subheader 報告サブヘッダ (CWE) 00604

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 標準的に検査が列記される場合の適切な見出しとなるオプションの文字列で、代表名や総称などがある。例えば、検査が赤血球数の場合、この文字列は「全血球算定」である。それはCWEデータ型で表記され、バッテリー名称が見出しとなる。このサブヘッダに関連するコードがない場合、文字列の表記のみの場合がある。一連の検査が次のソート順によって表示される場合、これらの検査グループのサブヘッダは、サブヘッダが変わるごとに表示する。

OM1-20 Report display order 報告表示順 (ST) 00605

定義: 標準的に検査が列記される場合のソート順序を定義するオプションの文字列。

OM1-21 Date/time stamp for any change in definition for the observation 検査項目変更日時 (TS) 00606

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: OM1 セグメントに対応するホストのレコードで最新の変更があった日時。

OM1-22 Effective date/time of change in test procedure that make results non-comparable 変更適用日時 (TS) 00607

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: 以前の結果と新しい結果との互換性がなくなる検査方法の最新の変更日時。例えば、数値検査項目の基準値や単位が変更になった最新の日時

我々は、測定方法が変更され、新法での結果が旧法での結果と臨床的に異なる場合、検査実施者は同じ検査IDを使用しないよう強く推奨する。むしろ実施者は旧法との結果が臨床的に変わらないように新法の調整に努力すべきである。それができない場合、新法での検査のため新しい検査項目IDを作るべきである。

まれに、手順が変更されたが上記の2つのオプションいずれも不可能な場合、新法の有効となる日時を送信するのに使用する。受信システムは、この検査IDで送られるいかなる値もこの日時以降新法によるものとし、新旧の検査を識別する適切な手段を取ること。

この日時は、検査結果について疑問を持つ場合、検査実施サービスに問い合わせる手段を提供する目的もある。

OM1-23 Typical turn-around time from receipt of specimen/subject to result produced 典型的所要時間 (NM) 00608

定義: 1つの検査実施の典型的な所要時間。診断サービスへの検体集配や患者搬送と待ち時間を含む試験の完了までの時間を分で表す。

OM1-24 Processing time 処理時間 (NM) 00609

定義: 検査手順の開始から完了までの通常の時間を分で表す。

OM1-25 Processing priority (ID) 処理優先度 00610

定義: 検査を実行するための利用可能な1つ以上の優先度。これはTQ1-9 - Priority (旧版OBR-28—数量/タイミング)で使用される。多重優先度が与えられることがあり、反復区切文字で分離される。例えば、S~A~R~P~Tは、検査が優先度S、A、R、PまたはTを使用して依頼されることを示す。検体を得るための優先権はOM4-13-Specimen Prioritiesに含まれる。取りうる値は、HL7表0168—処理優先度を参照。

HL7表 0168 - Processing priority 処理優先度

Value	Description
S	Stat (do immediately) すぐ実施
A	As soon as possible (a priority lower than stat) できるだけ早く (Statより低い優先度)
R	Routine 定期
P	Preoperative (to be done prior to surgery) 術前 (手術に先立って実施)
T	Timing critical (do as near as possible to requested time) 時間指定
C	Measure continuously (e.g., arterial line blood pressure) 連続測定 (例えば動脈血圧)
B	Do at bedside or portable (may be used with other codes) ベッドサイド又は可搬機器で実施 (おそらく他のコードと用いる)

OM1-26 Reporting priority 報告優先度 (ID) 00611

定義：ユーザが処理優先度と別に報告優先度を指定するよう依頼される場合、検査結果の利用可能な報告優先度。取りうる値はHL7表 0169—報告優先度を参照。

HL7表 0169 - Reporting priority 報告優先度

Value	Description
C	Call back results 電話連絡
R	Rush reporting 至急報告

OM1-27 Outside site(s) where observation may be performed 外部検査施設 (CWE) 00612

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：検査を実施する外部委託先の識別。この CWE 型フィールドは、実施者 ID(OM1-5-実施者 ID で定義)と成分区切文字で分離されたサービスの名称である。例えば、...|39221^ACME lab^MC|...である。複数のサービスが使用される場合反復区切文字により繰り返す。

OM1-28 Address of outside site(s) 外部施設住所 (XAD) 00613

成分：<Street Address (SAD)> ^ <Other Designation (ST)> ^ <City (ST)> ^ <State or Province (ST)> ^ <Zip or Postal Code (ST)> ^ <Country (ID)> ^ <Address Type (ID)> ^ <Other Geographic Designation (ST)> ^ <County/Parish Code (IS)> ^ <Census Tract (IS)> ^ <Address Representation Code (ID)> ^ <DEPRECATED-Address Validity Range (DR)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)>

副成分 Street Address (SAD): <Street or Mailing Address (ST)> & <Street Name (ST)> & <Dwelling Number (ST)>

副成分 DEPRECATED-Address Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分は副副成分を含むことに注意

副成分 Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義：OM1-27 外部施設の住所。複数のサービスが使用される場合出現順に対応して反復区切文字により繰り返す。

OM1-29 Phone number of outside site 外部施設電話番号 (XTN) 00614

成分：<DEPRECATED-Telephone Number (ST)> ^ <Telecommunication Use Code (ID)> ^ <Telecommunication Equipment Type (ID)> ^ <Email Address (ST)> ^ <Country Code (NM)> ^ <Area/City Code (NM)> ^ <Local Number (NM)> ^ <Extension (NM)> ^ <Any Text (ST)> ^ <Extension Prefix (ST)> ^ <Speed Dial Code (ST)> ^ <Unformatted Telephone number (ST)>

定義：外部施設の電話番号。

OM1-30 Confidentiality code 秘匿コード (CWE) 00615

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：この検査に適用される特別な機密保持の度合い。例えば、HIV 検査では血球算定よりもきつい管理がなされるかもしれない。取りうる値は表 0177 秘匿コードを参照。

使用者定義表 0177 - Confidentiality code 秘匿コード

Value	Description
V	Very restricted 非常に限定
R	Restricted 限定
U	Usual control 通常管理
EMP	Employee 従業員
UWM	Unwed mother 未婚の母
VIP	Very important person or celebrity 重要人物や名士
PSY	Psychiatric patient 精神医学患者
AID	AIDS patient AIDS 患者
HIV	HIV(+) patient HIV(+)患者
ETH	Alcohol/drug treatment patient アルコール/薬物中毒治療患者

OM1-31 Observations required to interpret this observation 必要な所見 (CWE) 00616

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 診断サービスが依頼された検査の結果を判断するために必要な所見のリスト。ここに指定された所見は、オーダ(OBR)セグメントとともに OBX セグメントで診断サービスに送られるべきである。子宮頸部パピニコロースミア試験 (細胞診の一種) の例:

...|2000.32^date last menstrual period^AS4 ~ 2000.33^menstrual state^AS4|...

動脈血液ガスの例:

...|94700^inspired O2^AS4|...

OM1-32 Interpretation of observations 判断情報 (TX) 00617

定義: 検査結果の判断するための臨床情報。例えば、虚偽の異常値を起こす条件(薬)や診断のための検査の感度と特異性についての情報である。

OM1-33 Contraindications to observations 禁忌 (CWE) 00618

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検査が禁忌または危険である診断やプロブレム。(例えば、ペースメーカー、妊娠、糖尿病)。例えば、もし OM1 の検査項目が経静脈性腎盂造影法ならば、このフィールドには糖尿病における造影剤の使用についての注意が含まれるであろう。禁忌は反復区切文字によって繰り返す。

OM1-34 Reflex tests/observations 追加する検査 (CWE) 00619

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 依頼されたバッテリーの結果から診断サービスが自動的にオーダを発生させるであろう検査名を CWE 型(つまり<コード> ^ <テキスト名> ^ <コード体系名>)で記述。もしヘモグロビンが 12 未満であるなら、血球算定は網状赤血球算定をオーダするかもしれない。複数の反映される検査は反復区切文字によって繰り返す。

OM1-35 Rules that trigger reflex testing 追加検査起動規則 (TX) 00620

定義: 上記の反映検査を起動する規則。複数の反映検査が反復区切文字で分離された OM1-34-反映検査中で列記される場合、対応する規則セットがこの節に含まれる。第 1 の規則は第 1 の検査に、第 2 の規則は第 2 の検査に適用され、以下同様である。

OM1-36 Fixed canned message 定型文 (CWE) 00621

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 略語に常に関係している符号、および固定テキストメッセージ。反復区切文字で分離された複数のメッセージを含む場合がある。

OM1-37 Patient preparation 患者の準備 (TX) 00622

定義: 検査に要求される特別の準備、食事、薬物投与などの記載。胃腸の造影剤検査の場合、検査前食、例えば、胃の残留物が少ないような 2 日分の食事、検査前の絶食および適切な下剤となる。個々の薬物投与、食事また準備は反復区切文字によって区切られる。

例: S 字結腸切除:

...| 術前日は終日流動食とする~8oz のクエン酸マグネシウムを術前日午後 6 時に投与~2 ducat 錠(5m)を術前日午後 4 時に投与~真夜中を過ぎより絶食 |

OM1-38 Procedure medication 薬剤処置 (CWE) 00623

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検査手順の一環としての処置などを記載。

OM1-39 Factors that may effect the observation 検査に影響する要因 (TX) 00624

定義：検査に影響を及ぼす可能性のある食物、疾病、薬剤、他の状態などを記述。及ぼす影響の情報、検査に先立つ食事や状態や薬剤に関する勧告。

OM1-40 Test/observation performance schedule 検査実施スケジュール (ST) 00625

定義：労働日や週で実施される診断検査のスケジュールを記載。ここでは実施される検査の最大間隔を示す。(検査はより頻繁に実施されることがある)。数量・タイミングの節による繰返しパターンの書式を用いる。必要ならば反復区切文字で分離された複数のコードを記載。複数のコードが使用される場合、検査が複数の発生する間隔で実施されることを示す。例えば、Q6Hは検査が少なくとも6時間ごとに実施されることを示す。QJ1は検査が少なくとも毎週月曜日に実施されることを示す。QAM~QPMは検査が少なくとも毎朝と毎夕実施されることを示す。QJ1~QJ3~QJ5は検査が少なくとも毎週月曜日、水曜日および金曜日に実施されることを示す。Cは検査が週7日間いつでも実施されることを示す。

OM1-41 Description of test methods (may include bibliographic citations) 検査方法解説 (TX) 00626

定義：検査を実施や生成するにあたっての方法についての説明。引用文献も含む。

OM1-42 Kind of quantity observed 検査値(量)の種類 (CWE) 00937

成分：<Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：この検査結果がもつ特性(検査結果のプロパティ)。この属性には、全量濃度、モル濃度、分圧などがある。取りうる値は、HL7表 0254-量の種類に列記される。この表でいう特性は、主として次元解析に基づいている。表は、単純な計数に関するもの(数、数濃度など)、量に関するもの(量、重量濃度など)、酵素活性に関するもの(触媒物質、触媒濃度など)、およびモル数または当量数(構成物質、構成物質濃度)、など多くを含んでいる。

この分類によると、グルコースは重量濃度として分類される。ナトリウムは構成物質濃度(当量)として分類される。また、患者の体重のプロパティは含有量ではなく量そのものである。ナトリウムやグルコースに例示されるように、多くの化学的計測は濃度で提示される。しかしながら、24時間の尿タンパク質は重量濃度ではなく重量比率(単位時間当たりの量)である。通常、含有変量(例えば、重量濃度、構成物質濃度)は組織重量当たりの量を反映している。マスタファイル上のこの属性は、マスタファイルを送るサービスが測定原理によって検査を分類している場合に限り、値を持つものである。

HL7表 0254 - Kind of quantity 量の種類

Enzymatic Activity 酵素的活性		Other Properties	
CACT	*Catalytic Activity 触媒活性	ABS	Absorbance 吸光度
CNC	*Catalytic Concentration 触媒濃度	ACT	*Activity 活性
CCRTO	Catalytic Concentration Ratio 触媒濃度比	APER	Appearance 出現
CCNT	*Catalytic Content 触媒成分	ARB	*Arbitrary 任意
CFR	*Catalytic Fraction 触媒分画	AREA	Area 面積
CRAT	*Catalytic Rate 触媒率	ASPECT	Aspect 方向
CRT0	Catalytic Ratio 触媒比	CLAS	Class クラス
Entitic 実体		CNST	*Constant 定数
ENT	*Entitic 実体	COEF	*Coefficient 係数
ENTSUB	*Entitic Substance of Amount 量の実体物質	COLOR	Color 色調
ENTCAT	*Entitic Catalytic Activity 実体触媒活性	CONS	Consistency 硬度
ENTNUM	*Entitic Number 実体数	DEN	Density 密度
ENTVOL	*Entitic Volume 実体体積	DEV	Device 装置
Mass 質量		DIFF	*Difference 差
MASS	*Mass 質量	ELAS	Elasticity 弾性
MCNC	*Mass Concentration 質量濃度	ELPOT	Electrical Potential (Voltage) 電圧 (ボルト)
MCRT0	*Mass Concentration Ratio 質量濃度比	ELRAT	Electrical current (amperage) 電流 (アンペア)
MCNT	Mass Content 質量成分	ELRES	Electrical Resistance 電気抵抗
MFR	*Mass Fraction 質量分画	ENGR	Energy エネルギー
MINC	*Mass Increment 質量増分	EQL	Equilibrium 当量
MRAT	*Mass Rate 質量率	FORCE	Mechanical force 機械的力
MRT0	*Mass Ratio 質量比	FREQ	Frequency 頻度
Counts 計数		IMP	Impression/ interpretation of study 所見
NUM	*Number 数量	KINV	*Kinematic Viscosity 運動粘性率

NCNC	*Number Concentration 数量濃度	LEN	Length 長さ
NCNT	*Number Content 数量成分	LINC	*Length Increment 長さ増分
NFR	*Number Fraction 数量分画	LIQ	*Liquifaction 溶解
NRTO	*Number Ratio 数量比	MGFLUX	Magnetic flux 磁力線
Substance Amount (Moles/Millequivalents)物質質量(モル/当量)		MORPH	Morphology 形態学
SUB	*Substance Amount 物質質量	MOTIL	Motility 運動性
SCNC	*Substance Concentration 物質濃度	OD	Optical density 吸光度
SCRTO	*Substance Concentration Ratio 物質濃度比	OSMOL	*Osmolality 浸透圧 (重量モル濃度)
SCNT	*Substance Content 物質成分	PRID	Presence/Identity/Existence 存在
SCNTR	*Substance Content Rate 物質成分率	PRES	*Pressure (Partial) 圧力 (部分)
SFR	*Substance Fraction 物質分画	PWR	Power (wattage) 力 (ワット)
SCNCIN	*Substance Concentration Increment 物質濃度増分	RANGE	*Ranges 範囲
SRAT	*Substance Rate 物質率	RATIO	*Ratios 比
SRT0	*Substance Ratio 物質比	RDEN	*Relative Density 相対密度
Volumes 体積		REL	*Relative 相対
VOL	*Volume 体積	SATFR	*Saturation Fraction 飽和分画
VCNT	*Volume Content 体積成分	SHAPE	Shape 形状
VFR	*Volume Fraction 体積分画	SMELL	Smell 臭い
VRAT	*Volume Rate 体積率	SUSC	*Susceptibility 感受性
VRT0	*Volume Ratio 体積比	TASTE	Taste 味
Miscellaneous Unit Measures		TEMP	*Temperature 温度
ACNC	Concentration, Arbitrary Substance 濃度,任意物質	TEMPDF	*Temperature Difference 温度差
RLMCNC	*Relative Mass Concentration 相対質量濃度	TEMPIN	*Temperature Increment 温度増分
RLSCNC	*Relative Substance Concentration 相対物質濃度	TITR	*Dilution Factor (Titer) 希釈係数 (希釈率)
THRMNC	*Threshold Mass Concentration 閾値質量濃度	TYPE	*Type 型
THRSCNC	*Threshold Substance Concentration 閾値物質濃度	VEL	*Velocity 速度
Time 時間		VELRT	*Velocity Ratio 速度比
TIME	*Time (e.g. seconds) 時間 (例えば 秒)	VISC	*Viscosity 粘度
TMDF	*Time Difference 時間差		
TMSTP	*Time Stamp-Date and Time タイムスタンプ-日時		
TRTO	*Time Ratio 時間比		
RCRLTM	*Reciprocal Relative Time 相互相対時間		
RLTM	*Relative Time 相対時間		

*印の項目がIUPACシルバースタックからの引用、無印の項目は拡張子である。

OM1-43 Point versus interval 測定間隔 (CWE) 00938

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 患者状態の測定の検査を、ある時点(例えば、随時(スポット)尿、無作為の尿、血清カリウム)とするか、ある時間の平均(例えば、24時間で収集した濃度、全量、クリアランス)とするか分類できる。時間による測定はしばしば尿や便の検体に適用される(例えば、24時間尿、3日間の便脂肪)。これらはまた、シフト合計や24時間合計として報告される尿排泄量のような臨床測定、および24時間ホルターモニタ上のPVC数のような生理学的モニタ上の事象カウント、にも適用される。

このフィールドがトランザクション中で値を持つのは、このマスタファイルメッセージを送信するサービスが時間間隔対ポイントによってその検査を分類している場合に限る。このフィールドは特定のサンプルのための時間収集間隔の記録には使用しない。それは、正常範囲が定義された検査の特徴を特定するためや、同じ種類の検査であるがいくつかの時点で行った検査を識別するために使用される。ある時点の尿中ナトリウムの場合このフィールドにPTを入れる。24時間の尿中ナトリウムや24時間のホルターモニタの場合ここに24Hを入れる。この属性が値を持つのは実施側がタイミングによって検査を分類している場合に限る。取りうる値は表0255-期間属性カテゴリを参照。

使用者定義表 0255 - Duration categories 期間属性カテゴリ

PT	To identify measures at a point in time. This is a synonym for "spot" or "random" as applied to urine measurements. 時点での測定を識別。これは尿測定に適用される「スポット」あるいは「ランダム」と同義である。		
* (star)	Life of the "unit." Used for blood products. (アスタリスク) 「unit」の寿命。血液製剤に使用。		
30M	30 分	7H	7 時間
1H	1 時間	8H	8 時間
2H	2 時間	12H	12 時間
6D	6 日	1W	1 週
		2W	2 週

2.5H	2½ 時間	24H	24 時間	3W	3 週
3H	3 時間	2D	2 日	4W	4 週
4H	4 時間	3D	3 日	1L	1 月 (30 日)
5H	5 時間	4D	4 日	2L	2 月
6H	6 時間	5D	5 日	3L	3 月

OM1-44 Challenge information 負荷試験情報 (TX) 00939

定義：負荷により検査が特定される場合負荷による分類のための情報。例えば、データベースに負荷成分を持っている検査を区別することである。これらは生理学的あるいは薬剤の測定に本質的な負荷に共通に扱われる。例えば、糖負荷試験を識別すること。

このテキスト文字列の構成は次のテンプレートを使用すること（注：このフィールドはフリーテキストフィールドで形式的に定義された成分から構成されるものではない。成分区切文字は使用されず、またいくつかの「成分」が使用されない場合でも空の区切文字を置く必要はない）。

遅延時間は次の文法：n<S|M|H|D|W>nは数(おそらく10進)；Sは秒、Mは分、Hは時、Dは日、Wは週。遅延時間は大小符号>をその前に付加できる。例えば、>4H。

取りうる値はHL7表0256－負荷後遅延時間に列記する。

例

```
PRE 100 GM GLUCOSE PO
PRE 100 GM GLUCOSE PO
30M POST 100 GM GLUCOSE PO
2H POST 100 GM GLUCOSE PO
TROUGH
```

薬物濃度の場合負荷物質と分析物が同じであるのでここに含まれなくてよい。

我々は、薬物投与経路のための略号によって負荷の経路も表現する(HL7第4章4.8.3.1節投与経路、HL7表0162－投与経路を参照)。経口投与は「PO」で、経静脈投与は「IV」で表現される。

薬物投与の詳細、投与時間、投与経路などは、個別のOBXで扱われ、そして検査項目マスタに格納された対応する検査定義は薬物濃度に関するマスタファイルセグメントに格納された異なるレコードにマッピングされる。

HL7表 0256 - Time delay post challenge 負荷後遅延時間

BS	Baseline (time just before the challenge) 基準線 (負荷直前時)
PEAK	The time post drug dose at which the highest drug level is reached (differs by drug) 薬物投与後の最高薬物濃度に達した時間 (薬物により異なる)
TROUGH	The time post drug dose at which the lowest drug level is reached (varies with drug) 薬物投与後の最低薬物濃度に達した時間 (薬物によりまちまち)
RANDOM	Time from the challenge, or dose not specified. (random) 負荷後、または指定なし (ランダム)
n minutes/hours/days/weeks/months/etc. after challenge begun: 負荷開始後 n 分/時間/日/週/月/等	
1M	負荷後 1 分
2M	負荷後 2 分
3M	負荷後 3 分
4M	負荷後 4 分
5M	負荷後 5 分
6M	負荷後 6 分
7M	負荷後 7 分
8M	負荷後 8 分
9M	負荷後 9 分
10M	負荷後 10 分
15M	負荷後 15 分
20M	負荷後 20 分
25M	負荷後 25 分
30M	負荷後 30 分
1H	負荷後 1 時間
2H	負荷後 2 時間
2.5H	負荷後 2 1/2 時間
3H	負荷後 3 時間
4H	負荷後 4 時間
5H	負荷後 5 時間
6H	負荷後 6 時間
7H	負荷後 7 時間
8H	負荷後 8 時間
8H SHIFT	8 時間 看護シフトに設定
12H	負荷後 12 時間
24H	負荷後 24 時間
2D	2 日間
3D	3 日間
4D	4 日間
5D	5 日間
6D	6 日間
7D	7 日間
1W	1 週間
10D	10 日間
2W	2 週間
3W	3 週間
4W	4 週間
1L	負荷後 1 ヶ月 (30 日間)
2L	負荷後 2 ヶ月 (60 日間)
3L	負荷後 3 ヶ月 (90 日間)

生理学的(非薬物)負荷の性質は、HL7表0257－負荷の性質の用語を使用されることがある。

HL7表 0257 - Nature of challenge 負荷の性質

Value	Description
CFST	Fasting (no calorie intake) for the period specified in the time component of the term 用語の時間成分で特定の時期のための 絶食 (カロリー非摂取), 例., 1H POST CFST
EXCZ	Exercise undertaken as challenge (can be quantified) 負荷として行われる 運動 (定 量可能)
FFST	No fluid intake for the period specified in the time component of the term 用語の時間 成分で特定の時期のための 水分非摂取

OM1-45 Relation modifier 関係修飾子 (CWE) 00940

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 結果が「患者」データとして保存される患者との関連に関する情報。例えば、慣行として、対照群、ドナー、血液製剤も患者と同様にその値を報告され患者記録に格納される(これはこのような情報をモデル化する最善の方法ではないかもしれないが、このような方法で通常報告されている)。2つの結果が(例えば、1つは患者そして1つは血液製剤)、さもないと混同することがある場合、このフィールドの値を持つ。デフォルト値は“Patient”、特定されない場合も同様。人に関する副成分はHL7 表 0258-関係修飾子を参照。

HL7表 0258 - Relationship modifier 関係修飾子

Value	Description
CONTROL	Control コントロール
PATIENT	Patient 患者
DONOR	Donor ドナー
BPU	Blood product unit 血液製剤単位

OM1-46 Target anatomic site of test 検査対象解剖学的部位 (CWE) 00941

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検査の部位を形式的に示す(システムがある身体部位に関するすべての検査を容易に見出すため)。それは試験の対象部位によって検査を分類するために使用できる。例えば、「心臓」は、心電図、心エコーおよびタリウム運動試験の対象として記録されるであろう。この属性は多くの画像検査および電気生理学試験に適用可能である。SNOMED T 軸は解剖部位のコード化方式の例である。ユーザテーブルも適用されることがある。

OM1-47 Modality of imaging measurement 画像検査モダリティ (CWE) 00942

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検査を分類するモダリティ、例えば、放射線写真、超音波、CT スキャン、NMR など。この属性は画像検査にとって特に重要である。取りうる値は、DICOM C.7.3.1.1.1 モダリティから引用の、表 0259—モダリティを参照。これが使用される場合第3成分のコーディング組織として DCM を指定すること。

使用者定義表 0259 – Modality モダリティ

Value	Description	Value	Description
AS	Angioscopy 血管内視鏡	FS	Fundoscopy 眼底検査
BS	Biomagnetic Imaging 生体磁気画像	LP	Laparoscopy 腹腔鏡検査
CD	Color Flow Doppler カラー Doppler	LS	Laser Surface Scan
CP	Colposcopy 陰鏡検査	MA	Magnetic Resonance Angiography 磁気共鳴血管造影
CR	Computed Radiography コンピュータ X 線撮影	MS	Magnetic Resonance Spectroscopy 磁気共鳴スペクトル法
CS	Cystoscopy 膀胱鏡検査	NM	Nuclear Medicine (radioisotope study) 核医学 (放射性同位元素試験)
CT	Computed Tomography コンピュータ断層撮影	OT	Other その他
DD	Duplex Doppler	PT	Positron Emission Tomography (PET) 陽電子射出断層撮影(PET)
DG	Diapanography	RF	Radio Fluoroscopy 放射線透視撮影
DM	Digital Microscopy デジタル顕微鏡	ST	Single Photon Emission Computed Tomography (SPECT) 単一光子放射形 コンピュータ断層撮影(SPECT)
EC	Echocardiography 心エコー検査法	TG	Thermography サーモグラフィ
ES	Endoscopy 内視鏡	US	Ultrasound 超音波
FA	Fluorescein Angiography 蛍光眼底血管撮影	XA	X-ray Angiography X 線血管造影

10.6.9 OM2 - numeric observation segment 数値結果検査項目セグメント

このセグメントは連続的値を持つ検査についての属性からなる(数値、日付やタイムスタンプなどのデータ型を含む)。このセグメントは OM1-18 nature of test/observation で指定されるタイプ A と C のバッテリに適用される。

HL7属性表 - OM2 - Numeric Observation 数値結果検査項目

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	O		00586	Sequence Number 連番
2	250	CWE	O		00627	Units of Measure 測定単位
3	10	NM	O	Y	00628	Range of Decimal Precision 有効数字
4	250	CWE	O		00629	Corresponding SI Units of Measure SI単位
5	60	TX	O		00630	SI Conversion Factor SI変換係数
6	250	RFR	O	Y	00631	Reference (Normal) Range - Ordinal & Continuous Obs 基準(正常)範囲
7	250	RFR	O	Y	00632	Critical Range for Ordinal & Continuous Obs クリティカル範囲
8	250	RFR	O		00633	Absolute Range for Ordinal & Continuous Obs 測定限界範囲
9	250	DLT	O	Y	00634	Delta Check Criteria デルタチェック基準
10	20	NM	O		00635	Minimum Meaningful Increments 有意な変動値

OM2 フィールド定義

OM2-1 Sequence number 連番 (NM) 00586

定義：関連する OM1 セグメントの OM1-1 と同値であること。

OM2-2 Units of measure 測定単位 (CWE) 00627

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ単一検査項目の測定の習慣的な単位。

OM2-3 Range and decimal precision 有効数字 (NM) 00628

定義：OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ単一検査項目の、結果を表示するのに必要な全文字数と小数点以下の桁数を指定。この書式は<全長>.<少数以下の桁数>である。例えば、6.2 は全長 6 文字(小数点や符号を含む)で小数点以下 2 桁をあらわす。整数のために<decimal-digits>は省略可能(5.0 と 5 は同じ)。複数の指定が必要な場合反復区切文字で繰り返し定義する。

OM2-4 Corresponding SI units of measure SI 単位 (CWE) 00629

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義：OM2-2 で指定した習慣的単位と SI 単位が異なる場合、ここに SI 単位を記述。

OM2-5 SI conversion factor SI 変換係数 (TX) 00630

定義：OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された連続的数値結果を持つ単一検査項目の習慣的単位から SI 単位への変換係数。検査の単位が SI 単位でない場合、報告された単位から SI 単位へ変換する方程式を含む形式を提示する。変換係数が単純な掛け算の場合は変換係数のみである。例えば、(結果 SI 単位)= c *(結果報告単位)のとき、この c のみこのフィールドに格納される。他のいかなる関係式の場合も全方程式をテストのために格納すべきである。

OM2-6 Reference (normal) range for ordinal and continuous observations 基準(正常)範囲 (RFR) 00631

成分： <Numeric Range (NR)> ^ <Administrative Sex (IS)> ^ <Age Range (NR)> ^ <Gestational Age Range (NR)> ^ <Species (ST)> ^ <Race/subspecies (ST)> ^ <Conditions (TX)>

副成分 Numeric Range (NR): <Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Age Range (NR): <Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Gestational Age Range (NR): <Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

定義： OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果の基準値(正常値)。年齢、性別、人種、その他の状況による異なった基準値(正常値)も識別可能。

例を以下に示す。

アルブミンのように無条件に適用される基準値は次のように伝達:

...|3.0&5.5|...

ヘモグロビンのように性別に依存する正常値は次の様に伝達:

...|13.5&18^M~12.0&16^F|...

年齢、性別、人種に依存する場合の例:

...|10&13^M^0&2^^^2028-9~11&13.5^M^2&20^^^2028-9~12&14.5^M^20&70^^^2028-9~13&16.0^M^70&^^^2028-9|...

値が特定されない場合はすべてのカテゴリに適用される。例えば、人種が指定されない場合範囲は人種に関係なく人間に適用される。年齢が指定されない場合正常値はすべての年齢に適用される。範囲の下限あるいは上限がない場合、それぞれ無限と考えられる。

異なる2つの方法で2つの異なる基準値で得られた結果は、異なる2つの検査として OM x セグメントで定義されるべきである。

OM2-7 Critical range for ordinal and continuous observations クリティカル範囲 (RFR) 00632

成分: <Numeric Range (NR)> ^ <Administrative Sex (IS)> ^ <Age Range (NR)> ^ <Gestational Age Range (NR)> ^ <Species (ST)> ^ <Race/subspecies (ST)> ^ <Conditions (TX)>

副成分 Numeric Range (NR): <Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Age Range (NR): <Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Gestational Age Range (NR): <Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

定義: OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ単一検査項目のクリティカル値を OM2-6-reference (normal) range-ordinal and continuous obs と同様の書式で定義する。クリティカル値とは警戒値/緊急異常値と解される (いわゆる、パニック値)。

OM2-8 Absolute range for ordinal and continuous observations 測定限界範囲 (RFR) 00633

成分: <Numeric Range (NR)> ^ <Administrative Sex (IS)> ^ <Age Range (NR)> ^ <Gestational Age Range (NR)> ^ <Species (ST)> ^ <Race/subspecies (ST)> ^ <Conditions (TX)>

副成分 Numeric Range (NR): <Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Age Range (NR): <Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

副成分 Gestational Age Range (NR): <Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

定義: OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ単一検査項目の測定限界を定義する。この範囲をはずれた結果はありえない。フィールドは基準範囲やクリティカル範囲と同様の書式で定義する。

OM2-9 Delta check criteria デルタチェック基準 (DLT) 00634

成分: <Normal Range (NR)> ^ <Numeric Threshold (NM)> ^ <Change Computation (ID)> ^ <Days Retained (NM)>

副成分 Normal Range (NR): <Low Value (NM)> & <High Value (NM)>

定義: OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ検査項目のデルタチェック管理の情報を4つの要素で記述する。

1) 適用される範囲: <low & high>

OM2-2-units of measure による習慣的単位による両端の値で範囲を定義。

2) 検出される変動の閾値、例えば、10。

3) 変動の算出が百分率(相対的変動)あるいは絶対的な変動(具体的な数値)なのかの表現。取りうる値は次の2つ:

% パーセント Indicates a percent change

a 絶対値 Absolute change

4) デルタチェックが有効であるための期間を日数で表現。

複数のデルタチェック規則も適用できる。13&16^10^a^100~16.1&20^2^a^100 は結果値が13から16の範囲のとき10%の変動がトリガーとなり、結果値が16.1から20の範囲のとき絶対値が2の変動がトリガーとなる。いずれも最新の結果を100日以上保持していると考えられる。この例では100日を越えてはデルタチェックの計算をしない。

OM2-10 Minimum meaningful increments 有意な変動値 (NM) 00635

定義： OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された数値結果を持つ検査項目に対し、報告された値の意味のある最小の差(測定装置の分解能や連続的データのための技術的影響、個々のデータ間の不連続最小間隔)。

10.6.10 OM3 - categorical test/observation segment カテゴリ値結果項目セグメント

このセグメントはフリーテキストやその他の非数値データ型に適用される。

HL7属性表 - OM3 - Categorical Service/Test/Observation カテゴリ値結果検査項目

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	O		00586	Sequence Number 連番
2	250	CWE	O		00636	Preferred Coding System コード体系
3	250	CWE	O		00637	Valid Coded "Answers" 有効なコード値リスト
4	250	CWE	O	Y	00638	Normal Text/Codes for Categorical Observations 正常値のテキスト／コード
5	250	CWE	O	Y	00639	Abnormal Text/Codes for Categorical Observations 異常値のテキスト／コード
6	250	CWE	O	Y	00640	Critical Text Codes for Categorical Observations クリティカル値のテキスト／コード
7	2	ID	O		00570	Value Type 値型

OM3 フィールド定義

OM3-1 Sequence number 連番 (NM) 00586

定義： 関連付けられた OM1 セグメントの連番と同値であること。

OM3-2 Preferred coding system コード体系 (CWE) 00636

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 検査結果のカテゴリ値が特定のコード表から引用される場合、そのコーディングシステムを記述。(CWE 型データ型で、例えば、ICD9 や SNOMED III)。

OM3-3 Valid coded "answers" 有効なコード値リスト (CWE) 00637

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 有効なコード結果リスト。可能な場合、OM3-2-preferred coding system で定義したコーディングシステムを使用した有効な結果コードをリストアップ。例えば、VDRL の場合、有効な結果は ^ 陰性、86^疑陽性 (判定保留)、と 87^陽性であろう。

OM3-4 Normal text/codes for categorical observations 正常値のテキスト／コード (CWE) 00638

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された検査がテキストや文字の検査結果(reactive, nonreactive など)を持つ場合の正常値を記述リスト。

このフィールドの書式は次のようである：

最初の成分は標準コードソースリストからのコード。第2成分はそのコードと関連するテキスト。第3成分はそのコードのコード化組織名。テキストの記述のみも可能で^<text>とする。

ケアにおいてこの検査の正常値だけを送るべきである。薬物スクリーニングでは「陰性」と「陽性」の結果がありうるが、正常値としては「陰性」のみである。

OM3-5 Abnormal text/codes for categorical observations 異常値のテキスト／コード (CWE) 00639

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： この検査のテキストや文字の異常値の記述リスト。書式等は OM3-4 と同様。

OM3-6 Critical abnormal text/codes for categorical observations クリティカル値のテキスト／コード (CWE) 00640

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: この検査のテキストや文字のクリティカルな異常値の記述リスト。書式等は OM3-4 と同様。

OM3-7 Value type 値型 (ID) 00570

定義: OM1-18-nature of test/observation に nature code A または C で指定された単一カテゴリ値検査結果のデータ型。取りうる値は HL7 表 0125 値型を参照。

10.6.11 OM4 - observations that require specimens segment 要検体検査セグメント

このセグメントは検体を必要とする検査・バッテリーに適用される。検査・バッテリーが複数の検体を必要とする場合(例えば、クレアチニンクリアランスは 24 時間の尿検体および血清検体を必要とする)、検体タイプ毎に 1 つのセグメントで表記するものとする。

HL7属性表 - OM4 - Observations that Require Specimens要検体検査項目

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	O			00586	Sequence Number
2	1	ID	O		0170	00642	Derived Specimen 検体親子識別
3	60	TX	O			00643	Container Description 容器説明
4	20	NM	O			00644	Container Volume 容器容量
5	250	CWE	O			00645	Container Units 容器単位
6	250	CWE	O			00646	Specimen 検査材料
7	250	CWE	O			00647	Additive 添加剤
8	1024	TX	O			00648	Preparation 処置
9	1024	TX	O			00649	Special Handling Requirements 特別取扱要件
10	20	CQ	O			00650	Normal Collection Volume 標準採取量
11	20	CQ	O			00651	Minimum Collection Volume 最低採取量
12	1024	TX	O			00652	Specimen Requirements 検体要件
13	1	ID	O	Y	0027	00653	Specimen Priorities 検体優先度
14	20	CQ	O			00654	Specimen Retention Time 検体保存期間

OM4 フィールド定義

OM4-1 Sequence number 連番 (NM) 00586

定義： 関連する OM1 セグメントの連番と同値。

OM4-2 Derived specimen 派生検体識別 (ID) 00642

定義： 診断試験のための派生した親・子を識別するコード。—とりわけ細菌検査において—最初の検体は(血液など)処理され結果を得る(例えば、培養され細菌が同定される)。また処理は新しい検体を生成する(例えば、ぶどう球菌や大腸菌の純粋培養)、これらは第 2 のオーダの処理によって検査される(感受性試験)。このような場合、親(例えば、血液培養)および子(例えば、ペニシリン MIC)が識別される。取りうる値は HL7 表 0170 を参照。

HL7表 0170 - Derived specimen 派生検体識別

Value	Description
P	Parent Observation 親検査
C	Child Observation 子検査
N	Not Applicable 非適用

OM4-3 Container description 容器説明 (TX) 00643

定義： 容器の蓋の色、形状、物質などを含む物理的外観を記述(例えば、赤色蓋のガラスチューブ)。ここで色は容器の使用や添加物を区別するに必要ではない。このことはとりわけ上から見る事ができる黒や青の蓋についていえる。色はユーザの利便性のために含まれている。

OM4-4 Container volume 容器容量 (NM) 00644

定義： 容器に収容できる容量

OM4-5 Container units 容器容量単位 (CWE) 00645

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 容器の容量の単位。単位が ISO+単位である場合、単一ケース(大文字か小文字)の省略形で記録。単位が ANS+あるいは L(ローカル)である場合、単位およびソースコード表を記録しなければならず、この場合成分区切文字は副成分区切文字となる。例えば、1 はリットルを示し、pt&&ANS+

は pints (ANSI units)を示す。デフォルトの単位はミリリットル(ml)であり、単位の報告がない場合デフォルトと見なされる。

OM4-6 Specimen 検査材料 (CWE) 00646

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検査材料をコードであらわす。複数の検査材料について記述する場合、各々について OM4 セグメントを使用する。

OM4-7 Additive 添加剤 (CWE) 00647

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 添加剤を示す。コードの例として CLSI の提供するものの一部を示す。

NAME	CLSI Code	Color	DESCRIPTION
(1) Lithium Heparin - anticoagulant	LIH	Green	Dry powder. 10 to 30 USP units per mL of blood
(2) Sodium Heparin - anticoagulant	NAH	Green	Dried solution. 10 to 30 U.S.P. units per mL of blood
(3) EDTA(K ₂)	K2E	Lavender	Dry powder. 1.5 to 2.2 mg per mL of blood
(4) EDTA (K ₃)	K3E	Lavender	Clear solution. 1.5 to 2.2 mg per mL of blood
(5) EDTA (Na ₂)	N2E	Lavender	

OM4-8 Preparation 処置 (TX) 00648

定義: この容器に応用される特別な処置、例えば、搬送前に酸化剤を添加するなど。

OM4-9 Special handling requirements 取扱要件 (TX) 00649

定義: 特別扱い要件、例えば、凍結検体、2 時間以内の処理など。

OM4-10 Normal collection volume 標準採取量 (CQ) 00650

成分: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 Units (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: 検査室で必要とする標準的な検体量。これは標準的な方法で使用する容量であって少なくとも一回分の再測定に十分なものである。デフォルト単位はミリリットル(ml)である。

OM4-11 Minimum collection volume 最小採取量 (CQ) 00651

成分: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 Units (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: もっとも少量で可能な方法で必要とされる検体量(例えば、微量測定を行うなど)。この最少量は一回限りの測定ためである。デフォルト単位はミリリットル(ml)である。

OM4-12 Specimen requirements 検体要件 (TX) 00652

定義: 配送や特別扱いのためのその他の要件(例えば、1 時間以内の配送、氷冷)。

OM4-13 Specimen priorities 検体優先度 (ID) 00653

定義: 検体採取の優先度。OM1-25-processing priority の処理優先度と異なる場合もあることに注意。検査が要求されたとき検体優先度は TQ1-9 Priority で示される。複数の優先度は反復区切文字で区切られる。取りうる値は HL7 表 0027 – 優先度を参照。

HL7表 0027 – Priority 優先度

Value	Description
S	Stat (do immediately) すぐ実施
A	As soon as possible (a priority lower than stat) できるだけ早く
R	Routine 定期
P	Preoperative (to be done prior to surgery) 術前
T	Timing critical (do as near as possible to requested time) 時間指定

OM4-14 Specimen retention time 検体保存期間 (CQ) 00654

成分: <Quantity (NM)> ^ <Units (CWE)>

副成分 Units (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^

<Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： 検査が完了後、追加の検査のために保存しておく通常の期間を指定。最初の成分は期間で、第2成分はISO時間単位である。

10.6.12 OM5 - observation batteries (sets) segment セット検査セグメント

このセグメントはバッテリー(セット検査)やスーパーセットについての情報を扱う。(OM1-18-nature of test/observation が F, P あるいは S の場合)

HL7属性表 - OM5 - Observation Batteries (Sets) セット検査項目

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	O		00586	Sequence Number 連番
2	250	CWE	O	Y	00655	Test/Observations Included w/an Ordered Test Battery バッテリーに含まれる検査項目
3	250	ST	O		00656	Observation ID Suffixes 検査ID接尾辞

OM5 フィールド定義

OM5-1 Sequence number 連番 (NM) 00586

定義： 関連する OM1 セグメントの連番と同値。

OM5-2 Tests/observations included within an ordered test battery バッテリーに含まれる検査項目 (CWE) 00655

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは OM1-18-nature of test/observation の nature code が P の単一バッテリー、nature code が F の単一機能試験、nature code が S のスーパーセットを含むすべての検査のコードと名称からなる。送信側はこれらのセグメントを送信する前にこれらのセグメントが参照するすべての要素を定義するセグメントを確実に送っておくべきである。このリストのエントリはそれ自体がバッテリーでありえる。

個々の検査 ID は CWE データ型、つまり検査項目 ID の標準形式、として記録されるべきである。

血清電解質を定義した場合次のようであろう：

```
...|84132^potassium^AS4-84295^sodium^AS4-82435^chloride^AS4-82374^HC03^^AS4|...
```

パラメータが S の場合、スーパーバッテリーの中にバッテリーを含む。例えば、ルーチンセットは次のように定義される：

```
...|402^Electrolytes-352^Urinalysis-432^CBC-520^SMA12|...
```

OM5-3 Observation ID suffixes 検査項目 ID 接尾辞 (ST) 00656

定義： 検査項目 ID に続いて検査項目接尾辞を持つ場合に記述。このフィールドは可能なオプションをリストする。使用可能な 3 文字の略号は、HL7 第 7 章結果コメントの扱いの表 7-1 観察項目接尾辞 Observation ID suffixes 検査項目接尾辞にリストアップされている。これらは反復区切文字により分離される。

10.6.13 OM6 - Observations that are Calculated from Other Observations Segments 計算値結果項目セグメント

このセグメントは1つないし複数の定量値や直接的検査から数学的あるいは論理的に導かれる定量値についての情報を扱う。

HL7属性表 - OM6 - Observations that are Calculated from Other Observations 計算値結果項目

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	O		00586	Sequence Number 連番
2	1024 0	TX	O		00657	Derivation Rule 導出規則

OM6 フィールド定義

OM6-1 Sequence number 連番 (NM) 00586

定義： 関連する OM1 セグメントの連番と同値。

OM6-2 Derivation rule 導出規則 (TX) 00657

定義： このフィールドは1つあるいは複数の患者の変数(例えば、A/G 比、クレアチニンクリアランス、理想体重、日最高体温、グルコース平均値、フラミンガムリスク)から導かれる患者の変数について使用され、この変数の値が導かれるルールを含んでいる。これらは人が理解できる式や説明で記述される。

10.6.14 OM7 - Additional Basic Attributes (Fields That Apply to Most Observations/Services) 付加的基本属性

OM7 セグメントはほとんどの検査／サービスの定義に適用する付加的基本属性からなる。

HL7 属性表 - OM7 - Additional Basic Attributes 付加的基本属性

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	TBL#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	NM	R			00586	Sequence Number - Test/Observation Master File 連番
2	250	CWE	R			00238	Universal Service Identifier 汎用サービス識別子
3	250	CWE	O	Y	0412	01481	Category Identifier カテゴリ識別子
4	200	TX	O			01482	Category Description カテゴリ解説
5	200	ST	O	Y		01483	Category Synonym カテゴリ同義語
6	26	TS	O			01484	Effective Test/Service Start Date/Time 開始有効日時
7	26	TS	O			01485	Effective Test/Service End Date/Time 終了有効日時
8	5	NM	O			01486	Test/Service Default Duration Quantity デフォルト所要量
9	250	CWE	O		9999	01487	Test/Service Default Duration Units デフォルト所要単位
10	60	IS	O		0335	01488	Test/Service Default Frequency デフォルト頻度
11	1	ID	O		0136	01489	Consent Indicator 同意要否
12	250	CWE	O		0413	01490	Consent Identifier 同意識別子
13	26	TS	O			01491	Consent Effective Start Date/Time 同意有効開始日時
14	26	TS	O			01492	Consent Effective End Date/Time 同意有効終了日時
15	5	NM	O			01493	Consent Interval Quantity 同意間隔数量
16	250	CWE	C		0414	01494	Consent Interval Units 同意間隔単位
17	5	NM	O			01495	Consent Waiting Period Quantity 同意待ち期間数量
18	250	CWE	C		0414	01496	Consent Waiting Period Units 同意待ち期間単位
19	26	TS	O			00607	Effective Date/Time of Change 変更の有効日時
20	250	XCN	O			00224	Entered By 入力者
21	200	PL	O	Y		01497	Orderable-at Location オーダ可能ロケーション
22	1	IS	O		0473	01498	Formulary Status 公式処方状況
23	1	ID	O		0136	01499	Special Order Indicator 特別オーダ標識
24	250	CWE	O	Y	0132	01306	Primary Key Value – CDM 主キー値-CDM

OM7 フィールド定義

OM7-1 Sequence Number - Test/Observation Master File 連番-検査／観察マスタファイル (NM) 00586

定義： このフィールドは連番としての値を示す。

OM7-2 Universal Service Identifier 汎用サービス識別子 (CWE) 00238

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドは実施者の通常また適切な検査またはサービスの識別からなる。検査／サービス ID は ASTM 表 3 と 5、あるいはローカルコードのいずれかに含まれる。

OM7-3 Category Identifier カテゴリ識別子 (CWE) 01481

成分： <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義： このフィールドはカテゴリ名称（用語はサービス項目の分類のためのグループに付与）からなる。例：検査室、薬局、画像診断、など。

OM7-4 Category Description カテゴリ解説 (TX) 01482

定義： このフィールドは検査／サービス項目のカテゴリについての解説テキストからなる。

例：カテゴリ「病理」は疾患のすべての局面、基本的な自然原因と異常状態の発生の特化した参考、同様に疾患過程の結果として生じる構造的機能的な変化、に関係した専門業務と解説されるかもしれない。

OM7-5 Category Synonym カテゴリ同義語 (ST) 01483

定義： このフィールドは検査／サービスのカテゴリについての別名を示す。例：カテゴリ「放射線」はカテゴリ「画像診断」と同義の名称である。

OM7-6 Effective Test/Service Start Date/Time 検査／サービス開始有効日時 (TS) 01484

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドはサービス項目がオーダーや実施などが可能となる日時を示す。

OM7-7 Effective Test/Service End Date/Time 検査／サービス終了有効日時 (TS) 01485

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドはサービス項目がオーダーや実施などの権限付与がもう行われない日時を示す。

OM7-8 Test/Service Default Duration Quantity 検査／サービスデフォルト所要期間 (NM) 01486

定義: このフィールドはサービスのためのデフォルトの所要期間を示す。

OM7-9 Test/Service Default Duration Units 検査／サービスデフォルト所要単位 (CWE) 01487

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドはサービスのためのデフォルトの所要の単位を示す。

OM7-10 Test/Service Default Frequency 検査／サービスデフォルト頻度 (IS) 01488

定義: このフィールドはこのサービスがオーダーや遂行されるデフォルトの頻度 (どの程度起こる) を示す。

OM7-11 Consent Indicator 同意要否 (ID) 01489

定義: このフィールドはサービス項目について同意が必要であれば標識する。

Y サービス項目をオーダー／実施するために同意が必要。

N サービス項目をオーダー／実施するための同意は不要。

OM7-12 Consent Identifier 同意識別子 (CWE) 01490

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは特定のサービス項目についての同意の識別子を示す。

OM7-13 Consent Effective Start Date/Time 同意有効開始日時 (TS) 01491

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドはサービス項目について有効な同意日時を示す。

OM7-14 Consent Effective End Date/Time 同意有効終了日時 (TS) 01492

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは検査／サービスのための同意がもう有効でない日時を示す。

OM7-15 Consent Interval Quantity 同意間隔期間 (NM) 01493

定義: このフィールドは特定のサービス項目に有効な同意について一定の時間を指定する。

OM7-16 Consent Interval Units 同意間隔単位 (CWE) 01494

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは OM7-15 - Consent interval quantity に対する時間の単位を指定する。

注: 同意間隔数量が指定される場合、同意間隔単位が必要。

OM7-17 Consent Waiting Period Quantity 同意待ち期間(NM) 01495

定義: このフィールドは同意に署名した時間と処置が遂行できる間の期間を示す。

OM7-18 Consent Waiting Period Units 同意待ち期間単位 (CWE) 01496

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: このフィールドは OM7-17 - Consent waiting period quantity に対する時間の単位を指定する。

注: 同意待ち期間数量が指定される場合、同意待ち期間単位が必要。

OM7-19 Effective Date/Time of Change 変更の有効日時 (TS) 00607

成分: <Time (DTM)> ^ <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

定義: このフィールドは以前の結果が新しい結果と非互換となる検査手順の変更日時を示す。

OM7-20 Entered By 入力者 (XCN) 00224

成分: <ID Number (ST)> ^ <Family Name (FN)> ^ <Given Name (ST)> ^ <Second and Further Given Names or Initials Thereof (ST)> ^ <Suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <Prefix (e.g., DR)

(ST)> ^ <DEPRECATED-Degree (e.g., MD) (IS)> ^ <Source Table (IS)> ^ <Assigning Authority (HD)> ^ <Name Type Code (ID)> ^ <Identifier Check Digit (ST)> ^ <Check Digit Scheme (ID)> ^ <Identifier Type Code (ID)> ^ <Assigning Facility (HD)> ^ <Name Representation Code (ID)> ^ <Name Context (CWE)> ^ <DEPRECATED-Name Validity Range (DR)> ^ <Name Assembly Order (ID)> ^ <Effective Date (TS)> ^ <Expiration Date (TS)> ^ <Professional Suffix (ST)> ^ <Assigning Jurisdiction (CWE)> ^ <Assigning Agency or Department (CWE)>

副成分 Family Name (FN): <Surname (ST)> & <Own Surname Prefix (ST)> & <Own Surname (ST)> & <Surname Prefix From Partner/Spouse (ST)> & <Surname From Partner/Spouse (ST)>

副成分 Assigning Authority (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 Assigning Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 Name Context (CWE): <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

副成分 DEPRECATED-Name Validity Range (DR): <Range Start Date/Time (TS)> & <Range End Date/Time (TS)>

副成分は副副成分を含むことに注意

副成分 Effective Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 Expiration Date (TS): <Time (DTM)> & <DEPRECATED-Degree of Precision (ID)>

副成分 Assigning Jurisdiction (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

副成分 Assigning Agency or Department (CWE): <Identifier (ST)> & <Text (ST)> & <Name of Coding System (ID)> & <Alternate Identifier (ST)> & <Alternate Text (ST)> & <Name of Alternate Coding System (ID)> & <Coding System Version ID (ST)> & <Alternate Coding System Version ID (ST)> & <Original Text (ST)>

定義: このフィールドはアプリケーションにサービス項目を入力した実行者の識別を示す。これは不適切に入力された場合の監査証拠を提供する。

OM7-21 Orderable-at Location オータ可能ロケーション (PL) 01497

成分: <Point of Care (IS)> ^ <Room (IS)> ^ <Bed (IS)> ^ <Facility (HD)> ^ <Location Status (IS)> ^ <Person Location Type (IS)> ^ <Building (IS)> ^ <Floor (IS)> ^ <Location Description (ST)> ^ <Comprehensive Location Identifier (EI)> ^ <Assigning Authority for Location (HD)>

副成分 Facility (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 Comprehensive Location Identifier (EI): <Entity Identifier (ST)> & <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

副成分 Assigning Authority for Location (HD): <Namespace ID (IS)> & <Universal ID (ST)> & <Universal ID Type (ID)>

定義: このフィールドは検査/サービスをオーダできるロケーションを示す。

OM7-22 Formulary Status 公式処方状況 (IS) 01498

定義: このフィールドはサービス (薬) が公式処方であるか否かを示す。取りうる値は使用者定義表 0473 - 公式処方状況を参照。

使用者定義表 0473 - Formulary Status 公式処方状況

Value	Description
G	公定の検査/サービスであり、ガイドラインがある
N	公定の検査/サービスでない
R	公定の検査/サービスであるが限定されている
Y	公定の検査/サービスである

OM7-23 Special Order Indicator 特別オーダ標識 (ID) 01499

定義: このフィールドはサービス (薬) が特別なオーダか否かを示す。

Y これは特別オーダである。

N これは特別オーダでない。

OM7-24 Primary Key Value – CDM 主キー値 - CDM (CWE) 01306

成分: <Identifier (ST)> ^ <Text (ST)> ^ <Name of Coding System (ID)> ^ <Alternate Identifier (ST)> ^ <Alternate Text (ST)> ^ <Name of Alternate Coding System (ID)> ^ <Coding System Version ID (ST)> ^ <Alternate Coding System Version ID (ST)> ^ <Original Text (ST)>

定義: サービス／検査／観察項目を CIM (charge item master 課金項目マスタ) と関連付ける。単一 SIM 項目に複数の課金項目を許すことは可能である。

付録—1. メッセージ例

注：以下の例文中に出現する“99zzz”は、次のような意味で用いている。

99S01	職員などスタッフを表すローカルコード
99U01	単位を表すローカルコード
99C01	容器を表すローカルコード
99T01	端末を表すローカルコード
99E01	設備を表すローカルコード
99I01	検査項目を表すローカルコード
99M01	検査材料を表すローカルコード
99K01	コメントを表すローカルコード
99R01	診療科を表すローカルコード
99P01	病棟を表すローカルコード
99D01	部門を表すローカルコード
99N01	ネームスペースを表すローカルコード
99V01	値を表すローカルコード
99F01	マスタファイル体系を表すローカルコード
99A01	添加物を表すローカルコード
99Y01	薬剤を表すローカルコード
99B01	病名を表すローカルコード
99L01	その他のローカルコード

1. 検体検査依頼送信メッセージの例

HL7 V2.5 仕様の日本語を含む検体検査依頼メッセージ mn123 を 2015/10/11 に訓練として送信。

患者氏名は山田太郎(やまだ たろう)、男、1950 年 5 月 23 日生、患者 ID は PID001 である。

患者さんは外来で第一内科（診療科コード 01）にかかっており主治医は内科二郎先生（職員 ID 0001）である。

中程度の発疹を 1965.1.1 に起こしたことがありピリン系薬物アレルギーと認められる。

内科二郎先生は 2015/10/11 9:30 に、本日（10/11）通常の優先度で、HbA1c、生化学肝セット (GOT,GPT,LDH-ISO)および 75g 糖負荷試験(前,30 分,60 分,120 分)を実施するよう依頼、オーダ番号はそれぞれ 0523001,0523002,0523003、そのオーダグループ番号は 0523001 で、オーダ先は LAB である。

それら検査のための検体は 2015/10/11 に採取され、HbA1c は全血（添加物入り）で検体番号 1001 で 1 検体、生化学は血清で検体番号 2001 で 1 検体、75g 糖負荷試験は前値,30 分,60 分,120 分のヘパリン血漿で検体番号は 3001~3004 の 4 検体である。

(1) 検体検査依頼送信 OML_021 メッセージの例（SPM セグメントを記載する場合）

```
MSH|^~&|||20151011093056|OML^021^OML_021|mn123|T|2.5|||~ISO IR87|ISO 2022-1994<cr>
PID||PID001||山田太郎^^^^^L^I~やまだたろう^^^^^L^P|19500523|M<cr>
PV1||0|01^^^^^C|||^内科二郎^^^^^^L^I||01<cr>
AL1|1|DA|^ピリン系薬物|M0|発疹|19650101<cr>
ORC|NW|0523001|0523001|||20151011093056||0001^内科二郎
      ^^^^^^^L^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011|R<cr>
OBR|1|0523001|3D0450000019204^HbA1c^JC10||20151011|||0001^内科二郎
      ^^^^^^^L^I|||LAB|||1<cr>
SPM|1|1001|019^全血（添加物入り）^JC10|||20151011|||1<cr>
ORC|NW|0523002|0523001|||20151011093056||0001^内科二郎
      ^^^^^^^L^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011|R<cr>
OBR|1|0523002|^生化学肝 set^99I01||20151011|||023|0001^内科二郎
      ^^^^^^^L^I|||LAB|||1<cr>
OBX|1|3B0350000023272^GOT^JC10|||0<cr>
OBX|2|3B0450000023272^GPT^JC10|||0<cr>
OBX|3|3B0550000023233^LDH-ISO^JC10|||0<cr>
```

```

SPM|1|2001||023^血清^JC10|||20151011|||1<cr>
ORC|NW|0523003-1||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-1|^75gOGTT^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
OBX|1||3D0101000022272^血糖前値^JC10|||0<cr>
SPM|1|3001||022^血漿^JC10||01^へ^リン^99A01|||20151011|||1<cr>
ORC|NW|0523003-2||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-2|^75gOGTT^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
OBX|1||3D0101030022272^血糖 30M^JC10|||0<cr>
SPM|1|3002||022^血漿^JC10||01^へ^リン^99A01|||20151011|||1<cr>
ORC|NW|0523003-3||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-3|^75gOGTT^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
OBX|1||3D0101060022272^血糖 60M^JC10|||0<cr>
SPM|1|3003||022^血漿^JC10||01^へ^リン^99A01|||20151011|||1<cr>
ORC|NW|0523003-4||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-4|^75gOGTT^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
OBX|1||3D0101120022272^血糖 120M^JC10|||0<cr>
SPM|1|3004||022^血漿^JC10||01^へ^リン^99A01|||20151011|||1<cr>

```

(2) 検体検査依頼送信 OML_021 メッセージの例 (SPM セグメントを省略する場合-容器情報を部門側で管理する場合に適している)

```

MSH|^~&|||20151011093056|OML^021^OML_021|mn123|T|2.5|||~ISO IR87|ISO 2022-1994<cr>
PID||PID001||山田^太郎^^^^^L^I~やまだ^たろう^^^^^L^P|19500523|M<cr>
PV1||O|01^^^^^C|||^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I||01<cr>
AL1|1|DA|^ビリン系薬物|MO|発疹|19650101<cr>
ORC|NW|0523001||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523001||3D0450000019204^HbA1c^JC10||20151011|||019^全血 (添加物入り)^JC10|^内科
      ^二郎^^^^^L^I|||LAB|||1<cr>
ORC|NW|0523002||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523002|^生化学肝 set^99I01||20151011|||023^血清^JC10|^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
OBX|1||3B0350000023272^GOT^JC10|||0<cr>
OBX|2||3B0450000023272^GPT^JC10|||0<cr>
OBX|3||3B0550000023233^LDH-ISO^JC10|||0<cr>
ORC|NW|0523003||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003|^75gOGTT^99I01||20151011|||022^血漿^JC10|^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||4<cr>
OBX|1||3D0101000022272^血糖前値^JC10|||0<cr>
OBX|2||3D0101030022272^血糖 30M^JC10|||0<cr>
OBX|3||3D0101060022272^血糖 60M^JC10|||0<cr>
OBX|4||3D0101120022272^血糖 120M^JC10|||0<cr>

```

この例では、SPM-4に記載される検体タイプを OBR-15 に記載してる。

(3) 検体検査依頼送信 OML_033 メッセージの例

```
MSH|^~&|||20151011093056||OML^033^OML_033|mn123|T|2.5|||~ISO IR87|ISO 2022-1994<cr>
PID|||PID001||山田^太郎^^^^^L^I~やまだ^たろう^^^^^L^P||19500523|M<cr>
PV1||0|01^^^^^C|||内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
AL1|1|DA|^ピリン系薬物|MO|発疹|19650101<cr>
SPM|1|1001||019^全血(添加物入り)^JC10|||20151011|||1<cr>
ORC|NW|0523001||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523001||3D0450000019204^HbA1c^JC10||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
SPM|2|02001||023^血清^JC10|||20151011|||1<cr>
ORC|NW|0523002||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523002||^生化学肝 set^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
OBX|1||3B0350000023272^GOT^JC10|||0<cr>
OBX|2||3B0450000023272^GPT^JC10|||0<cr>
OBX|3||3B0550000023233^LDH-ISO^JC10|||0<cr>
SPM|3|3001||022^血漿^JC10||01^~^パリン^99A01|||20151011|||1<cr>
ORC|NW|0523003-1||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-1||^75gOGTT^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
OBX|1||3D0101000022272^血糖前値^JC10|||0<cr>
SPM|4|3002||022^血漿^JC10||01^~^パリン^99A01|||20151011|||1<cr>
ORC|NW|0523003-2||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-2||^75gOGTT^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
OBX|1||3D0101030022272^血糖 30M^JC10|||0<cr>
SPM|5|3003||022^血漿^JC10||01^~^パリン^99A01|||20151011|||1<cr>
ORC|NW|0523003-3||0523001|||20151011093056|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-3||^75gOGTT^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
OBX|1||3D0101060022272^血糖 60M^JC10|||0<cr>
SPM|6|3004||022^血漿^JC10||01^~^パリン^99A01|||20151011|||1<cr>
ORC|NW|0523003-4||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-4||^75gOGTT^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
OBX|1||3D0101120022272^血糖 120M^JC10|||0<cr>
```

(4) 検体検査依頼送信 OML_035 メッセージの例

```
MSH|^~&|||20151011093056||OML^035^OML_035|mn123|T|2.5|||~ISO IR87|ISO 2022-1994<cr>
PID|||PID001||山田^太郎^^^^^L^I~やまだ^たろう^^^^^L^P||19500523|M<cr>
PV1||0|01^^^^^C|||内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
AL1|1|DA|^ピリン系薬物|MO|発疹|19650101<cr>
SPM|1|1001||019^全血(添加物入り)^JC10|||20151011|||1<cr>
SAC||1001<cr>
ORC|NW|0523001||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523001||3D0450000019204^HbA1c^JC10||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
```

```

SPM|2|2001||023^血清^JC10|||20151011|||1<cr>
SAC||2001<cr>
ORC|NW|0523002||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523002||^生化学肝 set^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
OBX|1||3B0350000023272^GOT^JC10|||0<cr>
OBX|2||3B0450000023272^GPT^JC10|||0<cr>
OBX|3||3B0550000023233^LDH-ISO^JC10|||0<cr>
SPM|3|3001||022^血漿^JC10||01^へパリン^99A01|||20151011|||1<cr>
SAC||3001<cr>
ORC|NW|0523003-1||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-1||^75gOGTT^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
OBX|1||3D0101000022272^血糖前値^JC10|||0<cr>
SPM|4|3002||022^血漿^JC10||01^へパリン^99A01|||20151011|||1<cr>
SAC||3002<cr>
ORC|NW|0523003-2||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-2||^75gOGTT^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
OBX|1||3D0101030022272^血糖 30M^JC10|||0<cr>
SPM|5|3003||022^血漿^JC10||01^へパリン^99A01|||20151011|||1<cr>
SAC||3003<cr>
ORC|NW|0523003-3||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-3||^75gOGTT^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
OBX|1||3D0101060022272^血糖 60M^JC10|||0<cr>
SPM|6|3004||022^血漿^JC10||01^へパリン^99A01|||20151011|||1<cr>
SAC||3004<cr>
ORC|NW|0523003-4||0523001|||20151011093056||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBR|1|0523003-4||^75gOGTT^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
      ^^^^^^^L^^^^^I|||LAB|||1<cr>
OBX|1||3D0101120022272^血糖 120M^JC10|||0<cr>

```

2. 到着確認 OUL メッセージの例

HL7 V2.5 仕様の日本語を含む検体到着確認メッセージ mn256 を 2015/10/12 に訓練として送信。
 このメッセージは検体到着確認の例であることを実施者側が注釈。
 患者氏名は山田太郎(やまだ たろう)、男、1950 年 5 月 23 日生、患者 ID は PID001 である。
 患者さんは外来で第一内科（診療科コード 01）にかかっており主治医は内科二郎先生（職員 ID 0001）である。
 中程度の発疹を 1965.1.1 に起こしたことがありピリン系薬物アレルギーと認められる。
 内科二郎先生は 2015/10/11 9:30 に、本日（10/11）通常の優先度で、HbA1c、生化学肝セット (GOT,GPT,LDH-ISO)および 75g 糖負荷試験(前,30 分,60 分,120 分)を実施するよう依頼、オーダー番号はそれぞれ 0523001,0523002,0523003、そのオーダーグループ番号は 0523001 で、オーダー先は LAB である。
 それら検査のための検体は 2015/10/11 に採取され、HbA1c は全血（添加物入り）で検体番号 1001 で 1 検体、生化学は血清で検体番号 2001 で 1 検体、75g 糖負荷試験は前値,30 分,60 分,120 分のへパリン血漿で検体番号は 3001～3004 の 4 検体である。

この検査依頼ならびに検体は 2015/10/12 8:30 に受理され、LAB の職員 ID LAB99 の篠原検査技師によってメッセージ入力された。

```
MSH|^~&|||20151012083056|OUL^R22^OUL_R22|mn256|T|2.5|||~ISO IR87|ISO 2022-1994<cr>
PID|||PID001||山田^太郎^^^^^L^I~やまだ^たろう^^^^^L^P||19500523|M<cr>
PV1||0|01^^^^^C|||^^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
SPM|1|1001||019^全血(添加物入り)^JC10|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523001|123456701^LAB|3D0450000019204^HbA1c^JC10||20151011|||^^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||LAB|I|||1<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|IP||20151012083056|LAB99^篠原^聖子
^^^^^^L^^^^^I||0001^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
SPM|2|2001||023^血清^JC10|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523002|123456702^LAB|^生化学肝 set^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||LAB|I|||1<cr>
ORC|SC|0523002|123456702^LAB|0523001|IP||20151012083056|LAB99^篠原^聖子
^^^^^^L^^^^^I||0001^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1||3B035000002327201^GOT^JC10|||I<cr>
OBX|2||3B045000002327201^GPT^JC10|||I<cr>
OBX|3||3B05500000232300^LDH-ISO^JC10|||I<cr>
SPM|3|3001||022^血漿^JC10||01^ヘパリン^99A01|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523003-1|123456703^LAB|^75gOGTT^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||LAB|I|||1<cr>
ORC|SC|0523003-1|123456703^LAB|0523001|IP||20151012083056|LAB99^篠原^聖子
^^^^^^L^^^^^I||0001^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1||3D010100002227201^血糖前値^JC10|||I<cr>
SPM|4|3002||022^血漿^JC10||01^ヘパリン^99A01|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523003-2|123456704^LAB|^75gOGTT^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||LAB|I|||1<cr>
ORC|SC|0523003-2|123456704^LAB|0523001|IP||20151012083056|LAB99^篠原^聖子
^^^^^^L^^^^^I||0001^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1||3D010103002227201^血糖 30M^JC10|||I<cr>
SPM|5|3003||022^血漿^JC10||01^ヘパリン^99A01|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523003-3|123456705^LAB|^75gOGTT^99I01||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||LAB|I|||1<cr>
ORC|SC|0523003-3|123456705^LAB|0523001|IP||20151012083056|LAB99^篠原^聖子
^^^^^^L^^^^^I||0001^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1||3D010106002227201^血糖 60M^JC10|||I<cr>
SPM|6|3004||022^血漿^JC10||01^ヘパリン^99A01|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523003-4|123456706^LAB|^75gOGTT^99I01||20151011|||001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||LAB|I|||1<cr>
ORC|SC|0523003-4|123456706^LAB|0523001|IP||20151012083056|LAB99^篠原^聖子
^^^^^^L^^^^^I||0001^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1||3D010112002227201^血糖 120M^JC10|||I<cr>
```

3. 検体検査結果メッセージの例

HL7 V2.5 仕様の日本語を含む検体検査結果メッセージ mn768 を 2015/10/14 に訓練として送信。
患者氏名は山田太郎(やまだ たろう)、男、1950 年 5 月 23 日生、患者 ID は PID001 である。
患者さんは外来で第一内科(診療科コード 01)にかかっており主治医は内科二郎先生(職員 ID 0001)である。

中程度の発疹を 1965.1.1 に起こしたことがありピリン系薬物アレルギーと認められる。

内科二郎先生は 2015/10/11 9:30 に、本日（10/11）通常の優先度で、HbA1c、生化学肝セット (GOT,GPT,LDH-ISO)および 75g 糖負荷試験(前,30 分,60 分,120 分)を実施するよう依頼、オーダー番号はそれぞれ 0523001,0523002,0523003、そのオーダーグループ番号は 0523001 で、オーダー先は LAB である。

それら検査のための検体は 2015/10/11 に採取され、HbA1c は全血（添加物入り）で検体番号 1001 で 1 検体、生化学は血清で検体番号 2001 で 1 検体、75g 糖負荷試験は前値,30 分,60 分,120 分のヘパリン血漿で検体番号は 3001~3004 の 4 検体である。

依頼ならびに検体は検査所 LAB で 2015/10/12 に受理され、2015/10/13 に結果を得た。HbA1c、生化学肝セットは技師太郎検査技師により検査され、HbA1c 5.0% 基準値 4.3~5.8%で基準値内、GOT 50U 基準値 6-28 正常母集団からみて高値、GPT 5U 3-9 基準値内、LDH-ISO は分画でそれぞれ 10,30,20,40%であった。75g 糖負荷試験血糖値は技師二郎検査技師により検査され、80,150,100,60mg/dl ですべて基準値内であった。検査料はそれぞれ 2000 円、1000 円、3000 円である。

(1) 検体検査結果 OUL_R22 メッセージの例

```
MSH|^~&|||20151013093056||OUL^R22^OUL_R22|mn768|T|2.5|||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID||PID001||山田^太郎^^^^^L^I~やまだ^たろう^^^^^L^P||19500523|M<cr>
PV1||O|01^^^^^C|||内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
SPM|1|1001||019^全血（添加物入り）^JC10|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523001|123456701^LAB|3D0450000019204^HbA1c^JC10|||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||20151013|2000^YEN|LAB|F|||S01&技師&太郎||1<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
SPM|2|2001||023^血清^JC10|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523002|123456702^LAB|^生化学肝 set^99I01|||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||20151013|1000^YEN|LAB|F|||S01&技師&太郎||1<cr>
ORC|SC|0523002|123456702^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3B035000002327201^GOT^JC10||50|U|6-28|H||N|F|||LAB<cr>
OBX|2|NM|3B045000002327201^GPT^JC10||5|U|3-9||N|F|||LAB<cr>
OBX|3|ST|3B055000002323300^LDH-ISO^JC10|||F|||LAB<cr>
OBX|4|NM|3B055000002323351^LDH1^JC10||10|%||F|||LAB<cr>
OBX|5|NM|3B055000002323352^LDH2^JC10||30|%||F|||LAB<cr>
OBX|6|NM|3B055000002323353^LDH3^JC10||20|%||F|||LAB<cr>
OBX|7|NM|3B055000002323354^LDH4^JC10||40|%||F|||LAB<cr>
SPM|3|3001||022^血漿^JC10||01^ヘパリン^99A01|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523003-1|123456703^LAB|^75gOGTT^99I01|||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||20151013|3000^YEN|LAB|F|||S02&技師&二郎||1<cr>
ORC|SC|0523003-1|123456703^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3D010100002227201^血糖前値^JC10||80|mg/dL|60-100||N|F|||LAB<cr>
SPM|4|3002||022^血漿^JC10||01^ヘパリン^99A01|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523003-2|123456704^LAB|^75gOGTT^99I01|||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||20151013||LAB|F|||S02&技師&二郎||1<cr>
ORC|SC|0523003-2|123456704^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3D010103002227201^血糖 30M^JC10||150|mg/dL|90-200||N|F|||LAB<cr>
SPM|6|3003||022^血漿^JC10||01^ヘパリン^99A01|||20151011|201510120830|||1<cr>
OBR|1|0523003-3|123456705^LAB|^75gOGTT^99I01|||20151011|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||20151013||LAB|F|||S02&技師&二郎||1<cr>
ORC|SC|0523003-3|123456705^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||0<cr>
TQ1|1|||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3D010106002227201^血糖 60M^JC10||100|mg/dL|80-160||N|F|||LAB<cr>
```

```
SPM|7|3004||022^血糖^JC10||01^ヘパリン^99A01|||||20151011|201510120830|||||1<cr>
OBR|1|0523003-4|123456706^LAB|^75gOGTT^99I01|||20151011|||||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||20151013||LAB|F|||||S02&技師&二郎|||1<cr>
ORC|SC|0523003-4|123456706^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||0<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3D010112002227201^血糖 120M^JC10||60|mg/dL|50-100||N|F|||LAB<cr>
```

(2) 検体検査結果 ORU_R01 メッセージの例

OUR_R01 では SPM セグメントの省略が可能となる。以下に省略した場合のメッセージ例を示す。

```
MSH|^~&|||20151014115956||ORU^R01^ORU_R01|mn768|T|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID||PID001||山田^太郎^^^^^L^I~やまだ^たろう^^^^^L^P||19500523|M<cr>
PV1||O|01^^^^^C|||^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||0<cr>
OBR|1|0523001|123456701^LAB|3D0450000019204^HbA1c^JC10||20151011|||||201510120830|019&
全血 (添加物入り) &JC10|0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||20151013|2000^YEN|LAB|F|||||S01&技師&太郎|||1<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3D0450000019204^HbA1c^JC10||5.5|%|4.6-6.2||N|F|||LAB<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||0<cr>
OBR|1|0523002|123456702^LAB|^生化学肝 set^99I01|||20151011|||||201510120830|023&血清
&JC10|0001^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||||20151013|1000^YEN|LAB|F|||||S01&技師&太郎
|||1<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3B035000002327201^GOT^JC10||50|U|6-28|H||N|F|||LAB<cr>
OBX|2|NM|3B045000002327201^GPT^JC10||5|U|3-9||N|F|||LAB<cr>
OBX|3|ST|3B055000002323300^LDH-ISO^JC10|||||F|||LAB<cr>
OBX|4|NM|3B055000002323351^LDH1^JC10||10|%|||F|||LAB<cr>
OBX|5|NM|3B055000002323352^LDH2^JC10||30|%|||F|||LAB<cr>
OBX|6|NM|3B055000002323353^LDH3^JC10||20|%|||F|||LAB<cr>
OBX|7|NM|3B055000002323354^LDH4^JC10||40|%|||F|||LAB<cr>
ORC|SC|0523001|123456701^LAB|0523001|CM|||20151013093056|||0001^内科^二郎
^^^^^^L^^^^^I|||||0<cr>
OBR|1|0523003-1|123456703^LAB|^75gOGTT^99I01|||20151011|||||201510120830|022&血糖
&JC10|0001^内科^二郎^^^^^^L^^^^^I|||||20151013|3000^YEN|LAB|F|||||S02&技師&二郎
|||4<cr>
TQ1|1|||||20151011||R<cr>
OBX|1|NM|3D010100002227201^血糖前値^JC10||80|mg/dL|60-100||N|F|||LAB<cr>
OBX|2|NM|3D010103002227201^血糖 30M^JC10||150|mg/dL|90-200||N|F|||LAB<cr>
OBX|3|NM|3D010106002227201^血糖 60M^JC10||100|mg/dL|80-160||N|F|||LAB<cr>
OBX|4|NM|3D010112002227201^血糖 120M^JC10||60|mg/dL|50-100||N|F|||LAB<cr>
```

4. 患者特有の臨床情報を伴った検査報告メッセージの例

クレアチニンクリアランスのための身長体重の報告含む。

```
MSH|^~&|LIS|IHE-J^OF|HIS|IHE-J^OP|20151101131032|OUL^R22^OUL_R22|20151101131032|P|2.5|
||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^^L^I~ソウゴ^タロウ
^^^^^L^P||19630926|M||^105-0004^^H^東京都港区新橋 2 丁目 5 番 5 号
||^PRN^PH^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001&&00076787001^20151101000001&&11010001001||023^血清
^JC10|||||201511011200|20151101131032|||||001^茶・生化学^99C01<cr>
SAC||00076787001|||20151101131032<cr>
OBR|1|ord0001|20151101000001|8A025000009827129^24 時間クレアチニンクリアランス^JC10
```

```

|||201511011200|||||||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ
^^^^^^L^^^^^P|||||20151101131032|||F<cr>
ORC|SC|ord0001|||CM|||||20151101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドク
タメイ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||||01^内科^99R01|||||||0<cr>
TQ1|1|||||20151101||R<cr>
OBX|1|NM|3C015000002327201^クレアチニン(血
清)^JC10||1.00|mg/dl|0.61-1.04||||F|||20151101123500<cr>
OBX|2|NM|8A025000009827129^24 時間クレアチニンクリアランス
^JC10||107.2|1^L/day^99U01|93.0-238.0||||F|||20151101123500<cr>
SPM|2|00076787001&&00076787001^20151101000001&&11010001001||004^蓄尿
^JC10|||||||201511011200|20151101131032|||||||002^尿・生化学^99C02<cr>
OBR|1|ord0001|20151101000001|8A025000009827129^24 時間クレアチニンクリアランス^JC10
||||201511011200|||||||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ
^^^^^^L^^^^^P|||||20151101131032|||F<cr>
ORC|SC|ord0001|||CM|||||20151101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドク
タメイ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||||01^内科^99R01|||||||0<cr>
TQ1|1|||||20151101||R<cr>
OBX|1|NM|3C015000000427101^クレアチニン
(尿)^JC10||1.5|mg/dl|1.0-1.5||||F|||20151101123500<cr>
OBX|2|NM|8A025000009827129^24 時間クレアチニンクリアランス
^JC10||107.2|1^L/day^99U01|93.0-238.0||||F|||20151101123500<cr>

```

4.4.1 と同様に身長、体重、尿量は依頼メッセージの OBX で記述をするが、結果としては返送しないことを想定している。

5. 計算項目のオーダメッセージと検査結果メッセージの例

オーダメッセージに計算項目の依頼が存在する場合や、他の検査結果から計算される検査結果が発生する場合、検査の種類や結果、検査機関の運用によっては、オーダメッセージの検査結果セグメント(OBX)になかった検査項目が、検査結果メッセージの検査結果セグメント(OBX)が加えられることがある。

すなわち、検査結果メッセージの検査結果セグメント(OBX)の出現件数は、検査依頼項目数と同一ではなく、検査の種類や結果、検査機関の運用により、可変となる。

例えば、総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)から計算される A/G 比の場合、診療機関、検査機関の運用によっては、以下の数パターンが考えられる。

<<例 1>>

診療機関が A/G 比をオーダした場合、検査機関は、総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)を自動的に測定して、A/G 比を計算するが、報告される検査結果は、A/G 比のみとなる。

(1) 例 1 オーダメッセージ

*依頼項目数: 1

(a) 検査項目を OBX-3 に記載

```

MSH|^~\&|OP^HIS|IHE-J^OP|OF^LIS|IHE-J^OF|20151101103040||OML^033^OML_033|20151101103040|P
|2.5||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^L^I~ソウゴ^タロウ
^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0004^^H^東京都港区新橋 2 丁目 5 番 5 号
||^PRN^PH^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||0|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001&OP&00076787001||023^血清^JC10|||||||201511011200|||||||001^茶・
生化学^99C01<cr>
ORC|NW|ord0001|||||20151101103040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメ
イ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||||01^内科^99R01|||||||0<cr>
TQ1|1|||||20151101||R<cr>

```

© JAHIS 2016

OBR|1|ord0001|E002^生化学的検査^JHSIOB0003||201511010939|||||||0001^ドクタ姓^ドクタ名
 ^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^^P<cr>
 OBX|1||3A0160000023271^A/G比^JC10|||||||0||R<cr>

(b) 検査項目を OBR-4 に記載

MSH|^~&|OP^HIS|IHE-J^OF|OF^LIS|IHE-J^OF|20151101103040||OML^033^OML_033|20151101103040|P
 |2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
 PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^L^I~ソウゴ^タロウ
 ^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号
 ||^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
 PV1||O|01^^^^^C<cr>
 SPM|1|00076787001&00076787001||023^血清^JC10|||||||201511011200|||||||001^茶・
 生化学^99C01<cr>
 ORC|NW|ord0001|||||20151101103040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタ
 メイ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||||||0<cr>
 TQ1|1|||||20151101||R<cr>
 OBR|1|ord0001|3A0160000023271^A/G比^JC10||201511010939|||||||0001^ドクタ姓^ドクタ名
 ^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^^P<cr>

(2) 例1 検査結果メッセージ

*結果項目数: 1

(a) 検査項目を OBX-3 に記載

MSH|^~&|OF^LIS|IHE-J^OF|OP^HIS|IHE-J^OF|20151101131032||OUL^R22^OUL_R22|20151101131032|P
 |2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
 PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^L^I~ソウゴ^タロウ
 ^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号
 ||^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
 PV1||O|01^^^^^C<cr>
 SPM|1|00076787001&&00076787001^20151101000001&&11010001001||023^血清
 ^JC10|||||||201511011200|20151101131032|||||||001^茶・生化学^99C01<cr>
 SAC|||00076787001|||20151101131032<cr>
 OBR|1|ord0001|20151101000001|E002^生化学的検査^JHSIOB0003||201511011200|||||||0001^ドクタ
 姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^^P|||||20151101131032|||F<cr>
 ORC|SC|ord0001||CM|||20151101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドク
 タメイ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||||||0<cr>
 TQ1|1|||||20151101||R<cr>
 OBX|1|NM|3A016000002327102^A/G比^JC10||1.7||1.2-2.0|||F||R|20151101123500|01^技師
 1^99S01|||20151101123500<cr>

(b) 検査項目を OBR-4 に記載

MSH|^~&|OF^LIS|IHE-J^OF|OP^HIS|IHE-J^OF|20151101131032||OUL^R22^OUL_R22|20151101131032|P
 |2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
 PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^L^I~ソウゴ^タロウ
 ^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号
 ||^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
 PV1||O|01^^^^^C<cr>
 SPM|1|00076787001&&00076787001^20151101000001&&11010001001||023^血清
 ^JC10|||||||201511011200|20151101131032|||||||001^茶・生化学^99C01<cr>
 SAC|||00076787001|||20151101131032<cr>
 OBR|1|ord0001|20151101000001|3A016000002327102^A/G比^JC10||201511011200|||||||0001^ド
 クタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ
 ^^^^^^L^^^^^P|||||20151101131032|||F<cr>
 ORC|SC|ord0001||CM|||20151101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドク
 タメイ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||||||0<cr>
 TQ1|1|||||20151101||R<cr>
 OBX|1|NM|3A016000002327102^A/G比^JC10||1.7||1.2-2.0|||F||R|20151101123500|01^技師
 1^99S01|||20151101123500<cr>

<<例2>>

診療機関がA/G比をオーダーした場合、検査機関は、総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)を自動的に測定して、A/G比を計算し、報告される検査結果も、A/G比、総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)となる。

(1) 例2 オーダメッセージ

*依頼項目数: 1

(a) 検査項目をOBX-3に記載

```
MSH|^~&|OP^HIS|IHE-J^OP|OF^LIS|IHE-J^OF|20151101103040||OML^033^OML_033|20151101103040|P
|2.5|||~ISO IR87|ISO 2022-1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^^L^I~ソウゴ^タロウ
^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号
|^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||0|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001&OP&00076787001||023^血清^JC10|||201511011200|||001^茶・
生化学^99C01<cr>
ORC|NW|ord0001|||20151101103040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメ
イ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||0<cr>
TQ1|1|||20151101||R<cr>
OBR|1|ord0001|E002^生化学的検査^JHSIOB0003||201511010939|||0001^ドクタ姓^ドクタ名
^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^^P<cr>
OBX|1||3A0160000023271^A/G比^JC10|||0||R<cr>
```

(b) 検査項目をOBR-4に記載

```
MSH|^~&|OP^HIS|IHE-J^OP|OF^LIS|IHE-J^OF|20151101103040||OML^033^OML_033|20151101103040|P
|2.5|||~ISO IR87|ISO 2022-1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^^L^I~ソウゴ^タロウ
^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号
|^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||0|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001&OP&00076787001||023^血清^JC10|||201511011200|||001^茶・
生化学^99C01<cr>
ORC|NW|ord0001|||20151101103040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメ
イ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||0<cr>
TQ1|1|||20151101||R<cr>
OBR|1|ord0001|3A0160000023271^A/G比^JC10||201511010939|||0001^ドクタ姓^ドクタ名
^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^^P<cr>
```

(2) 例2 検査結果メッセージ

*結果項目数: 3

(a) 検査項目をOBX-3に記載

```
MSH|^~&|OF^LIS|IHE-J^OF|OP^HIS|IHE-J^OP|20151101131032||OUL^R22^OUL_R22|20151101131032|P
|2.5|||~ISO IR87|ISO 2022-1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^^L^I~ソウゴ^タロウ
^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号
|^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||0|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001&&00076787001^20151101000001&&11010001001||023^血清
^JC10|||201511011200|20151101131032|||001^茶・生化学^99C01<cr>
SAC|||00076787001||20151101131032<cr>
OBR|1|ord0001|20151101000001|E002^生化学的検査^JHSIOB0003||201511011200|||0001^ドクタ
姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^^P|||20151101131032|||F
<cr>
ORC|SC|ord0001||CM|||20151101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドク
タメイ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||0<cr>
```

TQ1|1|||||20151101|R<cr>
 OBX|1|NM|3A016000002327102^A/G比^JC10||1.7||1.2-2.0||||F||R|20151101123500|01^技師1
 ^99S01||||20151101123500<cr>
 OBX|2|NM|3A010000002327101^総タンパク(TP)^JC10||7.2|1^g
 /dL^99U01|6.70-8.3||||F||R|20151101123500|01^技師1^99S01||||20151101123500<cr>
 OBX|3|NM|3A015000002327101^アルブミン(ALB)^JC10||4.9|1^g
 /dL^99U01|3.7-5.5||||F||R|20151101123500|01^技師1^99S01||||20151101123500<cr>

(b) 検査項目を OBR-4 に記載

MSH|^~*|OF^LIS|IHE-J^OF|OP^HIS|IHE-J^OP|20151101131032||OUL^R22^OUL_R22|20151101131032|P
 |2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
 PID|||0001000052^PI||相互^太郎^^^^^L^I~ソウゴ^タロウ
 ^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号
 ||^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
 PV1||O|01^^^^^C<cr>
 SPM|1|00076787001&&00076787001^20151101000001&&11010001001||023^血清
 ^JC10|||||||||201511011200|20151101131032|||||||001^茶・生化学^99C01<cr>
 SAC|||00076787001|||20151101131032<cr>
 OBR|1|ord0001|20151101000001|3A016000002327102^A/G比^JC10||201511011200|||||||0001^ド
 クタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^^P|||||20151101131032|||F
 <cr>
 ORC|SC|ord0001||CM|||20151101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドク
 タメイ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||||||||0<cr>
 TQ1|1|||||20151101|R<cr>
 OBX|1|NM|3A016000002327102^A/G比^JC10||1.7||1.2-2.0||||F||R|20151101123500|01^技師1
 ^99S01||||20151101123500<cr>
 OBX|2|NM|3A010000002327101^総タンパク(TP)^JC10||7.2|1^g
 /dL^99U01|6.70-8.3||||F||R|20151101123500|01^技師1^99S01||||20151101123500<cr>
 OBX|3|NM|3A015000002327101^アルブミン(ALB)^JC10||4.9|1^g
 /dL^99U01|3.7-5.5||||F||R|20151101123500|01^技師1^99S01||||20151101123500<cr>

<<例3>>

診療機関が総タンパク(TP)、アルブミン(ALB)をオーダーした場合、検査機関は、総タンパク(TP)、アル
 ブミン(ALB)を測定して、A/G比を自動的に計算し、報告される検査結果も、総タンパク(TP)、アルブ
 ミン(ALB)、A/G比となる。

(1) 例3 オーダメッセージ

(a) 検査項目を OBX-3 に記載

MSH|^~*|OP^HIS|IHE-J^OP|OF^LIS|IHE-J^OF|20151101103040||OML^033^OML_033|20151101103040|P
 |2.5|||||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
 PID|||0001000052^PI||相互^太郎^^^^^L^I~ソウゴ^タロウ
 ^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号
 ||^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
 PV1||O|01^^^^^C<cr>
 SPM|1|00076787001&OP&00076787001||023^血清^JC10|||||||||201511011200|||||||001^茶・
 生化学^99C01<cr>
 ORC|NW|ord0001|||||20151101103040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメ
 イ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||||||||0<cr>
 TQ1|1|||||20151101|R<cr>
 OBR|1|ord0001|E002^生化学的検査^JHSIOB0003||201511011200|||||||0001^ドクタ姓^ドクタ名
 ^^^^^^^L^^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^^^P<cr>
 OBX|1||3A0100000023271^総タンパク(TP)^JC10|||||||0|R<cr>
 OBX|2||3A0150000023271^アルブミン(ALB)^JC10|||||||0|R<cr>

(b) 検査項目を OBR-4 に記載

MSH|^~&|OP^HIS|IHE-J^OF|OF^LIS|IHE-J^OF|20151101103040||OML^O33^OML_O33|20151101103040|P
|2.5|||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^^L^I~ソウゴ^タロウ
^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号
|^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001&OP&00076787001||023^血清^JC10|||201511011200|||001^茶・
生化学^99C01<cr>
ORC|NW|ord0001|||20151101103040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメ
イ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||0<cr>
TQ1|1|||20151101||R<cr>
OBR|1|ord0001||3A0100000023271^総タンパク(TP)^JC10||201511011200|||0001^ドクタ姓^ドク
タ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^^P<cr>
ORC|NW|ord0001|||20151101103040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメ
イ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||0<cr>
TQ1|1|||20151101||R<cr>
OBR|2|ord0001||3A0150000023271^アルブミン(ALB)^JC10||201511011200|||0001^ドクタ姓^ドク
タ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^^P<cr>

(2) 例3 検査結果メッセージ

*結果項目数: 3

(a) 検査項目を OBX-3 に記載

MSH|^~&|OF^LIS|IHE-J^OF|OP^HIS|IHE-J^OF|20151101131032||OUL^R22^OUL_R22|20151101131032|P
|2.5|||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^^L^I~ソウゴ^タロウ
^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号
|^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001&&00076787001^20151101000001&&11010001001||023^血清
^JC10|||201511011200|20151101131032|||001^茶・生化学^99C01<cr>
SAC|||00076787001|||20151101131032<cr>
OBR|1|ord0001|20151101000001|E002^生化学的検査^JHSIOB0003||201511011200|||0001^ドクタ
姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^^P|||20151101131032||F
<cr>
ORC|SC|ord0001||CM|||20151101132040|||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドク
タメイ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||0<cr>
TQ1|1|||20151101||R<cr>
OBX|1|NM|3A016000002327102^A/G比^JC10||1.7|1.2-2.0|||F|R|20151101123500|01^技師1
^99S01|||20151101123500<cr>
OBX|2|NM|3A010000002327101^総タンパク(TP)^JC10||7.2|1^g
/dL^99U01|6.70-8.3|||F|R|20151101123500|01^技師1^99S01|||20151101123500<cr>
OBX|3|NM|3A015000002327101^アルブミン(ALB)^JC10||4.9|1^g
/dL^99U01|3.7-5.5|||F|R|20151101123500|01^技師1^99S01|||20151101123500<cr>

(b) 検査項目を OBR-4 に記載

MSH|^~&|OF^LIS|IHE-J^OF|OP^HIS|IHE-J^OF|20151101131032||OUL^R22^OUL_R22|20151101131032|P
|2.5|||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
PID|||0001000052^^^^PI||相互^太郎^^^^^L^I~ソウゴ^タロウ
^^^^^L^P||19630926|M|||^^^^105-0004^^H^東京都港区新橋2丁目5番5号
|^PRN^PH^^^^^^^^^03-3506-8010<cr>
PV1||O|01^^^^^C<cr>
SPM|1|00076787001&&00076787001^20151101000001&&11010001001||023^血清
^JC10|||201511011200|20151101131032|||001^茶・生化学^99C01<cr>
SAC|||00076787001|||20151101131032<cr>
OBR|1|ord0001|20151101000001|3A016000002327102^A/G比^JC10||201511011200|||0001^ド
クタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ^^^^^^L^^^^^P|||20151101131032||F

```

<cr>
ORC|SC|ord0001||CM|||20151101132040||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドク
タメイ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||||||0<cr>
TQ1|1|||||20151101||R<cr>
OBX|1|NM|3A016000002327102^A/G比^JC10||1.7||1.2-2.0|||F||R|20151101123500|01^技師1
^99S01|||20151101123500<cr>
OBR|2|ord0001|20151101000001|3A010000002327101^総タンパク(TP)|||201511011200||||||0001^
ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドクタメイ
^^^^^^L^^^^^P|||||20151101131032||F<cr>
ORC|SC|ord0001||CM|||20151101132040||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドク
タメイ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||||||0<cr>
TQ1|1|||||20151101||R<cr>
OBX|1|NM|3A010000002327101^総タンパク(TP)^JC10||7.2|1^g
/dL^99U01|6.70-8.3|||F||R|20151101123500|01^技師1^99S01|||20151101123500<cr>
OBR|3|ord0001|20151101000001|3A015000002327101^アルブミン
(ALB)^JC10|||201511011200||||||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドク
タメイ^^^^^^L^^^^^P|||||20151101131032||F<cr>
ORC|SC|ord0001||CM|||20151101132040||0001^ドクタ姓^ドクタ名^^^^^^L^^^^^I~^ドクタセイ^ドク
タメイ^^^^^^L^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||||||0<cr>
TQ1|1|||||20151101||R<cr>
OBX|1|NM|3A015000002327101^アルブミン(ALB)^JC10||4.9|1^g
/dL^99U01|3.7-5.5|||F||R|20151101123500|01^技師1^99S01|||20151101123500<cr>

```

6. 細菌検査（培養同定・感受性試験）の例

培養同定は、培養により発生する細菌種の数が不定であるが、同定できた菌名が検査結果でありその数だけ OBX セグメントを作成する。さらに、感受性試験は同定できた菌ごとに行われるので、それに対応した OBR セグメントを生成し、試験薬剤ごとに OBX セグメントで結果報告する。感受性試験やその対象薬剤は施設により予め定めている場合と、個々に依頼する場合があるので事前の確認が必要である。同定菌を指定する場合、通常 ST タイプとなり、感受性薬剤コードとしては、JLAC10 コードを使用することが望ましいが、日本国内においては、JANIS の感染症サーベイランスが広く行われており、その統一コードを培養同定の菌名や感受性試験の試験薬剤として用いる事も可能である。この場合、同定菌名を表す OBX の OBX-2 は「CWE」となる。

(1) 血液培養依頼 OML メッセージ

<<依頼内容>>

```

依頼オーダー番号 : 081251234567800
検査項目          : 6B0100000017742(臨床検査学会コード) 培養同定(一般細菌)[材料血液]
優先度            : R=ルーチン
要求日時          : 2008/01/25 09:00
採血日時          : 2008/01/26 08:00
採血者            : 識別コード=99-2、氏名=JONES、職種=COLLECTOR
検体処置コード    : N=新生児採血
危険検体コード    : Hepatitis risk
検体              : 017^血液^JC10
採取部位          : ^^JC10
依頼者            : コード=4010、氏名=INTERN JOE、学位=MD、コード体系=L=ローカル
依頼者連絡先      : 内線 3472
サービス部門      : MB=細菌検査室
MSH|.....|OML^033^OML_033|..<cr>
PID|.....<cr>
SPM|1|012345678061||017^血液^JC10|||||採取部位
||10.0^mL&mL&99U01|||||200801260800||||||061^カルチャーボトル^99C01<cr>

```

ORC|NW.....<cr>

OBR|1|081251234567800||6B0100000017742^培養同定(一般細菌)^JC10|R|200801250900|200801260800||99-2^JONES&COLLECTOR|N|Hepatitis risk|||4010^INTERN^JOE^^^^MD^^^L<cr>

血液培養依頼時に感受性試験も明示的に依頼しなければならない場合は続けて

(2) 血液培養依頼時に感受性試験も明示的に依頼する場合(OBR)

OBR|2|081251234567800E||6C2050000099762^薬剤感受性検査-MIC^JC10|R|200801250900|200801260800|||A|||4010^INTERN^JOE^^^^MD^^^L<cr>

さらに感受性対象薬剤も明示的に指定する場合は

(3) 血液培養依頼時に感受性対象薬剤も明示的に指定する場合(OBX)

OBX|1|ST|6C205603109976205^Ampicillin MIC^JC10|||0<cr>
OBX|2|ST|6C205604209976205^Carbenicillin MIC^JC10|||0<cr>
OBX|3|ST|6C205623009976205^Gentamicin MIC^JC10|||0<cr>
OBX|4|ST|6C205628209976205^Tetracycline MIC^JC10|||0<cr>
OBX|5|ST|6C205604709976205^Piperacillin MIC^JC10|||0<cr>
OBX|6|ST|6C205608309976205^Cefuroxime MIC^JC10|||0<cr>
OBX|7|ST|6C205607109976205^Cephalothin MIC^JC10|||0<cr>
OBX|8|ST|6C205619309976205^Amoxicillin-Clavulanate^JC10|||0<cr>

(4) 血液培養報告 OUL メッセージ

<<報告内容>>

検査オーダー番号 : 200812623456781
検体受付日 : 2008/01/26 10:15
報告日 : 2008/02/03 16:30
検査部門 : MB=細菌検査室
結果状態 : 最終(培養同定)
検査結果 : 同定菌=E.Coli,S.Aureus
異常値フラグ : A=異常

MSH|...|OUL^R22^OUL_R22|...

PID|...

NTE|培養同定依頼<cr>

SPM|1|012345678061||017^血液^JC10|||採取部位
||10.0^mL&mL&L99U01|||200801260800|||061^カルチャーボトル^L<cr>

ORC|NW.....<cr>

OBR|1|081251234567800|200812623456781|6B0100000017742^培養同定(一般細菌)^JC10|R|200801250900|200801260800||99-2^JONES&COLLECTOR|N|Hepatitis risk||200801261015||4010^INTERN^JOE^^^^MD^^^L|X3472|||200802031630||MB|F<cr>

NTE|同定結果<cr>

OBX|1|ST|6B010000001774214^培養同定(一般細菌)菌名判定^JC10|1|E.Coli|||A||F<cr>
OBX|2|ST|6B010000001774211^培養同定(一般細菌)菌量^JC10|1|(+)|||A||F<cr>
OBX|3|ST|6B010000001774214^培養同定(一般細菌)菌名判定^JC10|2|S.Aureus|||A||F<cr>
OBX|4|ST|6B010000001774211^培養同定(一般細菌)菌量^JC10|2|(2+)|||A||F<cr>

(※: 培養同定結果として、同定菌 E.Coli であって、菌量(+)と設定する場合、同定菌名、菌量の関係を明示するために、OBX-4 を使用する)

続けて検査室からの感受性試験結果が有る場合

(5) 感受性試験結果の例

親結果 : 6B010000001774214&&JC10^1^E.Coli=培養同定検査の1番目の結果(E.coli)
6B010000001774214&&JC10^2^S.Aureus=培養同定検査の2番目の結果(S.Aureus)

同一のSPM内にて、上記OBXに続いて...

NTE|結果1=E.coli の感受性結果<cr>

OBR|2|081251234567800|200812623456782|6C2050000099762^薬剤感受性
MIC^JC10|R|200801250900|200801260800|||99-2^JONES&COLLECTOR|N|Hepatitis
risk||200801261015||4010^INTERN^JOE^^^^MD^^^L|X3472|||200802031630|MB|F|6B0100000
01774214&&JC10^1^E.Coli||200812623456781<cr>

NTE|E.coli の感受性結果<cr>

OBX|1|SN|6C205603109976205^Ampicillin MIC^JC10||<^2|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|2|SN|6C205604209976205^Carbenicillin MIC^JC10||<^16|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|3|SN|6C205623009976205^Gentamicin MIC^JC10||<^2|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|4|SN|6C205628209976205^Tetracycline MIC^JC10||<^1|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|5|SN|6C205604709976205^Piperacillin MIC^JC10||<^8|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|6|SN|6C205608309976205^Cefuroxime MIC^JC10||<^2|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|7|SN|6C205607109976205^Cephalothin MIC^JC10||<^8|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|8|SN|6C205619309976205^Amoxicillin-Clavulanate^JC10||<^4|ug/mL||S|||F<cr>

NTE|結果2=S.Aureus の感受性結果<cr>

OBR|3|081251234567800|200812623456783|6C2050000099762^薬剤感受性
MIC^JC10|R|200801250900|200801260800|||99-2^JONES&COLLECTOR|N|Hepatitis
risk||200801261015||4010^INTERN^JOE^^^^MD^^^L|X3472|||200802031630|MB|F|6B0100000
01774214&&JC10^2^S.Aureus||200812623456781<cr>

NTE|S.Aureus の感受性結果<cr>

OBX|1|SN|6C205603109976205^Ampicillin MIC^JC10||<^8|ug/mL||R|||F<cr>
OBX|2|SN|6C205632109976205^Clindamycin MIC^JC10||<^.25|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|3|SN|6C205623009976205^Gentamicin MIC^JC10||<^1|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|4|SN|6C205630009976205^Erythromycin MIC^JC10||<^.5|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|5|SN|6C205602109976205^Oxacillin MIC^JC10||<^1.5|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|6|SN|6C205634209976205^Vancomycin MIC^JC10||<^2|ug/mL||S|||F<cr>
OBX|7|SN|6C205601009976205^Penicillin MIC^JC10||<^8|ug/mL||R|||F<cr>
OBX|8|SN|6C205607109976205^Cephalothin MIC^JC10||<^2|ug/mL||S|||F<cr>

(6) 抗酸菌の耐性検査の結果について

抗酸菌の耐性検査結果は、同一薬剤について、複数の濃度に対しての感受性結果を入力する事になるため、結果値 OBX-5 として濃度をセットし、OBX-8 の異常フラグに SIR 値を記載する。

親結果：6B305000006174614&&JC10^1^ M.kansasii=小川培養検査の1番目の結果 (M.Kansasii)

NTE|結果1=M.Kansasii の薬剤耐性結果<cr>

OBR|3|081251234567900|200812623457785|6C105000006176801^抗酸菌薄層ディスク法
^JC10|R|200801250900|200801260800|||99-2^JONES&COLLECTOR|N|Hepatitis
risk||200801261015||4010^INTERN^JOE^^^^MD^^^L|X3472|||200802031630|MB|F|6B3050000
06174614&&JC10^1^M.kansasii||200812623456784<cr>

NTE|M.Kansasii の薬剤耐性結果<cr>

OBX|1|NM|6C105621006176801^ストレプトマイシン^JC10|1|1.0|||R|||F<cr>
OBX|2|NM|6C105621006176801^ストレプトマイシン^JC10|2|2.0|||S|||F<cr>

7. 前回値のある検査依頼（分析装置検査依頼）

前回値のある検査依頼

MSH|^~*&|LIS|IHE-J^AM|ANA|IHE-J^LD|20150205140657||OML^033^OML_033|20150205140657|P|2.5||
|||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>

PID|||0000000101^PPI||田中^一郎^L^I~タナカ^イ^チロウ^L^P||19630926|M<cr>

PV1|1|0|01^L^C<cr>

SPM|1|20150205000001_0_01&&02052001001^&&02052001001||023^血清
^JC10|||20150202000000|20150205140317|||001^生化学^99C01<cr>

SAC|||02052001001||20150205140657<cr>

ORC|NW|02052001001|||20150205140657||0001^山田^三郎^L^I~ヤマダ^サブロウ
^L^P|01^L^C|||01^内科^99R01|||0<cr>

TQ1|1|||20150205||R<cr>

```

OBR|1|20150205000001||E002^生化学的検査
    ^JHSIOB0003||201502022000|20150202000000|||20150202000000||0001^山田^三郎
    ^^^^^^^L^^^^^^I~^ヤマダ^サブロウ^^^^^^L^^^^^^P|||20150205140657<cr>
OBX|1||3A0100000023271^総タンパク(TP)^JC10|||0<cr>
OBX|2||3A0150000023271^アルブミン(ALB)^JC10|||0<cr>
PV1|2|0|01^^^^^C<cr>
ORC|PR|02012001001||CM|||20150201123541||0001^山田^三郎^^^^^^L^^^^^^I~^ヤマダ^サブロウ
    ^^^^^^^L^^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科|||0<cr>
OBR|2|20150201000001||E002^生化学的検査
    ^JHSIOB0003||201502011000|20150201000000|||20150201000000||0001^山田^三郎
    ^^^^^^^L^^^^^^I~^ヤマダ^サブロウ^^^^^^L^^^^^^P|||20150201110547||F<cr>
OBX|1|NM|3A010000002327101^総タンパク(TP)^JC10||7.2|1^g
    /dL^99U01|6.70-8.3|||F||R|20150201121500|01^技師1^99S01|||20150201121500<cr>
OBX|2|NM|3A015000002327101^アルブミン(ALB)^JC10||4.9|1^g
    /dL^99U01|3.7-5.5|||F||R|20150201121500|01^技師1^99S01|||20150201121500<cr>

```

8. LIS と自動分析装置の検査依頼メッセージの問合せと応答メッセージの例

(1) 自動分析装置から LIS へ検査依頼を問い合わせる。

採取管 ID(SAC-3)が 123456789、キャリア ID(SAC-10)が 100、キャリア内位置(SAC-11)が 98 を検索条件に設定して問い合わせる。

```

MSH|^~&|LD|IHE-J^LD|LIS|IHE-J^AM|2015012170824|QBP^WOS^QBP_Q11|2015012170824|P|2.5||
||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
QPD|WOS^Work Order Step^IHE_LABTF|2015012170824|^&&123456789|123456789|100|98<cr>
RCP|I|1^RD|R<cr>

```

(2) LIS から自動分析装置へ検査依頼情報を回答する。

採取管 ID(SAC-3)が 123456789、キャリア ID(SAC-10)が 100、キャリア内位置(SAC-11)が 98 である検査依頼情報を回答する。

(a) 検査項目を OBX-3 に記載

```

MSH|^~&|LIS|IHE-J^AM|LD|IHE-J^LD|2015012170950|RSP^WOS^RSP_K11|2015012170950|P|2.5||
||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
MSA|AA|2015012170824<cr>
QAK|Q001|OK|WOS^Work Order Step^IHE_LABTF|1<cr>
QPD|WOS^Work Order Step^IHE_LABTF|2015012170824|^&&123456789|123456789|100|98<cr>
SPM|1|2015012000001_0_01&&123456789&&123456789|023^血清
    ^JC10|||201501200000|2015012165011|||001^生化学^99C01<cr>
PID||0000000101^^^^PI||YAMADA^TARO^^^^L^A~山田^太郎^^^^L^I~ヤマダ^タロウ
    ^^^^^L^P||196303241225|M<cr>
ORC|NW|2015012000001|||2015012170950||10001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^^^I~^スズキ^ジロウ
    ^^^^^^^L^^^^^^P|01^^^^^C|||01^内科^99R01|||0<cr>
TQ1|1|||20150121630||R<cr>
OBR|1|2015012000001||E002^生化学的検査
    ^JHSIOB0003||201501200000|||2015012165011||10001^鈴木^次郎^^^^^^L^^^^^^I~^スズキ^
    ジロウ^^^^^^L^^^^^^P|||2015012170950<cr>
OBX|1||006^CRP^99I01|||0<cr>
OBX|2||004^γ-GTP^99I01|||0<cr>
OBX|3||003^GPT^99I01|||0<cr>
OBX|4||002^GOT^99I01|||0<cr>
OBX|5||001^総蛋白^99I01|||0<cr>

```

(b) 検査項目を OBR-4 に記載

```

MSH|^~&|LIS|IHE-J^AM|LD|IHE-J^LD|2015012170950|RSP^WOS^RSP_K11|2015012170950|P|2.5||
||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>

```

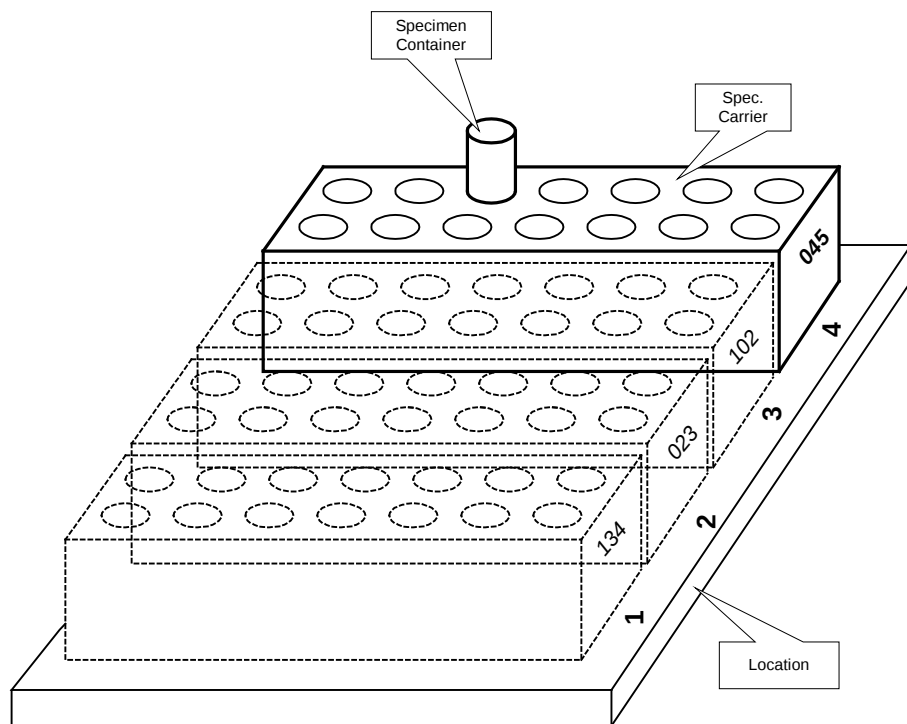
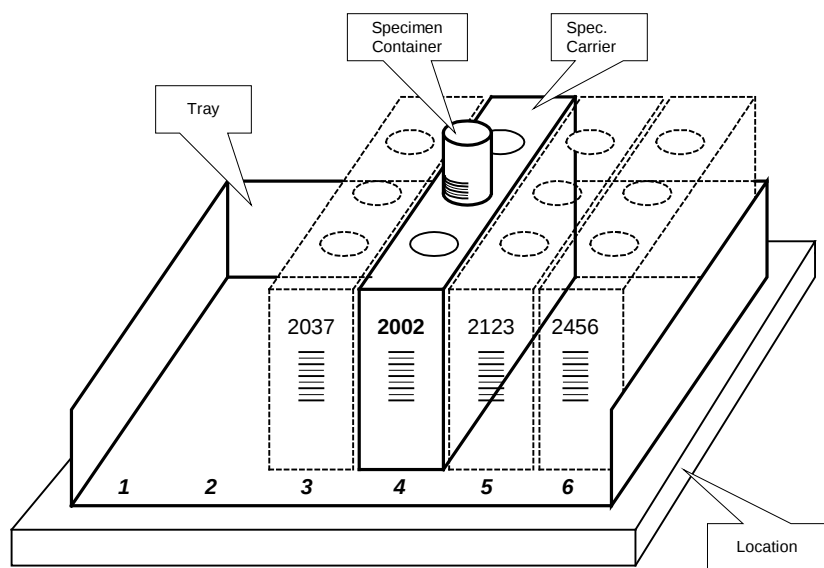



図14 検体ステータス更新の参考図

10. 検体ステータス要求(Specimen status request)メッセージの例

生化学分析機（装置 ID=0001）から LAS に採取管（id=092321A）のステータスを要求する。

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-J^LD|20150630080040||SSR^U04^SSR_U04|20150630080040|P|2.5|||
||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
SAC|||092321A^LAS|||20150620080023<cr>
SPM|1|&&06302001015^20150630000001&&092321A||001^血清
^99M01|||20150630000000|20150630075040|||001^容器 001^99C01<cr>
```

11. 自動化装置在庫更新メッセージの例

生化学分析機（装置 ID=0001）から LAS へ試薬ボトル(id=12345)に入っている TSH 試薬(id=01239)の状態を送信する。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-J^AM|20150630080040||INU^U05^INU_U05|20150630080040|P|2.5|||
||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
INV|MF01239^REAGENT1|OK^OK_STATUS|SR^SINGLE_TEST_REAGENT|12345^BOTTLE_NUM|||190||ML|200
00101||TSH|A12345678|PROD1||60^D<cr>
```

12. 自動化装置在庫要求メッセージの例

LAS から生化学分析機（装置 ID=0001）へ物資(id=MF01239)のすべての容器の状態を問い合わせる。

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-J^LD|20150630080040||INR^U06^INR_U06|20150630080040|P|2.5|||
||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
INV|MF01239^REAGENT1|OK^OK_STATUS<cr>
```

13. 自動化装置コマンド(Automated equipment command)メッセージの例

LAS から生化学分析機（装置 ID=0001）へ通知クリアコマンドを送信する。

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-J^LD|20150630080040||EAC^U07^EAC_U07|20150630080040|P|2.5|||
||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
ECD|89421|CN^CLEAR_NOTIFICATION|Y<cr>
CNS|1209|1500|201506010800|201506300800<cr>
```

14. 自動化装置応答(Automated equipment response)メッセージの例

生化学分析機（装置 ID=0001）から LAS へ初期化コマンドの実行完了を送信する。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-J^AM|20150630080040||EAR^U08^EAR_U08|20150630080040|P|2.5|||
||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
ECD|89421|IN^INIT|Y<cr>
ECR|OK^COMMAND_COMPLETE|20150630080035<cr>
```

15. 自動化装置通知(Automated equipment notification)メッセージの例

生化学分析機（装置 ID=0001）が検知ユニットのドリフトについての通知(警告)を送信する。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-J^AM|20150630080040||EAN^U09^EAN_U09|20150630080040|P|2.5|||
||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
NDS|8923|201506300800|W^WARNING|DU001^DETECTION UNIT DRIFT<cr>
```

16. 自動化装置検査コード設定更新メッセージの例

LAS より生化学分析機（装置 ID=0001）に対し、グルコース検査の設定を以下のように更新する。

APID: GLU-HK、検査材料: 血清、自動希釈率のデフォルト: 10、再検希釈率のデフォルト: 10、予備希釈無し、残量警告レベル: 500、自動再検許可、多重測定許可、自動追加 (reflex) 禁止、ダイナミックレンジ: 2-400 mg/dL、通常処理

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-J^LD|20150630080040||TCU^U10^TCU_U10|20150630080040|P|2.5|||
||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
SPM|||SER^SERUM^L<cr>
TCC|15074-8^GLUCOSE^LN|GLU-HK^CHEMISTRYANALYZER||^10|^10|^0|^0|500|Y|Y|N|^2^-^400|mg/dL|P<cr>
```

17. 自動化装置検査コード設定要求メッセージの例

生化学分析機（装置 ID=0001）より LAS に対し、グルコース検査の検査コード設定を以下のように要求する。

APID: GLU-HK

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-J^AM|20150630080040||TCR^U11^TCU_U10|20150630080040|P|2.5|||
||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
TCC|15074-8^GLUCOSE^LN|GLU-HK^CHEMISTRYANALYZER<cr>
```

18. 自動化装置ログ/サービス更新メッセージの例

生化学分析機（装置 ID=0001）が LAS へイベントログの 1 レコードを送信する。

```
MSH|^~\&|LD|IHE-J^LD|LAS|IHE-J^AM|20150630080040||LSU^U12^LSU_U12|20150630080040|P|2.5|||
||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
EQP|LOG^LOG_EVENT||201506300755|201506300800|I976 Instrument Initialization<cr>
```

19. 自動化装置ログ/サービス要求メッセージの例

LAS が生化学分析機（装置 ID=0001）へ、2015 年 6 月 30 日午前 7 時から同 8 時までに起こったイベントのログファイルを要求する。

```
MSH|^~\&|LAS|IHE-J^AM|LD|IHE-J^LD|20150630080040||LSR^U13^LSU_U12|20150630080040|P|2.5|||
||~ISO IR87||ISO 2022-1994<cr>
EQU|0001^CHEMISTRYANALYZER^99E01|20150630080038|OP<cr>
EQP|LOG^LOG_EVENT||201506300700|201506300800|""<cr>
```

注: EQP-5 は NULL ("") を設定している。

20. ロケーションマスタファイル照会

(1) ナースステーション 2N、101 号室のロケーションマスタファイル情報を要求する

```
MSH|^~\&|BEDMGMT|HSP1|HIS|HSP1|200105311135||QBP^Znn^QBP_Q11|8699|P|2.5..<cr>
QPD|Znn^Find Location^HL70471|1022|LOC^Location Master^HL70175|HSP1|2N^101^HSP1..<cr>
RCP|I||R..<cr>
```

(2) ナースステーション 2N、101 号室のロケーションマスタファイル情報を応答する

```
MSH|^~&|HIS|HSP1|BEDMGMT|HSP1|200105311136||RSP^Znn^RSP_Q11|1|P|2.5|..<cr>
MSA|AA|8699<cr>
QAK|1022|OK|Znn^Find Location^HL70471|1|1|0..<cr>
QPD|Znn^Find Location^HL70471|1022|LOC^Location Master^HL70175|HSP1|2N^101^HSP1..<cr>
MFE|MAD|||2N^101^HSP1|PL<cr>
LOC|2N^101^HSP1|Station 2 North, room 101|R||^PRN^PH^^^^^^^^(407)804-5000||IVP|P<cr>
LCH|2N^101^HSP1||PRL^Privacy level^HL70324|S^Semi-private room^HL70262<cr>
LCH|2N^101^HSP1||SMK^Smoking^HL70324|Y^HL70136<cr>
```

QAK セグメントで識別された単一の一致が返された。そのロケーション定義と特性は LOC と LCH セグメントで返される。

21. 一般マスタファイル更新通知（オリジナル応答モード）

(1) サイト定義「Z」セグメントを含むメッセージを応答システムへ送信する

```
MSH|^~&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290544||MFN^M14^MFN_ZGN|MSGID001|P|2.5|..<cr>
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD||AL<cr>
MFE|MAD|6772331|200106290500|BUD^Buddhist^HL70006|CWE<cr>
ZGN|BUD^Buddhist^HL70006|3<cr>
MFE|MAD|6772332|200106290500|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE<cr>
ZGN|BOT^Buddhist: Other^HL70006|4<cr>
```

(2) 受信したメッセージは処理可能と判断し、MFN^M14 メッセージを開始側システムへ送信する

```
MSH|^~&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290545||MFK^M14^MFK_M01|MSGID99001|P|2.5|..<cr>
MSA|AA|MSGID001<cr>
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD||AL<cr>
MFA|MAD|6772331|200106290545|S|BUD^Buddhist^HL70006|CWE<cr>
MFA|MAD|6772332|200106290545|S|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE<cr>
```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信され成功裏に処理されたことを示す「AA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「AE」または「AR」であることもある。MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへの応答と連携する開始側 MFN^M14 メッセージ(MSGID001)の MSH-10 - Message Control ID からの値を含む。

(3) 日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード材料コード表の更新例

この例では既存の材料コード表を更新する（「蓄尿」を「24 時間蓄尿」と変更）。

```
MSH|^~&|JSCPREG|JSCP|LAB|OAL|20000313143000||MFN^M14^MFN_ZGN|MSGID1|P|2.5||NE|NE..<cr>
MFI|SP^材料コード^JC10||UPD||NE<cr>
MFE|MUP||200003150000|004^蓄尿&pooled urine^JC10|CWE<cr>
ZGN|004^24 時間蓄尿&24h pooled urine^JC10<cr>
```

22. 一般マスタファイル更新通知（拡張モードアプリケーションレベル応答）

(1) サイト定義「Z」セグメントを含まないメッセージを応答側システムへ送信する。

```
MSH|^~&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290544||MFN^M13^MFN_M01|MSGID004|P|2.5||AL|AL..<cr>
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD||AL<cr>
MFE|MAD|6772333|200106290500|BUD^Buddhist^HL70006|CWE<cr>
MFE|MAD|6772334|200106290500|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE<cr>
```

ACK メッセージを開始側システムへ送信する

受信したメッセージは処理可能と判断し、開始側メッセージの MSH-15 - Accept Acknowledgment は受信応答が必要（「AL」）と識別しているので、ACK メッセージが応答側によって組み立て

られ、MFN^M13 メッセージの応答と識別して開始側システムへ送信される。

```
MSH|^~\&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290545||ACK^M13^ACK|MSGID99004|P|2.5.0.0<cr>
MSA|CA|MSGID004<cr>
```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信されそして安全に保管することを約束した識別である「CA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「CE」または「CR」であることもある。MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへの応答と連携する開始側 MFN^M13 メッセージ(MSGID004)の MSH-10 - Message Control ID からの値を含む。

MFK^M13 応答メッセージを開始側システムへ送信する

開始側システムはこの例ではアプリケーションレベル応答（「AL」）を要求していることを MSH-16 - Application Acknowledgment Type によって識別している。応答側は、開始側システムに上記 ACK メッセージの送信することにより続くある時点で、MFN^M13 メッセージの処理を行うであろう。メッセージ処理が完結すれば、アプリケーション応答はメッセージが処理された識別で応答側から開始側システムへ送信される。応答側は MFK^M13 応答メッセージを組み立て、そしてそれを開始側システムへ送信する。

```
MSH|^~\&|HL7LAB|CH|HL7REG|UH|200106290550||MFK^M13^MFK_M01|MSGID99501|P|2.5.0.0||AL|.0.0<cr>
MSA|AA|MSGID004<cr>
MFI|HL70006^RELIGION^HL70175||UPD|||AL<cr>
MFA|MAD|6772333|200106290550|S|BUD^Buddhist^HL70006|CWE<cr>
MFA|MAD|6772334|200106290550|S|BOT^Buddhist: Other^HL70006|CWE<cr>
```

MSA-1 - Acknowledgment Code はメッセージが受信され成功裏に処理されたことを示す「AA」を含んでいることに注意。この値はメッセージが受信されたが成功裏に処理しなかったことを示す「AE」または「AR」であることもある。この値は後続のすべての MFA セグメントに適用する。

ACK メッセージを応答側システムへ送信する

MSA-2 - Message Control ID は開始側メッセージへのアプリケーション応答と連携する開始側 MFN^M13 メッセージ(MSGID004)の MSH-10 - Message Control ID からの値を含む。開始側システムは応答側からのアプリケーション応答メッセージを受信し、そしてその応答である ACK メッセージを形成する。以下のメッセージが応答側システムへ送信される

```
MSH|^~\&|HL7REG|UH|HL7LAB|CH|200106290551||ACK^M13^ACK|MSGID445|P|2.5.0.0<cr>
MSA|CA|MSGID99501<cr>
```

MSA-2 - Message Control ID は、開始側からの MFN^M13 でなく、ちょうど受信した MFK^M13 メッセージ(MSGID99501)の MSH-10 - Message Control ID からの値を含んでいることに注意。

(2) 日本臨床検査医学会臨床検査項目分類コード材料コード表の更新例

この例では既存の材料コード表を更新する（「蓄尿」を「24 時間蓄尿」と変更）。

```
MSH|^~\&|JSCPREG|JSCP|LAB|OAL|20000313143000||MFN^M13^MFN_M01|MSG01|P|2.5.0.0||NE|NE.0.0<cr>
MFI|SP^材料コード^JC10||UPD|||NE<cr>
MFE|MUP||200003150000|004^24 時間蓄尿&24h pooled urine^JC10|CWE<cr>
```

23. 検査項目マスタファイル更新通知

(1) 数値結果項目の例

```
MSH|^~&||OAL||OTAL|20000229083030||MFN^M08^MFN_M08|MSGID100|P|2.5|||NE|NE・・<cr>
MFI|OMA^数値型検査項目マスタファイル^99F01||UPD|||NE<cr>
MFE|MUP|||5F016141002300532^HBs 抗原^JC10|CWE<cr>
OM1|1|5F016141002300532^HBs 抗原^JC10^0070^OAL|ST|Y|OAL^L|||HBs-AG-RIA|||Y|||OAL||A・・
<cr>
OM2|1|^Index^L|4.1|||&1.0|2.0&・・<cr>
OM4|1|||023^血清^JC10|||0.5|0.1・・<cr>
```

(2) カテゴリー値結果項目の例

```
MSH|^~&||OAL||OTAL|20000229083030||MFN^M09^MFN_M09|MSGID101|P|2.5|||NE|NE・・<cr>
MFI|OMB^判定値型検査項目マスタファイル^99F01||UPD|||NE<cr>
MFE|MUP|||5F016141002311611^HBs 抗原定性^JC10|CWE<cr>
OM1|1|5F016141002311611^HBs 抗原定性^JC10^0836^OAL|ST|Y|OAL^L|||HBs 抗原定性-PA|||Y||
||OAL||A・・<cr>
OM3|1||-^negative^99V01~+^positive^99V01|-^negative^99V01|^positive^99V01|^positiv
e^99V01|ST・・<cr>
OM4|1|||023^血清^JC10|||0.5|0.2・・<cr>
```

24. 検査項目マスタファイル更新通知（オリジナルモード）

マスタファイル仕様を使用している検査システムが2件の更新用検査辞書エントリをICUシステムに送ることを示す。

```
MSH|^~&||LABxxx|ClinLAB|ICU||19910918060544||MFN^M03^MFN_M03|MSGID002|P|2.5・・<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01||UPD|||AL<cr>
MFE|MUP|199109051000|199110010000|12345^WBC^99I01<cr>
OM1|・・<cr>
MFE|MUP|199109051015|199110010000|6789^RBC^99I01
OM1|・・<cr>
```

MFI 応答レベルコード AL による HL7 メッセージのオリジナルモード応答

```
MSH|^~&||ICU||LABxxx|ClinLAB|19910918060545||MFK^M03^MFK_M01|MSGID99002|P|2.5・・<cr>
MSA|AA|MSGID002<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01||UPD|||AL<cr>
MFA|MUP|199110010000|199110010040|S|12345^WBC^99I01<cr>
MFA|MUP|199110010000|199110010041|S|6789^RBC^99I01<cr>
```

25. 検査項目マスタファイル更新通知（拡張モード）

応答受諾を伴う初期メッセージ

```
MSH|^~&||LABxxx|ClinLAB|ICU||19910918060544||MFN^M03^MFN_M03|MSGID002|P|2.5|||AL|AL・・<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01||UPD|||AL<cr>
MFE|MUP|199109051000|199110010000|12345^WBC^99I01<cr>
OM1|・・<cr>
MFE|MUP|199109051015|199110010000|6789^RBC^99I01<cr>
OM1|・・<cr>
```

```
MSH|^~&||ICU||LABxxx|ClinLAB|19910918060545||ACK^M03^ACK|MSGID99002|P|2.2・・<cr>
MSA|CA|MSGID002<cr>
```

アプリケーション応答メッセージ

```
MSH|^~\&|ICU||LABxxx|ClinLAB|19911001080504||MFK^M03^MFK_M01|MSGID5002|P|2.5|||AL|..<cr>
MSA|AA|MSGID002<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01||UPD|||AL<cr>
MFA|MUP|199109051000|199110010040|S|12345^WBC^99I01<cr>
MFA|MUP|199109051015|199110010041|S|6789^RBC^99I01<cr>
```

```
MSH|^~\&|LABxxx|ClinLAB|ICU||19911001080507||ACK^M03^ACK|MSGID444|P|2.5..<cr>
MSA|CA|MSGID5002<cr>
```

26. 検査項目マスタファイル更新通知（遅延アプリケーション応答）

もし「オリジナルモードの例」でメッセージレベルアプリケーション応答を必要としない MFN メッセージであったなら（すなわち、MSH セグメント = NE のアプリケーション応答コード）、オリジナル MFN メッセージに結付かない遅延アプリケーションレベル応答を提供するために（マスタファイル章が定義した）MFD メッセージが使われる。

次の例はオリジナルメッセージにない MFE セグメントのための応答を含む。

受諾応答を伴う初期メッセージ

```
MSH|^~\&|LABxxx|ClinLAB|ICU||19910918060544||MFN^M03^MFN_M03|MSGID002|P|2.5|||AL|NE..<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01|UPD|||AL<cr>
MFE|MUP|199109051000|199110010000|12345^WBC^99I01<cr>
OM1|..<cr>
MFE|MUP|199109051015|199110010000|6789^RBC^99I01<cr>
OM1|..<cr>
```

```
MSH|^~\&|ICU||LABxxx|ClinLAB|19910918060545||ACK^M03^ACK|MSGID99002|P|2.2..<cr>
MSA|CA|MSGID002<cr>
```

遅延アプリケーション応答

```
MSH|^~\&|ICU||LABxxx|ClinLAB|19911001080504||MFD^M03^MFD_MFA|MSGID65002|P|2.5|||AL|..<cr>
MFI|LABxxx^Lab Test Dictionary^99F01||UPD|||AL<cr>
MFA|MUP|199109051000|199110010040|S|12345^WBC^99I01<cr>
MFA|MUP|199109051015|199110010041|S|6789^RBC^99I01<cr>
MFA|MUP|199109051025|199110010041|S|4339^HGB^99I01<cr>

MSH|^~\&|LABxxx|ClinLAB|ICU||19911001080507||ACK^MFD^ACK|MSGID444|P|2.5..<cr>
MSA|CA|MSGID65002<cr>
```

27. 検体ラベル発行メッセージの例

1. 内科（科コード：051）の山田次郎医師（職員番号：14789）は患者、豊田太郎（患者番号：1111222）を診察し、肝機能検査（オーダー番号：1234561、セット検査コード：17432）と血球計数検査（オーダー番号：1234562、セット検査コード：18655）を HIS 端末を通して依頼する。
2. 患者は中央採血室の受付に診察カードを差し出す。
3. 採血受付担当者は HIS 端末にて当該患者の検査依頼をチェックし、検体ラベルの発行を指示する。
4. HIS がラベル情報を採血管準備システム（LBL system）に送信する。
採血管は 2 種（容器コード 021：生化、容器コード 015：血算）。
検体管理番号はそれぞれ 1234561001 および 1234562001。
検体番号（バーコード番号）はそれぞれ 1234560001 および 1234560002。
5. 採血管準備システムはバーコードラベルを発行、所定の採血管に貼付け、払い出す。
6. 採血担当者は採血を実施する。

28. ラベル情報メッセージの例 (OML^O33^OML_O33)

```
MSH|^~\&|LIP|HIS|LB|LBL
system|20070112134854||OML^O33^OML_O33|20070112134854|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO
2022-1994<cr>
PID|||1111222||Toyota^Taro^^^^^L^A~豊田^太郎^^^^^L^I~とよた^たろう^^^^^L^P||19810101|M<cr>
PV1||0|01^^^^C|||14789^山田^次郎^^^^^^L^^^^^I|||01<cr>
SPM|1|1234561001&LB&1234560001||023^血清^JC10|||||P|6.0^mL|||||20070112|||||||1|021^生
化^99C01<cr>
ORC|NW|1234561|||||200701121348|14789^山田^次郎^^^^^^L^^^^^I||14789^山田^次郎
^^^^^^L^^^^^I|||051^内科^99R01|||||||0<cr>
TQ1||||||R<cr>
OBR||1234561||17432^肝機能^99I01|||||||14789^山田^次郎^^^^^^L^^^^^I<cr>
SPM|2|1234562001&LB&1234560002||019^全血 (添加物入り)
^JC10|||||P|2.0^mL|||||20070112|||||||1|015^血算^99C01<cr>
ORC|NW|1234562|||||200701121348|14789^山田^次郎^^^^^^L^^^^^I||山田^次郎
^^^^^^L^^^^^I|||051^内科^99R01|||||||0<cr>
TQ1||||||R<cr>
OBR||1234562||18655^血球計数^99I01|||||||14789^山田^次郎^^^^^^L^^^^^I<cr>
```

29. 検体ラベル情報照会メッセージの例

1. 内科 (科コード: 051) の山田次郎医師 (職員番号: 14789) は患者、豊田太郎 (患者 ID: 1111222) を診察し、肝機能検査 (オーダ番号: 1234561、セット検査コード: 17432) と血球計数検査 (オーダ番号: 1234562、セット検査コード: 18655) を HIS 端末を通して依頼する。
2. 患者は中央採血室に移動し、採血受付機に診察カードを通し採血の受付を行う。
3. 採血管準備システム (LBL system) は HIS に検体ラベル情報照会メッセージを送信する。
4. HIS がラベル情報を採血管準備システムに返信する。
採血管は2種 (容器コード 021: 生化、容器コード 015: 血算)。
検体管理番号はそれぞれ 1234561001 および 1234562001。
検体番号 (バーコード番号) はそれぞれ 1234560001 および 1234560002。
5. 採血管準備システムはバーコードラベルを発行、所定の採血管に貼付け、払い出す。
6. 採血担当者は採血を実施する。

(1) ラベル情報照会メッセージの例 (QBP^SLI^QBP_Q11)

```
MSH|^~\&|LIP|HIS|LB|LBL
system|20070112142312||QBP^SLI^QBP_Q11|20070112142312|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO
2022-1994<cr>
QPD|SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF|20070112142312|1111222<cr>
RCP|I||R<cr>
```

(2) ラベル情報応答メッセージの例 (RSP^SLI^RSP_K11)

```
MSH|^~\&|LIP|HIS|LB|LBL
system|20070112142315||RSP^SLI^RSP_K11|20070112142315|P|2.5|||||~ISO IR87||ISO
2022-1994<cr>
MSA|AA|20070112142312<cr>
QAK|20070112142312|OK<cr>
QPD|SLI^Specimen Labeling Instructions^IHE_LABTF|20070112142312|1111222<cr>
PID|||1111222||Toyota^Taro^^^^^L^A~豊田^太郎^^^^^L^I~とよた^たろう^^^^^L^P||19810101|M<cr>
PV1||0||||14789^山田^次郎^^^^^^L^^^^^I|||051<cr>
SPM|1|1234561001&LB&1234560001||023^血清^JC10|||||P|6.0^mL|||||20070112|||||||1|021^生
化^99C01<cr>
ORC|NW|1234561|||||200701121348|14789^山田^次郎^^^^^^L^^^^^I||14789^山田^次郎
^^^^^^L^^^^^I|||051^内科^99R01|||||||0<cr>
TQ1||||||R<cr>
```

OBR|1|1234561||17432^肝機能^99I01|||||||14789^山田^次郎^^^^^^L^^^^^I<cr>
 SPM|2|1234562001&LB&1234560002||019^全血（添加物入り）
 ^JC10|||||P|2.0^mL||||20070112|||||||1|015^血算^99C01<cr>
 ORC|NW|1234562|||||200701121348|14789^山田^次郎^^^^^^L^^^^^I||14789^山田^次郎
 ^^^^^^^L^^^^^I||||051^内科^99R01|||||||0<cr>
 TQ1||||||R<cr>
 OBR|1|1234562||18655^血球計数^99I01|||||||14789^山田^次郎^^^^^^L^^^^^I<cr>

付録—2. 作成者名簿

作成者（社名五十音順）

川田 剛	アイテック阪急阪神(株)
千葉 信行	(株)エイアンドティー
渡邊 真一	(株)エイアンドティー
福司 大輔	NECソリューションイノベータ(株)
大野 武志	(株)ソフトウェア・サービス
平沢 修	(株)テクノメディカ
木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
藤咲 喜丈	日本光電工業(株)
山本 樹峰	日本光電工業(株)
麻生 大輔	(株)日立製作所
石井 尚実	(株)日立ハイテクノロジーズ
町野 輝吉	(株)富士通システムズ・ウエスト
鈴木 一雄	(株)富士通山口情報
福重 二三男	(株)富士通山口情報
弘田 浩之	富士フイルム(株)
三沢 泰一	ラジオメーター(株)

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2008 年 3 月	Ver.3.0	オフライン版 Ver.2.0 とオンライン版 Ver.2.0 を統合し、「臨床検査データ交換規約 Ver.3.0」として全面改訂
2011 年 12 月 1 日	Ver.3.1	3 ヶ年後の見直しの時期ならびに日本 HL7 協会の適合性認定での指摘事項踏まえ、説明不足箇所の見直しなど実施
2016 年 7 月	Ver.4.0C	(1) JAHIS データ交換規約 共通編 Ver.1.1 との整合。 (2) 検査項目表記の表現の見直し、補足修正。 (3) 全体にわたる表現・記述の見直し、誤訳の修正。 (4) HL7、IHE Technical Framework の整合性の確認

(J A H I S標準 1 6－0 0 4)

2 0 1 6年 7月発行

J A H I S臨床検査データ交換規約 V e r . 4 . 0 C

発行元 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
〒1 0 5－0 0 0 4 東京都港区新橋2丁目5番5号
(新橋2丁目MTビル5階)

電話 03-3506-8010 FAX 03-3506-8070

(無断複写・転載を禁ず)